教　育　要　覧

2026 年度

（令和８年度）

釧路市教育委員会

釧路市生涯学習都市宣言

凛(りん)とした郷土(ふるさと)に生きるわたしたちは

地球家族の一員として

豊かな個性と生きがいを求め

自ら学びつづけます

輝く明日(あした)をひらくために

スポーツ都市宣言

私たち釧路市民は、湿原をわたるさわやかな風やしばれる大地の中で、スポーツに汗を流し、スポーツ環境をととのえ、スポーツによる健やかなまちづくりをめざして、ここに「スポーツ都市」を宣言します。

1．スポーツに親しみ、
　　健康な心とからだをつくりましょう。

1．スポーツを楽しみ、
　　明るい生活をおくりましょう。

1．スポーツを愛し、
　　友情とふれあいの輪をひろげましょう。

1．スポーツを通し、
　　世界にはばたくスポーツ都市釧路をめざしましょう。

釧路市・釧路市教育委員会

釧路市の概要

平成17年10月11日に釧路市、阿寒町、音別町が合併して、新生「釧路市」が誕生した。

人口は、150,274人（令和８年４月末現在の住民基本台帳）で道内では６番目に多く、約1,363㎢の面積は道内で３番目に広い。

当市は北海道の東部に位置し、南は太平洋の海原に面し、北は日本百名山に指定されている阿寒岳に至り、阿寒摩周国立公園と釧路湿原国立公園の二つの国立公園を擁する自然豊かな地域である。気候は、沿岸部では一年を通して冷涼で、７月から９月の最高気温の平均が約24度であることから、夏には長期滞在地として選ばれている。また、主に６月から８月にかけて霧が発生することもあるが、秋から冬にかけて晴天の日が多く、年間の日照時間は札幌よりも多い。（令和７年、気象庁データ）

当市の経済は、農業、林業、水産業の第一次産業とそれに関連する食品加工業、製紙、石炭鉱業そして観光業を柱として発展し、物流を支える「港」「空港」「鉄道」「道路」が整備されてきた。そして「高速道路網」が釧路に延伸されたことで、物流、観光の伸展がもたらす波及効果に期待が寄せられている。

釧路市の行政においては現在、「都市経営」の視点による新たなまちづくりの指針として「釧路市まちづくり基本構想」を策定し、「経済活性化」を主軸に、地域経済を担う主役となる「人材育成」と経済活動を展開する舞台となる「都市機能向上」を重点戦略と定め、目指すべきまちづくりを実現するための取組みを進めている。

※「市政のあらまし」より引用

〔人口と世帯数〕　令和8年7月末日現在　　人口149,876人　　世帯数90,403世帯

〔位　　置〕　北緯　42度58分10秒　東経　144度22分24秒

面積　1,363.26㎢

総　目　次

Ⅰ　教育行財政

第１章　教育行政…… 1
〔１〕教育長及び教育委員…… 1
〔２〕委員会の開催及び規則等の公布…… 2
〔３〕附属機関等…… 3
〔４〕組織及び事務分掌…… 7
〔５〕職員の構成…… 8
〔６〕職員の人件費等…… 8
第２章　教育財政…… 9
〔１〕令和８年度　教育予算…… 9
〔２〕釧路市教育行政方針の概要…… 11
〔３〕重点施策…… 12

Ⅱ　生涯学習

第１章　生涯学習の推進…… 15
〔１〕釧路市における生涯学習推進…… 15
〔２〕生涯学習都市宣言…… 15
〔３〕生涯学習推進計画…… 15
〔４〕生涯学習推進事業…… 16

Ⅲ　学校教育

第１章　学校教育の推進…… 19
〔１〕釧路市教育推進基本計画
～子どもたちの「生きる力」を育むために～… 19
第２章　学校教育推進事業…… 21
〔１〕学校教育推進事業の概要…… 21
第３章　学校施設と管理費…… 27
〔１〕市内の学校施設…… 27
〔２〕市立学校（小・中・高等学校）…… 27
〔３〕教材・運営費…… 31
第４章　就学の助成…… 33
〔１〕奨学金制度…… 33
〔２〕私学振興事業…… 33
〔３〕就学奨励制度…… 34
第５章　特別支援教育…… 36
〔１〕特別支援教育における釧路市の施策…… 36
〔２〕特別支援学級在籍数…… 36
〔３〕教育支援委員会…… 38
第６章　学校保健…… 39
〔１〕児童・生徒の体格…… 39
〔２〕児童・生徒の健康状態…… 39
〔３〕独立行政法人日本
スポーツ振興センターの災害給付…… 42
第７章　学校給食…… 43
〔１〕学校給食の実施状況…… 43
〔２〕釧路市学校給食会…… 45
〔３〕学校給食センター…… 45
第８章　幼児教育…… 46
〔１〕幼稚園等設置状況…… 46
〔２〕園数と園児数の推移…… 46
〔３〕幼稚園業務の移管及び補助執行…… 46
第９章　高等学校教育…… 47
〔１〕釧路市の高等学校教育の推移…… 47
〔２〕市立高等学校の概要…… 48
第 10 章　教育研究センター …… 50
〔１〕釧路教育研究センター…… 50

Ⅳ　社会教育

第１章　社会教育の推進…… 51
〔１〕釧路市社会教育推進計画
～人づくり・地域づくりに向けて～…… 51
〔２〕釧路市子ども読書活動推進計画…… 52
第２章　社会教育事業…… 53
〔１〕社会教育…… 53
〔２〕青少年教育…… 54
第３章　文化芸術…… 56
〔１〕釧路市文化芸術振興計画…… 56
〔２〕文化芸術…… 56
〔３〕文化財…… 62
〔４〕釧路叢書…… 72
〔５〕釧路新書…… 72
〔６〕文化振興に関する事業…… 73
第４章　スポーツ…… 75
〔１〕市民皆スポーツの推進…… 75
〔２〕スポーツ振興事業…… 81
〔３〕体育・スポーツ施設の整備…… 87
〔４〕体育・スポーツの振興に関する
指定管理者の自主事業…… 88
〔５〕釧路市の社会体育施設…… 91
第５章　社会教育施設の概要…… 102
〔１〕釧路市生涯学習センター…… 102
〔２〕釧路市青少年育成センター…… 104
〔３〕釧路市交流プラザさいわい…… 104
〔４〕釧路市中央図書館…… 105
〔５〕釧路市立博物館…… 109
〔６〕釧路市埋蔵文化財調査センター…… 113
〔７〕あすなろ会こども遊学館
（釧路市こども遊学館）…… 116
〔８〕釧路市動物園…… 119
〔９〕丹頂鶴自然公園…… 124
〔10〕阿寒国際ツルセンター…… 125
〔11〕釧路市音別町
体験学習センター「こころみ」…… 127
〔12〕コーチャンフォー釧路文化ホール
（釧路市民文化会館）…… 130
〔13〕阿寒町公民館…… 131
〔14〕音別町文化会館…… 132
〔15〕社会教育施設建設費の概要…… 133

資　料

〔１〕市立学校一覧…… 137
〔２〕市内の学校及び幼稚園等一覧…… 141

釧路市教育の基本理念

釧路の風土で育まれ　未来を拓く　心豊かな人づくり

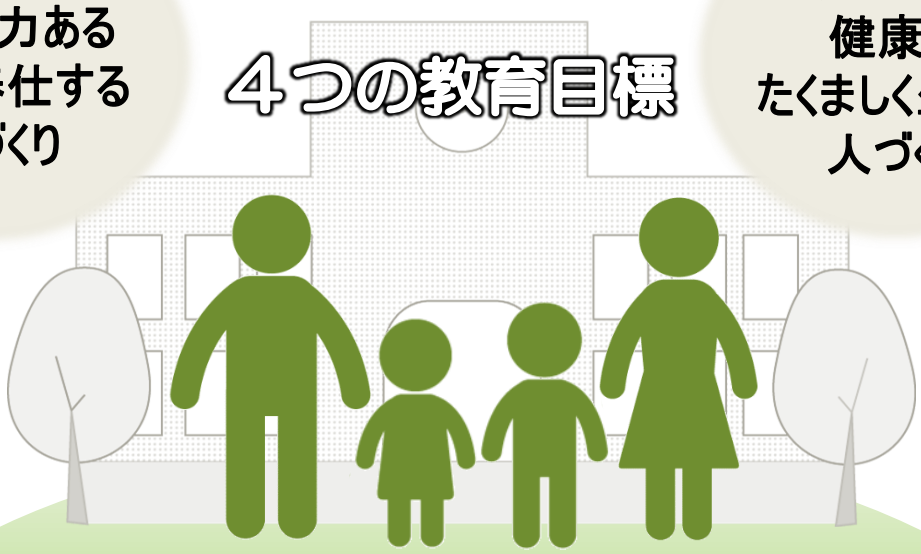
伝統と
文化を大切にし
主体的に学び
つづける
人づくり

進んで
人とかかわり
豊かな心を
はぐくむ
人づくり

ふるさと釧路を
愛し活力ある
まちに奉仕する
人づくり

自然に親しみ
健康で
たくましく生きる
人づくり

４つの教育目標



教育行政推進の２つの基本姿勢

子どもたちの生きる力を育むために

人づくり・地域づくりに向けて

Ⅰ　教育行財政

第１章　教 育 行 政

〔１〕教育長及び教育委員



岡部義孝教育長



大山稔彦委員



小出美貴子委員



籾山彩子委員



金安真人委員

１．教育長及び教育委員

身　　分	氏　　名	就 任 年 月 日
教　育　長	岡部義孝（おかべよしたか）	平成29年10月29日
委　　員	大山稔彦（おおやまとしひこ）	令和 5年10月29日
委　　員	小出美貴子（いでみきこ）	平成28年11月19日
委　　員	籾山彩子（もみやまあやこ）	令和 4年10月29日
委　　員	金安真人（かなやすまひと）	令和 7年10月29日

２.教育長

歴　代	氏　名	就　任　期　間
初　代	岡　部　義　孝	平成29年10月29日　～　現　在

３．教育委員

歴　代	氏　名	就　任　期　間
1	北　明　正　紘	平成17年10月29日　～　平成27年10月28日
2	小　北　瀧　雄	平成17年10月29日　～　平成21年10月28日
3	吉　田　正　勝	平成17年10月29日　～　平成20年10月28日
4	後　藤　哲　子	平成17年10月29日　～　平成22年10月28日
5	鈴　木　弥　子	平成20年11月19日　～　平成28年11月18日
6	山　口　　隆	平成21年10月29日　～　令和 7年10月28日
7	松　尾　千　穂	平成22年10月29日　～　令和 4年10月28日
8	種　村　俊　仁	平成27年10月29日　～　令和 5年10月28日
9	小　出　美貴子	平成28年11月19日　～　現　在
１０	籾　山　彩　子	令和 4年10月29日　～　現　在
１１	大　山　稔　彦	令和 5年10月29日　～　現　在
１２	金　安　真　人	令和 7年10月29日　～　現　在

４．旧法による教育委員長及び教育長

○教育委員長

歴　代	氏　名	就　任　期　間
初　代	北　明　正　紘	平成17年10月29日　～　平成27年10月28日
2　代	山　口　　隆	平成27年10月29日　～　平成29年10月28日

○教育長

歴　代	氏　名	就　任　期　間
初　代	上　原　丈　和	平成17年10月29日　～　平成19年３月31日
2　代	林　　正　昭	平成19年４月１日　～　平成21年10月28日
3　代	千　葉　誠　一	平成21年10月29日　～　平成25年10月28日
4　代	林　　義　則	平成25年10月29日　～　平成29年10月28日

〔２〕委員会の開催及び規則等の公布

１.教育委員会召集及び結果

（令和７年）

月	回数	会　議　案				結　　果				
		議案	報告	選挙	計	可決	継続	報告完了	選挙完了	計
1	2	1	5		6	1		5		6
2	5	26	7		33	26		7		33
3	2	19	9		28	19		9		28
4	1		11		11			11		11
5	2	12	10		22	12		10		22
6	1		8		8			8		8
7	2	2	7		9	2		7		9
8	2	9	9		18	9		9		18
9	2	2	8		10	2		8		10
10	1		5		5			5		5
11	2	11	8		19	11		8		19
12	1	1	7		8	1		7		8
計	23	83	94		177	83		94		177

２.規則等の公布

（令和７年）

区　　分	制　　定	廃　　止	一　部　改　正	計
規　　則	0	0	12	12
訓　　令	0	1	6	7
計	0	1	18	19

〔3〕附属機関等

1．釧路教育研究センター運営審議会

釧路市附属機関に関する条例に基づき、釧路教育研究センターの運営方針及び事業の実施計画について審議するため設置されている。

委員の構成は、①学識経験者、②学校教育関係者、③社会教育関係者で、定数10人以内となっている。

役　職	氏　　名	所属または現職名
委員長	佐々木　豊	北海道教育大学教職大学院特任教授
副委員長	齊藤　　崇	釧路市小中学校校長会 （釧路市立鶴野小学校校長）
委　　員	寺田　裕子	北海道教育大学釧路校教授
	穂積貴美子	釧路市女性団体連絡協議会副会長
	前田　由紀	釧路市ＰＴＡ連合会副会長
	佐藤　　宏	全釧路教職員組合釧路市支部 （釧路市立景雲中学校教諭）
	高柳　雅史	北海道教職員組合釧路支部 （釧路市立北中学校教諭）
	及川　知洋	釧路市公立学校教育研究会 （釧路市立共栄中学校教諭）

（令和8年7月1日現在）

2．釧路市教科用図書調査委員会

釧路市附属機関に関する条例に基づき、市立小中学校において使用する教科用図書の選定に係る調査研究を行うため設置されている。

委員の構成は、①市内学校教職員、②学識経験者、③ＰＴＡ代表者で、定数77人以内となっている。

なお、教科用図書の適正な選定及び公正確保のうえから、委員の氏名は、採択終了後、求めに応じ公表する。

3．釧路市学校給食審議会

釧路市附属機関に関する条例に基づき、学校給食の向上を目的に、給食に関する諸問題について審議するため設置されている。

委員の構成は、①学識経験者、②学校教育関係者、③ＰＴＡ代表者で、定数20人以内となっている。

役　職	氏　　名	所属または現職名
委　　員	川上　邦彦	北海道釧路総合振興局 （保健環境部企画総務課長）
	古川　昌代	釧路消費者協会理事
	室田　享子	釧路短期大学 （教授）
	清水　秀紀	釧路市小中学校校長会 （釧路市立城山小学校長）
	渥美　清孝	釧路市小中学校校長会 （釧路市立桜が丘小学校長）
	藤原　義明	釧路市小中学校校長会 （釧路市立新陽小学校長）
	河原　和範	釧路市小中学校校長会 （釧路市立春採中学校長）
	島田　桂子	釧路市小中学校校長会 （釧路市立景雲中学校長）
	髙橋　帝寿	釧路市小中学校校長会 （釧路市立桜が丘中学校長）
	川本　　学	釧路市ＰＴＡ連合会 （青葉小学校）
	石井　文恵	釧路市ＰＴＡ連合会 （鳥取西小学校）
	松岡　幸亮	釧路市ＰＴＡ連合会 （阿寒湖義務教育学校）
	中村　綾子	釧路市ＰＴＡ連合会 （阿寒小学校）
	東　　祐子	釧路市ＰＴＡ連合会 （音別義務教育学校）
	横田　しのぶ	釧路市ＰＴＡ連合会 （釧路小学校）
	田村　麻利恵	釧路市ＰＴＡ連合会 （東雲小学校）

（令和8年10月1日現在）

4．釧路市奨学審議会

釧路市附属機関に関する条例に基づき、奨学生の選定について、教育委員会の諮問に応じ審議するため設置されている。

委員の構成は、①学識経験者、②学校教育関係者、③民生委員、④ＰＴＡ代表者で、定数10人以内となっている。

役　職	氏　　名	所属または現職名
委員長	清水　秀紀	釧路市小中学校校長会 （釧路市立城山小学校長）
副委員長	結城　好子	釧路市民生委員児童委員協議会 副会長
委　　員	木戸口正宏	北海道教育大学釧路校専任講師
	金原いれいね	釧路公立大学教授
	厚海　洋幸	釧路短期大学専任講師
	吉田　光利	北海道高等学校長協会釧根支部 （北海道阿寒高等学校長）
	鈴木　亮介	北海道高等学校長協会釧根支部 （北海道釧路北陽高等学校長）
	大南　　優	釧路市小中学校校長会 （釧路市立阿寒小学校長）
	山本美那子	釧路市ＰＴＡ連合会副会長

（令和8年3月1日現在）

５．釧路市社会教育委員

社会教育法第15条及び釧路市社会教育委員に関する条例に基づいて、社会教育に関する諸計画の立案並びに教育委員会の諮問に応じ意見を述べるとともに、そのための調査研究を行うことを主な職務として設置されている。

委員の構成は、学識経験者等で、定数20人以内となっている。

役　職	氏　　名	所属または現職名
委員長	田丸　典彦	北海道教育大学名誉教授
副委員長	石田　憲一	釧路市文化団体連絡協議会会長
委　　員	大久保　貢	釧路市連合町内会副会長
	加賀谷淑子	釧路市男女平等参画審議会委員長
	加藤　　亮	音別町地域協議会委員
	小林　友幸	釧路市特別補導員会会長
	田中　郁子	釧路家庭生活カウンセラークラブ
	田中　達也	釧路公立大学教授
	中居　陽子	釧路市女性団体連絡協議会
	中西　紗織	北海道教育大学釧路校准教授
	長谷川順子	釧路市小中学校校長会 （釧路市立昭和小学校校長）
	藤原　節男	釧路市スポーツ協会副会長
	松野　史寛	釧路市ＰＴＡ連合会顧問
	横田　三香	釧路市私立幼稚園連合会副会長

（令和8年6月1日現在）

６．釧路市社会教育施設等運営審議会

釧路市附属機関に関する条例に基づき、社会教育施設等の管理運営についての基本的事項を審議するため設置されている。

委員の構成は、学識経験者で定数15人以内となっている。

なお、本運営審議会は、平成10年度に従来設置されていた釧路市生涯学習センター運営審議会・釧路市民文化会館運営審議会・市立釧路図書館協議会・釧路市立博物館協議会・釧路市青少年科学館協議会を統合したものである。

役　職	氏　　名	所属または現職名
委員長	石田　憲一	釧路市文化団体連絡協議会会長
副委員長	原　しげ子	おはなしネットぽんぽん代表
委　　員	藤森美由紀	釧路市小中学校校長会 （幣舞中学校長）
	宮前　耕史	北海道教育大学釧路校准教授
	甲斐美弥子	釧路市立博物館友の会
	中居　陽子	釧路市女性団体連絡協議会
	富樫　　彰	釧路市連合町内会副会長
	荒木千枝子	釧路市文化団体連絡協議会地域団体 （阿寒）
	遠藤　　潔	くしろ市民学園友の会
	田中　達也	釧路公立大学教授
	今野　友貴	釧路市ＰＴＡ連合会副会長
	平山和香子	釧路市文化団体連絡協議会地域団体 （音別）
	室田　享子	釧路短期大学教授

（令和8年8月1日現在）

７．釧路市文化財保護審議会

釧路市附属機関に関する条例に基づき、市指定文化財の指定、解除、保持者の認定及び保護に関し審議するため設置されている。

委員の構成は、学識経験者で、定数10人以内となっている。

役　職	氏　　名	所属または現職名
委員長	神田　房行	北方環境研究所所長
副委員長	中村　太一	北海道教育大学釧路校教授
委　　員	伊原　禎雄	北海道教育大学釧路校教授
	柴田　哲郎	釧路地方の地名を考える会副会長
	髙嶋八千代	釧路市立博物館友の会理事
	平澤　宇之	釧路工業高等専門学校准教授
	河瀬　　幸	釧路市タンチョウ鶴愛護会事務局長
	西　　幸隆	釧路考古学研究会会長
	藤森美由紀	釧路市小中学校校長会 （釧路市立幣舞中学校長）
	渡辺有希子	㈱猛禽類医学研究所副代表

（令和8年4月1日現在）

８．釧路市文化賞審議会

釧路市附属機関に関する条例に基づき、釧路市文化賞の受賞者選定について、教育委員会の諮問に応じ審議するため設置されている。

委員の構成は、①学識経験者、②社会教育団体の代表者で、定数13人以内となっている。

なお、受賞者の適正な選定及び公正確保のうえから、委員の氏名は非公開とする。

９．釧路市スポーツ振興協議会

釧路市附属機関に関する条例に基づき、スポーツの普及及び体育施設の管理についての基本的事項を審議するため設置されている。

委員の構成は、①学識経験者、②スポーツ関係団体の代表者で、定数15人以内となっている。

役　職	氏　　名	所属または現職名
委員長	越川　茂樹	北海道教育大学副学長
副委員長	松尾　千穂	釧路市スポーツ協会副会長
委　　員	白川　和希	北海道教育大学釧路校准教授
	情野　裕良	釧路商工会議所
	大久保　貢	釧路市連合町内会副会長
	山本　裕子	釧路市女性団体連絡協議会
	境　　美穂	釧路市スポーツ推進委員協議会
	熊山　幸子	釧路市スポーツ少年団指導者協議会
	佐藤　哲浩	釧路市スポーツ協会 （釧路地方弓道連盟会長）
	柳本　高秀	北海道高等学校体育連盟釧根支部 （釧路湖陵高等学校校長）

（令和8年8月1日現在）

10．釧路市スポーツ賞審議会

釧路市附属機関に関する条例に基づき、釧路市スポーツ賞の受賞者選定について、教育委員会の諮問に応じ審議するため設置されている。

委員の構成は、①学識経験者、②社会教育委員、③スポーツ団体の代表者で、定数10人以内となっている。

なお、受賞者の適正な選定及び公正確保のうえから、委員の氏名は非公開とする。

11．釧路市青少年問題協議会

釧路市青少年問題協議会条例に基づく市の附属機関で青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立について、必要な事項を審議し、これら施策の適切な実施を期すため、関係行政機関相互の連絡調整を図るとともに、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処に関係する機関及び団体の連携を図るべく設置されている。

委員の構成は、①関係行政機関の職員、②学識経験者で、定数30人以内となっている。なお、協議会の事務局は、学校指導課が担当している。

役　職	氏　　名	所属または現職名
会　　長	鶴間　秀典	釧路市長
副会長	岡部　義孝	釧路市教育委員会教育長
委　　員	大久保　貢	釧路市連合町内会副会長
	前田　関羽	札幌少年鑑別所釧路少年鑑別支所長
	目黒　正貴	釧路家庭裁判所首席家庭裁判所調査官
	小松　晃人	釧路保護観察所統括保護観察官
	平澤　直人	釧路方面釧路警察署生活安全課長
	南部　　葵	釧路児童相談所子ども支援課長
	村上　丈博	釧路総合振興局 保健環境部 社会福祉課主幹兼子ども・子育て支援室長
	柳本　高秀	北海道高等学校長協会釧根支部長 （北海道釧路湖陵高等学校長）
	安部　新路	釧路市小中学校校長会 （釧路市立春採中校長）
	齋藤　　猛	釧路市社会福祉協議会総務課長
	隈江　幸男	釧路市 PTA 連合会副会長
	福井　　肇	釧路地区保護司会会長
	一戸美枝子	釧路市民生委員児童委員協議会監事
	穂積貴美子	釧路更生保護女性会会長
	土井　裕子	釧路市女性団体連絡協議会事務局長
	片桐　茂貴	釧路市子ども会育成連合会事務局長
	早坂　勝則	阿寒町青少年健全育成連絡協議会会長
	浦邉　弘之	音別町青少年健全育成推進協議会会長
参　　与	森　　康枝	釧路市福祉部長
	澤口　理絵	釧路市教育委員会学校教育部長
	熊谷瑠美子	釧路市こども保健部長

（令和8年7月1日現在）

12. 釧路市いじめ防止対策委員会

釧路市いじめ防止対策委員会条例に基づく教育委員会の附属機関として、市におけるいじめ防止等のための対策を実効的に行うため設置されている。

委員の構成は、①学識経験を有する者②いじめの防止等に関する知見を有する者③その他教育委員会が適当と認める者で、定数10人以内となっている。なお、特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、特別委員を置くことができる。

役　職	氏　　名	所属または現職名
委 員 長	佐々木　豊	北海道教育大学釧路校特任教授
副委員長	高畠　昌之	釧路短期大学准教授
委　　員	戸田　竜也	北海道教育大学釧路校准教授
	柴田　題寛	北海道教育大学釧路校准教授
	阿相　裕隆	釧路弁護士会

（令和8年8月1日現在）

〔4〕組織及び事務分掌


教育委員会
学校教育部 55
教育指導参事
総務課 16
施設計画主幹
総務係 5
委員会会議、儀式表彰、人事、職員団体、条例規則、陳情請願、文書収発、予算決算
施設係 10
施設計画、学校用地の取得管理、学校建築計画、施設の維持管理、教職員住宅
学校教育課 21
教育政策主幹
給食担当主幹
教育政策係 8
私立学校、児童生徒の推計、通学区域、教職員の人事給与、共済、福利厚生、職員団体、教職員研修、教科用図書、研究団体助成、学校の設置廃止
学校教育係 9
奨学金、就学及び入退学、就学援助、児童・生徒の健康管理、学校保健衛生、教材費、学校運営費
給食係 3
施設器材、献立作成（栄養教諭ほか）給食センターの管理運営、学校給食会に関すること
学校指導課 16
総括指導主事
青少年育成センター所長
学校指導係 15
教育振興、学校教育指導、特別支援教育、いじめ・非行防止対策、学校安全、研究指定、教育研究センターに関すること、青少年の健全育成推進の総合調整、青少年の育成事業、青少年関係行政機関及び団体相互の情報交換並びに連携に関すること
学校 小学校（23校）、中学校（12校、分校1校）、義務教育学校（3校）、北陽高校
生涯学習部 76
生涯学習課 14
アイヌ文化振興主幹
美術館長
生涯学習係 8
生涯学習推進に関する企画立案及び総合調整、生涯学習の情報収集及び普及啓発、社会教育計画及び社会教育事業の調整、社会教育委員に関すること、社会教育施設等運営審議会に関すること、社会教育機関との連絡調整及び社会教育関係団体の育成、文化賞に関すること、芸術文化の振興、芸術文化団体の育成及び連絡調整、地域史料等の収集および保存、叢書・新書等の編さんに関すること、図書館施設・交流プラザさいわい・市民文化会館・生涯学習センター・こども遊学館に関すること
美術館係 5
美術館に関すること、美術館事業の企画実施及び情報提供
スポーツ課 8
スポーツ係 7
社会体育振興計画に関すること、社会体育及びスポーツの普及奨励並びに育成指導に関すること、社会体育施設に関すること、社会体育行事及びスポーツ行事の計画並びに実施に関すること、スポーツ合宿誘致に関すること、社会体育関係団体に関すること、スポーツ推進委員、スポーツ振興協議会、スポーツ賞、スポーツ振興助成、学校開放事業、広域スポーツセンター事業の推進に関すること
博物館 13
学芸主幹
埋蔵文化財主幹
博物館係 12
博物館資料を収集、保管、展示、公開及び利用させること、研究会、講演会、講習会、資料展示会等の主催及び奨励、資料の調査研究、館報、紀要、普及啓発資料、その他調査研究資料の発行及び頒布、博物館に関する情報及び参考資料の紹介及び提供、埋蔵文化財の調査、研究、保存整理、知識の普及及び啓発、埋蔵文化財資料の収集、整理及び保管
動物園 26
ふれあい主幹
管理係 8
動物園の総合的管理運営及び広報活動に関すること、動物及び飼料の購入に関すること、動物園内生産物及び不用動物の交換及び処分に関すること、文書の収発及び完結文書の保存に関すること、学芸業務に関すること
飼育展示係 17
動物の飼育、展示、防疫、診療及び動物舎の管理に関すること、動物及び飼料の調査研究、野生生物の保護増殖に関すること
阿寒教育事務所 7
マリモ研究室長
教育係 6
学校教育施設の管理及び整備、就学及び入退学、生涯学習の情報収集及び普及啓発、社会教育団体の育成及び連絡調整、社会教育事業の企画及び情報提供、社会教育施設及び体育施設の運営及び管理、社会体育及びスポーツの普及並びに育成指導、青少年健全育成、特別天然記念物「阿寒湖のマリモ」に関すること
音別教育事務所 7
教育係 6
学校教育施設の管理及び整備、就学及び入退学、生涯学習の情報収集及び普及啓発、社会教育団体の育成及び連絡調整、社会教育事業の企画及び情報提供、社会教育施設及び体育施設の運営及び管理、社会体育及びスポーツの普及並びに育成指導、青少年健全育成

〔５〕職員の構成

１．職員定数及び現員

（令和８.４.１現在）

区　分	定　数	現　員	摘　要
事務局職員	131 人	137 人	
学校職員	59 人	62 人	

２．事務局職員内訳

（令和８.４.１現在）

区　分		部長	部次長	課長	総括係長	担当係長	指導主事	社教主事	専門員	主査	主任	主事	技師	合計
学校教育部	総務課	1 人	人	2 人	1 人	人	人	人	4 人	2 人	2 人	3 人	2 人	17 人
	学校教育課			3	2	1				3	2	10		21
	学校指導課	1		2	1		6			2	2	3		17
	小計	2		7	4	1	6		4	7	6	16	2	55
生涯学習部	生涯学習課	1	2		1	1		(1)※	2	1	2	6		16
	スポーツ課			1	1					1	2	4		9
	博物館		1	1	1	1			2	6	2			14
	動物園		1	1	2				9	4	2	8		27
	阿寒教育事務所			1	1	1			1	1	1	1		7
	音別教育事務所			1	1	1				1	2	1		7
	小計	1	4	5	7	4		(1)	14	14	11	20		80
合　計		3	4	12	11	5	6	(1)	18	21	17	36	2	135

※（　）は内数

３.学校職員内訳

（令和8.５.１現在）

区　分	教育職員						その他の職員					合　計
	校　長	教　頭	教　諭	養護教諭	栄養教諭	小　計	事務職員	用務員	事務補	公務補	小　計	
小学校	22 人	26 人	486 人	26 人	2 人	562 人	27 人	5 人	1 人	人	33 人	595 人
中学校	15	15	278	15	1	324	17	2	1	1	21	345
高等学校	1	1	44	1		47	5	1			6	53
合　計	38	42	808	42	3	933	49	8	2	1	60	993

□ 道費支弁職員　930 人

※小学校には義務教育学校の前期課程を、中学校には義務教育学校の後期課程を含む

〔６〕職員の人件費等

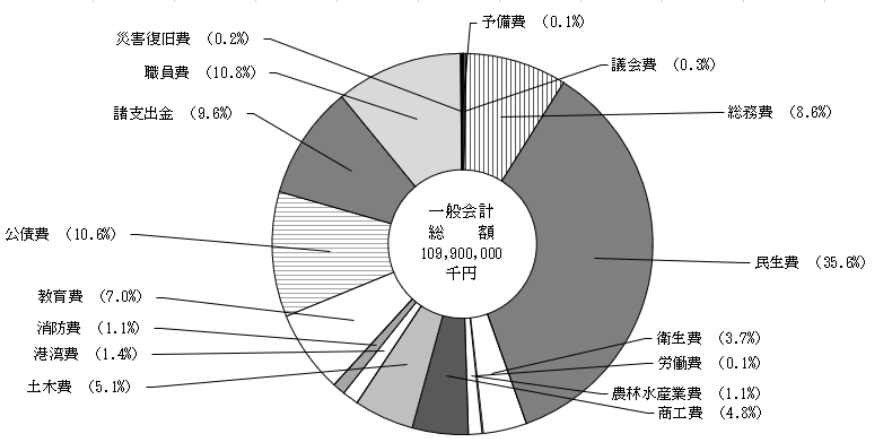
（決算額）

区分＼年度		R5	R6	R7
人件費総額		1,317,351	1,367,023	1,406,685
行政職	１人当平均給料月額	313,004	315,669	319,760
	平均年齢	43.79	42.98	42.13
教育職（高等学校）	１人当平均給料月額	349,248	350,581	357,758
	平均年齢	39.69	39.17	38.96

第２章　教 育 財 政

〔１〕令和８年度　教育予算

１．令和８年度一般会計に占める教育予算の比率



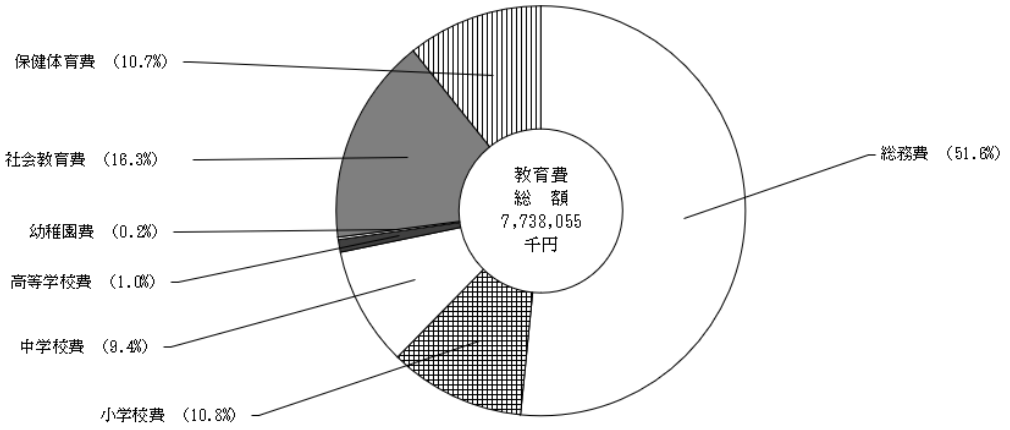
２．教育予算

年度	一般会計予算規模	伸び率	教育費	伸び率	構成%	市民一人当り（教育費／人口）
R5	98,200,000 千円	3.3 %	6,484,276 千円	34.0 %	6.6 %	40,778 人
R6	102,000,000	3.9	9,051,727	40.0	8.9	58,069
R7	107,400,000	5.3	8,430,265	△6.8	7.8	55,145
R8	109,900,000	2.3	7,738,055	△8.2	7.0	55,518

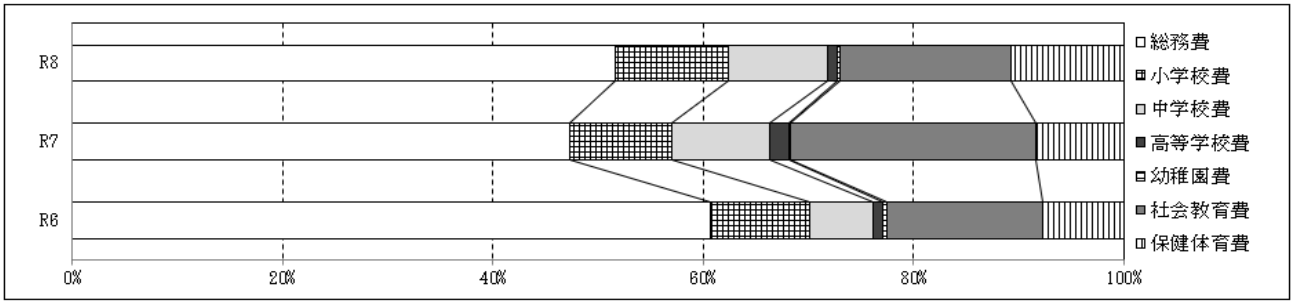
※人口～各年度3月31日住民基本台帳

３．科目別予算編成

(1) 令和８年度予算科目別構成比



(2) 予算構成比率の年度別推移



4. 令和8年度教育費予算の内訳

（単位：千円）

科目＼年度	総額		
	令和8年度	令和7年度	比較増減額
11 教育費	7,738,055	8,430,265	▲692,210
1 総務費	3,991,348	3,990,637	711
1 教育委員会費	5,125	5,204	▲79
2 事務局費	2,994,459	2,812,039	182,420
3 学校給食費	917,390	1,108,226	▲190,836
4 教育研究センター費	5,011	5,389	▲378
5 私学振興費	4,384	4,384	0
6 奨学費	64,979	55,395	9,584
2 小学校費	833,639	813,288	20,351
1 管理費	664,994	638,550	26,444
2 教育振興費	168,645	174,738	▲6,093
3 中学校費	728,070	783,808	▲55,738
1 管理費	584,914	643,130	▲58,216
2 教育振興費	143,156	140,678	2,478
4 高等学校費	76,319	155,993	▲79,674
1 管理費	43,605	130,335	▲86,730
2 教育振興費	32,714	25,658	7,056
5 幼稚園費	15,844	14,803	1,041
1 幼稚園費	15,844	14,803	1,041
6 社会教育費	1,263,439	1,960,183	▲696,744
1 総務費	44,569	41,947	2,622
2 文化財保護費	86,275	116,744	▲30,469
3 図書館費	439,535	429,759	9,776
4 博物館費	75,737	38,126	37,611
5 生涯学習施設費	617,323	1,333,607	▲716,284
7 保健体育費	829,396	711,553	117,843
1 総務費	69,245	61,158	8,087
2 体育施設費	760,151	650,395	109,756

〔２〕釧路市教育行政方針の概要

国の教育改革の方向性

日本国憲法
教育基本法
学習指導要領
関係法令

「生きる力」を育む基本理念
◆「社会に開かれた教育課程」の実現
◆目指すべき資質・能力の育成
・知識及び技能
・思考力，判断力，表現力等
・学びに向かう力，人間性等

教育大綱
○ 地域が一体となった教育
○ 成長の段階に応じた切れ目のない教育
○ 生きる力の育成
○ ふるさと釧路を愛する心の育成
○ 安心して学び続けることができる機会の確保
○ 学びを深め，文化やスポーツに親しめる環境の確保

基本理念
釧路の風土で育まれ　未来を拓く　心豊かな人づくり

教育目標
・ ふるさと釧路を愛し　活力あるまちに奉仕する人づくり
・ 伝統と文化を大切にし　主体的に学びつづける人づくり
・ 進んで人とかかわり　豊かな心をはぐくむ人づくり
・ 自然に親しみ　健康でたくましく生きる人づくり

釧路市教育推進基本計画・釧路市社会教育推進計画

基本姿勢
１ 子どもたちの生きる力を育むために
２ 人づくり・地域づくりに向けて

北海道教育の基本理念

【自　立】
自然豊かな北の大地で，世界を見つめ，自立の精神にあふれ，自らの夢に挑戦し，実現していく人を育む

【共　生】
ふるさとへの誇りと愛着を持ち，これからの社会に貢献し，共に支えあう人を育む

１　子どもたちの生きる力を育むために

⑴　確かな学力の確立

生きる力を支える学力の向上
◎校長のマネジメント力強化のための実践的研修の継続および全校一丸となった取組体制の構築
・学力向上プランを軸とした授業改善
・「ジョイント授業」の定期的・継続的な実施
・「釧路市標準学力検査」の実施
・学力向上推進委員会の開催と授業ﾏｲｽﾀｰ認定制度の推進による授業力向上
・「釧路市が目指す授業」の推進
・授業ﾏｲｽﾀｰや指導主事による示範授業の実施
・各中学校区で行う授業公開・ワークショップ型研究協議・家庭学習計画表の充実
・放課後学習サポート事業の充実
・児童生徒による授業評価の実施
◎全教員が共有できる板書計画や指導方法に係る専用サイトの開設

社会の変化に対応する力の育成
◎「生成AI利活用ガイドブック」の策定による，生成AIを利活用した授業の構築と，情報モラル意識の徹底
・校務支援ｼｽﾃﾑを活用した児童生徒の実態把握
・すべての中学校区へのALT配置による小中連携を基軸に据えた英語教育の充実
・釧路青年会議所と連携した「ｷｬﾘｱｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ」や「ｼﾞｮﾌﾞｶﾌｪ」，探究的な学習過程を重視する「総合的な学習の時間」を要としたふるさとキャリア教育の推進

特別支援教育の充実
・「個別の教育支援計画（マリーモ）」の確実な運用
・特別支援教育ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ認定・継続研修の開催
・特別支援教育授業力向上指導員による初任段階の教員を中心とした研修の充実

⑵　豊かな心の育成

心の教育の充実
◎中央図書館司書を学校司書として全中学校への派遣および学校支援ボランティア等との連携による学校図書館の整備・読書活動の推進
・「朝読書」をはじめとする読書活動の充実
・情報モラルや情報リテラシー等の推進
◎集団生活ストレス対処に係る教育大学との共同研究による実践教材の開発および普及推進

生徒指導の充実
・弁護士や公認心理師，ＳＣ，ＳＳＷによる関係機関と連携した包括的な支援の拡充
・いじめに関する実態調査，Ｑ－Ｕ，アセスを効果的に活用した教育相談等の充実
・「伴走型専門研修」を通じた組織的な生徒指導体制の強化
・ＩＣＴを活用した不登校児童生徒への支援
・「校内教育支援センター」や「教育支援センターまなびや」等多様な学びの場の提供
◎学びの多様化学校開校による特別な教育課程や個別サポートの充実，および同校での知見を各校に還元

⑶　健やかな体の育成

体力・運動能力の向上
・体力向上計画に基づく一校一実践の充実
・授業マイスターや道教委「体育エキスパート教員」による研修講座の開催

健康・安全・防災教育の充実
・アレルギー対応食の提供継続およびふるさと給食の充実
◎小学校における国方針に基づく給食費の実質的無償化の実施および中学校における市独自支援による保護者負担軽減の実施
・フッ化物洗口の継続実施
・通学路の安全対策と安全マップの活用
・学校・家庭・地域の連携による実践的避難訓練の実施や外部講師による防災教育の推進

⑷　充実した学びを支える教育環境の整備

安全で快適な教育環境の充実
・安全・安心な教育環境の確保
・計画的な個別改修工事
◎愛国小の改修整備の前倒し実施
◎トイレ洋式化および体育館照明のLED化整備

⑸　信頼に応える学校づくりの推進

魅力ある学校づくり
◎大楽毛学園・音別義務教育学校の開校
・桜ヶ岡地区の義務教育学校開校に向けた施設整備および阿寒地区の義務教育学校開設に向けた協議
・北陽高等学校における実用英語技能検定受検料等の助成，アメリカ州立大学等への留学支援
◎景文高級中学との姉妹校提携に基づく台湾への見学旅行の実施および相互訪問による短期留学，ホームステイの実施

教職員の資質能力の向上・働き方改革
・複数回訪問による学校教育指導の充実
・初任段階教員への指導助言及び授業動画配信
・「授業交流サイト」を活用した授業改善の充実
・教職員の不祥事根絶に向けた取組の強化
◎「業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づく学校現場に則した働き方改革への取組
◎教職員に対するカスタマーハラスメントに係る対応マニュアルの策定

⑹　健全な育ちを支える連携・協働の強化

学校間の連携・協働
・架け橋プログラムを通した幼保小連携の推進

家庭・地域と学校の連携
・コミュニティ・スクールの導入・推進と地域学校協働本部事業の充実（Ｒ８新規：小学校３校）
・「学校・家庭・地域と共に考える教育懇談会」の開催
・「釧路市子どもミーティング」の開催
・中学校における部活動の地域移行の拡充

・義務教育段階９年間の連続性と系統性を意識した「小・中ジョイントプロジェクト」を基軸に各施策を推進する

２　人づくり・地域づくりに向けて

⑴　主体的な学びの推進

多様な学びの場の提供
・全中学校を対象としたビブリオバトル，学校ブックフェスティバル，読書活動サポートセット等，学校と連携強化した読書活動の推進
・「としょかんフェスタ」，周辺商店街等との連携による「特別講座」開催等の読書啓発
・子ども読書デビュープロジェクト事業
◎博物館開館90周年記念企画展の開催
・生涯学習センター市民学園講座の内容充実

学びの場の環境の充実
・生涯学習・社会教育施設の整備（市民文化会館空調冷温水ポンプ修繕，こども遊学館防火シャッター改修，博物館暖房用煙突改修工事，阿寒町公民館避難口誘導灯更新，音別町体験学習センター火災通報装置取替工事等）

学びの循環の推進
・生涯学習施設ボランティア人材の育成・確保
・中学校図書館への図書館司書巡回派遣の拡充

⑵　自然との共生と文化芸術の振興

自然を生かした活動の推進
・動物園整備事業の推進，展示動物の充実
◎市民主体による動物園づくりの推進（各種行事の魅力向上のための体制構築）
・台北市立動物園との共同事業（タンチョウの生息域外保全の促進）
・シマフクロウ等希少種の保護増殖事業の推進
・博物館自然観察等教育普及活動事業の実施

文化芸術活動の推進
・地元文化団体と連携した小中学校文化芸術活動支援事業の実施，芸術祭開催支援等
・市立美術館企画展（「木と音の美術館」，「草乃しずか 日本刺繍展」等）開催
・博物館と友好館（福岡県田川市，台湾）による連携した取組（文化的交流行事等）

文化財の保護・活用とアイヌ文化の保存・継承
・アイヌ文化の保存と普及啓発（伝承会，伝統料理や刺繍等の体験講座，イベント活用を見据えた動物園中央広場の改修，学校の授業等貸出資料「博物館ﾄﾗﾝｸｷｯﾄ」の製作 等）
・特別天然記念物「タンチョウ」「阿寒湖のマリモ」の保護管理と研究の推進
◎市指定文化財（キタサンショウウオ）の保護に関する指針整備，生息調査の拡充

⑶　健康な心と体を育むスポーツの推進

生涯スポーツを通した健康の増進
・運動講座等多様なスポーツ機会の提供

競技スポーツの振興
・釧路湿原マラソンの開催
・全国全道規模の大会への支援（全日本シニアバドミントン選手権大会 等）
◎スポーツ合宿誘致・受入態勢の充実（スポーツ合宿推進コーディネーターの配置，陸上クロスカントリーコースの供用開始 等）
◎友好都市千葉県八千代市交流事業（少年少女スポーツ交歓大会への参加）

スポーツ振興のための基盤整備
・鳥取温水プール蒸気ボイラー設置工事，市民陸上競技場改修工事 等

〔3〕重点施策

1．令和８年度　重点施策

【学校教育】　　（※印の事業は、新規・拡大の事業／単位：千円）

事　　業　　名	予算額	説　　明
＜確かな学力の成立＞		
・確かな学力向上推進事業	7,157	・釧路市標準学力検査の実施、全国キャリア教育研究協議会参加　等
・特別支援教育推進事業	16,374	・初任段階教員の授業力向上を目的とした特別支援教育授業力向上指導員による巡回指導、専門家による巡回相談の実施、看護師による医療的ケア児に対する適切な支援の実施
・特別支援学級事業	10,892	・特別支援学級在籍児童生徒の学習環境整備及び事業実施等による学習支援の実施
＜豊かな心の育成＞		
・読書定着支援事業	4,586	・中央図書館司書を学校司書として派遣し、魅力ある学校図書館の環境づくりを推進するなど、学校・家庭・地域の連携による読書活動への支援
・スクールソーシャルワーカー活用事業	19,072	・スクールソーシャルワーカーの配置による包括的な不登校対策
・不登校対策事業	2,443	・不登校児童生徒を対象とした体験学習の実施、登校支援プログラムの実施
・いじめ非行防止対策事業	1,567	・Ｑ－Ｕとアセスの二種類のアンケート調査による学校適応度の把握等、「いじめ防止基本方針」に基づくいじめ防止対策等の実施　等
＜健やかな体の育成＞		
・口腔健康管理事業	7,508	・フッ化物洗口の全校実施（小学校）
・防災教育推進事業	103	・地震・津波等の自然災害に関する体験的な学習の推進
＜充実した学びを支える教育環境の整備＞		
・学びの多様化学校事業	2,315	・「くしろ創明学園」の開校におけるスクールカウンセラーの配置による支援体制の充実
・遠距離通学事業	13,062	・大楽毛学園開設に伴う遠距離通学対象児童の送迎
・学校施設環境整備事業	4,313	・学校施設の樹木の選定　等
・学校施設整備事業		
・小学校施設整備事業	72,736	・愛国小学校耐力度調査及び長寿命化改良工事設計、愛国小学校トイレ洋式化改修工事　等
・中学校施設整備事業	298,133	・幣舞中学校トイレ洋式化改修工事、幣舞中学校屋内運動場証明 LED 改修工事　等
・大楽毛地区義務教育学校整備事業	169,807	・大楽毛学園整備に係る工事　等
・音別地区義務教育学校整備事業	1,131,429	・音別義務教育学校整備に係る工事　等
・桜ケ岡地区義務教育学校整備事業	187,125	・桜ケ岡地区義務教育学校整備に係る工事　等
※阿寒地区義務教育学校整備事業	33,517	・阿寒地区義務降育学校整備に係る設計
＜信頼に応える学校づくりの推進＞		
・教職員管理事業	2,548	・景雲中学校、鳥取中学校及び鳥取西中学校へのデジタル採点システムの管理運営並びに市立小・中・義務教育学校における出退勤管理システムの管理運営
・校務支援システム管理運営事業	27,984	・市立小中学校及び阿寒湖義務教育学校における統合型校務支援システムの管理運営
・コミュニティ・スクール活用推進事業	2,220	・コミュニティ・スクールの導入及び運用に向けた取組
・地域人材育成推進事業	6,377	・地域学校協働本部事業による地域学校協働活動推進員の配置　等
・教育指導奨励事業		
・指導主事事業	130	・英語教育連携セミナーの開催
・釧路市がめざす学校のすがた基本計画推進事業	1,159	・釧路市がめざす学校のすがた基本計画に基づく義務教育学校設置に向けた開校準備協議会の開催及び周知の実施　等
・国際教養教育推進事業	13,111	・北陽高校の英語教育等国際教養教育の指導充実及び海外短期留学の支援　等
＜健全な育ちを支える連携・協働の強化等＞		
・放課後子どもプラン事業	3,615	・放課後チャレンジ教室の実施（興津小学校）
・事務局運営事業		
・部活動地域移行推進事業	1,536	・中学校における土日の部活動の地域展開を実施
・学校給食会運営費等	323,811	・学校給食費統一化補助及び国の給食費負担軽減交付金事業に係る学校給食会への補助

・家庭教育支援事業	2,711	・家庭教育支援チームによる不登校等教育的課題を抱える家庭への支援　等

【生涯学習】　　（※印の事業は、新規・拡大の事業／単位：千円）

事　　業　　名	予算額	説　　明
＜主体的な学びの推進＞		
・図書館管理運営事業	12,131	・計画的な図書館資料整備、避難誘導灯更新　等
・市民文化会館施設整備事業	2,218	・空調機低圧コンデンサ交換修繕、空調設備用冷温水ポンプ修繕　等
・こども遊学館施設整備事業	3,358	・暖房１次温水系統ポンプ更新工事、プラネタリウム外調機温水系統ポンプ更新工事　等
・子ども読書活動推進事業	773	・子ども読書デビュープロジェクトの実施、読書啓発イベントの開催
・動植物総合調査事業	295	・博物館による「クイナ」、「イトウ」などの動植物総合調査　等
・自然観察等教育普及活動事業	2,042	・企画展「開館 90 周年記念展・文化の芽吹き～昭和初期の釧路と郷土博物館～」、「釧路・根室の鉄路」、「春採湖の植物」と関連行事の開催
・博物館施設整備事業	50,282	・暖房用熱源設備改修工事　等
・博物館交流提携事業	32	・新平渓煤礦博物園区（台湾）、田川市石炭・歴史博物館との炭鉱共同研究及び市民交流型行事の開催　等
・丹頂鶴自然公園等管理運営事業	3,965	・釧路市丹頂鶴自然公園の施設整備（加圧給水ポンプ更新工事　等）
・タンチョウ生息域外保全事業	130	・台北市立動物園とのタンチョウの域外保全に向けた取組
＜自然との共生と文化芸術の振興＞		
・マリモ保護研究事業	26,093	・マリモ及びその生育地の現況調査、保全に向けた対策の検討、水草除去対策、有識者会議の開催　等
・文化財保護事業	182	・「サテライト展示」や「竪穴住居屋根ふき体験」など史跡普及事業
・天然記念物保護研究事業	21,403	・（仮称）キタサンショウウオ保護ガイドラインの策定、天然記念物「キタサンショウウオ」、「春採湖ヒブナ」の調査研究　等
・アイヌ政策推進交付金事業	52,215	・伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業の推進 ・高齢者コミュニティ活性化による文化知見の伝承・共有化事業 ・釧路市立博物館アイヌ文化紹介事業 ・釧路市動物園アイヌ文化体験事業
・市立美術館企画展開催費補助金	11,000	・特別展（「つちやあゆみ　木と音の美術館」等）の開催
・所蔵作品等巡回事業	257	・阿寒・音別地区巡回展の開催
＜健全な心と身体を育む活動の推進＞		
・鳥取温水プール施設整備事業	55,359	・プール系統暖房配管更新工事、蒸気ボイラー設置工事
※春採アイスアリーナ施設整備事業	11,157	・スプリンクラー配管更新工事　等
・大規模運動公園体育施設整備事業	97,341	・釧路市民クロスカントリーコース設置工事、釧路市民陸上競技場の改修工事・備品購入
・スポーツ合宿誘致推進事業	9,302	・スポーツ合宿の誘致活動、合宿支援市民団体への助成、地域おこし協力隊制度を活用した合宿受入態勢の強化　等

Ⅱ　生　涯　学　習

第１章　生涯学習の推進

〔１〕釧路市における生涯学習推進

昭和41年の中央教育審議会（中教審）において一生を通じての教育という観点重視の考えが示され、さらに46年に急激な社会構造の変化に対応する教育社会のあり方について、中教審からあらゆる教育は生涯学習の観点から再検討との指摘があった。さらに昭和59年から62年にかけての４次にわたる臨時教育審議会で、生涯学習体系への移行等の提言があった。

これらを受けて釧路市では生涯学習の推進に取り組むべく、公民館改築を機に生涯学習の拠点施設として、社会教育センター（現生涯学習センター）を位置づけ、平成２年に工事着手した。あわせて釧路市生涯学習推進検討委員会を設け、市総合計画「快適都市くしろプラン輝き21」に生涯学習推進を盛り込んだ。

さらに、平成４年４月、生涯学習推進を担当するセクションとして市長部局に生涯学習推進部を新設した。同年10月、市民の意見・要望を施策に反映させるため「釧路市生涯学習推進会議」を、調査研究機関として「釧路市生涯学習専門委員」を設置、11月には生涯学習センターがオープンし、本格的な釧路市の生涯学習推進事業がスタートした。

以上の推進体制が一応整ったことから、平成10年４月に生涯学習推進部を廃止して、教育委員会へ生涯学習推進業務が移行した。

〔２〕生涯学習都市宣言

平成５年２月、生涯学習推進会議に生涯学習都市宣言起草を諮問し、平成５年４月、宣言起草案の答申を受ける。平成５年５月８日、まなぼっと幣舞を会場に、「生涯学習都市宣言市民の集い」を開催し、宣言文が採択された。

■生涯学習都市宣言文

凛（りん）とした郷土（ふるさと）[注1]に生きるわたしたちは

地球家族[注2]の一員として

豊かな[注3]個性[注4]と生きがい[注5]を求め

自ら学びつづけます[注6]

輝く明日（あした）[注7]をひらくために

■文言のもつ意味（宣言策定時に示されたもの）■

注１　北方圏の気候風土・凛々しいさま・精神的にひきしまっているさま

注２　国際化・グローバルな視点・環境・みどり・地球・平和

注３　ゆとり、潤い

注４　特性・長所・芸術・文化

注５　生きる喜び・充実した人生

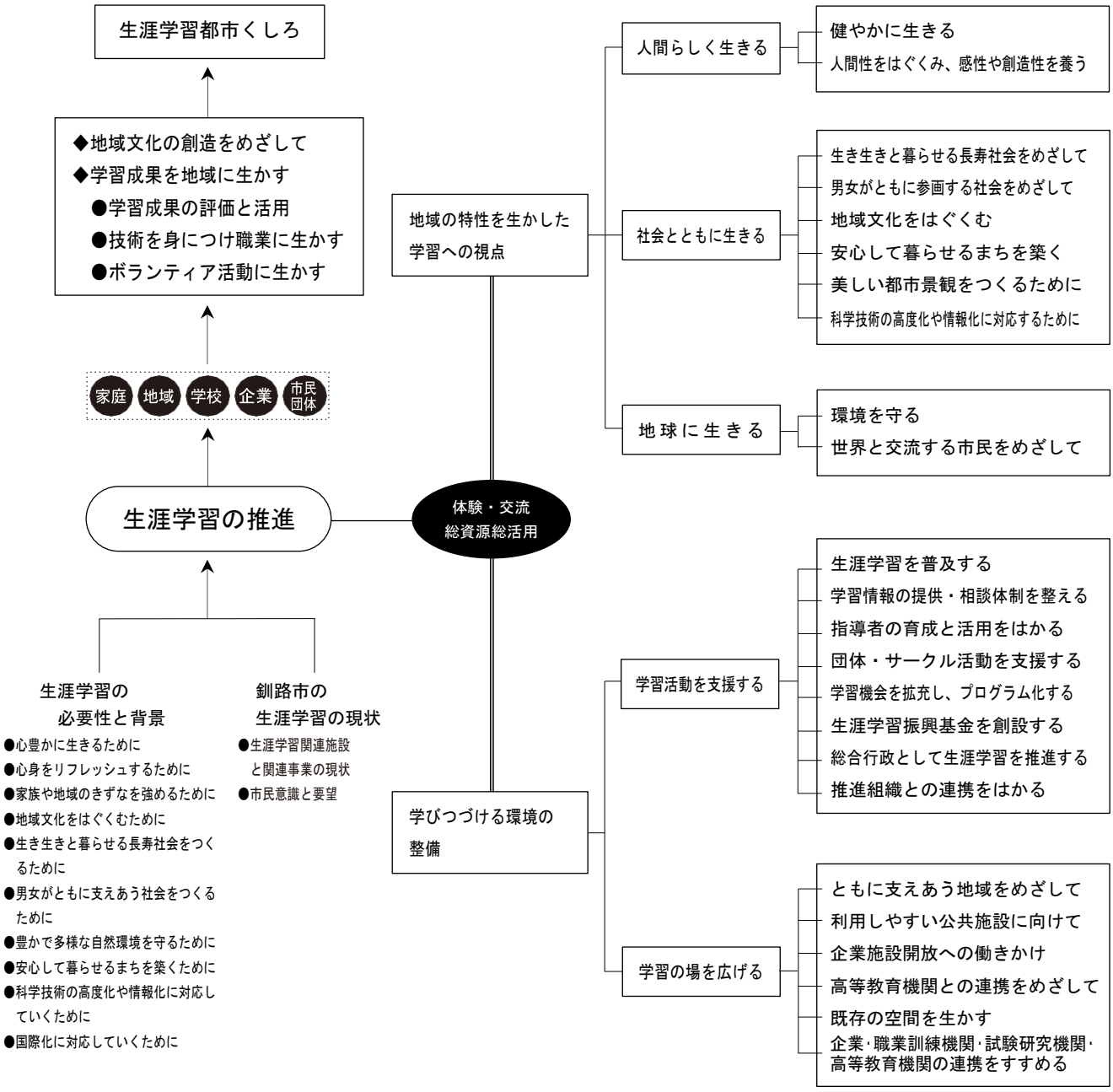
注６　人間性の確立・健康

注７　自己および地域の文化・人間形成・まちづくり

〔３〕生涯学習推進計画

平成６年５月、生涯学習推進会議に「釧路市の特性を生かした生涯学習のあり方について」を諮問し、平成７年２月に答申を受けて生涯学習推進計画の構想作業に入り、平成８年２月23日生涯学習推進計画「まなびすと・くしろプラン」を策定した。

生涯学習推進計画「まなびすと・くしろプラン」施策体系図



〔４〕生涯学習推進事業

１．生涯学習情報の提供

(1) 「生涯学習ハンドブック」の発行

これから何かをはじめようという市民に、学習できる場所や講座、指導者やサークルの情報などを冊子形式にし、釧路市ホームページにおいて提供している。

(2) 「生涯学習ガイド」の「広報くしろ」への掲載

毎月「広報くしろ」に各種講座、文化的催し物、ギャラリー、スポーツ教室など学習情報を提供している。

２．生涯学習人材バンク

学習者が学習成果を地域に生かすことにより自分の特技を生かせる喜び、さまざまな人と出会う喜び、自らが社会に役立っている喜びを感じることをめざすもの。これから学習しようとする市民に学習機会を提供するため、広く人材の発掘・養成をする。学習希望者の求めに対し、随時情報提供を行っている。令和８年５月現在の登録者は 32 人。

３．生涯学習相談体制

市民の学習活動を支援するため、生涯学習にかかわる専門知識や技能を有する「生涯学習推進アドバイザー」を配置している。アドバイザーは、学習相談、学習事業の企画および情報資料の作成や学習団体の育成を行っている。

〔生涯学習推進アドバイザーの配置先〕阿寒教育事務所、生涯学習センター

４．生涯学習まちづくり出前講座

市民の市政に関する理解を深め、意識啓発を図りながら生涯学習によるまちづくりを推進するため、市民等の団体が主催する集会等に市職員等が講師として出向き、市の施策及び制度の説明、専門知識を生かした講習等を行う「釧路市生涯学習まちづくり出前講座」を平成11年１月から開催している。

・対　　象　市内に在住・勤務または在学する10人以上で構成された団体
　　（９人以下の場合は要相談）
・場所・時間　平日の午前９時から午後９時までの時間帯で２時間以内、開催場所は市内に限る。
・申　　込　随時受け付け
・講　座　料　無料
・講座メニュー　99講座（次頁参照のこと）

生涯学習まちづくり出前講座メニュー

No.	講座メニュー	担当課
1	みんなで考えよう釧路市まちづくり基本条例	企画課
2	統計でみる釧路市	〃
3	釧路市の二地域居住・長期滞在事業について	市民協働推進課
4	釧路市の国際交流・多文化共生について	〃
5	よくわかる釧路市の情報公開と個人情報保護	〃
6	男女平等参画・女性活躍ってなぜ必要？	〃
7	ジェンダー問題って何？～男女平等参画社会とは～	〃
8	わたしたちのまちの財政状況	財政課
9	選挙出前講座なう！	選挙管理委員会事務局
10	市議会をもっと身近に感じてみませんか	議会事務局
11	人口減少社会におけるまちづくり	企画課
12	「釧路市都市計画マスタープラン」について	都市計画課
13	みんなで考える釧路らしい景観づくり	〃
14	観光政策及び釧路市の観光について	観光振興室
15	観光ホスピタリティ実践講座	〃
16	阿寒湖温泉と観光振興	阿寒観光振興課
17	釧路市の公園について	公園緑地課
18	道路ができるまで	道路河川課
19	紹介します！「阿寒丹頂の里エリア」	阿寒町行政センター地域振興課
20	釧路市音別町ってどんなまち？	音別町行政センター地域振興課
21	水道事業の仕組み	上下水道部経営企画課
22	釧路市の水道施設における災害への備え	上下水道部水道整備課
23	「釧路市水道管路更新基本計画」について	〃
24	釧路川の水から水道水へ	上下水道部水質管理課
25	マイナンバー制度について	情報システム課
26	「市・道民税」について	市民税課
27	知っていますか。固定資産税	資産税課・納税課
28	消費生活に役立つ情報	市民生活課
29	わかる　身につく　交通安全教室	〃
30	生活習慣からはじめる　こころの健康づくり	健康推進課
31	感染症の予防と備え	〃
32	働く世代の生活習慣病予防について	〃
33	知っておきたいがん予防の話	〃
34	あなたの血圧、本当に大丈夫？たかが血圧、されど血圧！！	〃
35	健診結果の見方・活かし方	〃
36	慢性腎臓病（ＣＫＤ）について	〃
37	特定健診結果の見方	国民健康保険課
38	みんなの国民健康保険	〃
39	知っておきたい年金のはなし	医療年金課
40	建築確認申請について	建築指導課
41	住宅の耐震化について	〃
42	自然災害から身を守るために	防災危機管理課
43	学んで安心119火災予防教室	消防本部予防課
44	市民救急教室（一般救急講習）	消防本部警防課
45	地方卸売上市場ってなあに？	商業労政課
46	エネルギーとしての石炭あれこれ	産業推進室
47	もっとくしろの地場産品！地産地消をはじめましょう	〃
48	釧路市の農業	農林課
49	富貴紙（ふきがみ）作りを体験してみよう！	音別町行政センター地域振興課
50	釧路市の水産業	水産課

No.	講座メニュー	担当課
51	釧路空港のはなし	観光振興室・港湾空港課
52	「知らない音色に出会いたい」未来の釧路港	港湾空港課
53	ナースへの道のり～新しい3K「感謝」、「感動」、「貢献」～	高等看護学院
54	ひきこもりの方への支援について	社会援護課
55	知っていますか？「献血のこと」	〃
56	避難行動要支援者避難支援事業について	〃
57	生活困窮者の自立支援について	〃
58	障がい児・者の福祉サービスについて	障がい福祉課
59	障害者差別解消法～障がいへの理解を深めよう～	〃
60	成年後見制度について	〃
61	介護保険制度・高齢者福祉サービスについて	介護高齢課
62	高齢者のための介護予防～運動から介護予防を目指そう～	〃
63	高齢者のための介護予防～食事からフレイルを防ごう～	〃
64	高齢者のための介護予防～わかがえりレッスンを体験してみよう～	〃
65	高齢者のための介護予防～生活習慣病編～	〃
66	知って安心！認知症	〃
67	高齢者等に配慮した公営住宅の設計について	住宅課
68	こどもと家庭の福祉	こども支援課
69	後期高齢者医療制度	医療年金課
70	環境の話	環境保全課
71	知っておきたい「お墓」のあれこれ	〃
72	ヒグマについて知ろう	〃
73	釧路湿原のあゆみと釧路国際ウェットランドセンターの活動について	〃
74	春採湖の特定外来生物について	〃
75	ごみ減量とリサイクル	環境事業課
76	楽しい遊び再発見！～親子遊びのアイディア～	こども育成課（子育て支援総合センター）
77	知っておきたい、くしろの子育て情報	〃
78	健やか子育て講座	健康推進課
79	知らないと損！オトナのための保健体育	〃
80	こどもの行動を読み解くヒント	児童発達支援センター
81	こどものぎこちなさを予防する体の土台づくり	〃
82	こどもの成長をほめて応援しましょう！～楽しく前向きな子育て～	〃
83	乳幼児期の手指と触感覚に働きかける玩具	〃
84	家庭教育講座『ほわっと』～共に育てるくしろっ子～	学校指導課
85	学校給食を知ろう	学校教育課（給食係）
86	なつかしの釧路「昔・むかし」講座	生涯学習課
87	展覧会あれ、これ～美術館情報～	生涯学習課（美術館係）
88	移動天文車「カシオペヤ号」で夜空を楽しもう！	生涯学習課（こども遊学館）
89	ボランティア活動を通じてこども遊学館を体験しよう！	〃
90	施設の本棚アドバイスします	生涯学習課（図書館）
91	図書館探訪～来て・見て・触れて、感じる図書館～	〃
92	親子で楽しく読んでみよう	〃
93	やってみよう！ブックコートと本の補修	〃
94	マリモのはなし	阿寒教育事務所・マリモ研究所
95	スポーツをしよう！	スポーツ課
96	博物館で知ろう 釧路の自然といきもの	博物館
97	博物館で知ろう 釧路の歴史と文化	〃
98	動物園のお仕事	動物園
99	タンチョウ学び隊	〃

Ⅲ　学　校　教　育

第１章　学校教育の推進

〔１〕釧路市教育推進基本計画 ～子どもたちの「生きる力」を育むために～

１．計画策定の趣旨

釧路市では、国や北海道の教育施策の動向を踏まえ、学校教育の一層の推進を図るため、中・長期的な視点に立った学校教育の目指すべき姿や取り組むべき施策等を明らかにするとともに、学校教育に関する施策を総合的、体系的に進めていくことを目指し、2013（平成25）年２月に「釧路市教育推進基本計画」（以下、「Ⅰ期計画」という。）を策定しました。

その後、国における第３期教育振興基本計画の策定を見据え、2018（平成30）年３月に「第Ⅱ期 釧路市教育推進基本計画」を策定し、基本理念「釧路の風土で育まれ 未来を拓く 心豊かな人づくり」の実現のため、「Ⅰ期計画」を改定する形で、５年間で取り組む６つの基本方針と、それに基づく12の基本方策を掲げ、教育施策の着実な推進に努めてきたところです。

この間、教育を取り巻く環境は大きく変化しました。超スマート社会（Society5.0）の到来やグローバル社会の進展等の社会経済情勢の変化、学習指導要領の改訂やGIGAスクール構想の実現に基づく ICT環境の整備等の新たな教育課題への対応、さらには新型コロナウイルス感染症の世界的な流行など、今こそ、先を見通せない、予測できない未来に対して教育がどのように対応すべきか、その有り様が問われています。

こうした状況を踏まえつつ、「児童生徒の学力向上」「不登校児童生徒への対応」「特別支援教育の充実」といった課題を明らかにした上で、本市が目指す教育の姿の実現に向け、学び続ける意欲をもち、多様化する課題に対し主体的に解決できる力を身に付けた、次代を担う人材を育てていくため、重点項目に係る施策と、これらに紐付く様々な取組を相互に連携・関連させ、総合的、体系的かつ効果的に推進しながら、今後５年間の施策の方向性を示す次期計画として「第Ⅲ期 釧路市教育推進基本計画」（以下、「Ⅲ期計画」という。）を策定しました。

２．計画の位置付け

⑴ 法的な位置付け

・教育基本法第 17 条第２項に規定される、地方公共団体が策定する教育の振興のための施策に関する基本的な計画です。

⑵ 本市の各種計画等との関係

・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１条の３第１項の規定に基づき、首長が定める「教育に関する大綱」（教育大綱）において示された基本理念及び基本的な方針に沿って、具体的な施策を展開するための行動計画であり、「釧路市まちづくり基本構想」の分野別施策「環境・教育・文化」のうち、学校教育に関する分野計画としても位置付いています。

・「釧路市の子どもたちに基礎学力の習得を保障するための教育の推進に関する条例」における基本理念を踏まえ、本計画において関連する施策を総合的かつ計画的に推進します。

・本計画は、学校教育部門の計画であり、生涯学習部門の「釧路市社会教育推進計画」と併せて、「釧路市の教育推進計画」となるものです。相互に連携を図り、それぞれの計画のもと、学校教育及び生涯学習の各種施策を展開し、本市の教育振興の両輪と位置付けるものとします。

３．計画の期間

2023（令和５）年度から 2027（令和９）年度までの５年間

４．計画の推進と進行管理

計画の推進にあたっては、本計画に掲げた本市教育の目指す姿や施策の概要等が、教育関係者や保護者をはじめ広く市民に共感・共有されるよう、広報紙、ホームページなど多様な広報媒体を活用しながら、分かりやすい情報発信・広報活動に努めるなど、計画の周知を図ります。また、本計画の実効性を確保するため、教職員一人一人が本計画に対する理解を深められるよう、様々な機会を捉えて周知を図ります。また、計画の進行管理は、PDCAサイクル（Plan:計画－Do:実施－Check:評価－Action:改善）を活用し、本計画に掲げた施策の方向や達成目標などについて、地方教育行政の組織及び運営に関する 法律第26条の規定に基づき実施する「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」により点検、評価を行い、その結果を広く市民に公表するとともに、翌年度以降の施策の展開に反映させながら、実効性のある計画の推進に努めます。加えて、本市全体で教育の方向性を共有し、教育施策を連携させることにより、質の高い教育につなげるために、各学校等では「Ⅲ期計画」を鑑みて学校経営計画等を作成します。なお、教育委員会においても、各学校等の状況を丁寧に把握・支援するよう努めていきます。

５．副題「子どもたちの『生きる力』を育むために」

この度策定した「Ⅲ期計画」には、初めて副題として「子どもたちの『生きる力』を育むために」を掲げています。これからの社会がどんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしいという子どもたちへの願いと、学校・家庭・地域、そして教育行政が力を合わせ、社会全体で子どもたちに「生きる力」を育んでいかなければならないという決意を表しています。

６．計画の体系

この計画は、「生きる力を育む学校教育の推進」と「育ちと学びを支える教育環境の充実」を大きな柱とする６つの基本方針と、それに基づく12の基本方策の実現をめざす具体的な施策を示しています。

基本方針	基本方策	施策の方向
Ⅰ　確かな学力の確立	1　生きる力を支える学力の向上	1　予測困難な未来社会の創り手となる資質・能力の育成
	2　社会の変化に対応する力の育成	1　ＩＣＴ等を活用した学びの推進と情報活用能力の育成 2　国際的な視野をもつグローバル人材の育成 3　発達の段階に応じたキャリア教育の推進 4　ＳＤＧｓの視野を取り入れた環境教育の推進
	3　特別支援教育の充実	1　全教職員による特別支援教育の推進
Ⅱ　豊かな心の育成	4　心の教育の充実	1　「特別の教科　道徳」を要とした道徳教育の推進 2　読書習慣の形成に向けた取組の推進 3　多様な体験活動の推進
	5　生徒指導の充実	1　組織的な対応・相談体制の強化 2　いじめ防止等への取組の推進 3　不登校児童生徒への適切な支援体制の確立
Ⅲ　健やかな体の育成	6　体力・運動能力の向上	1　体力・運動能力向上の取組の推進
	7　健康・安全・防災教育の充実	1　健康教育・食育の推進 2　安全教育・防災教育の推進
Ⅳ　充実した学びを支える教育環境の整備	8　安全で快適な教育環境の充実	1　学校施設の適切な維持・管理
Ⅴ　信頼に応える学校づくりの推進	9　魅力ある学校づくり	1　特色ある教育課程の編成 2　「釧路市がめざす学校のすがた基本計画」の推進
	10　教職員の資質能力向上・働き方改革	1　専門性を高める研修機会の確保 2　働き方改革の推進
Ⅵ　健全な育ちを支える連携・協働の強化	11　学校間の連携・協働	1　小中連携の推進 2　幼保小連携及び中高連携等の推進
	12　家庭・地域と学校の連携	1　地域とともにある学校教育の推進

第２章　学校教育推進事業

〔１〕学校教育推進事業の概要

１．釧路市教育推進基本計画の推進

基礎学力や体力・運動能力の向上、いじめ・不登校をはじめとする教育課題の克服に向けた具体的な目標を設定するとともに、次代を担う子供たちの「生きる力」に必要となる資質や能力を育てるため、学校教育及び社会教育のあり方や方向性を明らかにし、より具体的な施策を構築するため、学校と家庭・地域における行動目標として「釧路市教育推進基本計画」を推進する。

２．学力向上事業

⑴ 学習サポート

・北海道教育大学及び釧路公立大学、釧路工業高等専門校との連携に加え、退職教員等の協力により中学校・義務教育学校後期課程の放課後学習や長期休業中の補充的な学習サポートを実施する。

・小学校・義務教育学校前期課程で実施する放課後における補充的な学習支援のため、支援員の派遣による放課後学習サポートを実施する。

・北海道教育委員会配信問題（チャレンジテスト）等を積極的に活用する。

・学校改善プランの授業づくりの観点から、わかりやすい授業の取組として GIGA スクール構想の実現化に基づく新たな授業研究及び実践を実施する。

⑵ 学力の到達度調査

・市内小中義務教育学校の児童生徒の学力到達度把握のため、標準学力検査を実施し、全市的な基礎学力の到達度を把握・分析し、効果的な改善を図る。

⑶ 教員の資質・能力向上

・学力向上推進委員会により、釧路市標準学力検査及び全国学力・学習状況調査の結果を基に授業改善の方策を具体的に提案することによって、学力向上に係る教育的施策の成果と課題を検証し、より効果的な授業改善を図る。

・優れた授業実践力を有する、市内小・中学校、義務教育学校の教員を「釧路市授業マイスター」として認定し、公開授業等を通じて釧路市内教員全体の指導力向上を図る。

３．いじめ問題総合対策事業

従前より、いじめ問題に関する取組については、いじめ電話相談の受付、スクールカウンセラーの配置など相談や啓発活動を行っており、これらの取組に加え、平成18年度に緊急対策として教育長メッセージの発信や「いじめ実態調査」を実施した。

平成19年度から「いじめ問題」を最重要課題と位置づけ、「いじめ問題総合対策事業」に取り組んでいる。

平成20年度から「ネットいじめ」に対しても取り組んでいる。

⑴ いじめ問題に対する啓発の充実

・「ネットいじめ」に対する保護者へのフィルタリング啓発やケータイ安全教室の開催

⑵ 教育相談体制の充実

・スクールカウンセラーの配置

いじめや友人関係など児童生徒が抱えている悩みに対応するほか、児童生徒との関わり方などについて保護者や教職員の相談にも対応することを目的に、平成10年度からスクールカウンセラーを配置し、相談に応じている。

平成15年度より釧路市立学校スクールカウンセラーとして、臨床心理士の資格を有する者を採用し、学校の要請に応じて派遣しているほか､道教委の事業を活用し、14名の非常勤カウンセラーを釧路市内全ての学校（小学校23校、中学校13校、義務教育学校３校）へ派遣している。

また、市内全小中義務教育学校児童・生徒、保護者、教職員向けにそれぞれスクールカウンセラーだよりを配布するなど相談体制の周知に努めている。

平成８年３月から教育委員会内にフリーダイヤルの「24時間いじめカットライン」を設置し、子どもたちのサインを24時間キャッチすることとした。

また、教育相談窓口一覧やリーフレットの配布、釧路市公式フェイスブックを通じた相談ダイヤルの情報発信など、各種相談窓口の周知に努めている。

⑶ 学校への指導・支援の充実

・いじめなどの発見と予防に役立つ「楽しい学校生活を送るためのアンケート」（Ｑ－Ｕ）を全小学校・義務教育学校前期課程で年２回実施。平成26年度からは中１ギャップ等を未然に防止し、迅速に対応するため、小学校・義務教育学校前期課程５・６年生と中学校・義務教育学校後期課程については「学校環境適応感尺度」（アセス）を年２回実施。

・スクールカウンセラーや指導主事等で構成する「いじめ解決サポートチーム」の体制継続

・教職員の資質向上を図るためネットモラル教育やカウンセリング技能向上研修講座の実施

平成28年度に策定した「釧路市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめに対して早期発見、即時対応するための手立てを講じながら、学校・家庭・関係機関とも連携を図りながら、総合的にいじめ問題に対処していく。

４．不登校対策・学校適応指導

⑴ 釧路市教育支援センター（まなびや）

様々な事情で学校に登校できなくなった児童生徒に居場所を提供し、学習支援や集団活動、相談などを行うことで生活のリズムを取り戻し、社会的自立を目指すことを目的とするための「まなびや城山・鳥取」を開設し

ている。

開設日時　月～金曜日　午前９時から午後３時まで
（祝日、年末年始は除く）

設置場所

まなびや城山：釧路市立城山小学校内

まなびや鳥取：釧路市鳥取小学校内

(2) スクールソーシャルワーカーの配置

平成24年度より、北海道教育委員会のスクールソーシャルワーカー活用事業の受託により、不登校など問題を抱える児童生徒とその保護者や家庭を含めた生活環境に対し、関係機関とのサポート体制による効果的な働きかけ、幅広く手厚い支援を行うことを目的に、福祉的な専門知識と技術、経験を持つスクールソーシャルワーカーを配置している。

(3) ファースト・ステップ・プログラム

不登校等教育的課題を抱える家庭を対象に、釧路こども家庭支援センターを拠点として、家庭からの第一歩を踏み出すことができない児童生徒に対して通所支援及び活動支援を行うことにより、課題解決に向けてサポートするとともに、関係機関・関係施策と連携して、その保護者を含めた家庭への支援を行っている。

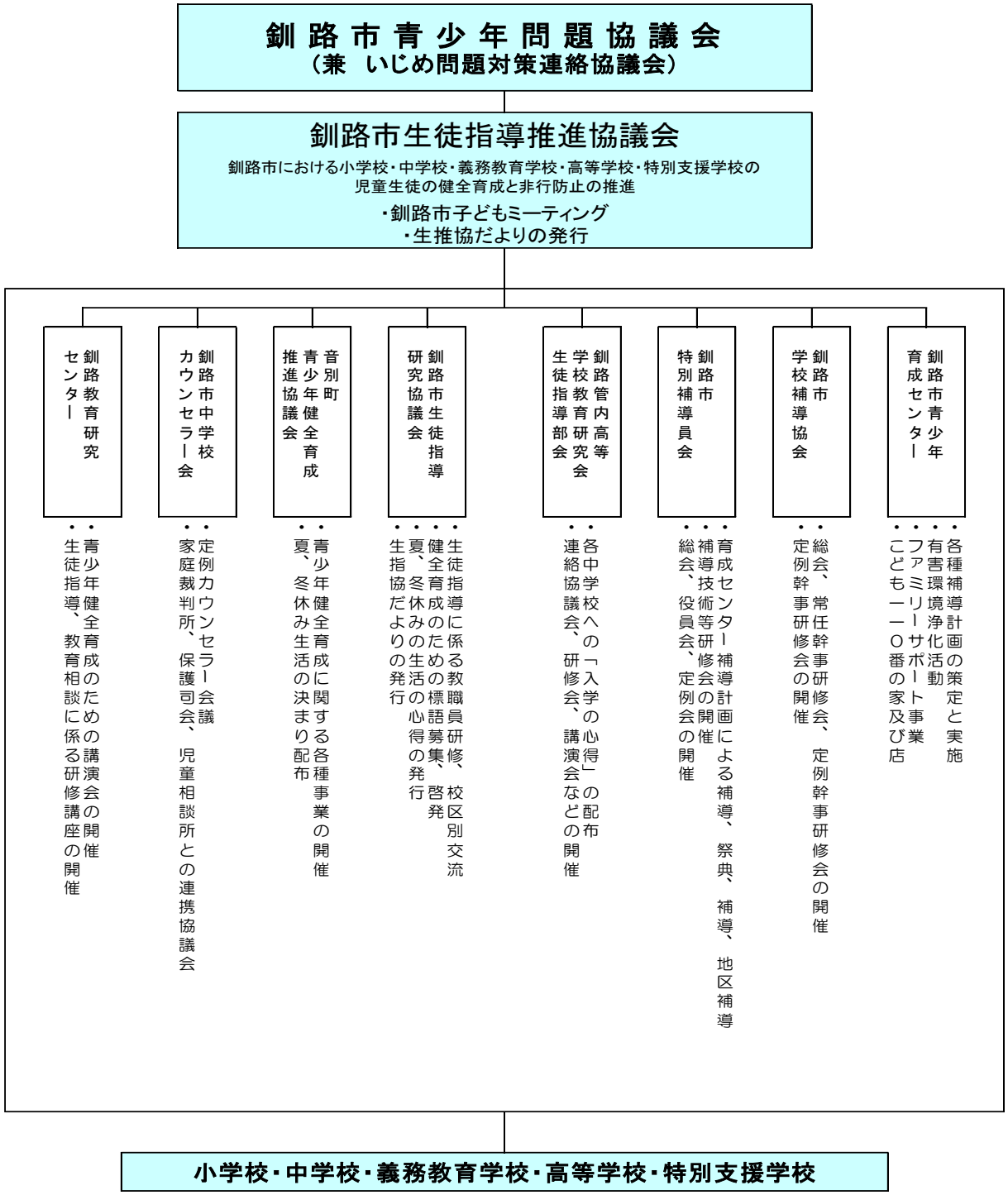
(4) 学びの多様化学校

不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する学びの多様化学校「くしろ創明学園」を、令和８年４月に開校した。

・形態：分校式（北中学校）　・場所：中央小学校の３階

・対象：市内の不登校、不登校傾向にある中学生

・生徒数：令和８年度入学、転入学者数２２名



５．外国人外国語指導助手による学校訪問指導等

釧路市においては、JETプログラム事業により、昭和63年８月から１名体制で実施し、平成７年６月から釧路市単独事業として、外国語指導助手（以下ALT）を採用した。その後、事業の拡大とともに順次増員を図り、平成14年度から４名体制とし、平成17年度には事務と派遣の効率化のため一部民間業者へ業務委託した。

阿寒町においては、平成３年８月からJETプログラム事業により、１名体制で実施。音別町においても、平成元年８月から平成10年３月までJETプログラム事業により１名体制で実施し、平成10年７月以降は単独事業としてALTを採用していた。

平成17年10月の市町の合併以後は、JETプログラム事業による採用や講師派遣等により、市立全幼小中学校および高校へ５名のALTを派遣し、訪問指導を行ってきた。

令和元年８月からは、ALTを１名増員し、６名体制としたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、来日が延期となったことから、令和４年８月より幼小中義務教育学校は６名体制、さらに、市立北陽高等学校に専属ALTを１名配属した。

令和７年８月からは、各中学校区にALTを配置し、市立北陽高等学校のALTと併せて１６名体制となった。

市内小学校・義務教育学校前期課程は、１・２年生は適宜実施とし、３年生以上は１学級につき年間30時間程度を目標時数として訪問指導を行うことにより、コミュニケーション能力の素地及び基礎を養うことをねらいとして、積極的に外国語に触れ外国の生活や文化などに慣れ親しんだりするなど、体験的な学習活動の推進に努めている。

市立中学校・義務教育学校後期課程は、１学級につき年間50時間程度派遣し、英語担当教諭とTTによる英語指導を行っている。北陽高等学校は専属ALTが常駐し、外国語の指導に当たっている。

また、各学校への訪問指導の他、各種英語スピーチコンテストの審査員を務める等、市内の英語教育活動に尽力している。

市立幼稚園へは、年間２～４回程度要請により派遣を行い、英語に親しむ活動を行っている。

さらに、ALTと子どもたちが楽しんで英語に触れる機会をねらいとした「English Days」事業のほか、釧路市中央図書館や遊学館の行事への派遣を実施している。

６．特認校における教育

特認校の設置

通学区域外の学校への通学を認める特認校を設置して、一定の条件のもとに児童・生徒の通学を認める。

・目的－豊かな自然に恵まれた小規模な学校で、心身の健康増進、体力づくりと少人数の学習指導による学力の基礎基本の定着を願うとともに、のびのびとした学校生活を送らせようとするもの。

・特認校の指定－平成３年４月から釧路市立山花小中学校を指定した。

・定員－山花小中学校区域内通学者を含む各学年８人以内。（ただし、小学１年生２年生は合わせて８人以内）

令和８年度は、小学生８人、中学生９人が特認制度によって通学している。

７．環境教育（釧路市学校版環境ＩＳＯの実施）

子どもたちのさらなる環境意識の向上を図ることを目的とする。従来各学校で行われてきた環境に対する教育・取組みの中に、国際規格ISO14001の「計画」・「実施」・「点検」・「見直し」のサイクルを取り入れ、平成17年度市内の小学校から４校をモデルとして実施し、平成18年度から市内全小中学校にて本実施している。

８．学校間親善交流（徳島県那賀町中学生親善交流）

北海道と四国、互いに遠隔に位置する学校が交流することにより、風土・生活習慣・文化の違いを体験的な学習から学ぶとともに、広い視野を養い、生きる資質・能力の育成、また、郷土愛や愛校心の高揚が本交流により図られている。

９．釧路市生徒指導推進協議会

青少年の状況は、多様化、低年齢化する重大事件の発生はもとより、児童虐待、有害情報の氾濫等による被害やいじめ、不登校の増加など、憂慮すべき様々な問題が生じている。これらの問題の解決を図るためには、学校、家庭、地域社会、関係機関がそれぞれの教育的役割を把握し、共通認識のもと青少年の健全育成に当たることが必要である。

釧路市では、昭和55年より２か年にわたって文部省の生徒指導研究推進地域指定を受け、多様な取組を実施してきたが、この指定を契機に、分散的になりがちだった組織構造を見直し、「釧路市生徒指導推進協議会」（略称、生推協）を発足。青少年の健全育成や学校における生徒指導を組織的・体系的に推進するために、関係諸機関・諸団体による情報交流と意思統一の場として協議会を開催している。また、各機関、構成団体においては、いじめや不登校、非行、犯罪被害等の未然防止に関わる調査研究、研修講座・講演会等を開催し、青少年の健全育成に向けた取組を推進しているほか、平成13年度からは、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む市民大会「くしろの子ども大集合」を令和３年度からは、「釧路市子どもミーティング」を開催するなど、関係諸機関、諸団体との連携・協働を深め、子どもたちを取り巻く今日的な問題解決に向け、重点的に取り組んでいる。

また、平成19年４月から釧路市の児童・生徒を対象に非行の再発防止や被害防止のため、釧路市教育委員会と釧路方面釧路警察署が「子どもの健全育成サポートシステム」として協定を結び活動しているが、平成25年度より、いじめに起因した犯罪にも対応するため、協定を一部変更し、警察との連携を図っている。

令和８年度　釧路市生徒指導推進協議会名簿

役　職	氏　名	職　名	備　考
会　長	岡部　義孝	釧路市教育委員会教育長	
副会長	大嶋　春香	釧路市私立幼稚園連合会会長	かすみ幼稚園長
	藤森美由紀	釧路市小中学校校長会会長　（中学校長会長）	幣舞中学校長
	富田　義宏	釧路市小中学校校長会副会長（小学校長会事務局長）	釧路小学校長
	柳本　高秀	北海道高等学校協会釧根支部支部長	釧路湖陵高等学校長
	三浦　貴徳	北海道特別支援学校長会根釧支部長	釧路鶴野支援学校長
理　事	阿部　敏幸	釧路市学校補導協会理事長	釧路商業高等学校長
	小林　友幸	釧路市特別補導員会会長	
	柳本　高秀	釧路管内高等学校教育研究会生徒指導部会会長	釧路湖陵高等学校長
	名和　勝紀	釧路市生徒指導研究協議会会長	北中学校長
	浦邊　弘之	音別町青少年健全育成推進協議会会長	音別義務教育学校長
	田村　純	釧路市中学校カウンセラー会会長	北中学校教諭
監　事	篠木　真紀	釧路市ＰＴＡ連合会事務局長	城山小学校内
	島　久美子	釧路市小中学校教頭会監査	共栄小学校教頭
委　員	菊地　将史	釧路市学校補導協会幹事長	釧路商業高等学校教諭
	髙橋　昇	釧路市特別補導員会事務局長	
	佐藤　大樹	釧路管内高等学校教育研究会生徒指導部会事務局長	釧路工業高等学校教諭
	西條　透	釧路市生徒指導研究協議会事務局長	青葉小学校教諭
	堀　祐美子	釧路市生徒指導研究協議会事務局次長	くしろ創明学園教諭

（令和8年5月1日現在）

◎釧路市生徒指導研究協議会
会　長　名和　勝紀
副会長　山野　哲也
　　佐藤　博哉
　　斎藤　貴子
事務局長　西條　透

◎釧路市青少年育成センター
所　長　大島　重光

◎釧路市学校補導協会
理事長　阿部　敏幸
幹事長　菊地　将史

◎釧路管内高等学校
教育研究会生徒指導部会
会　長　柳本　高秀
事務局長　佐藤　大樹

◎釧路市中学校カウンセラー会
会　長　田村　純

◎釧路市特別補導員会
会　長　小林　友幸
事務局長　髙橋　昇

◎音別町
青少年健全育成推進協議会
会　長　浦邊　弘之

令和８年度　釧路市生徒指導推進協議会事務局

事務局長	大島　重光	釧路市教育委員会学校教育部学校指導課長 釧路市青少年育成センター所長
事務局次長	畠山　和彦	釧路市教育委員会学校指導課総括指導主事
事務局員	佐藤　義人	釧路市教育委員会学校指導課指導主事
	久末　卓矢	釧路市教育委員会学校指導課指導主事
	稲垣　宏治	釧路市教育委員会学校指導課指導主事
	髙野　敏彦	釧路市教育委員会学校指導課主査

（令和8年5月1日現在）

10. 釧路市教育研究機関・団体一覧

令和8年8月7日現在

	研究機関	会長代表者	事務局長	事務局	電話番号
1	釧路国語教育研究会	藤森美由紀	千田　充	真龍中	0153-52-3211
2	釧路国語教育学会	藤森美由紀	千田　充	真龍中	0153-52-3211
3	釧路書写・書道教育研究会	米川　順義	竹内　徹	愛国小	0154-36-5680
4	釧路地方社会科教育研究会	小川　一法	山口　直樹	遠矢中	0154-40-3206
5	釧路算数数学教育研究会	長谷川順子	松永　悠佑	附属釧路義務	0154-91-6857
6	釧路小学校理科研究会	佐久間勝教	廣島　亨	芦野小	0154-37-2151
7	釧路中学校理科教育研究会	森下　智之	岩谷　拓実	昆布森中	0154-63-2014
8	釧路生活科・総合的な学習教育研究会	齊藤　崇	水上　翔	大楽毛学園	0154-57-3113
9	釧路管内音楽教育研究会	岩渕希代美	齋藤　貴子	春採中	0154-41-5831
10	釧路市小学校管楽器研究会	佐藤　博哉	水上　翔	大楽毛学園	0154-57-3113
11	北海道小学校スクールバンド連盟釧路支部	佐藤　博哉	水上　翔	大楽毛学園	0154-57-3113
12	釧路市中学校吹奏楽連盟	藤崎　悦子	片桐　一成	北中	0154-23-3291
13	釧路造形教育研究会	佐々木　宰	橋本　加会	遠矢中	0154-40-3203
14	北海道学校体育研究連盟釧路支部	年代　香	小島　収土	富原小	0154-36-3396
15	北海道技術・家庭科教育研究会釧路支部	池　理砂	田村　純	北中	0154-23-3291
16	釧路地方英語教育研究会	田中　君枝	佐藤　靖	虹別中	015-488-2345
17	釧路地方道徳教育研究会	福田由美子	大野　孝喜	厚岸小	0153-52-3016
18	釧路地方特別活動研究会	武田　進一	宝力　駿	桜が丘小	0154-91-6221
19	釧路地方国際理解教育研究会	小川　一法	横田　亮	庶路学園	01547-5-8255
20	釧路市学校図書館協会	猪子　政文	佐藤　雅史	美原中	0154-37-1171
21	釧路市公立学校教育研究会　釧路市教育研究部会	鈴木　健	津江　秀晴	清明小	0154-41-8196
22	釧路市中学校進路指導協議会	河原　和範	番匠　徹	春採中	0154-41-5831
23	釧路市特別支援教育研究会	長谷川順子	佐藤　博哉	鳥取西小	0154-51-0477
24	釧路市特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会	長谷川順子	大山　道弘	鳥取小	0154-51-3401
25	釧路市生徒指導推進協議会	岡部　義孝	大島　重光	釧路市教育委員会	0154-23-5189
26	釧路市生徒指導研究協議会	名和　勝紀	西條　透	青葉小	0154-23-2546
27	釧路市学校補導協会	阿部　敏幸	菊地　雅史	商業高校	0154-52-3331
28	釧路市中学校カウンセラー会	田村　純	秋保　健太	幣舞中	0154-41-3591
29	釧路管内高等学校教育研究会生徒指導部会	柳本　高秀	佐藤　大樹	工業高校	0154-41-1285
30	北海道養護教員会・釧路市小中ブロック	本田　結花	小野江里子	光陽小	0154-23-8461
31	釧路市学校保健協議会	本田　貢	久保　達哉	鳥取西小	0154-51-0477
32	釧路女性教育関係者相互研修の集い茜の会	福田由美子	國井　彩子	昆布森小	0154-63-2013
33	北海道エネルギー環境教育研究委員会道東支部	鈴木　穣	長谷川充夫	阿寒中	0154-66-3351

11. 学校・家庭・地域の連携

(1) 子どもたちの健全育成のための域校連携共同宣言

共に地区ごとに活動の単位を持ちつつ全市的な体制を有し、子どもたちに関する地域社会の問題を、自らの問題としてとらえその解決に向けて行動する、釧路市連合町内会と釧路市小中学校校長会が相互協力の関係を築き、さらに釧路市教育委員会が両者を調整する役割を持った、子どもたちの健全育成に向けた新しい連携の取組を「域校連携」(いきこうれんけい)と命名し、共同宣言を通じてその推進を図る。(平成27年6月18日　宣言)

(2) 土曜日を活用した教育活動

地域に開かれた学校づくりを一層進めるとともに、教育環境の充実を図る観点から、学校行事や授業を公開するなど、保護者や住民が参加しやすい土曜日を活用した教育活動を実施している。

(3) コミュニティ・スクール

学校と保護者・地域住民等が目標を共有し、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みである「コミュニティ・スクール」の導入に向けて、調査研究を行うとともに、導入校における取組の充実・改善に関する実践研究を推進する。

(4) 地域見守り安全マップ

学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちの安全教育の充実とともに、安全意識の向上を図るほか、学校と保護者、地域住民が共通した認識のもと、「地域見守り安全マップ」を作成し、通学時等の子どもたちの安全を確保する。

(5) 地域学校協働本部事業

学校・家庭・地域が連携、協力して子どもたちの「生きる力」を育むために、学校、保護者及び地域住民等が熟議と協働により相互に信頼関係を深め、子どもたちの豊かな学びと育ちの環境を創造することを目的として、広く地域の人材を募り、教育支援ボランティア及び学校支援ボランティアとして活動することを支援するとともに、ボランティアの参画を円滑にするために、コミュニティ・スクールと連携して地域学校協働活動推進員を配置する。

(6) 家庭教育支援事業

家庭はすべての教育の原点であり、すべての親が充実した家庭教育を行うことができるよう、幼少期より連続的、発展的に支援を展開することが必要とされている。この認識のもと、福祉・教育各分野が連携して「釧路市家庭教育支援チーム」を組織し、多様なニーズに応える家庭教育講座を実施するとともに、望ましい生活習慣の啓発を行うための各種資料を作成し、保護者の集まる機会を活用して啓発することにより、子育て・家庭教育支援の充実を図る。

(7) くしろっ子　共に育てる　10か条

子どもたちを地域全体で共に育てていくために、大切にしたい合言葉を釧路市教育委員会と釧路市PTA連合会が協議して、「くしろっ子　共に育てる　10か条」として作成し、保護者や地域住民と一緒に子どもたちに呼びかけている。

(8) 放課後チャレンジ教室

放課後等に小学校の利用可能教室を活用し、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに育まれる環境づくりを推進する。(興津小学校内1教室にて実施)

12. 防災教育の推進

大地震や津波等の自然災害に際して、安全・迅速に避難行動がとれるよう防災意識を高める取組を推進するとともに、体験的な学習モデルの提示や防災をテーマとした教職員研修を通じ、防災教育の充実を図る。

13. 釧路市の子どもたちに基礎学力の習得を保障するための教育の推進に関する条例

次代を担う釧路市の子どもたちに基礎学力の習得を保障するための教育の推進に関する基本理念を定めるとともに、市長、教育委員会、小・中・義務教育学校、議会、保護者、地域の団体等の責務と役割を明らかにし、それぞれの主体が連携協力して取り組む事柄を努力規定として定めた条例として、平成24年第6回釧路市議会12月定例会に議員提案として提出され、同定例会において可決成立し、平成25年1月1日から施行されている。

14. GIGAスクール構想推進事業

「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する」ために、創造性を育む教育を全国の学校現場で持続的に実現させることを目的とし、教育分野のICT化を推進するものである。

令和２年度では１人１台端末やネットワーク環境の整備などハード面の充実を図ったため、令和３年度以降は整備した教育ICT環境を活用した授業を進めており、令和４年度より下記の施策を実施している。

■GIGAスクール運営支援センター整備事業

・１人１台端末のトラブルやネットワーク障害をはじめ、主要なクラウドサービス等の操作方法について、児童生徒・教職員・市町村職員に対し、専門的人材による支援を行い、ICTを活用した教育活動が円滑に実施できるようヘルプデスクを設置すること。

釧路市では、運営支援センターを設置せずに例年委託している保守契約により、上記の業務内容を含むICT全般のサポートを委託している。

第３章　学校施設と管理費

〔１〕市内の学校施設

区　　分	国　　立	道　　立	公立(事務組合)	市　　立	私　　立	計
幼　　稚　　園				1	4	5
認 定 こ ど も 園				2	33	35
小　　学　　校	1			26		27
中　　学　　校	1			16	1	18
高　等　学　校		6		1	1	8
高 等 専 門 学 校	1					1
短　期　大　学					1	1
大　　学	1		1			2
特 別 支 援 学 校		1				1
養　護　学　校		1				1
専　修　学　校				1	5	6

※小学校には義務教育学校の前期課程を、中学校には義務教育学校の後期課程を含む　　※休校中は除く

〔２〕市立学校（小・中・高等学校）

１．学校数・学級数・児童生徒数の推移（実学級数）

（令和8年5月1日現在）

種別＼年度		昭和50	昭和60	平成7	平成17	平成27	令和6	令和7	令和8
小学校	学校数	33 学校	35	35	33	28	26	26	26
	学級数	608 学級	608	467	382	358	351	348	349
	児童数	22,099 学人	22,146	13,975	9,887	7,935	5,747	5,555	5,247
中学校	学校数	15 学校	20	20	16	15	15	15	16
	学級数	258 学級	275	240	161	165	156	152	155
	生徒数	9,935 学人	11,031	7,700	5,030	4,086	3,294	3,171	3,037
高等学校	学校数	2 学校	2	2	2	1	1	1	1
	学級数	33 学級	42	42	29	18	15	15	15
	生徒数	1,467 学人	1,859	1,727	1,117	705	589	592	586

※小学校には義務教育学校の前期課程を、中学校には義務教育学校の後期課程を含む

２．市立学校施設一覧

（令和 8.5.1 現在）

区分	学校名	児童生徒数	学級数	教室の状況 普通	教室の状況 特支	主な暖房方式	主な熱源	給食	建築年次	耐震化の状況 耐震基準	耐震化の状況 改修状況	その他
小学校	釧路	205 (38)	13 (6)	7	6	温水	ガス	ｾﾝﾀｰ	H24	新耐震	－	H20.4.1統合開校
	中央	108 (17)	10 (4)	6	4	温水	ガス	ｾﾝﾀｰ	H23～24	新耐震	－	H19.4.1統合開校
	城山	80 (15)	9 (3)	6	3	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S42～51	旧耐震	改修済み	
	湖畔	320 (36)	21 (9)	12	9	温水	ガス	ｾﾝﾀｰ	H22～23	新耐震	－	
	桜が丘	195 (26)	12 (6)	6	6	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S52～H7	旧耐震	改修済み	
	鳥取	273 (36)	16 (6)	10	6	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S55	旧耐震	改修済み	
	共栄	240 (39)	15 (7)	8	7	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S56～58	旧耐震	改修済み	
	青葉	272 (35)	18 (8)	10	8	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S60～62	新耐震	－	H19.4.1統合開校
	朝陽	137 (24)	10 (4)	6	4	温水	A重油	ｾﾝﾀｰ	H1～3	新耐震	－	
	光陽	198 (23)	11 (4)	7	4	温水	A重油	ｾﾝﾀｰ	H6～10	新耐震	－	
	清明	341 (30)	19 (7)	12	7	温水	A重油	ｾﾝﾀｰ	H4～7	新耐震	－	
	東雲	77 (23)	11 (5)	6	5	温水	灯油・ガス	ｾﾝﾀｰ	H16～19	新耐震	－	H17.4.1統合開校
	新陽	65 (12)	8 (2)	6	2	温水	A重油	ｾﾝﾀｰ	H5～8	新耐震	－	
	山花	9	3	3		温風	灯油	ｾﾝﾀｰ	S39～53	旧耐震	改修済み	
	愛国	492 (41)	25 (8)	17	8	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S46～H12	旧耐震	改修済み	
	鳥取西	372 (50)	22 (9)	13	9	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S48～H19	旧耐震	改修済み	
	武佐	67 (6)	8 (2)	6	2	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S53～56	旧耐震	改修済み	
	美原	174 (30)	14 (8)	6	8	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S54～61	旧耐震	改修済み	
	昭和	638 (61)	29 (10)	19	10	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S54～H27	旧耐震	改修済み	
	興津	103 (17)	9 (3)	6	3	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S55～57	旧耐震	改修済み	
	鶴野	371 (37)	19 (6)	13	6	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S56～61	旧耐震	改修済み	
	芦野	271 (36)	18 (8)	10	8	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	H1～3	新耐震	－	
	阿寒	54 (11)	7 (3)	4	3	温風	灯油	ｾﾝﾀｰ	H12～13	新耐震	－	
	旧東栄											H20.3.31閉校
	旧柏木											H20.3.31閉校
	旧桂恋											H17.3.31閉校
	旧布伏内											H20.3.31閉校
	旧中徹別											H28.3.31閉校
	旧仁々志別											H28.3.31閉校
	旧阿寒湖											R3.3.31閉校
	旧大楽毛											R8.3.31閉校
計	(31校)	5,062 (643)	327 (128)	199	128							
中学校	幣舞	202 (31)	11 (5)	6	5	温水	熱公社蒸気	ｾﾝﾀｰ	S59～62	新耐震	－	H16.4.1統合開校
	北	172 (16)	10 (4)	6	4	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S46～H18	旧耐震	改修済み	
	春採	182 (12)	8 (2)	6	2	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S42～H26	旧耐震	改修済み	
	鳥取	506 (36)	19 (5)	14	5	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S46～H27	旧耐震	改修済み	
	共栄	255 (15)	12 (3)	9	3	温水	A重油	ｾﾝﾀｰ	S61～63	新耐震	－	
	景雲	452 (30)	19 (6)	13	6	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	H10～12	新耐震	－	
	青陵	356 (29)	15 (5)	10	5	温水	A重油	ｾﾝﾀｰ	H3～7	新耐震	－	H16.4.1統合開校
	山花	9	2	2		温風	灯油	ｾﾝﾀｰ	S50～52	旧耐震	改修済み	
	桜が丘	112 (23)	8 (5)	3	5	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S54～56	旧耐震	改修済み	
	美原	138 (17)	8 (3)	5	3	温水	A重油	ｾﾝﾀｰ	S57～H4	新耐震	－	
	鳥取西	458 (36)	20 (6)	14	6	温水	A重油	ｾﾝﾀｰ	S58～H5	新耐震	－	
	阿寒	29 (4)	5 (2)	3	2	温水	灯油	ｾﾝﾀｰ	S56～H21	新耐震	－	
	くしろ創明学園	22	3	3		温水	ガス	ｾﾝﾀｰ	H23～24	新耐震	－	R8.4.1開校
	旧音別											施設改修中
	旧武佐											H16.3.31閉校
	旧仁々志別											H21.3.31閉校
計	(16校)	2,893 (249)	140 (46)	94	46							
義務教	大楽毛	226 (41)	17 (8)	9	8	温風	ガス	ｾﾝﾀｰ	S53～62	旧耐震	改修済み	R8.4.1統合開校
	阿寒湖	53 (7)	8 (2)	6	2	温水	灯油	ｾﾝﾀｰ	R2	新耐震		R3.4.1統合開校
	音別	50 (5)	12 (4)	8	4	温風	灯油	ｾﾝﾀｰ	S50～H3	旧耐震	改修済み	R8.4.1統合開校
計	(3校)	329 (53)	37 (14)	23	14							
高	北陽	586	15	15		ガス	ガス		S61～H1	新耐震	－	
計	(1校)	586	15	15								
幼稚園	阿寒	17	3	3		灯油	灯油		S53～H11	旧耐震	改修済み	
	マリモ	10	3	3		灯油	灯油		H10	新耐震	－	
計	(2園)	27	6	6								

※児童・生徒数、学級数の（ ）は特別支援学級で内数。

※旧東栄小学校は消防分団施設等として使用。旧柏木小学校、旧桂恋小学校、旧布伏内小学校、旧中徹別小学校、旧仁々志別小学校、旧阿寒湖小学校、旧大楽毛小学校は跡利用検討中。旧音別中学校は施設改修中。旧武佐中学校は武修館中学校・高校に貸与。

（令和 8.5.1 現在）

区分	学校名	校地面積（㎡）		校舎（㎡）				屋体（㎡）					
			うちグラウンド面積	鉄筋	鉄骨	木造	計	鉄筋	鉄骨	木造	計	暖房	開放
小学校	釧路	20,482	11,749	5,961		41	6,002	1,253			1,253	有	有
	中央	24,376	14,307	4,940			4,940	1,277			1,277	有	有
	城山	19,489	8,262	6,533	23	35	6,591		865		865	有	有
	湖畔	24,423	11,278	5,497			5,497	1,269			1,269	有	有
	桜が丘	28,880	9,432	5,849		84	5,933		956		956	有	有
	鳥取	19,834	8,704	6,689		44	6,733	10	971		981	有	有
	共栄	24,406	10,625	6,755		32	6,787	26	954		980	有	有
	青葉	23,077	11,207	5,966		39	6,005	27	954		981	有	有
	朝陽	31,704	11,431	4,534	15	90	4,639	1,092			1,092	有	有
	光陽	19,857	9,676	4,040	33		4,073	1,092			1,092	有	有
	清明	24,390	7,268	5,173			5,173	1,214			1,214	有	有
	東雲	23,412	6,206	3,787		58	3,845	157		753	910	有	有
	新陽	19,834	10,284	3,381		32	3,413	825			825	有	有
	山花	25,537	6,158	778		206	984		209		209	有	有
	愛国	21,022	8,813	5,427	340	44	5,811		864		864	有	有
	鳥取西	19,834	9,314	5,509		45	5,554	114	790		904	有	有
	武佐	20,819	8,840	5,172		54	5,226		964		964	有	有
	美原	22,391	9,800	5,875	54	0	5,929		960		960	有	有
	昭和	29,420	9,543	4,690	233	14	4,937		981		981	有	有
	興津	26,236	8,949	5,476		39	5,515	15	966		981	有	有
	鶴野	23,140	7,447	5,305		42	5,347	23	961		984	有	有
	芦野	24,231	9,742	6,723		87	6,810	1,248			1,248	有	有
	阿寒	76,616	22,251	3,283	121		3,404	890			890	有	有
	旧東栄	19,611	11,135	4,776			4,776	15	966		981		
	旧柏木	18,208	10,108	3,895		78	3,973	1,088			1,088		
	旧桂恋	17,996	7,347	1,479	15		1,494		496		496		
	旧布伏内	26,621	6,772	1,092		20	1,112	9	652		661		
	旧中徹別	37,554	11,358	954		16	970	9	657		666		
	旧仁々志別	24,416	12,376	1,467		531	1,998	9	524		533		
	旧阿寒湖	21,609	10,522	2,603			2,603						
	旧大楽毛	21,361	11,059	4,865	32		4,897	1,083			1,083		
計	(31校)	780,786	311,963	138,474	866	1,631	140,971	12,745	14,690	753	28,188		
中学校	幣舞	24,586	12,300	6,421	27		6,448	1,024			1,024	有	有
	北	26,539	14,081	6,964	8	18	6,990	1,294			1,294	有	有
	春採	39,731	20,763	6,775	232	49	7,056		1,209		1,209	有	有
	鳥取	42,895	23,452	6,730	38	29	6,797	1,487			1,487	有	有
	共栄	26,181	14,661	6,063		39	6,102	24	1,026		1,050	有	有
	景雲	20,776	11,913	7,548		79	7,627	1,509			1,509	有	有
	青陵	32,754	12,688	6,033		78	6,111	1,358			1,358	有	有
	山花			668			668		385		385	有	有
	桜が丘	41,086	21,215	6,148		35	6,183		1,301		1,301	有	有
	美原	25,626	12,480	6,103		73	6,176		1,027		1,027	有	有
	鳥取西	26,446	10,553	5,609		32	5,641	30	1,000		1,030	有	有
	阿寒	48,462	28,789	3,307		49	3,356		1,170		1,170	有	有
	くしろ創明学園			514			514					有	
	旧音別	29,458	15,058	2,378		77	2,455	25	844		869	有	
	旧武佐	27,201	15,313	4,968		57	5,025	24	1,001		1,025	有	
	旧仁々志別												
計	(16校)	411,741	213,266	76,229	305	615	77,149	6,775	8,963		15,738		
義務教	大楽毛	22,277	10,421	5,063		39	5,102		1,008		1,008	有	有
	阿寒湖	40,801	21,860	3,706		66	3,772	1,206			1,206	有	有
	音別	42,514	18,360	3,524	49	18	3,591		628		628	有	有
計	(3校)	105,592	50,641	12,293	49	123	12,465	1,206	1,636		2,842		
高	北陽	41,322	27,392	9,361	49		9,410	28	1,635		1,663	有	
計	(1校)	41,322	27,392	9,361	49		9,410	28	1,635		1,663		
幼稚園	阿寒	4,504	1,920	839		102	941						
	マリモ	4,500		688			688						
計	(2園)	9,004	1,920	1,527		102	1,629						

※山花中学校・旧仁々志別中学校の校地・グラウンドは、それぞれ山花小学校・旧仁々志別小学校に含む。

３．市立学校の校舎・屋体の保有面積の状況

（令和8.5.1現在）

区分		必要面積	保有		1人当面積
			面積	率	
校舎	小学校	98,996 ㎡	119,148 ㎡	120.4 %	23.54 ㎡
	中学校	54,842	69,661	127.0	24.08
	義務教育学校	14,679	12,465	84.9	37.89
	高等学校	8,034	9,410	117.1	16.06
屋体	小学校	26,842 ㎡	22,680 ㎡	84.5 %	4.48 ㎡
	中学校	16,952	13,844	81.7	4.79
	義務教育学校	6,422	2,842	44.3	8.64
	高等学校	2,337	1,663	71.2	2.84

※保有面積は鉄筋換算面積

４．学校教育施設の工事状況

（単位：千円）

年度	工事費	工事の内容	
R6	219,140	愛国小学校他２校防犯カメラ設置工事	4,675
		新陽小学校トイレ改修工事	13,090
		清明小学校バリアフリートイレ整備工事	7,887
		青葉小学校バリアフリートイレ整備工事	8,855
		愛国小学校防火設備改修工事	8,635
		東雲小学校ボイラー改修工事（ゼロ市債）	4,114
		窓用エアコン電源工事（阿寒小学校他）	1,968
		幣舞中学校　アーチ復旧工事	4,675
		共栄中学校バリアフリートイレ整備工事	8,195
		音別地区義務教育学校基本・実施設計業務委託	56,430
		大楽毛地区義務教育学校・大楽毛児童センター基本・実施設計業務委託	43,350
		幣舞中学校長寿命化改良工事基本・実施設計業務委託	54,626
		釧路小学校　体育館床工事	2,640
R7	1,369,943	大楽毛学園・大楽毛児童センター建築主体工事（Ⅰ期）	402,300
		大楽毛学園・大楽毛児童センター電気設備工事（Ⅰ期）	41,381
		大楽毛学園・大楽毛児童センター管設備工事（Ⅰ期）	9,811
		音別義務教育学校建築主体工事（Ⅰ期）	451,091
		音別義務教育学校電気設備工事（Ⅰ期）	79,338
		音別義務教育学校管設備工事（Ⅰ期）	50,895
		桜ケ岡地区義務教育学校実施設計業務委託	36,377
		学校施設防犯カメラ設置工事	45,870
		大楽毛小学校他１校防犯カメラ設置工事	1,210
		青葉小学校他８校高圧受電設備更新工事（ゼロ市債）	7,348
		愛国小学校トイレ改修工事	1,705
		愛国小学校外壁改修工事	15,235
		愛国小学校プレハブ撤去工事	21,835
		幣舞中学校熱源改修工事（Ⅰ期）	51,875
		幣舞中学校エレベーター整備工事（Ⅰ期）	36,949
		幣舞中学校トイレ整備工事	79,860
		鳥取西中学校非常階段改修実施設計業務委託	1,980
		愛国小学校外壁落下防止工事	968
		愛国小学校外壁剥落改修工事	6,875
		愛国小学校外壁老朽改修工事	21,945
		鳥取小学校高圧引込ケーブル更新工事	2,310
		東雲小学校低学年教室系統ボイラー更新工事	1,914
		東雲小学校低学年教室系統ボイラー移設工事	871
R8	1,904,577	大楽毛学園・大楽毛児童センター建築主体工事（Ⅱ期）	151,455
		大楽毛学園・大楽毛児童センター電気設備工事（Ⅱ期）	7,139
		大楽毛学園・大楽毛児童センター管設備工事（Ⅱ期）	8,234
		音別義務教育学校建築主体工事（Ⅱ期）	866,709
		音別義務教育学校電気設備工事（Ⅱ期）	149,023
		音別義務教育学校管設備工事（Ⅱ期）	98,045
		さくら義務教育学校建築主体工事（Ⅰ期）	89,672
		さくら義務教育学校電気設備工事（Ⅰ期）	59,796
		さくら義務教育学校管設備工事（Ⅰ期）	35,624
		阿寒地区義務教育学校実施設計業務委託	33,517
		音別教職員住宅解体工事（ゼロ市債）	11,968
		愛国小学校耐力度調査業務委託	19,074
		愛国小学校長寿命化改良工事設計	16,421
		愛国小学校トイレ改修工事	25,003
		鳥取西小学校屋内運動場照明ＬＥＤ改修工事	12,122
		幣舞中学校熱源改修工事（Ⅱ期）	92,225
		幣舞中学校エレベーター整備工事（Ⅱ期）	57,101
		幣舞中学校トイレ改修工事	50,006
		幣舞中学校屋内運動場電気設備改修工事	19,338
		共栄中学校屋体照明LED改修工事	10,065
		景雲中学校屋体照明LED改修工事	13,365
		鳥取西中学校非常階段改修工事	51,667
		青葉小学校グラウンドフェンス等復旧工事	20,728
		桜が丘小学校グラウンドフェンス復旧工事	6,280

※令和８年度分は当初予算額を記載

５．学校施設の活用

(1) 体育館・グラウンドのスポーツ開放

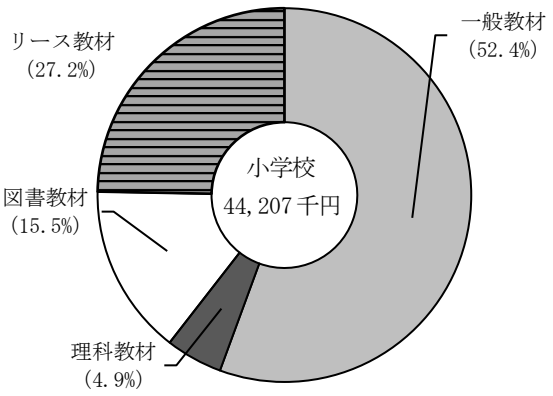
学校体育館及びグラウンドを、地域住民の体力づくり、余暇スポーツ活動の場として開放している。

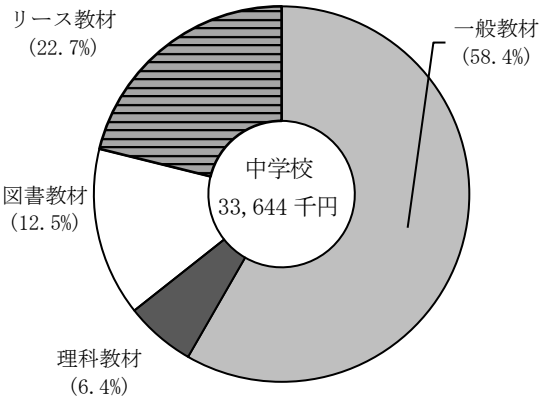
(2) 余裕教室の活用

学校施設の余裕教室等を市立学校使用規則に基づき学校本来の用途又は目的を妨げない範囲で有効活用している。

〔３〕教材・運営費

１．令和８年度教材予算





区分＼年度		R6	R7	R8
小学校	一般教材	25,223 千円	24,422 千円	23,181 千円
	理科教材	2,160	2,160	2,160
	図書教材	6,958	6,489	6,858
	リース教材 パソコン購入	10,741 0	10,849 0	12,008 0
	小計	45,082	43,920	44,207
中学校	一般教材	19,815	19,335	19,650
	理科教材	2,057	2,057	2,142
	図書教材	4,936	4,450	4,217
	リース教材 パソコン購入	7,179 0	7,240 0	7,635 0
	小計	33,987	33,082	33,644
合計		79,069	77,002	77,851

※一般教材にはコンピュータ教材を含む。理科教材は国庫補助対象額。

２．児童生徒用図書数の推移

（各年度3月31日現在）

区分＼年度		R5	R6	R7
小学校	購入数	4,210 冊	4,032 冊	3,707 冊
	寄付数	1,969	1,032	1,634
	廃棄数	8,376	3,945	4,964
	現有数	198,919	200,038	201,314
中学校	購入数	3,424	3,513	3,132
	寄付数	390	344	495
	廃棄数	5,890	2,582	218
	現有数	127,266	128,541	130,621

３．管理運営費予算

区分＼年度		R6	R7	R8
小学校	施設管理費	335,054 千円	343,380 千円	341,354 千円
	施設整備費	50,802	73,304	72,736
	学校運営費	157,882	82,537	108,855
	計	543,738	499,221	522,945
中学校	施設管理費	216,176	220,171	189,521
	施設整備費	73,547	245,375	298,133
	学校運営費	61,274	130,940	61,762
	計	350,997	596,486	549,416

第４章　就学の助成

〔１〕奨学金制度

釧路市奨学金貸与制度は、高等学校以上の修学能力があるにもかかわらず、経済的理由により進学が困難な者に対して、等しく教育を受ける機会を与えるために、平成17年10月11日の市町合併に伴い、旧釧路市・旧阿寒町・旧音別町の各奨学金制度を統合して新設された。各旧制度の創設以来、令和８年度現在、延べ3,433名（釧路2,715・阿寒518・音別200）に奨学金を貸与した。

なお、合併前に各条例により貸与を受けた奨学金の取り扱いについては、合併前の各条例によるものとしている。

１．奨学金貸与条件

奨学金の貸与を受ける者は、本市民（その親、もしくはこれに代わるべき者が本市内に住所を有する者）であって、次の条件を満たす者の中から選定している。

(1) 学校教育法に定める大学、専修学校（修学年限２年以上の専門課程に限る。）、高等専門学校または高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）に在学する者
(2) 経済的理由により修学が困難な者
(3) 身体健康、学業優秀、性行善良である者

２．貸与月額（令和8年4月1日現在）

（単位：円）

区　　分	大　学・専修学校	高等専門学校	高　等　学　校
月　　額	30,000	15,000	12,000

３．奨学金貸与状況（令和8年度新規分）

区　　分	大　　学・専修学校	高等専門学校	高　等　学　校	合　　計
貸　与　者（志願者）	37（53）	0（0）	2（2）	39（55）

４．償還方法

合併前に各条例により貸与を受けた奨学金の返還は、各条例の規定に基づき償還する。平成18年度以降貸与が決定した奨学金は、目的の学校を卒業または貸与を廃止された後、翌年から10年以内に年度割をもって償還する。（無利子）

〔２〕私学振興事業

（令和8年度当初予算　単位：千円）

対　象	補助事業名及び金額		内　　容
高　校 短　大	設備充実助成金	3,808	武修館高校 釧路短期大学
専修学校	設備充実助成金 運営助成費	512 64	くしろせんもん学校 私立専修各種学校道東支部

〔３〕就学奨励制度

（単位：円）

区　分	小学校	中学校	対象
学用品費等 (学用品費・通学用品費・校外活動費)	1年　13,230 2年～6年 15,500	1年　25,040 2年・3年 27,310	準
体育実技用具費 (スケート靴代他)	11,810	柔道　7,650以内 剣道　52,900以内 スキー　38,030以内 スケート　11,810以内	準
新入学児童 (生徒) 学用品費	64,300	81,000	準
生徒会費		上限　5,550	準
ＰＴＡ会費	上限　3,450	上限　4,260	準
宿泊校外活動費	5年　3,690以内	2年　6,210以内	準
修学旅行費	実　費	上限　66,000	要・準
学校給食費	実　費	実　費	準
通学費	実　費	実　費	準
学校病医療費	自己負担分 実　費	自己負担分 実　費	要・準

１．就学援助（要・準要保護）

経済的理由によって、就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、その就学に必要な援助を行う。

(1) 就学援助の対象者

① 要保護者

生活保護（教育扶助）を受給している者

② 準要保護者

要保護者に準ずる程度に困窮している者で前年分の収入が、生活保護基準額（平成25年４月現在）の1.2倍以下の者

(2) 就学援助費の支給内容（令和８年度）

法に基づく国の補助等により、学用品費等、体育実技用具費、新入学児童（生徒）学用品費、生徒会費、PTA会費、宿泊校外活動費、修学旅行費、学校給食費、通学費を援助している。

また、就学援助を受ける児童・生徒が、学校保健安全法施行令第8条に定める疾病（学校病）にかかり、学校から治療の指示を受けたとき、その疾病の治療のために必要な費用を援助している。

(3) 就学援助費の実施状況（令和７年度）

（単位：人、千円）

小中別 / 支給費	小学校		中学校		計	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額
学用品費等（学用品費・通学用品費・校外活動費）	884	12,800	586	15,125	1,470	27,925
体育実技用具費（スケート靴代他）	289	3,413	176	833	465	4,246
新入学児童（生徒）学用品費	36	2,054	28	1,764	64	3,818
新入学生徒学用品費（入学前支給）	76	4,337	157	9,891	233	14,228
宿泊校外活動費	90	297	178	1,011	268	1,308
修学旅行費	205	5,508	227	10,933	432	16,441
学校給食費	878	41,154	563	30,373	1,441	71,527
生徒会費	－	－	579	587	579	587
ＰＴＡ会費	444	862	265	570	709	1,432
通学費	5	58	3	19	8	77
学校病医療費	16	169	7	55	23	224
合計	－	70,652	－	71,161	－	141,813

(4) 就学援助費の支給額の推移

（単位：人、千円）

項目 / 年度	R5	R6	R7
支給人員	1,936	1,705	1,562
支給額	122,970	155,704	141,813

２．特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級へ通学する児童・生徒の保護者に対し、経済的負担の軽減と特別支援教育の振興をはかるためその就学に必要な援助を行う。

(1) 奨励費の支給内容（令和7年度）

区分		支給額
小学校	学用品費	5,820 円
	新入学児童生徒学用品費等	28,530 円
	修学旅行費	10,790 円以内
	通学に要する交通費	実費
	体育実技用具費	13,255 円
	校外活動費（宿泊を伴う）	1,845 円以内
	校外活動費（宿泊を伴わない）	800 円以内
	交流及び共同学習交通費	実費
	学校給食費	実費の 1/2
中学校	学用品費	11,370 円
	新入学児童生徒学用品費等	31,500 円
	修学旅行費	28,860 円以内
	通学に要する交通費	実費
	体育実技用具費	19,015 円
	校外活動費（宿泊を伴う）	3,105 円以内
	校外活動費（宿泊を伴わない）	1,155 円以内
	職場実習交通費	実費
	交流及び共同学習交通費	実費
	学校給食費	実費の 1/2

(2) 奨励費の支給状況（令和7年度）　（単位：円）

区分		支給額
小学校	学用品費	1,989,955
	新入学児童生徒学用品費等	1,426,500
	修学旅行費	503,750
	通学に要する交通費	57,745
	体育実技用具費	702,695
	校外活動費（宿泊を伴う）	122,031
	校外活動費（宿泊を伴わない）	120,314
	交流及び共同学習交通費	0
	学校給食費	8,370,797
	小計	13,293,787
中学校	学用品費	1,315,131
	新入学児童生徒学用品費等	1,323,000
	修学旅行費	680,483
	通学に要する交通費	33,816
	体育実技用具費	0
	校外活動費（宿泊を伴う）	102,306
	校外活動費（宿泊を伴わない）	2,940
	職場実習交通費	1,700
	交流及び共同学習交通費	0
	学校給食費	2,990,174
	小計	6,449,550
合計		19,743,337

３．高等学校生徒遠隔地通学費助成

高等学校に通学する生徒のうち、自宅近くに高等学校がなく遠距離の通学を余儀なくされ、経済的に困窮する世帯の生徒に通学費及び下宿料を助成し、その保護者の経済的負担を軽減する。

なお、令和８年度から、本助成における通学費助成は「高等学校等広域通学費助成」に統合することに伴い、廃止する。

(1) **通学費**　購入した通学定期券代金の２分の１とし、月額15,000円を上限とする。

(2) **下宿料**　市内高等学校（阿寒高等学校を除く。）及び釧路工業高等専門学校に通学するために、市内に下宿を余儀なくされる生徒に月額15,000円を助成する。

４．高等学校等広域通学費助成

自宅から高等学校等までの距離が遠く、通学費が高額となっている高校生等に対し通学費の助成を行うことにより、将来を担う人材の育成及び子育て支援に資する。

(1) **対象者**　以下のすべてに該当する者

- 公共交通機関を利用して高等学校等に通学している者
- 通学交通費に係る定期乗車券の購入金額が 1 か月当たり 10,800 円を超える者
- 他制度による通学費助成を受けていない者

(2) **助成金額**　1 か月当たりの定期乗車券の購入金額から 10.800 円を控除した額の半額

第５章　特別支援教育

釧路市の特別支援教育は、昭和23年東栄小学校に開設された「ろう唖学級」が始まりである。

その後、各障がいの学級が開設され昭和58年共栄中学校に病虚弱学級を開設（釧路赤十字病院内設）し、これをもって、小・中学校に７障がい全ての学級が整った。

また、LD・ADHD・高機能自閉症等を含めて、障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けて、その一人一人の特別な教育的ニーズを把握し、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う特別支援教育の充実のため、「特別支援連携協議会」、「専門家チーム」等を設置し、関係機関との連携を図りながら校内の体制整備、研修や巡回相談などの支援を推進する。

〔１〕特別支援教育における釧路市の施策

１．特別支援学級の再編

知的、自閉症・情緒学級については校区を広く設定していたが、平成 18 年４月からは計画的に通常の学級と校区を同じように設定し、子どもたちが地域の学校へ通学し学ぶことができるよう努めている。

２．巡回相談

学校内の具体的な対応について、専門的な立場から直接助言をいただく機会として、学校からの依頼により専門家が学校を訪問する巡回相談を実施している。

３．指導員の配置

昭和51年から市の単費で配置している特別支援教育指導員は、特別支援学級に41名を配置している。さらに、平成20年度からは、通常の学級にも配置しており、今年度は28名を配置し、個に応じた指導の充実に努めている。

４．通学の援助

校区外通学、障がいの重度化に対応し、保護者の負担軽減のために、昭和51年度から肢体不自由児学級に対して、登下校にハイヤーによる通学の利便を図っている。

５．交流教育の推進

特別支援学級の児童生徒と通常の学級の児童生徒の相乗を目的として交流教育が早くから実践され、開かれた特別支援教育を行っている。校内交流はもとより、校外交流として、教育展（特別支援学校、施設関係の参加）、ブロック交流会など、障がい、学校の壁をのり越えた交流の輪が着実に広がっているところである。

〔２〕特別支援学級在籍数

小学校・義務教育学校前期課程　　令和 8.5.1 現在

障がい	児童数	学級数	学年別					
			1	2	3	4	5	6
知的	211	42	25	45	22	41	42	36
肢体	6	6	1	1	0	1	2	1
病虚弱	4	3	0	1	0	0	2	1
難聴	1	1	0	0	1	0	0	0
言語	14	11	2	0	1	5	3	3
情緒	437	73	53	83	63	74	81	83
合計	673	136	81	130	87	121	130	124

中学校・義務教育学校後期課程　　令和 8.5.1 現在

障がい	生徒数	学級数	学年別		
			1	2	3
知的	116	22	43	36	37
肢体	2	2	0	0	2
病虚弱	0	0	0	0	0
難聴	0	0	0	0	0
言語	0	0	0	0	0
情緒	154	28	56	50	48
合計	272	52	99	86	87

小学校・義務教育学校前期課程　　令和 8.5.1 現在

学校名	障がい	児童数	学級数	学年別						設置年月
				1	2	3	4	5	6	
釧路	知的	12	2	3	4	1	2	1	1	S33.4
	情緒	26	4	4	1	6	8	4	3	S53.4
中央	知的	4	1	0	0	2	0	0	2	S51.4
	肢体	1	1	0	1	0	0	0	0	S49.4
	病虚弱	0	0	0	0	0	0	0	0	H26.2
	情緒	12	2	0	0	1	0	6	5	H20.4
城山	知的	3	1	1	0	1	1	0	0	H19.4
	情緒	12	2	0	2	0	3	3	4	H19.4
湖畔	知的	11	3	3	1	3	3	1	0	H18.4
	肢体	1	1	0	0	0	0	0	1	R4.4
	難聴	1	1	0	0	1	0	0	0	R6.4
	情緒	23	4	2	5	3	6	4	3	H20.4
桜が丘	知的	7	1	0	3	2	1	0	1	S49.4
	病虚弱	1	1	0	1	0	0	0	0	R7.4
	言語	1	1	0	0	0	0	0	1	R7.4
	情緒	17	3	4	4	0	4	3	2	H16.4
鳥取	知的	6	1	1	2	0	2	0	1	S54.4
	言語	1	1	0	0	0	1	0	0	R5.4
	情緒	29	4	4	9	4	4	3	5	S54.4
共栄	知的	16	3	5	5	1	1	1	3	S49.4
	言語	1	1	0	0	0	0	0	1	H19.4
	情緒	22	3	5	6	4	4	2	1	S48.4
青葉	知的	14	3	2	2	1	3	4	2	H18.4
	言語	2	1	0	0	1	0	0	1	R3.4
	情緒	19	4	3	4	3	4	1	4	H18.4
朝陽	知的	9	2	0	2	1	3	0	3	H19.4
	情緒	15	2	2	3	1	2	2	5	H19.4
光陽	知的	8	1	0	4	1	0	3	0	H21.4
	病虚弱	1	1	0	0	0	0	0	1	R3.4
	情緒	14	2	4	1	4	2	2	1	H21.4
大楽毛	知的	5	1	2	0	0	1	1	1	H18.4
	病虚弱	0	0	0	0	0	0	0	0	H24.4
	言語	2	1	0	0	0	2	0	0	R5.4
	情緒	13	2	1	1	2	3	4	2	H18.4
清明	知的	10	2	0	4	1	3	2	0	H18.4
	肢体	1	1	1	0	0	0	0	0	R8.4
	情緒	19	4	4	1	3	3	3	5	H18.4
東雲	知的	7	1	0	1	0	2	1	3	H19.4
	肢体	1	1	0	0	0	1	0	0	H30.4
	情緒	15	3	1	5	1	2	3	3	H19.4
新陽	知的	4	1	0	2	2	0	0	0	H18.4
	情緒	8	1	0	1	2	3	2	0	H18.4
愛国	知的	11	2	1	4	1	1	2	2	H19.4
	肢体	1	1	0	0	0	0	1	0	H19.4
	難聴	0	0	0	0	0	0	0	0	R3.4
	言語	1	1	0	0	0	0	1	0	R5.4
	情緒	28	4	2	8	5	2	5	6	H18.4
鳥取西	知的	21	3	1	5	0	4	8	3	H19.4
	肢体	1	1	0	0	0	0	1	0	R4.4
	言語	1	1	0	0	0	0	1	0	R4.4
	情緒	27	4	2	3	3	2	10	7	H19.4
武佐	知的	2	1	0	1	0	0	0	1	R7.4
	情緒	4	1	1	0	0	0	1	2	H21.4
美原	知的	13	3	2	2	0	3	5	1	H15.4
	肢体	0	0	0	0	0	0	0	0	H31.4
	言語	1	1	0	0	0	1	0	0	R6.4
	情緒	16	4	3	4	1	2	1	5	H15.4
昭和	知的	15	2	1	0	2	4	2	6	H19.4
	言語	2	1	1	0	0	0	1	0	H30.4
	病虚弱	2	1	0	0	0	0	2	0	R3.4
	情緒	42	6	2	8	8	5	11	8	H20.4
興津	知的	6	1	0	0	1	1	3	1	H19.4
	言語	0	0	0	0	0	0	0	0	R6.4
	情緒	11	2	0	1	1	3	5	1	H19.4
鶴野	知的	12	2	1	2	1	2	3	3	H19.4
	言語	1	1	0	0	0	1	0	0	H31.4
	病虚弱	0	0	0	0	0	0	0	0	H28.4
	情緒	24	3	3	7	2	6	2	4	H19.4
芦野	知的	10	2	2	0	0	1	5	2	H20.4
	言語	1	1	1	0	0	0	0	0	R8.4
	情緒	25	5	3	3	9	2	3	5	H18.4
阿寒	知的	1	1	0	0	1	0	0	0	H13.4
	情緒	10	2	2	3	0	3	1	1	H20.4
阿寒湖	知的	3	1	0	1	0	2	0	0	H4.4
	情緒	4	1	1	2	0	1	0	0	R5.4
音別	知的	1	1	0	0	0	1	0	0	R4.4
	情緒	2	1	0	1	0	0	0	1	S46.5
小学計		673	136	81	130	87	121	130	124	

中学校・義務教育学校後期課程　　令和 8.5.1 現在

学校名	障がい	生徒数	学級数	学年別			設置年月
				1	2	3	
幣舞	知的	10	2	4	3	3	S35.1
	情緒	21	3	6	11	4	S54.4
北	知的	7	2	2	3	2	S40.4
	情緒	9	2	3	4	2	H19.4
春採	知的	4	1	2	2	0	S50.4
	病虚弱	0	0	0	0	0	H26.4
	情緒	8	1	3	3	2	H18.4
鳥取	知的	12	2	6	2	4	H19.4
	情緒	24	3	6	6	12	H20.4
共栄	知的	5	1	2	2	1	H19.4
	肢体	0	0	0	0	0	R5.4
	病虚弱	0	0	0	0	0	R6.4
	情緒	10	2	2	3	5	H18.4
景雲	知的	12	2	3	3	6	H18.4
	肢体	1	1	0	0	1	H19.4
	情緒	17	3	8	4	5	H19.4
青陵	知的	12	2	2	4	6	H19.4
	情緒	17	3	10	6	1	H20.4
大楽毛	知的	12	2	4	5	3	H18.4
	病虚弱	0	0	0	0	0	R4.4
	情緒	9	2	4	0	5	H19.4
桜が丘	知的	12	2	4	6	2	H18.4
	肢体	1	1	0	0	1	R6.4
	情緒	10	2	4	5	1	H19.4
美原	知的	8	1	3	3	2	H19.4
	情緒	9	2	1	2	6	H19.4
鳥取西	知的	19	3	10	2	7	S60.4
	病虚弱	0	0	0	0	0	R5.4
	情緒	17	3	9	4	4	S60.4
阿寒	知的	2	1	0	1	1	H16.4
	情緒	2	1	0	1	1	R4.4
阿寒湖	知的	0	0	0	0	0	R4.4
音別	知的	1	1	1	0	0	S47.4
	情緒	1	1	0	1	0	R5.4
中学計		272	52	99	86	87	

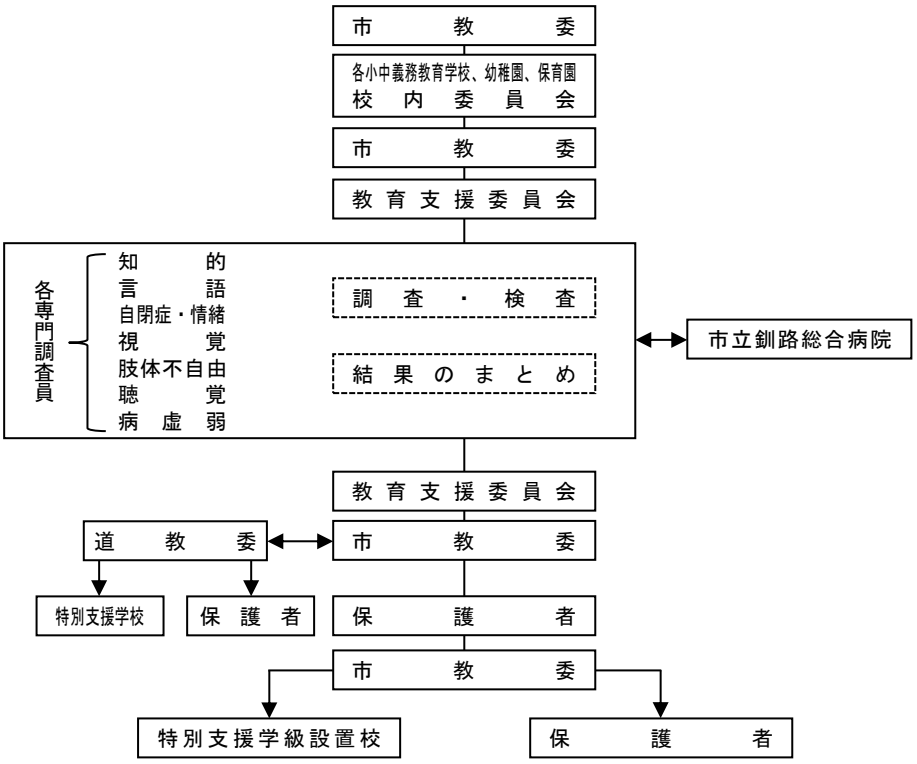
〔3〕教育支援委員会

児童・生徒の一貫した教育の支援を行うため、学識経験者、専門医、学校長、特別支援学級担任教諭などにより、釧路市教育支援委員会が構成されている。年間３回の定例委員会と臨時の委員会を開催し、各専門部会、学校（校内委員会)、幼稚園、保育園、保護者、医療機関と密接な連携を図っている。

【 事 務 の 内 容 】

各学校に基礎調査の記入を求める
↓
基礎調査の作成と提出
↓
対象者の取りまとめ
↓
面接、検査の計画
↓
面接、検査の実施
↓
総合判定
↓
判定結果の発送
↓
入級の諾否の連絡
↓
入級決定通知
↓
入級

【 釧路市教育支援委員会の流れ 】



第６章　学 校 保 健

学校保健において、健康診断を柱とする保健管理並びに安全と障害及び疾病の予防に関する管理指導は、児童・生徒の心身の健全な育成を図るとともに、児童・生徒が学校生活を豊かに過ごす上で基礎的な要素となるものである。

学校保健の施策をすすめるに当っては、体育、保健、安全及び給食指導との相互関係に十分配慮しながら一層の充実を図っていく。（特記している以外の検査数値には、北海道教育大学附属釧路義務教育学校を含む。）

〔１〕児童・生徒の体格

令和７年度の調査結果は別表のとおりである。

１．児童・生徒の平均体格（令和７年度）

体位	性別 / 年齢別 区分	男子 6	7	8	9	10	11	12	13	14	女子 6	7	8	9	10	11	12	13	14
身長（cm）	市　平　均	116.6	123.0	128.9	133.5	139.6	145.7	154.4	161.3	166.0	116.0	121.9	127.5	133.7	141.4	147.4	152.5	154.7	156.4
	全国との差	−0.1	0.4	0.4	−0.5	−0.1	−0.3	0.4	0.2	−0.1	0.2	0.1	−0.2	−0.4	0.3	−0.4	0.2	−0.3	0.0
体重（kg）	市　平　均	21.8	24.9	29.1	32.7	37.2	41.1	48.0	52.8	57.2	21.4	24.3	27.0	31.4	36.3	41.1	45.7	49.1	51.2
	全国との差	0.4	0.7	1.5	1.5	2.0	1.5	2.7	2.3	2.2	0.4	0.6	0.1	0.9	1.3	1.0	1.3	1.6	1.6

※全国平均（令和６年度）

〔２〕児童・生徒の健康状態

１．視力検査

学校における裸眼視力検査の結果は別表のとおりである。

(1) 令和７年度　視力検査結果　　（　）は%

区分		視力検査 受検者数	両眼 1.0 以上	偏眼 0.9 以下	偏眼 0.3 未満	眼鏡使用者
小学生	男	2,995 人	1,539 人	849 人	298 人	309 人
			（ 51.4 ）	（ 28.3 ）	（ 9.9 ）	（ 10.3 ）
	女	2,728 人	1,280 人	804 人	267 人	377 人
			（ 46.9 ）	（ 29.5 ）	（ 9.8 ）	（ 13.8 ）
中学生	男	1,664 人	557 人	418 人	125 人	564 人
			（ 33.5 ）	（ 25.1 ）	（ 7.5 ）	（ 33.9 ）
	女	1,658 人	473 人	365 人	119 人	701 人
			（ 28.5 ）	（ 22.0 ）	（ 7.2 ）	（ 42.3 ）
高校（市立）	男	288 人	90 人	42 人	15 人	141 人
			（ 31.3 ）	（ 14.6 ）	（ 5.2 ）	（ 49.0 ）
	女	304 人	69 人	47 人	12 人	176 人
			（ 22.7 ）	（ 15.5 ）	（ 3.9 ）	（ 57.9 ）

２．口腔検査

(1) う歯の状況

（ ）は%

項目＼小中別＼年度		小学校 R5	小学校 R6	小学校 R7	中学校 R5	中学校 R6	中学校 R7
検査人員		6,124人	5,759人	5,584人	3,259人	3,186人	3,114人
う歯	ない者	4,095人	4,105人	3,976人	2,655人	2,636人	2,490人
	処置完了者	(66.8)	(71.2)	(71.2)	(81.4)	(82.7)	(80.0)
	未処置者	2,029人	1,654人	1,608人	604人	550人	624人
		(33.1)	(28.7)	(28.8)	(18.5)	(17.2)	(20.0)
歯列・咬合異常		145人	437人	404人	183人	267人	125人
		(2.3)	(7.5)	(7.2)	(5.6)	(8.3)	(4.0)

※歯列・咬合異常には、阿寒地区分の数値は含まれていない。

３．尿検査

尿検査については、昭和49年から実施している。

(1) 尿検査過去３年間の推移

（ ）は%

項目＼小中別＼年度		小学校 R5	小学校 R6	小学校 R7	中学校 R5	中学校 R6	中学校 R7
第一次検査	受検者数	6,388人	5,977人	5,785人	3,500人	3,450人	3,330人
	陽性者数	91人	106人	99人	236人	219人	190人
		(1.4)	(1.7)	(1.7)	(6.7)	(6.3)	(5.7)
第二次検査	受検者数	82人	92人	90人	213人	204人	180人
	陽性者数	17人	19人	26人	32人	36人	33人
		(20.7)	(20.6)	(28.8)	(15.0)	(17.6)	(18.3)

(2) 尿精密検査の結果、治療の指示を受けた児童・生徒（令和７年度）

（単位：人）

病名＼学校別＼性別	小学校 男	小学校 女	中学校 男	中学校 女	高校（市立） 男	高校（市立） 女	合計
IgA腎症	0	1	0	0	0	0	1
Ⅱ型糖尿病	0	0	0	1	0	0	1
合計	0	1	0	1	0	0	2

４．心電図による心臓検診の実施

全国の学校管理下での突然死のうち80～90%が心臓系の突然死という状況から、学校医検診のほか、平成元年度から心電図検査を行っている。道内ではこのような検診方法が定着している。本市では釧路市医師会の協力を得て検査を実施し、心臓判定委員会を設けて次により判定をして、保護者に通知している。

① 医療を要する心臓病の児童・生徒を発見し、適切な医療を受けるよう指導する。

② 心疾患の重症度を把握し、その管理区分を定め、疾患の悪化及び突然死を防止する。

③ 必要以上の運動制限がないよう正しい管理を行い、児童・生徒の心身の発達を妨げないようにする。

令和７年度では、小学校１、４年生、中学校１年生を対象に検査を実施し、長期休業期間中などに精密検査の機会を設けている。

(1) 過去３年間の状況

（ ）は%

小中別 / 項目 / 年度	小学校			中学校		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7
受検者数	2,041人	1,859人	1,938人	1,180人	1,138人	1,047人
要精密検査数	58人	50人	72人	50人	33人	38人
	(2.8)	(2.6)	(3.7)	(4.2)	(2.8)	(3.6)
要治療者数	27人	16人	22人	14人	14人	9人
要観察者	(1.3)	(0.8)	(1.1)	(1.1)	(1.2)	(0.9)

５．その他の疾病状況（令和７年度）

（単位：人）

学校別 / 病名 / 性別	小学校		中学校		高校（市立）	
	男	女	男	女	男	女
検査人員	2,922人	2,682人	1,563人	1,534人	288人	304人
栄養異常	538 (17.6)	393 (14.1)	352 (21.1)	285 (17.2)	180 (62.4)	191 (62.9)
脊椎異常	24 (0.8)	35 (1.3)	12 (0.8)	29 (1.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
胸郭異常	7 (0.2)	7 (0.3)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
皮膚疾患	79 (2.7)	52 (1.9)	23 (1.52)	11 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
心臓疾患	21 (0.7)	16 (0.6)	7 (0.4)	12 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
貧血	3 (0.1)	2 (0.07)	1 (0.06)	0 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他の疾患	65 (2.2)	97 (3.9)	14 (0.9)	10 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
※眼疾患	58 (5.9)	37 (4.2)	42 (8.5)	32 (6.4)	1 (1.1)	2 (1.9)
※聴力異常	19 (1.0)	22 (1.2)	16 (1.4)	14 (1.3)	7 (3.8)	6 (2.9)
※耳鼻咽喉疾患	178 (18.3)	114 (12.7)	81 (16.4)	44 (10.8)	13 (14.6)	9 (8.5)
※結核要観察	5 (0.2)	2 (0.08)	3 (0.2)	2 (0.12)	0 (0.0)	0 (0.0)

（ ）は% ※印については、検査人員が項目によって異なる

６．教室内空気中化学物質測定検査

平成17年度から、シックスクール対策として、文部科学省が定める「学校衛生基準」により、市立学校の教室等の空気環境検査を実施している。令和７年度は小学校４校・中学校２校計７箇所で検査を実施した。

〔３〕独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害給付

独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害給付は、学校の管理下において、児童・生徒に災害（負傷・障害・死亡）が発生した場合に、医療費などの必要な給付を行い、心身の健全な発達、学校教育の円滑な実施に寄与することを目的としている。

１．災害発生件数と給付状況（令和７年度）

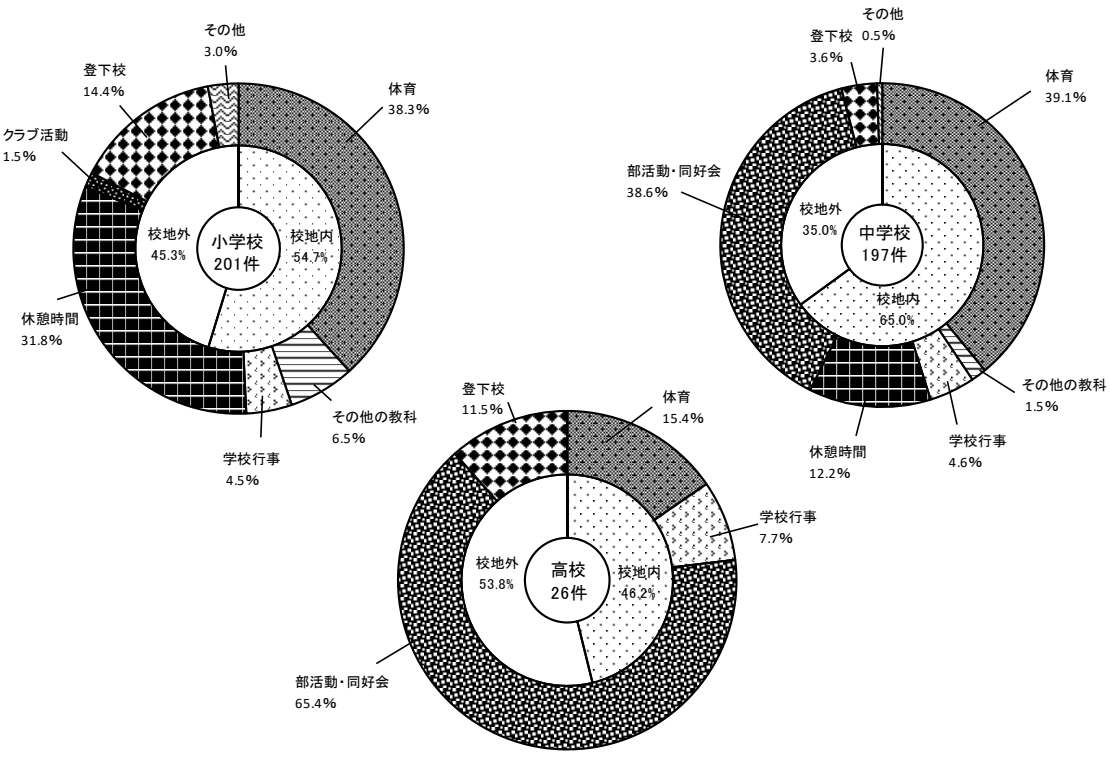
区分 / 学校別	医療費（負傷・疾病）			障害見舞金		死亡見舞金		合計		供花料	
	(発生件数) 給付件数	給付金額	疾病の発生件数	延べ人数	給付金額	延べ人数	給付金額	(発生件数) 給付件数	給付金額	給付件数	給付金額
	件	円	件	件	円	件	円	件	円	件	円
幼稚園	(1) 2	25,636	(0) －	0	0	0	0	(1) 2	25,636	0	0
小学校	(201) 324	2,129,473	(5) －	0	0	0	0	(201) 324	2,129,473	0	0
中学校	(197) 356	4,079,499	(17) －	0	0	0	0	(197) 356	4,079,499	0	0
高校（市立）	(26) 83	1,983,144	(1) －	0	0	0	0	(26) 83	1,983,144	0	0
計	(425) 765	8,217,752	(23) －	0	0	0	0	(425) 765	8,217,752	0	0

２．過去５年間の給付金額の推移

年度 / 項目	R3	R4	R5	R6	R7
給付金額	13,065,450 円	9,164,345 円	8,020,881 円	9,849,801 円	8,217,752 円

※へき地通院費を含む

３．場合別災害発生の内訳（令和７年度）



第７章　学 校 給 食

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資し、かつ食生活の改善に寄与すること等を目的に実施し、学校給食の具体的活動を通じて、児童生徒の食事に対する正しい理解や望ましい食習慣を養い、また学校生活を豊かにするとともに、明るい社交性を養うなど、教育活動の一環として目標達成に努めている。



学校給食センター

〔１〕学校給食の実施状況

１．本市の学校給食の実施状況

釧路市における学校給食については、釧路地区では、昭和22年のミルク給食、昭和26年の完全給食の実施から、阿寒地区では昭和40年から、音別地区では昭和37年から実施しており、それぞれの地域において特色ある学校給食の取り組みを行ってきた。平成17年10月に３市町による合併がなされ、各地域における設備の相違等により、献立と給食費はそれぞれの地区で異なっていたが、令和７年４月より新給食センターの供用開始に伴い、３地区の献立と給食費を統一し、令和８年１月よりアレルギー除去食(卵、乳)の提供を開始した。

２．学校給食の実施の方法

調理方法：センター方式

（令和 8.5.1 現在）

学校種	学校数	学校名	児童・生徒数(人)
小学校	23校	釧路、中央、城山、桜が丘、湖畔、鳥取、共栄、青葉 朝陽、光陽、清明、東雲、新陽、山花、愛国、鳥取西 武佐、美原、昭和、興津、鶴野、芦野、阿寒	5,062
中学校	13校	幣舞、北、春採、鳥取、共栄、景雲、青陵、桜が丘 美原、鳥取西、山花、阿寒、くしろ創明	2,893
義務教育学校	３校	大楽毛、阿寒湖、音別	（前期）185 （後期）144
合計	39 校　　8,284 人		

※他に道立鶴野支援学校の調理業務等委託を受託。

３．給食費の状況（令和８年度）

学校種	学年	一食単価	年間給食回数	年間給食費
小学校	1・6 年	343 円	190 回	65, 170 円
	2～4 年		196 回	67, 228 円
	5 年		194 回	66, 542 円
中学校	1・2 年	404 円	191 回	77, 164 円
	3 年		181 回	73, 124 円
山花小	1 年	343 円	187 回	64, 141 円
	2～4 年		192 回	65, 856 円
	5 年		188 回	64, 484 円
	6 年		186 回	63, 798 円
山花中	1 年	404 円	191 回	77, 164 円
	2 年		188 回	75, 952 円
	3 年		184 回	74, 336 円
義務教育学校（音別除く）	1 年	343 円	190 回	65, 170 円
	2～4 年		196 回	67, 228 円
	5・6 年		194 回	66, 542 円
	7・8 年	404 円	191 回	77, 164 円
	9 年		181 回	73, 124 円
音別義務教育学校	1 年	343 円	190 回	65, 170 円
	2～4 年		196 回	67, 228 円
	5・6 年		194 回	66, 542 円
	7・8 年	404 円	197 回	79, 588 円
	9 年		186 回	75, 144 円

４．献　　立

令和７年４月より、釧路地区、阿寒地区、音別地区の統一献立となり、教育委員会の基本方針のもと地域の食材を活用した特色ある献立を作成している。献立は栄養教諭が中心となって原案を作成し、調理員代表、市教委職員で組織した「献立作成委員会」を月１回開催して協議する。このように作られた献立案を教育委員会が決定して、それぞれの地区の各学校・家庭に「給食だより」として知らせている。



ご飯
じゃが芋と油揚げの味噌汁
阿寒ポークの生姜煮
わかさぎの佃煮
牛乳



ココアロールパン
白菜のコンソメスープ
デミソースハンバーグ
ブロッコリーのマヨネーズ和え
いちごクレープ
牛乳

５．栄養管理

児童生徒に栄養のバランスがとれた食事を提供し、心身の健康増進や体位の向上を図るため、栄養管理を行っている。栄養管理は、文部科学省の所要栄養基準を目安に魅力ある食事となるよう配慮している。

栄養摂取状況

（令和７年度）

	小学校			中学校		
	献立栄養価	摂取基準値	充足率	献立栄養価	摂取基準値	充足率
エネルギー	566kcal	650kcal	87%	736kcal	830kcal	89%
たんぱく質	19.8g (摂取エネルギーの 14%)	摂取エネルギーの 13～20%	―	29.4g (摂取エネルギーの 16%)	摂取エネルギーの 13～20%	―
脂　　質	19.5g (摂取エネルギーの31%)	摂取エネルギーの 20～30%	―	25.4g (摂取エネルギーの31%)	摂取エネルギーの 20～30%	―
塩　　分	2.1g	2g 未満	105%	2.7g	2.5g 未満	108%
カルシウム	338mg	350mg	97%	439mg	450mg	98%
鉄	3.2mg	3.0mg	107%	4.2mg	4.5mg	93%
ビタミンＡ	211μgRAE	200μgRAE	106%	274μgRAE	300μgRAE	91%
ビタミンＢ１	0.5mg	0.40mg	125%	0.65mg	0.50mg	130%
ビタミンＢ２	0.48mg	0.40mg	120%	0.62mg	0.60mg	103%
ビタミンＣ	32mg	25mg	128%	42mg	35mg	120%
食物繊維	4.5g	4.5g 以上	100%	5.9g	7.0g 以上	84%

摂取基準値とは、文部科学省の学校給食の所要栄養量基準である。
ビタミン類では献立栄養価の調理消耗は見ていない。

〔２〕釧路市学校給食会

学校給食用物資の購入は、釧路市学校給食会が行っている。

釧路市学校給食会

学校給食に必要な物資を一括で大量購入することにより、良質で安価な物資を提供し、学校給食を円滑に実施するため、昭和42年に設立され、昭和50年に現在の名称になった。

給食会事業　１．学校給食費に関すること
２．学校給食に必要な物資の調達に関すること
３．学校給食に関する啓発及び調査研究等に関すること

給食会組織　学校長、ＰＴＡ代表及び釧路市教育委員会学校教育課職員で組織され、事務局を学校給食センター内に置いている。

物資取り扱い金額

令和８年度予算（物資購入会計）　689,902,395円

〔３〕学校給食センター

１．釧路市学校給食センター（配送　小学校 23 校、中学校 13 校、義務教育学校３校）

所 在 地　釧路市貝塚３丁目７番 22 号
竣　　工　令和７年１月
調理能力　11，000 食
敷地面積　18，515.90 ㎡(共用)
建物概要　鉄筋コンクリート造２階建
4,320.97 ㎡

第８章　幼 児 教 育

〔１〕幼稚園等設置状況

（令和 8.5.1 現在）

区　分	設置主体数	園数	学級数	園児数			計	教職員数				計
				３才	４才	５才		園長	教頭	教諭	職員	
市　立		1	3	3	3	4	10	1		4	1	6
学校法人	3	3	9	16	9	33	58	4	0	17	16	37
個　人	1	1										
認定こども園	22	35	168	207	217	248	672	35	4	517	229	785
就園率	－	－	－	35.20%	31.89%	36.70%	34.63%	－	－	－	－	－

３歳の園児数は、満３歳の園児（19 名）を含む。

〔２〕園数と園児数の推移

１．市立幼稚園

（令和 8.5.1 現在）

年度	園数	３才児	４才児	５才児	計
H10	3	45 人	80 人	83 人	208 人
15	3	50	44	48	142
20	3	41	48	46	135
25	3	32	36	42	110
30	3	22	24	22	68
R5	1	3	8	2	13
6	1	3	3	8	14
7	1	3	4	3	10
8	1	3	3	4	10

２．私立幼稚園

（令和 8.5.1 現在）

年度	園数	３才児	４才児	５才児	計
H10	29	446 人	1,225 人	1,418 人	3,089 人
15	27	486(12)	1,079	1,135	2,700
20	26	631(10)	958	977	2,566
25	26	687(16)	889	957	2,533
30	16	474(6)	510	527	1,511
R5	8	96(2)	119	105	320
6	5	68(1)	64	78	210
7	5	38(6)	68	63	169
8	4	16(1)	9	33	58

（　）は満３才の園児数

３．認定こども園

（令和 8.5.1 現在）

年度	園数	３才児	４才児	５才児	計
H30	15	173(4) 人	169 人	218 人	560 人
R5	32	297(23)	313	281	891
6	34	289(25)	264	330	883
7	34	237(10)	248	245	730
8	35	207(18)	217	248	672

（　）は満３才の園児数

〔３〕幼稚園業務の移管及び補助執行

就学前の幼児に関する窓口業務の一元化を図るため、平成 19 年４月よりこども保健部こども育成課へ私立幼稚園業務を移管するとともに阿寒町行政センター保健福祉課が市立幼稚園に関する業務に係る補助執行を行っている。

第９章　高等学校教育

〔１〕釧路市の高等学校教育の推移

１．高等学校間口・入学定員の推移

学校別＼区分		R6		R7		R8	
		間口	定　員	間口	定　員	間口	定　員
市内	湖　陵	5	200人	5	200人	5	200人
	（定　時）	1	40	1	40	1	40
	江　南	5	200	5	200	5	200
	商　業	3	120	3	120	3	120
	工　業	5	200	5	200	5	200
	（定　時）	1	40	1	40	1	40
	明　輝	4	160	4	160	4	160
	北　陽	5	200	5	200	5	200
	阿　寒	1	40	1	40	1	40
	武修館		140		140		140
	計	30	1,340	30	1,340	30	1,340
市外	東	2	80	2	80	2	80
合計		32	1,420	32	1,420	32	1,420

２．高等学校卒業生の進路状況

年度	卒業者数			大学等（A）			専修学校（B）			専修学校（C）			公共職業能力開発施設等入学者（D）			就職者			一時的な仕事についた者			無業者			死亡・不詳		
	総数	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
R3	1,377	672	705	567	282	285	277	77	200	50	38	12	2	2	－	426	245	181	1	1	－	54	27	27	－	－	－
R4	1,338	638	700	537	258	279	343	118	225	31	21	10	1	1	－	381	213	168	2	2	－	43	25	18	－	－	－
R5	1,270	641	629	557	285	272	299	96	203	7	5	2	2	2	－	356	216	140	1	1	－	48	36	12	－	－	－

（注）大学等（A）は、大学、短大、高専。専修学校（B）は、専門課程。専修学校（C）は、専修学校の一般課程、各種学校、公共職業訓練施設等。進学し、かつ就職している者は、進学にのみ含め、就職者には含めない。

３．高等学校授業料等の推移

区分＼年度		R6	R7	R8
授業料	道　立	9,900 円	9,900 円	9,900 円
	市　立	9,900 円	9,900 円	9,900 円
入学料	道　立	5,650 円	5,650 円	5,650 円
	市　立	5,650 円	5,650 円	5,650 円
検定料	道　立	2,200 円	2,200 円	2,200 円
	市　立	2,200 円	2,200 円	2,200 円

〔2〕市立高等学校の概要

1．北海道釧路北陽高等学校

釧路市教育推進基本計画を踏まえ、「より良い世界及び地域社会を築くことに貢献できる国際的な視野を持った人材を社会に提供する」ことを学校の使命（スクールミッション）としており、オースティン・ピー州立大学（アメリカ）、パーペチュアルヘルプ大学（フィリピン）、景文高級中学（台湾）と提携を結ぶなどし、国際教養教育を推進している。

また、学年の区分がなく、自分の興味、関心等に応じた科目を選択し学習できる単位制を導入し、自己の学びを自ら構築できるカリキュラムとなっている。

校訓「健学大成」のもと、教職員が一体となって生徒の学びを支援し、一人一人の自己実現の可能な学校として、地域から高く評価され期待されている。

(1) 沿　　革

昭和31年11月　釧路市立高等学校設置認可申請
昭和32年 2月　北海道教育委員会第151号にて北海道釧路北陽高等学校設置認可
生徒定員600名
昭和32年 4月　開校式並びに32年度入学式
旧電話局庁舎（大町２の５）を仮校舎として授業開始
学級数４、生徒数220
昭和33年11月　新校舎第一期工事落成により、緑ヶ岡17番地に移転
昭和34年11月　第二期工事完成
昭和35年12月　第三期工事完成（屋内体育館、生徒昇降口等）
昭和37年 5月　第四期工事完成（普通教室、男子便所等）
昭和38年 4月　新１年より６学級編成
昭和39年 4月　新１年より７学級編成
昭和51年 4月　新１年より８学級編成
昭和60年 7月　校舎改築工事起工
昭和61年 6月　新校舎完成により移転
昭和61年11月　新校舎落成式
昭和62年10月　開校30周年記念式典
平成元年 4月　新１年より９学級編成
平成 2年 2月　格技場完成
平成 2年 4月　新１年より10学級編成
平成 3年 4月　新１年より８学級編成
平成 6年 7月　北陽会館・部室落成
平成 8年 1月　校訓「健学大成」制定
平成 9年10月　開校40周年記念式典
平成12年 4月　新１年より７学級編成
平成16年 4月　新１年より６学級編成
平成19年 9月　創立50周年記念式典
平成20年 4月　新１年よりフィールド制導入
平成29年10月　創立60周年記念式典
平成31年 2月　体育館ギャラリーにトレーニング機器を設置
令和 2年 4月　新１年より５学級編成
令和 4年 4月　新１年より単位制導入
令和 7年11月　台北市私立景文高級中學と姉妹校協定を締結
令和 8年 4月　新制服導入開始

(2) 卒業生数（令和8年3月末）卒業生総数　19,556人

(3) 生徒の現況（令和8年5月1日現在）

ア．在籍生徒数

1　年		2　年		3　年		合　計	
学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
	人		人		人		人
5	195	5	197	5	194	15	586

イ．出身地区別生徒数

年 / 次 / 地区	１年	２年	３年	計
釧路市	156	154	146	456
白糠町	7	6	0	13
鶴居村	0	1	0	1
釧路町	7	17	20	44
標茶町	3	7	5	15
弟子屈町	4	0	2	6
厚岸町	7	3	6	16
浜中町	7	4	4	15
中標津町	1	0	5	6
別海町	2	3	3	8
標津町	0	0	2	2
羅臼町	0	0	0	0
根室市	0	0	0	0
札幌市	0	1	1	2
道　内	1	1	0	2
道　外	0	0	0	0
合計	195	197	194	586

ウ．通学状況（交通機関利用者）

区　分	１年	２年	３年	合　計
徒歩のみ	28	28	22	78
自転車	81	87	100	268
バ　ス	52	55	30	137
鉄　道	9	0	13	22
その他（保護者の四輪等による送迎等）	25	27	29	81



景文高級中学（台湾）との交流

(4) 入学志願者数及び入学者数

年度	定員	出願者数	入学者数
R6	200 人	274 人	200 人
R7	200	288	200
R8	200	197	195

(5) 進路状況（令和8年5月1日現在）

ア. 卒業生進路状況

区分＼卒業年度	R5	R6	R7
卒業者数	176 人	192 人	194 人
進学者数	124	141	146
就職者数	50	43	42
その他	2	8	6

イ. 進学者の状況

区分＼卒業年度	R5	R6	R7
国公立大学	19 人	20 人	12 人
私立大学	56	55	54
短大	3	11	0
専修・各種	46	55	80
合計	124	141	146

ウ. 就職者の状況

区分＼卒業年度	R5	R6	R7
専門・技術的	0 人	0 人	1 人
事務従事者	30	25	21
販売従事者	2	4	1
運輸・通信	0	1	0
保安職員	8	9	13
生産工・労務	8	0	4
サービス業	0	4	2
その他	2	0	0
合　計	50	43	42



体育大会



台湾見学旅行



北陽祭

第 10 章　教育研究センター

〔１〕釧路教育研究センター

１．沿　　革

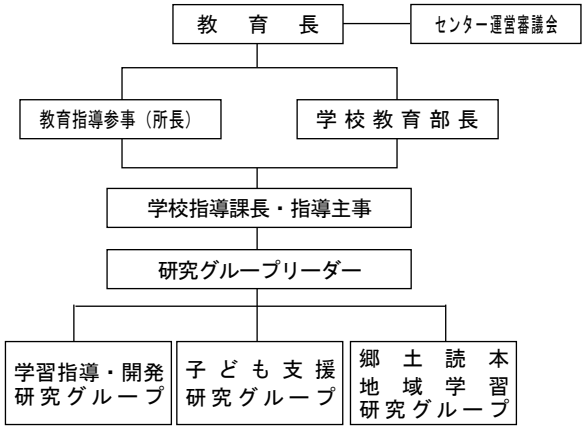
昭和27年 3月　教育研究所設置条例制定、７月より事務所を市立郷土博物館に置いて業務を開始
28年 3月　旧少年保護観察所跡へ移転
29年 1月　新築の教育会館内に移転
56年 3月　釧路教育研究センターに改称し現在地に新築移転
56年 4月　分散していた釧路市視聴覚ライブラリー業務を１本化して移転併設
令和 5年 4月　釧路市立共栄小学校内に移転

２．施設概要

位　　置　釧路市双葉町４番 17 号

３．機構・事業内容

(1) 機　　構



職　名	氏　　名	担当事務	備考
教育指導参事	本 川 敬 一	運営全般	
総括指導主事	畠 山 和 彦	運営全般補佐	
指 導 主 事	宮 原 美 里		
	赤 本 純 基		
	佐 藤 義 人		
	寺 嶋 純 哉		
	久 末 卓 矢		
	稲 垣 宏 治		

(2) 事業内容

ア．教育に関する調査研究
　○学習指導・研究開発研究
　○子ども支援研究
　○郷土読本・地域学習研究
イ．教員の研修
　○管内の幼・小・中・義務教育学校・高校の教員を対象として年間 22 講座を開設
ウ．教育に関する資料の収集・提供
　○所報の発行

Ⅳ　社　会　教　育

第１章　社会教育の推進

〔１〕釧路市社会教育推進計画 ～人づくり・地域づくりに向けて～

１．計画の目的と策定の趣旨

近年、少子化による人口の急減に加え、高齢化の勢いが超高齢社会への進行を早める等憂慮すべき状況にあって、新型コロナウイルス感染症の流行拡大は、経済活動を停滞させたばかりでなく、私たちの意識や行動、暮らしをも大きく変化させました。

釧路市では平成30年４月、３市町合併以降第３期となる「釧路市社会教育推進計画」をスタートさせ、この間、社会教育にかかわる課題解決はもとより、コロナ禍にあっても、市民相互の学び合いを通じたつながりや絆づくりとともに、本市の未来を拓く人づくりに努めてまいりました。

この度、５か年の計画期間の終了に伴い新たな計画をスタートさせ、社会の激しい変化の中で、さまざまな課題への対応とともに、地域の持続的発展を支える能力や知識を育む施策をさらに推進する必要があります。

情報の収集やコミュニケーションをとる方法として、インターネットは今や日常的なツールとして大きなメリットがある一方で、ＳＮＳによる「いじめ」や「誹謗中傷」等に発展する危険性を秘めており、正しい知識と理解が求められています。また、地域内のつながりの希薄化、高齢者や若者の社会的孤立、ＬＧＢＴＱ等性的少数者への理解など、多くの今日的課題があります。

長寿化による「人生100年時代」の到来は、人々のライフスタイルを多様なものとし、柔軟な生き方を選択する上からも社会教育が果たす役割はますます重要となります。特に、情報技術の急速な発達をはじめ、社会の大きな変化に対応できる力の習得が重要であり、新たな技術を活用した学習を進めながら、情報活用力や課題解決力を育む学びへと結びつける必要があります。また、読解力や創造力の育成、自己肯定感の高まりなど、すこやかな成長に効果がある、子どもの読書活動をさらに推進する必要があります。

本市には、先人たちが築き上げてきた歴史や文化とともに、希少な動植物やそれらを育む豊かな自然があり、このかけがえのない財産を後世に受け継いでいかなければなりません。このため、郷土の歴史や文化、生物の多様性を知り、守ることの大切さを伝える施策が必要です。また、アイヌ民族の独創的で豊かな伝統文化を継承・発展させるとともに、身近な文化芸術活動をさらに推進し、まちの活性化につなげる必要があります。

スポーツへの関心をより一層高めた「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」を契機に、スポーツを通じた健康増進や競技スポーツへの参画を奨励し、地域社会の活性化につなげることが大切です。また、障がい者スポーツを推進し、障がい者と健常者がスポーツを通じて交流することによる共生社会の実現が重要です。さらに、高齢者のフレイル（虚弱）問題の解消等による、健康寿命を延ばす施策も必要です。

今、コロナ後の社会を見すえた新たな学びや活動等の取組が求められる中、社会教育の現状と課題を踏まえ、行政として取り組むべきことを明確化し、本市の社会教育を計画的・総合的に推進するため「釧路市社会教育推進計画」を策定しました。

２．計画の性格と役割

この計画は、釧路市の社会教育行政推進の基本的指針となるものであり、社会教育の現状と課題を把握・分析し、今後の展望等を見すえて策定したものです。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１条の３第１項の規定に基づき、まちの未来を担う人づくりのための教育をめざし、首長が定めた教育に関する大綱「釧路市教育大綱」を具現化するための行動計画です。

さらに、「釧路市まちづくり基本構想」における分野計画に位置づけるとともに、子どもたちの豊かな学びと健やかな成長を願い策定した「釧路市教育推進基本計画」との相互連携を図り、両輪となって本市の教育を推進します。

この計画は、釧路市民を代表し、釧路市社会教育委員15名が中心となり策定にあたったものであり、釧路市民意見提出手続き（パブリックコメント）により、広く意見を募集するなど、多くの市民の声を反映させるようにしました。

３．計画の構成と期間

この計画は、社会情勢の急速な変化の中においても、釧路市の社会教育を適切に推進するため、社会教育の現状と課題を踏まえ、４つの基本方針を柱に、施策の基本的方策と施策の方向及び具体的な施策で構成されています。

また、この計画の対象期間は 2023（令和５）年度から 2027（令和９）年度までの５か年とします。

４．副題「人づくり・地域づくりに向けて」

多様な分野で力を発揮できる人づくりとともに、人々がもつ個性や能力、学び等を通じて培った成果がいかんなく発揮できる地域社会を創造する決意を表しています。

〔２〕釧路市子ども読書活動推進計画

１．子どもの読書活動の意義

子どもの読書活動は言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするものであり、生きる力を育み、人生をより豊かにする上で欠くことのできない活動です。

また、読書活動により、子どもの自己の形成や価値観の形成が促されるとともに、豊かな人間性やコミュニケーション能力が高まることにつながります。

そのため、家庭、保育所等子育て関係施設、学校、図書館等、地域のさまざまな場所で、子どもたちはたくさんの本と出会うことが大切であり、読書に親しむ機会の提供や地域の読書環境を整備していくことが必要です。

また、子どもの読書活動を推進するためには、子どもと本を結ぶ「人」の存在が重要であり、子どもの読書活動を推進している図書館や学校、子育て関係施設等で働く人たちや読み聞かせを行うボランティアなど、それぞれが充実した活動を継続して展開できる体制の整備が必要です。

さらには、図書館と学校の連携をはじめ、子どもと読書に関わるさまざまな機関や人々が連携・協力し、地域全体で子どもの読書活動を推進していく必要があります。

２．計画策定の趣旨

子どもの読書や活字離れが指摘される中、国では社会全体で子どもの読書活動を推進するため、平成 13 年 12 月に子どもの読書活動の推進に関し基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務等を明らかにした「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定しました。

本市においては、子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき策定された国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」、北海道の「北海道子どもの読書活動推進計画」及び本市における子どもたちの読書活動の現状などを踏まえ、平成 28 年３月に「釧路市子ども読書活動推進計画」を策定し、本市の子どもたちの読書活動を推進してきました。

その後、指針となる国及び北海道の計画内容をより反映させた計画内容とするため、当初の計画期間満了年度である令和２年度から令和４年度まで２年間の計画期間延長を行いました。

新型コロナウイルス感染症の拡大による各種制限や新しい生活様式の確立等、大きく変化し続ける社会において、子どもの読書活動をさらに推進するためには、地域社会全体で総合的・計画的に取り組む必要があることから、引き続き本市における子どもの読書活動の推進を図るため、これまでの取組の成果と課題や国及び北海道の計画改定、関連計画にあたる「釧路市教育推進基本計画」及び「釧路市社会教育推進計画」との整合性等を考慮する形で本計画を策定しました。

３．計画の期間

この計画の期間は、2023（令和５）年度から2027（令和９）年度までの５年間とし、社会情勢が著しく変化した場合など、必要に応じて見直しを行います。

４．計画の対象

この計画は、すべての子どもとその家庭、地域、学校等の市民及び団体を対象とし、この計画における「子ども」は、０歳（乳幼児期）から 18 歳（高校生期）までとするとともに、それぞれを発達段階に応じた４期に分け、各期の特徴に応じた施策を推進します。

各　期	特徴（目指す姿）
乳幼児期（０～６歳）	イメージや言葉を豊かにしながら絵本や物語の世界を楽しむ
小学生期（７～１２歳）	読み聞かせ等を通じて、色々な本に親しみ、自分の考えを広げる
中学生期（１３～１５歳）	自分に合った本を選択し、読書を通じて様々な考えや生き方を学ぶ
高校生期（１６～１８歳）	目的に応じた本や資料を選ぶことができ、幅広く多様な読書ができる

５．計画の構成

この計画では３つの基本目標を設定し、それぞれの現状と課題、推進すべき方向、具体的な取り組みを示すことで、地域社会全体で子どもの読書活動推進に取り組んでいきます。

第２章　社会教育事業

〔1〕社 会 教 育

１．くしろ市民大学

(1) 目　　的

市民が学習成果を釧路のまちづくりへ活かすことを意識しながら幅広い教養を身につけることを目的に開催している。

(2) 沿　　革

昭和51年、北海道教育大学釧路校を主会場に「釧路市民大学」として開講した。昭和63年、釧路公立大学の開設に伴い同校も会場に加わる。平成８年より「くしろ市民大学」と名称を改め、主に市内４高等教育機関から講師の協力を得た講座を展開している。平成13年からは講師陣に、民間有識者の割合を高めている。

平成14年からは、受講者の希望で従前からの必修科目を撤廃した。現在は全12講座からの選択制をとっている。

(3) 運　　営

事務局は一般財団法人釧路市民文化振興財団

２．市民学園講座

幅広いジャンルと年齢層を対象に、学習機会の提供、学習者の仲間づくり、学習活動の支援等を行っている。

近年は、年代別課題、地元釧路の魅力再発見等をテーマに、託児付き講座も開催しているほか、Wi-Fi設備を活用したオンライン配信も実施している。

３．音別町地区社会教育講座

生活技術の習得と学習活動の振興を図り、豊かな精神生活の創造を促進することを目的として開設している。講座内容は学習ニーズに合わせて実施している。

４．音別町地区高齢者学級「音老大学」

健康で明るく生きがいのある老後を送るため、学習活動を通じ時代に適応する研修をすすめるとともに、高齢者相互の交流と学習機会の提供を目的として実施している。

５．図書館学習機会

生涯学習のための学習環境、読書環境を整えるため、充実した資料の収集、保存を図り、資料及び情報の提供、読書普及活動、資料展、講座など図書館活動を通じた学習機会を提供している。

６．博物館学習機会

釧路地域の自然の多様性、それに育まれた歴史や文化への理解を深める機会を提供するため、常設展示のほか、広く市民や釧路来訪者を対象に、企画展、サテライト展示（館外での展示）、自然観察会、講演会、体験講座などの教育普及事業を多く開催しているほか、刊行物やインターネットなどを通じ積極的な発信を行っている。

その基盤として、博物館単独だけでなく市民、他の社会教育施設、大学などの研究機関との連携・協働のもとに、資料の収集整理・調査研究活動を推し進めている。

（詳細別項参照）。

７．阿寒町公民館学習機会

生涯学習のため様々な講座を開催し、また、地域住民の要望にあった学習機会を提供している。

８．阿寒地区高齢者学級（シルバー大学）

生涯学習推進のため、高齢者に対して学習の場を提供し、健康で明るく生きがいのある生活に役立つよう、時代に対応した知識を身につけ、相互交流を図ることを目的に開催している。

９．2026くしろ20歳のつどい

(1) 目　　的

地元釧路の良さを再認識してもらうとともに、社会に対する責任と義務を認識し、その自覚を高める機会として、20歳となる若者（平成17年４月２日から平成18年４月１日までに生まれた人）の門出を祝う式典を開催する。

(2) 式　　典

令和８年１月11日　14時開式

(3) 会　　場

ｺｰﾁｬﾝﾌｫｰ釧路文化ﾎｰﾙ（釧路市民文化会館）

対象者（人）	参加者（人）	参加率（%）
1,364	964	70.7






2026くしろ20歳のつどい

〔２〕青少年教育

１．青少年交流事業

当市の特性である水産・自然あるいは人的交流などを通し、鹿児島県出水市をはじめ、道外の青少年との情報交換、交流を推進している。

２．青少年健全育成事業

⑴ 釧路市健全育成連絡会議

市内小・中・義務教育学校区に組織化されている健全育成団体に対し、事業の推進を援助することと併せ、地域に浸透した市民運動としての健全育成活動が積極的に実践できるように関係機関・団体等と連携を密にしながら推進している。

⑵ 阿寒町青少年健全育成連絡協議会

阿寒地区の各地域における青少年育成部の代表者及び関係団体で構成され、各事業（社会を明るくする運動やスポーツ少年団交流事業の共催等）を通じて地域における青少年の健全育成を推進している。

⑶ 音別町青少年健全育成推進協議会

音別地区の青少年関係機関・団体、学校等の代表者で構成し、青少年育成に関する広報活動（夏・冬休み生活のきまり配布、機関誌発行）・事業（自然ふれあい事業、イベント時巡視活動）等を実施し、関係機関及び団体との連携を図る。

⑷ 地域子ども会

「釧路市子ども会育成連合会」への加入促進を図りながら、団体相互の連携強化を推進。子ども会わくわく体験学習事業の開催や、育成指導者研修事業への援助を行っている。

⑸ 「少年の主張」釧路市大会

青少年が日常生活における心からの思いや考え、感銘を受けたことを発表することで、社会の一員としての自覚と行動を促す契機とするとともに、市民が健全育成に対する理解と関心を深める一助とすることを目的に実施している。

市内中学校・義務教育学校後期課程から各１名の推薦を得て発表会を開催し、その中から代表者１名を選出の上、地区大会に推薦している。

⑹ 青少年育成センター

ア．青少年の補導活動

大型商業施設内や施設周辺の遊技施設等を中心に市内各地域にある遊技施設のほか、各学校周辺、商店街、公園などでの巡視活動を実施している。

・通常補導（午後、夜間）、特別補導（休日、祭典、深夜）、地区補導（特別補導員による夜間、休日、祭典）　など

イ．有害環境浄化活動

北海道青少年健全育成条例に基づき、コンビニエンスストア・レンタルビデオ店等での有害図書類の販売方法等調査、深夜の興行場（カラオケボックス・ゲームセンター）等に対する調査のほか、携帯電話販売事業者等へのフィルタリング推奨等の調査を実施し、協力要請や指導など、青少年の有害環境浄化に向けた活動を行っている。

ウ．少年相談

学校・家庭生活の問題で悩みを抱える青少年や保護者などから相談があった場合、学校指導課の指導主事等が助言、支援等を行っている。

エ．釧路市ファミリーサポート事業

不登校やいじめ、非行などの様々な不安や悩み問題などの改善に向け、直接家庭を訪問するなどの方法により、家族ぐるみの支援を行っている。

オ．「こども110番の家」・「こども110番の店」

子どもが不審者などから逃れるため、助けを求め駆け込んできた場合に、市内の全家庭が「こども110番の家」として、また、市内の各店舗や事業所などが「こども110番の店」として一時的な緊急避難場所となり、警察へ110番通報するなど、子どもの安全を確保していただく取組を推進している。

カ．「育成センターだより」の発行

各月の補導活動や不審者情報、補導活動に関連する情報などを掲載した機関誌を毎月作成し、関係機関等に配布しながら、非行防止等に向けた周知啓発を行っている。

⑺ ネットモラル教育の推進

児童生徒はもとより、教員、保護者、地域住民のネットモラルに関する資質の向上に向けた取組など、ネットモラル教育の推進を図る。

⑻ キャリア教育の推進

ア．「チャイルド１DAY・仕事一日体験」

児童生徒が釧路の商店街などで働く人と直に接することにより、郷土への理解を深め、学校生活や将来の職業選択に役立つ貴重な経験を得ることを目的として実施する。

イ．一般社団法人釧路青年会議所との連携協定

平成 30 年 12 月に、キャリア教育の推進等について連携協定を締結し、ふるさと釧路へ次代を担う青少年の育成の充実等に取組んでいる。

主な取組として、全中学校１年生を対象とした「ふるさとキャリアシンポジウム」や全中学校２年生を対象とした「ジョブカフェ釧路」、主に３年生が参加する「子どもミーティング」を実施し、「ふるさと釧路」の大切さを意識するものとなるよう、ふるさと教育とも連動したふるさとキャリア教育を推進している。

街頭補導状況（令和7年度）　　（　）は女子内数（単位：人）

区分 / 補導及び注意・指導対象行為		合計	内訳（学識別）					内訳（場所別）							
			小学生	中学生	高校生	大学生	有職	ゲームセンター	カラオケボックス	大型商業施設	繁華街	公園	路上等	河川・港	神社・寺等
補導対象行為	飲酒														
	喫煙														
	ゲーム専門店立入	2		2				2							
	不健全娯楽（カラオケ）														
	自転車運転ルール	2			2								2		
		(1)			(1)								(1)		
	深夜徘徊（午後11時以降）														
	計	4		2	2			2					2		
		(1)			(1)								(1)		
注意・指導対象行為	ゲームコーナー立入	249	41	208				1		248					
		(31)	(5)	(26)						(31)					
	外出時間	9	9									3	6		
	魚釣り（禁止区域）														
	マナー違反・その他														
	計	258	50	208				1		248		3	6		
		(31)	(5)	(26)						(31)					
合計		262	50	210	2			3		248		3	8		
		(32)	(5)	(26)	(1)					(31)			(1)		

教育講演会実施状況

年度	テーマ	講師
R2	「棋士として、師として ～弟子・藤井聡太の学び方～」	将棋棋士　杉本　昌隆
R3	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
R4	「脳を知り、脳を育み、脳を鍛える」	東北大学加齢医学研究所　所長　川島　隆太
R4	「教育のイーハトーヴを求めて ～ふるさとキャリア教育が奏でる“学びの交響学”～」 ※特別講演会として実施	秋田県大館市教育委員会　教育長　高橋　善之
R5	『何故令和の教育改革なのか、GIGAスクール構想なのか？ ～ネクストGIGAを見据え、教育DXの先進事例から学ぶ～』	文部科学省初等中等教育局 デジタル化プロジェクトチームリーダー 武藤　久慶
R6	「夢を叶える準備」	野球解説者・元プロ野球選手　鶴岡　慎也
R7	「ふるさとキャリア教育の推進 ～地域と未来を拓く人づくり～」	文部科学省初等中等教育局教育課程課　教科調査官 長田　徹

第３章　文 化 芸 術

〔１〕釧路市文化芸術振興計画

１．計画の目的と策定の趣旨

釧路市は釧路湿原と阿寒摩周の２つの国立公園をはじめとする、海洋、森林、湖沼、河川等多彩で豊かな自然環境に恵まれ、これらの恩恵を受けながら、はるか昔から豊かな文化が育まれ、農業、水産業、鉱工業、観光業など、さまざまな産業の発達とともに新たな文化が生まれてきました。

また、アイヌ文化に加え、日々の暮らしの中から生まれた本市の伝統的な文化芸術は、豊かで活力ある社会の形成に重要な役割を担ってきました。

文化芸術は、人間性、創造性を培う糧となるものであり、文化芸術を身近に感じられることにより、この地に暮らす誰もが心豊かに充実した生活を送ることができます。

このことを踏まえ、2014 年４月、本市の文化芸術の振興を総合的・計画的に推進するための基本となる条例「釧路市文化芸術振興基本条例」を制定するとともに、条例の趣旨に基づいた「釧路市文化芸術振興計画」を策定し、文化芸術に関する具体的な施策の推進に努めてきました。

新型コロナウイルス感染症の拡大がもたらした社会の急激な変化は、日々の暮らしへの不安を増大させるとともに、地域社会の活力低下を招くなど、憂慮すべき課題を山積させました。しかし、その時々の困難な状況を克服するためには、生活への潤いと豊かさを創造し、地域社会全体を活性化させる力をもつ文化芸術の役割は極めて重要です。

この計画は、市民一人一人が郷土に誇りと愛着をもちながら、豊かな社会生活を送ることができるよう、文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に策定しました。

２．計画の位置づけ

この計画は、まちのみらいを担う人づくりのための教育を目指した「釧路市教育大綱」を具現化した行動計画であり、本市の社会教育行政推進の基本指針である「釧路市社会教育推進計画」と深い関連性をもたせています。

また、この計画は、「釧路市文化芸術振興基本条例」に則り、文化芸術の振興に関する施策を総合的、計画的に示すものとして位置付けています。

さらに、新たなまちづくりの指針となる「釧路市まちづくり基本構想」及び子どもたちの豊かな学びと健やかな成長を願い策定した「釧路市教育推進基本計画」との有機的な連動を図っています。

３．計画の構成と期間

この計画は、釧路市文化芸術振興基本条例第５条第２項各号に掲げる９つの項目を柱に構成し、それぞれの現状と課題を踏まえ、施策の方向、具体的な施策、主な事業等を示しています。

文化芸術の振興にあたっては、今日的意義や社会情勢の変化等を踏まえ、重点的・戦略的に取り組むとともに、「釧路市社会教育推進計画」及び「釧路市教育推進基本計画」との関連性が深いため、これらの計画期間を考慮し、この計画の対象期間を 2023（令和５）年度から 2027（令和９）年度までの５か年とします。

〔２〕文 化 芸 術

１．鑑賞・参加の環境づくり

(1) 釧路市立美術館事業

平成４年11月に市民の生涯学習活動の拠点となる釧路市生涯学習センターがオープンした。その３階に高水準の美術展示機能をもつアートギャラリーが設置された。平成12年度より、「釧路市立美術館」に生まれ変わり、より一層の充実を目指す。

ア．施設概要　床面積　829.3 ㎡

（ギャラリーA　517.5㎡、ギャラリーB　143.8㎡、収蔵庫他168.0㎡）

イ．所蔵作品　362 点

ウ．入館者の推移

年　　度	R5	R6	R7
入館者数	14,751人	19,799人	22,202人

エ．貸館状況

年度	内　　容	入館者数
H15	アボリジニ現代美術展 「精霊たちのふるさと」	2,033人
H16	知床・窪田正克写真展	1,584人
H17	三輪晃久写真展	1,436人
H19	第90回釧美展	1,419人
H29	ワンロード 現代アボリジニ・アートの世界	1,940人
	第100回釧美展	1,962人
R2	本の宝石 －武井武雄の刊本と童画	325人
R3	釧新郷土芸術賞50回記念 作品展	911人
	創設100周年記念釧美展 （第103回）	1,394人

令和８年度展覧会

会　　期	展　　覧　　会
令和 8年 4月25日(土) ～ 令和 8年 6月21日(日)	つちやあゆみ 木と音の美術館
令和 8年 7月 4日(土) ～ 令和 8年 8月23日(日)	草乃しずか 日本刺繍展 －源氏物語を花で装う－
令和 8年 9月 5日(土) ～ 令和8年10月18日(日)	生誕90周年 木路毛五郎展
令和8年10月31日(土) ～ 令和8年12月 6日(日)	コレクション展 コレクションと文化財写真
令和8年11月24日(火) ～ 令和8年11月29日(日)	第100回道展 第70回釧路移動展
令和8年12月19日(土) ～ 令和9年1月31日(日)	コレクション展 描かれた動物たち
令和9年 2月20日(土) ～ 令和9年 3月28日(日)	コレクション展 現実と幻想の道東
令和9年 2月20日(土) ～ 令和9年 2月28日(日)	第74回釧路郷土作家展 （美術部門）
令和9年 3月13日(土) ～ 令和9年 3月21日(日)	第74回釧路郷土作家展 （書・写真部門）

(2) 阿寒町・音別町地区芸術鑑賞事業

日頃芸術を鑑賞する機会の少ない阿寒・音別地区の児童・生徒を対象に、公民館や学校体育館などの身近な会場で機会を提供する。

(3) アートスクール事業

「次代を担う子どもたちに美術鑑賞の機会を提供する」ため、学校の美術館鑑賞をサポートする「アートスクール事業」を釧路市立美術館で開催している。

この事業では、学芸員による解説・制作体験などの様々なプログラムを提供している。また、市内における児童生徒の移動には、当館に配置されている生涯学習センターバス「まなぼっと号」を活用している。

(4) 釧路市立美術館　アートギャラリー協力会の活動

釧路市立美術館で開催する展覧会や関連事業などに協力し、釧路市の美術文化の発展に寄与することを目的に活動している。主な事業として釧路市立美術館及び北海道立釧路芸術館で開催する展覧会の観賞、美術館の業務に関するボランティア活動や会報の発行等を行っている。

・年会費　個人会費2,400円（4,800円）、大学生以下（600円）、法人会費12,000円（18,000円）

・事務局体制　総務担当12名、広報担当４名、研修担当５名、事業担当15名

・加入状況　個人会員273（93）人

法人会員50（20）件

※（ ）内は北海道立釧路芸術館共通会員

(5) 釧路市民文化展

北海道を中心に広く国内・外の優秀な芸術作品を市民に公開するため、実行委員会を組織して美術展覧会を開催している。

開　催　状　況

年度	内　　容
R6	コレクションが出会う道東
R7	生誕100周年 三輪晃久写真展地球に生きる
R8	つちやあゆみ 木と音の美術館

(6) 釧路郷土作家展

昭和28年度より公民館事業として、美術・書道・写真の三部門を中心に実施しており、文化活動の底辺拡大と向上に成果を上げている。平成４年度より釧路市民文化会館を会場に釧路市民展を開催している。平成12年度からは釧路市民展選抜展を釧路郷土作家展と名称を変え、さらに平成15年度から両展を統合し内容の充実を図って開催している。

釧路郷土作家展出品状況（令和７年度）

区分	美術	書道	写真	計
出品数	45点	21点	39点	105点

(7) 道展移動展

市民に各種観賞の機会を提供するものとして、道展釧路移動展を実行委員会組織で実施している。

(8) 優秀美術作品買い上げ

昭和42年度から、地元在住美術作家の制作奨励と美術振興及び市所蔵美術品の充実を目的に実施している買い上げ制度である。これまで29人の作品を購入している。

釧路市買い上げ美術作品一覧

買上げ年度	種別	作品名	制作者氏名
昭和42	日本画10号	岳	西塚　栄
43	木彫等身大	凍原	米坂ヒデノリ
44	油彩20号	風景	小林　一雄
45	油彩100号	幣舞橋風景	小向　昭一
46	水彩40号	かにのある風景	佐竹泰次郎
46	油彩100号	冬の釧路湿原	田村　昭夫
46	日本画80号	スペインートレドにて	羽生　輝
47	水彩30号P	テレビ塔の見える丘	小山田　武
47	油彩10号	昆布森風景	菊地　隆三
47	水彩40号P	窓際の花	高島　繁次
48	水彩40号	丘の家	三国　久四
48	水彩40号	白い花	山本　重一
49	油彩100号	流氷のまち	高橋　康夫
49	油彩100号	烈聖牛	柳　悟
50	油彩100号	人たち	川瀬　敏夫
51	油彩100号	室内のある静物	扇谷　章二
52	油彩100号	トド原風景	我妻　重雄
53	木彫等身大	木霊を聞く	中江　紀洋
63	彫塑H72	まほろば	斉藤　一明
平成元	油彩20号	赤い手袋	広島　克典
2	油彩60号	朝	古川　忠次
3	油彩S100号	花や通り	吾孫子雄子
4	アルミ鋳造	風のかたち92	加藤　直樹
5	油彩S100号	東方の街(1)	高橋　弘道
6	油彩P100号	初冬の湿原	木村　利男
7	彫刻	Ｗｈｉｒｌ　Ｗｉｎｄ	二上　正司
8	油彩P150号	星降る街	板谷　諭使
9	彫刻	積み木の家	村岡　克己
10	アクリルF150号	時との対峙	新井　義史

２．創作発表の場の拡大と援助

(1) 釧路市文化振興条例による助成

市民文化の振興と社会教育の推進を目的に、昭和50年４月に釧路市文化振興条例が施行され、以来この目的に該当する団体及び個人に対し助成・奨励を行っている。

ア．本市の文化及び社会教育の振興に著しく寄与すると認められる発表会、講演会、展覧会及び展示会を開催するとき、又は出版物を刊行するとき。

イ．市内で全道的な規模以上の発表会等を開催するとき。

ウ．全市的な規模で総合的な発表会等を開催するとき。

エ．全市的な規模で児童生徒の発表会等を開催するとき。

オ．児童・生徒が予選等を経て、全道的な規模以上の発表会等に出場するとき。

カ．その他教育委員会が文化及び社会教育の振興のため特に意義があると認めた発表会、研修会、会議等を開催し、又は出場若しくは参加するとき。

(ｱ) 助成対象

ａ　国又は北海道(北海道教育委員会)、吹奏楽連盟、高等学校文化連盟のいずれかが主催又は後援する全道規模以上の発表会等に、当該発表会等の予選等を経て、発表会等の開催要綱に基づく出場者として出場する小中学生、高校生。

ｂ　その他教育長が認めた団体等が主催又は後援する全道規模以上の発表会等に、当該発表会等の予選等を経て、発表会等の開催要綱に基づく出場者として出場する小中学生、高校生。全道規模の発表会等については、予選等の出場部門において最上位の成績を残した者。

※　全道規模の発表会等の予選については、音源審査や動画審査等を除く。

※　同一の個人に対する助成は、年２回を限度とする。

※　引率者は１名を限度とする。

(ｲ) 助成額

区分		１人分金額（円）	引率者
小学生	全道	10,000	同額
	全国	23,000	
中学生	全道	15,000	
	全国	38,000	
高校生	全道	10,000	
	全国	25,000	

※　全国発表会等が道内において開催される場合は、当該助成額に２分の１を乗じて得た額とする。
1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。

釧路市文化振興条例助成金等交付状況

区分＼年度	R5		R6		R7	
運　営　補　助	6件	1,538千円	6件	1,538千円	6件	1,538千円
開 催 等 助 成	13件	15,056千円	14件	15,326千円	17件	18,226千円
派　遣　助　成	67件	8,359千円	50件	6,781千円	67件	9,457千円
出版・作成助成	1件	200千円	1件	200千円	1件	200千円
計	87件	25,153千円	71件	23,845千円	91件	29,421千円

(2) 釧路市文化振興基金

釧路市文化振興基金は、昭和55年７月に市民文化及び社会教育の育成向上並びに社会教育施設の整備充実を図る資金に充てる目的で創設され、基金残高は令和８年５月末現在6,302千円である。

(3) 釧路市カケハシ青少年育成基金

釧路市カケハシ青少年育成基金は、平成18年４月に青少年の文化及びスポーツの育成向上を図る資金に充てる目的で創設され、令和５年３月31日終了した。

３．姉妹・友好都市文化交流

国内の姉妹都市である湯沢市及び鳥取市と昭和49年度から文化交流を行っている。平成３年度からは、友好都市との文化交流も始まり、鹿児島県出水市との文化交流を行っている。平成18年９月２日には、徳島県那賀町との友好都市調印式が行われ、釧路大漁どんぱく会場で阿波踊りが披露された。また、中学生の相互訪問を行い、交流を図っている。

友好都市文化交流事業

開催年月	内　　容	開催地
平成23年９月	都留市「増田誠展」	釧路市
23年11月	出水市文化交流芸能交歓会	出水市
25年９月	出水市文化交流舞踊と太鼓の交歓大会	釧路市
27年11月	出水市文化交流芸能交歓会	出水市
29年９月	出水市文化の交歓大会	釧路市
令和２年１月	出水市文化交流芸能交歓会	出水市
４年２月	出水市文化の交歓大会	釧路市
６年１月	出水市文化の交歓大会	釧路市
８年１月	出水市文化交流芸能交歓会	出水市

４．伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業の推進

伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業は、アイヌ文化を育んできた自然を再生、空間を整備し、これらを有効的に活用することで、アイヌの人々の文化の保存、継承、発展と一般の人々へアイヌの伝統や文化に関する知識の普及や啓発を図ることを目的にしている。

釧路地域の伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業は、春採湖周辺地区を自然素材育成及び情報発信の拠点、阿寒湖温泉地区を儀式・儀礼の拠点として、平成30年度からイオル再生事業を開始し、令和２年度からアイヌ政策推進交付金事業へ移行している。

５．高齢者コミュニティ活性化による文化知見の伝承・共有化事業

アイヌ民族高齢者の持つ文化知見の伝承等のため、アイヌ民族高齢者の聞取り調査や伝承会の開催を実施している。また、山本多助氏記述のノートや資料の翻刻・デジタル化作業を実施している。

６．団体の育成と連携

(1) 釧路市芸術祭

文化の日を中心に、各部門の芸術文化活動を集約して公演を行い、芸術文化の創造と発展をめざすとともに、それら優れた作品の公開により芸術鑑賞の機会をつくり、地方文化の振興を図るために実施している。

令和７年度の状況　・参加団体　34事業
・協賛事業　2,301名
・観客人数　8,574名

(2) 阿寒町総合芸術祭・音別町総合文化祭

文化の日を中心に、加盟団体・児童生徒及び個人の作品展示、芸能発表会を行い郷土の生活に根ざした芸術文化活動の成果を発表する機会及び、地域の文化振興を図るために実行委員会を組織して実施している。

(3) アートギャラリー協力会（別載Ｐ57）

(4) 釧路市文化賞・文化奨励賞

昭和30年度から、一般市民及び団体を対象に、芸術（音楽、文学、美術、芸能）、及び科学（自然科学、人文科学）の部門において、その発達に著しく貢献した者に釧路市文化賞及び釧路市文化奨励賞を贈り顕彰している。

年度	文化賞		文化奨励賞	
	個人	団体	個人	団体
昭和30年度	佐藤直太郎（人文科学）	釧路考古学研究会（人文科学） 釧路管弦楽団（芸術）	—	—
31	中江　キヌ（人文科学）	釧路青空画会（芸術）	—	—
32	瀬戸山雪子（芸術）	—	—	—
33	—	—	—	—
34	片岡　新助（人文科学）	—	—	釧路琴古会（芸術） えぞにう社（芸術）
35	—	—	—	釧路華道協会（芸術） 春採児童育成協議会（人文科学）
36	—	—	岩松　健夫（自然科学）	北海文学同人会（芸術）
37	中川　久平（人文科学）	—	—	—
38	—	—	—	—
39	上田　五郎（社会体育）	—	—	—
40	—	—	—	—
41	久本　春雄（芸術）	—	—	—
42	—	—	—	—
43	—	—	保科　たみ（芸術） 橋本　道博（芸術）	—
44	—	釧路華道協会（芸術）	室井　藤作（芸術）	—
45	丹葉　節郎（人文科学）	—	—	—
46	三谷　キワ（芸術）	—	—	—
47	—	—	川口栄三郎（社会体育） 野尻　瀞（芸術）	釧路音楽協会（芸術）
48	山口　邦一（芸術）	—	久保　吉次（芸術）	釧路歌人会（芸術）
49	岩清水　尚（人文科学）	—	平山清八郎（芸術）	釧路宝生会（芸術）
50	岡崎　由夫（自然科学）	—	中村　芳子（芸術） 望月　節雄（社会体育）	—
51	田中　瑞穂（自然科学）	—	佐藤　昌之（芸術）	釧路民謡協会（芸術）
52	—	—	—	釧路混声合唱団（芸術） 北海道くしろ蝦夷太鼓保存会（芸術）
53	—	—	山代　昭三（自然科学） 山本　久（社会体育）	—
54	—	—	荒谷　宏（芸術） 髙橋　三郎（芸術）	—
55	桜井　基博（自然科学）	—	岡崎　正之（芸術）	—
56	—	—	林田　恒夫（芸術）	釧路書道連盟（芸術）
57	—	—	—	釧路三曲協会（芸術）
58	島森　忠義（芸術）	—	川村　淳一（芸術）	リムセ保存会（芸術）
59	小原富久子（芸術）	—	布施　正（人文科学）	—
60	荒澤勝太郎（芸術） 中村　芳子（芸術）	—	—	くしろ日本舞踊協会（芸術）
61	保科　たみ（芸術）	—	—	釧路鳥取かさ踊り保存会（芸術）
62	—	北海道くしろ蝦夷太鼓保存会（芸術）	瀧田　謙譲（自然科学）	釧路俳句連盟（芸術）
63	鳥居良四郎（芸術） 毛綱　毅曠（芸術）	—	表　優臣（芸術）	太平洋太鼓保存会（芸術）

平成 元年度	故　髙橋　三郎（芸術）	－	佐藤　恒子（芸術）	㈳日本詩吟学院岳風会釧路支部（芸術）
2	小山田　武（芸術）	－	伊藤　功俊（芸術）	－
3	布施　　正（人文科学）	－	阿部　　将（芸術） 札木　朗里（芸術）	－
4	－	釧路音楽協会（芸術）	－	ノワール美術協会（芸術）
5	－	北海文学同人会（芸術）	－	釧路吹奏楽団　（芸術）
6	樋口　文子（芸術）	－	小畑　惠一（芸術） 羽生　　輝（芸術）	－
7	山本　　久（社会体育）	－	木戸　公代（芸術）	－
8	－	釧路歌人会（芸術）	保科　正子（芸術）	－
9	荒谷　　宏（芸術）	－	－	－
10	野尻　　瀞（芸術）	－	扇谷　章二（芸術）	－
11	－	北海道民謡連盟釧路地区民謡連合会（芸術）	島岡　正彦（芸術）	－
12	佐藤　昌之（芸術）	－	八重清次郎（人文科学） 髙橋　義雄（芸術）	－
13	小畑　惠一（芸術） 羽生　　輝（芸術）	－	曽根　樫次（人文科学）	－
14	瀧田　謙譲（自然科学） 林田　恒夫　（芸術）	－	故　園邉　甲治（芸術）	－
15	－	－	－	－
16	荒川　義男（芸術）	－	國澤　秀一（芸術）	－
17	宮田　哲夫（芸術） 扇谷　章二（芸術）	－	－	－
18	望月　正男（芸術）	－	大西　英一（自然科学）	－
19	鈴木美津江（芸術）	－	－	－
20	床　ヌブリ（芸術）	－	市橋　大明（芸術）	－
21	小川　彰一（芸術）	劇団北芸（芸術）	北畠　立朴（人文科学）	－
22	－	－	中畑　信夫（芸術） 矢作　　裕（自然科学）	－
23	島岡　正彦（芸術）	－	泉　　史夫（芸術）	－
24	大谷　仙治（芸術） 髙橋　義雄（芸術）	－	梅津　尚子（芸術）	－
25	國澤　秀一（芸術）	釧路俳句連盟（芸術）	－	－
26	藤戸　竹喜（芸術） 和島　忠治（芸術）	－	－	－
27	中江　紀洋（芸術）	－	中野　國韻（芸術）	－
28	上林　リツ（芸術） 瀧口　政満（芸術）	－	－	－
29	－	釧路太平洋太鼓保存会（芸術）	－	－
30	－	－	－	－
令和 元年度	－	釧路鳥取かさ踊り保存会（芸術）	二橋　潤一（芸術）	永久保秀二郎日誌を読む会（人文科学）
2	髙橋　佐吉（芸術）	－	片桐　茂貴（芸術）	－
3	吾孫子雄子（芸術） 小林　民子（芸術）	－	－	－
4	北畠　立朴（芸術）	－	石田　憲一（芸術）	釧路市民吹奏楽団（芸術）
5	－	－	－	釧路交響楽団（芸術）
6	佐藤　宥紹（芸術） 故　柏﨑　敏一（芸術）	－	－	－
7	長倉　洋海（芸術）		髙橋　光緒（芸術）	

〔3〕文 化 財

1．釧路市の指定等文化財

釧路市には下段の表のように、令和８年５月１日現在で、道指定有形文化財１件、市指定有形文化財６件、国登録有形文化財３件、国指定重要無形民俗文化財１件、道指定無形民俗文化財１件、市指定無形民俗文化財１件、国指定史跡４件、市指定史跡１件、国指定特別天然記念物２件、国指定天然記念物６件、市指定天然記念物３件、計 27 件の指定等文化財がある。いずれも当地方の歴史や地形、動植物などを知る上で貴重なものであり、大切に保護していかなければならない。

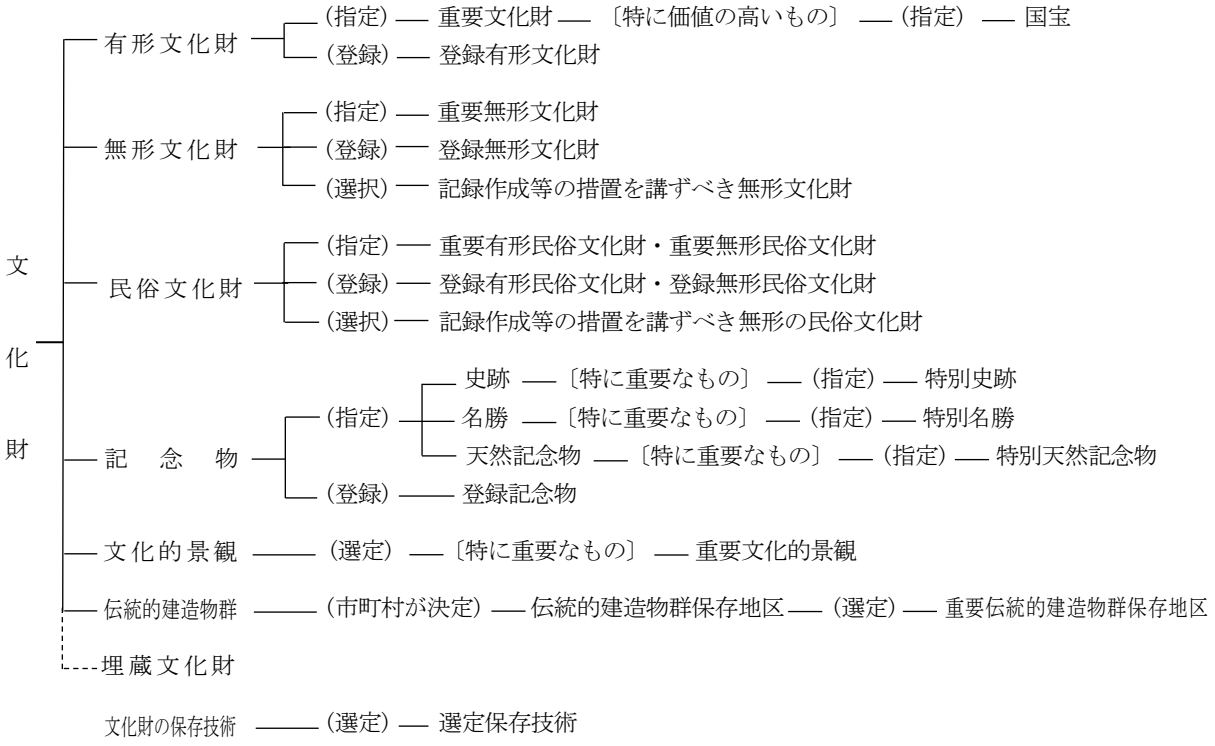
指定等文化財一覧

分類			区分	名称	分類		区分	名称
有形文化財	美術工芸品	彫刻	道指定	円空作観音像	記念物	史跡	国指定	釧路川流域チャシ跡群 (モシリヤチャシ跡・ハルトルチャランケチャシ跡) 春採台地竪穴群 東釧路貝塚 北斗遺跡
		古文書	市指定	佐野家文書				
				市河文書			市指定	三津浦古谷遺跡
		考古資料	市指定	星兜（残欠）		特別天然記念物	国指定	阿寒湖のマリモ タンチョウ※
		歴史資料	市指定	鳥取村本籍簿		天然記念物	国指定	春採湖ヒブナ生息地 釧路湿原(釧路町、標茶町、鶴居村 5,011.5ha) クマゲラ※ オオワシ※ オジロワシ※ エゾシマフクロウ※
				永久保秀二郎日誌				
				釧路新聞				
	建造物		国登録	旧五十嵐家住宅事務所兼主屋				
				本行寺本堂				
				本行寺旧納骨堂				
民俗文化財	重要無形民俗文化財		国指定	アイヌ古式舞踊			市指定	キタサンショウウオ 砂岩脈(サンド・ストーン・ダイク) 谷地坊主(ヤチボウズ)
	無形民俗文化財		道指定	釧路鳥取きりん獅子舞				
			市指定	紀ノ丘神楽				

※都道府県を定めず当市でも観察されるもの

文化財保護の体系

（国の文化財保護法による分類で道・市の文化財指定名称と異なる場合もある。）



(1) 円空作観音像



円空（1632～1695）が北海道に渡って彫ったものといわれ、木質を活かしたなた彫りで高さが台座を含めて43㎝、台座の背面に「くすり乃たけごんげん」とあり、幕吏松田伝十郎により礼文華峠にある洞窟から釧路の厳島神社に安置されたと伝えられている。

・昭和52年３月11日　北海道指定有形文化財
・厳島神社所蔵

(2) 佐野家文書



クスリ（釧路）場所請負人であった米屋佐野家に伝わる江戸時代末期から明治初期にかけての証文・荷送り状・書簡など103点におよぶ文書である。

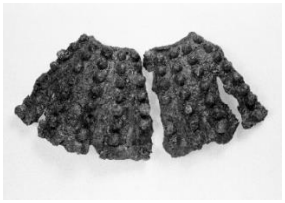
・昭和50年12月12日　釧路市指定有形文化財
・釧路市中央図書館所蔵

(3) 市河文書

信濃の地頭職であった市河家が北海道へ移住したときに携行した文書のうちの１点である。

・昭和51年12月９日　釧路市指定有形文化財
・釧路市中央図書館所蔵

(4) 星兜（残欠）



平安時代末期の星兜の正面と側面の２つの破片で、これと同じ型式のものは日本国内で破片も含めて10数例しか確認されていない。昭和43年緑ケ岡の道路工事中に発見されたもので、和人と釧路の先住民族の交易によりもたらされたものと考えられている。

・昭和50年12月12日　釧路市指定有形文化財
・釧路市立博物館所蔵

(5) 鳥取村本籍簿

・昭和50年12月12日　釧路市指定有形文化財
・釧路市所蔵

(6) 永久保秀二郎日誌



春採コタンの春採尋常小学校の教員であった永久保秀二郎が、明治24年７月から大正13年11月までの33年有余にわたり、毎日欠かさず和紙に毛筆で書いた日誌で、当時の春採コタンの様子を知ることができる唯一の資料である。

・昭和50年12月12日　釧路市指定有形文化財
・釧路市中央図書館所蔵

(7) 釧路新聞



明治35年から昭和17年までの北海道新聞の前身となる釧路新聞（第２次）で、まとまって保存されている歴史的な新聞として全道的に注目され、当時の釧路の市民生活の実状がわかる歴史資料である。マイクロフィルム化をして保存している。

・昭和50年12月12日　釧路市指定有形文化財
・釧路市中央図書館所蔵

(8) 旧五十嵐家住宅事務所兼主屋



昭和25年ごろ、釧路市で工務店を営んでいた五十嵐一雄氏が自宅兼事務所として建築した木造2階建て、建築面積120平方メートルの住宅です。

玄関脇の事務所は防寒対策のため2重窓になっており、西側には機能的な造付の設備を備えた台所が家の中央に配置されています。こうした先駆的な試みが戦後間もない寒冷地対応住宅の好例として評価されました。

・令和２年８月17日　国登録有形文化財
・個人所有

(9) 本行寺本堂



大正14年に建設された木造平屋一部２階建て、一部地階付き、建築面積841平方メートルの浄土真宗寺院の本堂であり、和風を基調とし、外壁は目地を切って石造風となっており、外部の木鼻彫刻など精緻な左官技術を示す良質な近代和風の本堂として評価されました。

・令和７年３月13日　国登録有形文化財

(10) 本行寺旧納骨堂



昭和６年に建設された木造平屋建て、建築面積88平方メートルの建物であり、重厚な外観が本堂とともに境内景観をつくるとして評価されました。

・令和７年３月13日　国登録有形文化財

(11) アイヌ古式舞踊



アイヌ民族に伝承される民俗芸能は、祖先が生活や信仰の中から生み出した独自のもので、アイヌ文化の推移を物語る貴重な文化遺産である。

アイヌ古式舞踊は、北海道一円に居住しているアイヌの人々によって伝承されている芸能で、祭祀の祝宴やさまざまな行事に際して踊られるアイヌ独自の信仰に根ざしている歌舞である。

その内容は、祭祀的性格の強い「剣の舞」などの儀式舞踊、「鶴の舞」「バッタの舞」などの模擬舞踊、さらに「色男の舞」などの即興性を加味した舞踊がある。

・昭和59年１月21日　国指定重要無形民俗文化財
・春採アイヌ古式舞踊釧路リムセ保存会
・阿寒アイヌ民族文化保存会

(12) 釧路鳥取きりん獅子舞



釧路鳥取きりん獅子舞は、明治17、18年に鳥取県から現在の釧路市鳥取地区に移住した鳥取県士族の子孫が、昭和15年に故郷の鳥取県因幡地方に伝わる麒麟獅子舞を鳥取神社に奉納したことが始まりの民俗芸能である。

鳥取県因幡地方の獅子舞の伝承地は同因幡地方と兵庫県但馬地方のほか、北海道の釧路市と利尻町のみで、中でも鳥取きりん獅子舞は、これまで途絶えずに伝承されており、鳥取地区の開拓の歴史的特徴を示すものとして特に重要である。

・令和２年５月19日　北海道指定無形民俗文化財
・釧路鳥取きりん獅子舞保存会

(13) 紀ノ丘神楽



紀ノ丘神楽は、明治42年福島県相馬市八幡から移住した佐藤亥之助が伝承し、戦前までは祭りや祝い事などの折に盛んに舞われていたが、その後、後継者もなくその灯は完全に消えていた。

しかし、入植（開拓）３代目、４代目の若者たちが「我が郷土に再び神楽の灯を」と立ち上がり、昭和50年５月に紀ノ丘神楽保存会が結成された。

昭和51年４月本家の相馬市の磯部に出かけ手ほどきを受けたこの神楽は寄木稲荷神社の神楽をそのまま伝承したもので、「通り」で始まり「幣束舞い」「鈴舞い」「乱舞い」「太刀飲み」の５部構成である。

・昭和61年10月５日　釧路市指定重要無形民俗文化財（旧阿寒町指定）
・紀ノ丘神楽保存会

(14)　釧路川流域チャシ跡群



ア．モシリヤチャシ跡

本チャシと副チャシからなり、本チャシには１条の壕がめぐらされている。その形状から「お供え山」として親しまれ、サルシナイ（芦の生えている沢）チャシ、ポロ（大きい）チャシとも呼ばれてきた。モシリヤチャシの名は、この一帯の地名モシリヤ（川中の島の対岸の丘）による。トミカラアイノ（宝暦年間に実在）により構築され、その一族のタサニセやメンカクシも利用している。

・平成27年３月17日 国指定史跡（再指定・統合）
・釧路市城山１丁目141−１ほか（9,850㎡）



イ．ハルトルチャランケチャシ跡

春採湖の北岸から半島状に突き出た台地の頂部（標高12m）につくられている。ジグザグになった２条の壕（幅３m・深さ１m）がめぐらされ、チャシ内の広さは東西30m・南北15mである。昔、この場所はトーモシリ（湖の中島）と呼ばれる離れ島で、トーコロカムイ（湖の神様）の遊び場であったと伝えられている。チャランケは、話し合いの場という意味であるが、これは後世の人がつけた名称で、本来の呼び名はわかっていない。

・平成27年３月17日 国指定史跡（再指定・統合）
・釧路市鶴ケ岱３丁目35−２ほか（11,742㎡）

(15) 春採台地竪穴群



かつて、春採湖のまわりの台地には217軒の竪穴住居跡が確認されていた。春採台地竪穴群付近では149軒を数えたが、現在指定地内に59軒存在するにとどまり、この内地表面から窪みとして確認できるのは31軒である。これまでの調査によって、擦文時代後半の時期（12・13世紀）の集落跡であることが確認されている。また、湖側の崖面から縄文時代早期の土器も採集されている。市街地に残されている竪穴群としては最も規模が大きい。

・昭和10年12月24日　国指定史跡
・釧路市春湖台35（17,684㎡）

(16) 東釧路貝塚



釧路川左岸、標高14mの台地上に位置する。縄文前期（約6千年前）の貝塚は、東西120m・南北90mの範囲に大小合わせて11のブロックに分かれて分布している。貝層の厚さは1m前後で、アサリが最も多く70%を占め、カキ・オオノガイなどとともに暖海性のアカガイ・シオフキなども含まれている。貝層中には、イルカを放射状に配列したり、トド・家犬を埋葬するなど貝塚が宗教的な面でも利用されたことが明らかとなっている。下層には縄文早期（約7千年前）の小貝塚も存在する。

・昭和45年７月22日　国指定史跡（昭和51年２月24日追加指定）
・釧路市貝塚１丁目11−１ほか（6,092㎡）

(17) 北斗遺跡



市街地の北西10㎞、釧路湿原を望む台地上に存在する。旧石器時代よりアイヌ時代にまたがる重複遺跡で、東西2.5㎞・南北0.5㎞の範囲に広がり、擦文期の方形竪穴232軒、縄文・続縄文期とみられる円形・楕円形竪穴102軒の計334軒が埋まり切らないで窪みとして残されている。これまでの調査で、旧石器時代の焼土や縄文早期の貝塚及び擦文期の繊維遺物などが検出されている。釧路湿原西縁において最も規模が大きく、また旧石器からアイヌ文化期にまたがる、道東を代表する遺跡である。

・昭和52年７月14日　国指定史跡
・釧路市北斗４－１（233,471㎡）

(18) 三津浦古谷遺跡



縄文中期の遺跡で、続縄文と擦文の各期にまたがる集落跡となっており、釧路海岸台地に残された竪穴群としては最も保存状態がよい。

特に、径15メートルを超す八角形の竪穴の存在が注目される。

・昭和50年12月12日　釧路市指定史跡
・釧路市三津浦10（39,000㎡）
・包蔵地名　三津浦３遺跡

(19) 阿寒湖のマリモ



マリモは北半球の高緯度地方に広く分布する淡水緑藻の一種で、長さ３～４㎝の枝分かれした糸状の藻体が多数集合しながら球状の塊に生長する。こうした特異な生態の背景には、光合成植物でありながら長期の暗黒に耐えられるといったマリモ固有の生物特性に加えて、球状集合を浅瀬に留めたまま揺り動かす波動の発生など、特殊な湖沼環境が複雑に関係している。このため、マリモが球状に発達できる湖沼は限られ、直径が30㎝を超える大きな球状集合が群生するのは世界でも阿寒湖だけとなっている。

・昭和27年３月29日　国指定特別天然記念物
・釧路市阿寒町阿寒湖畔

(20) タンチョウ



昔は、本州各地にも飛来していたが、開発と乱獲により、一時絶滅したとまでいわれた。冬期間の給餌などの保護により、現在では北海道東部を中心に1,800羽をこえる数が確認されている。

立った時の高さは約1.4～1.5m、体重は約７～10kg、翼を広げた長さは約2.2～2.4mあり、のど・あご・風切羽の一部を除くと純白。頭部の皮膚が裸出して赤くなっていることから「タンチョウ」（丹頂）の名が付けられた。

・昭和27年３月29日　国指定特別天然記念物
・主な生息地　　北海道

(21) 春採湖ヒブナ生息地



春採湖のヒブナは、全国各地に生息するヒブナに比べ、大型で色彩が鮮やかな緋色をしている。

生息地である春採湖は、多くの動植物が生息し、市民の憩いの場として親しまれている。かつて、水質の悪化が進んだが、平成４年度より環境保全の取組が行われ、現在では水質がかなり改善された。

・昭和12年12月21日　国指定天然記念物
・春採湖全域（36.1ha）

(22) 釧路湿原



国内最大の湿原で、国指定特別天然記念物タンチョウ、市指定天然記念物キタサンショウウオなどをはじめとして、170種をこえる鳥類や希少動物が生息する豊かな自然生態系が維持されている。

昭和10年に「釧路のタンチョウ及びその生息地」として2,700ha（湿原中央部）が天然記念物に指定され、その後、昭和42年に従来の指定地を拡大して5,011.5haが「天然記念物・釧路湿原」として指定され現在に至っている。

なお、昭和62年７月31日に天然記念物指定地を含む26,861haが国内28番目の国立公園として「釧路湿原国立公園」に指定された。国立公園の行政区域としては釧路市、釧路町、標茶町、鶴居村にまたがる。

・昭和42年７月６日　国指定天然記念物
・天然記念物区域－釧路町・標茶町・鶴居村（5,011.5ha）

(23) クマゲラ



全長46㎝、日本最大のキツツキで、主として北海道に生息するほか、青森・秋田・岩手県の一部に分布する。阿寒湖周辺の原生林は、北海道有数のクマゲラ生息地であり、木に大きな穴を掘ることから、アイヌ語名でチプタチカプカムイ（舟を掘る神）と名が付けられた。

・昭和40年５月12日　国指定天然記念物
・主な生息地　北海道

(24) オオワシ



全長♂88㎝、♀102㎝。わが国最大のワシで、シベリア東部で繁殖する。冬鳥として主に北日本に飛来し、道東では特に多く見られる。鮮やかな黄色いくちばしが特徴で、成長は尾羽と肩口が白い。魚が主食であるが、カモなども捕らえる。

・昭和45年１月23日　国指定天然記念物
・主な生息地　北海道

(24) オジロワシ



全長♂83㎝、♀92㎝。北海道で150つがい程が繁殖しているが、多くは冬鳥として北日本に渡ってくる。阿寒湖や釧路湿原に、数箇所の営巣地があり、主食は魚類で、水鳥なども捕食する。冬には、釧路市幣舞橋付近でも見かけることがある。

・昭和45年１月23日　国指定天然記念物
・主な生息地　北海道・新潟県

(25) エゾシマフクロウ



全長70㎝、日本最大のフクロウで、北海道に分布し、東部を中心にわずか165羽ほどが生息する。主食は魚類で、川沿いの森に生息し、大木の洞に営巣。明治期までは北海道各地に生息し、アイヌ語名はコタンコルカムイ（村を守る神）と呼ばれている。

・昭和46年５月19日　国指定天然記念物
・主な生息地　北海道

(27) キタサンショウウオ



体長11㎝ほどで背面がオリーブ色、前・後足とも指が４本という特徴をもっている。

外国ではシベリア・カムチャッカ・サハリン・北千島・朝鮮半島北部に分布するが、国内では釧路湿原と北方領土の国後島などに生息している。

・昭和50年12月12日　釧路市指定天然記念物

・主な生息地　釧路湿原

(28) 砂岩脈(サンド・ストーン・ダイク)



古第三紀層（約3,800万年前）に堆積中の地層に亀裂が生じて、上から砂が入って固まったもので、幅は約４ｍで、陸地から海底に延びている。長さは数㎞、高低差は約300ｍ（陸上で約10ｍ）あり、その規模は砂岩脈として日本一である。

・昭和50年12月12日　釧路市指定天然記念物

・釧路市興津３（興津海岸）

(29) 谷地坊主(ヤチボウズ)



カブスゲなどのスゲ類が湿地に繁茂して株をつくったものである。冬季に土壌が凍って株ごと盛り上がり、春先には株の根元の土壌が雪解け水などでえぐられるといったことが繰り返され、数十年で高さ40～50㎝になる。

・昭和50年12月12日　釧路市指定天然記念物

・釧路市丹頂鶴自然公園内（7,000㎡）

２．史跡の整備

釧路市内の国指定史跡４箇所のうち、釧路湿原に隣接し、道東の遺跡の中で中核的性格をもつ「北斗遺跡」と、道内屈指の貝塚である「東釧路貝塚」の２箇所について整備を行った。

このうち、北斗遺跡については、国の「ふるさと歴史の広場事業」を導入し、平成９年で事業を完了し、竪穴住居５棟の復元、木道の設置、園路の設置、展望施設、展示館、その他の利便施設など整備を行った。



史跡北斗遺跡の竪穴住居跡の窪み

３．文化財保護

(1) タンチョウ越冬分布一斉調査

タンチョウは、江戸時代までは北海道の各地で繁殖していたが、開拓の進行と乱獲などにより明治末には絶滅したといわれた。ところが、大正13年、釧路湿原に10数羽生き残っているのが発見された。昭和25年１月大雪の日に餌を求めて人里に舞い降りてきたタンチョウにトウモロコシを与え、飢えから救ったのが阿寒町の農家の人たちであった。今日、冬期間の給餌により1,800羽を超えるまで回復した。

しかし、数の上では、絶滅の危機を脱しつつあるように思われがちだが、タンチョウが生息する湿原は著しく減少し、過去に行われた河川改修や周辺山林の伐採などの影響で今でも環境が悪化し続けている。数が増えたものの、生息域が狭くなり、農耕地や牧場などの人の生活環境に近接して繁殖するようになってきている。

そこで、このようなタンチョウを今後も守るため繁殖状況や生息数について調べ、また大学等の研究機関との共同研究や関係機関の調査協力を通じて、研究事業を実施している。

(2) 春採湖のヒブナ生息調査

春採湖のヒブナの生息実態を把握するため、釧路市教育委員会では1954(昭和29)年から2010(平成22)年まで地曳網を用いた捕獲調査を行った。2014(平成26)年からは調査手法を地曳網からさで網による捕獲へと変更し、2019(令和元)年からは産卵時期の親魚の目視観察調査を行っている。

2004(平成16)年から約10年捕獲できない時期が続いたが、2014(平成26)年以降は毎年ヒブナの生息が確認されている。

(3) キタサンショウウオ生息調査

キタサンショウウオは、日本国内では釧路湿原、上士幌町と北方領土の国後島に分布し、釧路湿原では釧路市、釧路町、鶴居村、標茶町において生息が確認されている。

1975(昭和50)年に釧路市の生息地が市の天然記念物指定を受け、1988(昭和63)年には生息地指定から種指定へと変更になった。

近年は湿原の乾燥化等による生息環境の悪化で個体数の減少が懸念され、2020年度版環境省レッドリストではタンチョウやイトウと同じ「絶滅危惧ⅠB類」に指定された。

釧路市内においては、東は広里から西は山花にかけて広がる湿原周辺に生息しているものの、その生息実態については未だ不明な点が多く、保護政策を講じる上で課題となっている。

そこで、2016(平成28)年からは市内キタサンショウウオ生息情報のとりまとめと現地調査を行って、生息地情報の蓄積を進めている。生息情報に関しては、庁内関係課間で共有し、保護に向けて連携を行っている。そのほか、博物館では開発事業者等の求めに応じてキタサンショウウオ生息地についての情報提供を行っている。

(4) 阿寒湖のマリモの生育状況調査

阿寒湖周辺の開発が始まった20世紀当初、湖内の４カ所で球状マリモの群生が確認されていた。しかし、森林伐採に起因する河川からの土砂流入によって昭和初期までに２カ所が消滅し、残った群生地でも雑排水の流入に由来する湖水の富栄養化の影響によってマリモの減少が続いた。深刻化する富栄養化への対策として、昭和61年から公共下水道が整備された結果、近年では透明度が上昇するなど水質の改善傾向が見られている。マリモの減少にも歯止めがかかったものと思われたが、マリモ群生地では平成22年頃から水草が急速に分布を拡大し、マリモの生育場所を奪ったり、マリモの回転に要される湖の流れを弱めて生育状況を悪化させるなど、新たな問題が発生している。

マリモの生育状況については、昭和25年以降、およそ10年ごとに大規模な調査が行われており、2019年の調査では、チュウルイ湾のマリモ群生地には約１億個のマリモが生育し、このうち直径が15cm以上の大きなマリモについては約11万個と全体の0.１%程度と推定されている。また、マリモの生育形には従来知られていた球状集合の他に、着生型や浮遊型など多型があること、こうした生活形の多様性には、湖底から湧出する温泉の存在など阿寒湖の環境の多様性が大きく関与していること、環境の特性に応じて異なる生活形のマリモが湖内の15カ所で群生していること、などがこれまでに明らかになっている。さらに、近年の継続的な観測によって、球状マリモは５～７年の周期で波浪による崩壊と再生をくり返している実態も把握されつつある。

これら一連の成果を踏まえ、現存するマリモの適切な保護管理方法について検討が始まっており、また平行して、土砂流入によって消失したマリモ群生地の復元再生を目指した調査研究が進められている。

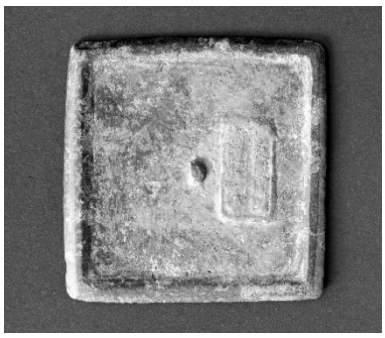
４．埋蔵文化財

埋蔵文化財とは、文化財保護法第92条に規定されている「土地に埋蔵されている文化財」である。



東釧路貝塚出土の縄文土器

具体的には貝塚・住居跡・墓壙などの遺構や土器・石器を含めた考古資料であり、いずれも土地と深い関わりをもっている。これらを包蔵している土地を埋蔵文化財包蔵地といい、本市では現在137カ所の埋蔵文化財包蔵地が確認されている。(別表参照)



材木町５遺跡出土の湖州鏡

この埋蔵文化財包蔵地を一般へ周知し、保護すべく、台帳を整理し「埋蔵文化財保護の手引」として関係機関などへ配布している。

また、教育委員会では、各種土地開発事業（工事）にあたって、工事事業者に、埋蔵文化財の有無とその取扱いについて、事前協議書等の提出を求めているが、これらの手続きについても「埋蔵文化財保護の手引」に記し、先人の貴重な遺産を守っている。

なお、埋蔵文化財の調査の結果、遺跡・遺物などが発見された場合、①現状保存(工事内容変更もしくは工事中止)②記録保存（緊急発掘調査）③その他の保存のいずれかの措置をとることになる。

ヒブナの生息調査結果

年	月　日	確認尾数	調　査　方　法	年	月　日	確認尾数	調　査　方　法
S29	６月１日	1	地曳網捕獲	6	11月17日	32	地曳網捕獲
	６月２日	4	〃	7	11月17日	6	〃
32	８月27日	0	〃	8	11月19日	4	〃
40	７月12日	0	〃	9	11月18日	12	〃
41	５月18日	1	〃	10	11月19日	4	〃
46	６月６日	0	〃	11	11月18日	13	〃
	10月28日	0	〃	12	11月16日	8	〃
47	５月13日	0	〃	13	11月14日	4	〃
	６月10日	1	〃	16	11月19日	0	〃
48	６月９日	4	〃	19	11月28日	0	〃
	６月19日	0	〃	22	11月18日	0	地曳網・定置網・どう
53	６月30日	2	〃	26	６月24日～７月４日	11	さで網
59	11月10日	237	〃	27	６月２日～６月25日	19	
60	６月21日	5	〃	28	５月24日～６月11日	13	〃
	11月９日	17	〃	29	５月24日～６月11日	1	〃
61	３月22日	336	目視観察	30	６月21日～７月13日	15	〃
	11月７日	112	地曳網捕獲	R元	６月12日	3	目視観察
62	11月12日	43	〃	2	６月23日	1	〃
63	11月10日	3	〃	3	６月11日～６月12日	2	〃
H元	11月10日	4	〃	4	６月22日	0	〃
2	11月15日	3	〃	5	６月15日	1	〃
3	11月14日	3	〃	6	６月21日	1	〃
4	11月12日	3	〃	7	６月18日	0	〃
5	11月18日	3	〃				

タンチョウ越冬分布調査結果（タンチョウ生息状況一斉調査）

※成鳥・幼鳥の不明は成鳥にカウントし、飼育個体も含む。

回数	年	月　日	発　見			回数	年	月　日	発　見			回数	年	月　日	発　見		
			成鳥	幼鳥	計				成鳥	幼鳥	計				成鳥	幼鳥	計
1	昭27	12月29日			33	38	平元	〃	330	26	356	補	20	1月25日	739	60	799
2	28	12月 4日			42	補	2	1月26日	401	40	441	57	20	12月 5日	742	59	801
3	29	12月 3日			52	39	2	12月 5日	309	36	345	補	21	1月23日	980	85	1,065
4	30	〃			61	補	3	1月25日	438	61	499	58	21	12月 4日	552	54	606
5	31	〃			76	40	3	12月 5日	357	64	421	補	22	1月26日	659	65	724
6	32	12月 5日			92	補	4	1月24日	480	77	557	59	22	12月 3日	588	88	676
7	33	〃			125	41	4	12月 4日	453	54	507	補	23	1月25日	710	86	796
8	34	12月 8日			139	補	5	1月25日	544	67	611	60	23	12月 5日	501	54	555
9	35	12月13日			172	42	5	12月 6日	438	41	479	補	24	1月25日	995	148	1,143
10	36	12月 5日			175	補	6	1月26日	566	62	628	61	24	12月 5日	860	90	950
11	37	〃	164	20	184	43	6	12月 5日	415	43	458	補	25	1月25日	1,069	94	1,163
12	38	12月12日	128	19	147	補	7	1月25日	547	60	607	62	25	12月 5日	538	63	601
13	39	12月 5日	137	17	154	44	7	12月 5日	416	42	458	補	26	1月24日	1,064	95	1,159
14	40	12月 4日	148	24	172	補	8	1月25日	533	65	598	63	26	12月 5日	562	55	617
15	41	12月 5日	144	26	170	45	8	12月 5日	437	39	476	補	27	1月26日	1,054	133	1,187
16	42	〃	176	24	200	補	9	1月24日	538	48	586	64	27	12月 4日	746	83	829
17	43	〃	147	24	171	46	9	12月 5日	514	65	579	補	28	1月25日	1,194	126	1,320
18	44	〃	188	24	212	補	10	1月26日	561	55	616	65	28	12月 6日	827	81	908
19	45	〃	146	33	179	47	10	12月 4日	519	77	596	補	29	1月25日	1,122	114	1,236
20	46	12月 4日	129	18	147	補	11	1月25日	609	100	709	66	29	12月 5日	589	64	653
21	47	12月 5日	195	27	222	48	11	12月 6日	420	51	471	補	30	1月25日	1,038	99	1,137
22	48	〃	204	29	233	補	12	1月25日	466	53	519	67	30	12月 5日	938	116	1,054
23	49	〃	221	32	253	49	12	12月 5日	542	71	613	補	31	1月25日	904	127	1,031
24	50	12月 6日	180	14	194	補	13	1月25日	719	79	798	68	令元	12月15日	1,128	123	1,251
25	51	〃	180	40	220	50	13	12月 5日	571	77	648	補	2	1月24日	1,266	104	1,370
26	52	12月 5日	229	28	257	補	14	1月25日	726	82	808	69	2	12月 4日	895	141	1,097
27	53	〃	195	19	214	51	14	12月 5日	582	79	661	補	3	1月26日	1,350	143	1,516
28	54	〃	235	36	271	補	15	1月27日	793	115	908	70	3	12月 3日	864	73	937
29	55	12月 5日	229	38	267	52	15	12月 5日	583	67	650	補	4	1月25日	1,434	91	1,525
30	56	〃	267	28	295	補	16	1月23日	732	90	822	71	4	12月 2日	869	103	972
31	57	12月 4日	285	35	320	53	16	12月13日	790	70	860	補	5	1月24日	1,209	135	1,344
32	58	12月 5日	312	33	345	補	17	1月25日	600	68	668	72	5	12月5日	969	117	1,086
33	59	〃	294	33	327	54	17	12月 6日	621	60	681	補	6	1月24日	1,216	150	1,366
34	60	〃	352	32	384	補	18	1月25日	977	104	1,081	73	6	12月5日	846	130	976
35	61	〃	344	39	383	55	18	12月 5日	625	61	686	補	7	1月22日	1,763	164	1,927
36	62	〃	381	43	424	補	19	1月26日	922	91	1,013	74	7	12月5日	1,022	114	1,136
37	63	〃	432	53	485	56	19	12月 5日	856	92	948	補	8	1月23日	1,709	193	1,902

※補：補足調査

釧路市埋蔵文化財包蔵地一覧

番号	名称	所在地	番号	名称	所在地
1	材木町1遺跡	材木町210-1ほか	70	武佐川2遺跡	武佐5-81ほか
2	材木町2遺跡	材木町104-63ほか	71	武佐川3遺跡	武佐5-83
3	材木町3遺跡	材木町104-35ほか	72	武佐川4遺跡	武佐5-76
4	緑ヶ岡1遺跡	材木町102枝番ほか	73	武佐川5遺跡	武佐5-73-1
5	キムウングルコタンチャシ跡	材木町102-32ほか	74	材木町5遺跡	材木町18-4ほか
6	緑ヶ岡2遺跡	緑ケ岡2-3-1ほか	75	桂恋5遺跡	桂恋78-2
7	貝塚1丁目遺跡	貝塚1-2-3ほか	76	鶴ヶ岱4遺跡	鶴ケ岱3-5
8	雪印構内遺跡	貝塚1-3-6ほか	77	富士見遺跡	富士見3-71-1
9	雪印東遺跡	貝塚1-5-10ほか	78	幣舞2遺跡	幣舞町26-1ほか
10	東釧路貝塚	貝塚1-11-1ほか	79	熊の穴遺跡	阿寒町上舌辛22線17-7地先（河川
11	東釧路2遺跡	貝塚2-4-15ほか	80	上舌辛チャシ跡	阿寒町西阿寒20線23-1・3
12	東釧路3遺跡	貝塚2-6-1ほか	81	西高台1遺跡	阿寒町西阿寒17線33-18ほか
13	貝塚町東遺跡	貝塚2-17-33	82	西高台2遺跡	阿寒町西阿寒20線33-1ほか
14	緑ヶ岡3遺跡	緑ケ岡6-44-69ほか	83	殉公碑公園遺跡	阿寒町西阿寒17線31-2ほか
15	緑ヶ岡4遺跡	緑ケ岡4-33-11ほか	84	東舌辛遺跡	阿寒町東舌辛13線37-1ほか
16	緑ヶ岡5遺跡	緑ケ岡1-16-2	85	二股遺跡	阿寒町東舌辛15線38-1ほか
17	緑ヶ岡6遺跡	緑ケ岡1-16-5ほか	86	下仁々志別竪穴群	阿寒町下仁々志別新111-1ほか
18	モシリヤチャシ跡	城山1-124-11ほか	87	仁々志別竪穴群	阿寒町下仁々志別22線104-2ほか
19	材木町4遺跡	材木町18-136ほか	88	下仁々志別チャシ跡	阿寒町下仁々志別75-2
20	鶴ヶ岱1遺跡	鶴ケ岱3-35-413	89	中仁々志別遺跡	阿寒町中仁々志別28線102-1ほか
21	鶴ヶ岱2遺跡	鶴ケ岱1-1-1ほか	90	布伏内物送り場A地点	阿寒町布伏内南6-3
22	ハルトルチャランケチャシ跡	春湖台35-11ほか	91	布伏内物送り場B地点	阿寒町布伏内南6-11ほか
23	鶴ヶ岱3遺跡	鶴ケ岱3-263-21ほか	92	ポンタッコプチャシ跡	阿寒町布伏内22線北46-18地先（河川
24	春採台地竪穴群	春湖台35-10ほか	93	シュンクシタカラ遺跡	阿寒町布伏内22線北46-9ほか
25	科学館西遺跡	春湖台35-407	94	オンネナイ遺跡	阿寒町仁々志別18ほか
26	千歳遺跡	千歳町27枝番ほか	95	上仁々志別1遺跡	阿寒町上仁々志別36線67-1ほか
27	ウライケチャシ跡	富士見3-100-1ほか	96	オンネサルンペツ遺跡	阿寒町シュリコマベツ4-4ほか
28	幣舞遺跡	幣舞町1ほか	97	ボッケ遺跡	阿寒町シアンヌ7-305
29	幣舞チャシ跡	幣舞町12-6	98	オンネピラチャシ跡	阿寒町下仁々志別11-74
30	厳島神社貝塚	米町1-25	99	下徹別チャシ跡	阿寒町東栄3-10
31	チューカツナイチャシ跡	春採1-125-58ほか	100	西高台3遺跡	阿寒町西阿寒121-3
32	沼尻遺跡	春採1-125-1ほか	101	下仁々志別2竪穴群	阿寒町下仁々志別21線122-1ほか
33	紫雲台遺跡	紫雲台9-6ほか	102	下仁々志別遺跡	阿寒町下仁々志別21線115-1ほか
34	武佐1遺跡	武佐4-7-57ほか	103	下仁々志別3竪穴群	阿寒町下仁々志別22線110-2ほか
35	武佐2遺跡	武佐4-49-2ほか	104	中仁々志別2遺跡	阿寒町中仁々志別27線93ほか
36	武佐3遺跡	武佐5-49-2	105	中仁々志別3遺跡	阿寒町中仁々志別27線95ほか
37	興津西遺跡	興津3-14	106	中仁々志別4遺跡	阿寒町中仁々志別28線98-1
38	興津遺跡	興津3-19ほか	107	中仁々志別5遺跡	阿寒町中仁々志別28線97-1
39	岩見浜1遺跡	益浦4-49-1ほか	108	中仁々志別6遺跡	阿寒町中仁々志別28線95-2
40	岩見浜2遺跡	桂恋116-70ほか	109	中仁々志別7遺跡	阿寒町中仁々志別30線94地先（河川
41	桂恋2遺跡	桂恋122ほか	110	下仁々志別2遺跡	阿寒町下仁々志別8-12ほか
42	桂恋チャシ跡	桂恋140	111	徹別1遺跡	阿寒町徹別中央35線37-1ほか
43	桂恋1遺跡	桂恋129-1ほか	112	徹別2遺跡	阿寒町中徹別40線39ほか
44	桂恋方形チャシ跡	桂恋99ほか	113	徹別3遺跡	阿寒町徹別中央33線39-1ほか
45	カムイ岬遺跡	桂恋49-1ほか	114	下徹別遺跡	阿寒町上阿寒3-15
46	桂恋フシココタンチャシ跡	桂恋49-3	115	西高台4遺跡	阿寒町上阿寒22線30-1ほか
47	桂恋3遺跡	桂恋167-1	116	西高台5遺跡	阿寒町西阿寒20線32-1ほか
48	毘沙門1遺跡	桂恋180-1ほか	117	西高台6遺跡	阿寒町西阿寒19線33-1ほか
49	毘沙門2遺跡	桂恋74-1ほか	118	オクルシュベ遺跡	阿寒町オクルシュベ3-1
50	毘沙門3遺跡	桂恋191-1	119	ポンヌカマンベツ竪穴群	阿寒町東舌辛
51	三津浦1遺跡	三津浦13-26	120	ノトロ岬竪穴群	音別町尺別9-1ほか
52	三津浦2遺跡	三津浦13-26	121	オコタヌンペチャシ跡	音別町音別原野
53	三津浦3遺跡	三津浦10-13ほか	122	チノミチャシ跡	音別町中音別624-2
54	三津浦4遺跡	三津浦10-2	123	トーウンペA遺跡	音別町尺別
55	北斗遺跡	北斗2-4ほか	124	トーウンペB遺跡	音別町尺別
56	大楽毛1遺跡	大楽毛128-24ほか	125	トーウンペC遺跡	音別町尺別
57	大楽毛2遺跡	大楽毛128-10	126	トーウンペD遺跡	音別町尺別
58	大楽毛3遺跡	新野29-1	127	トーウンペE遺跡	音別町尺別
59	大楽毛4遺跡	新野27-1	128	古丹ムリチャシ跡	音別町下ムリ
60	大楽毛5遺跡	新野29-1	129	オンネピラ竪穴群	音別町音別原野西2線
61	鶴丘1遺跡	鶴丘2-1	130	音別東遺跡	音別町中音別191-1ほか
62	鶴丘2遺跡	鶴丘4ほか	131	チノミ竪穴跡	音別町中音別625-2
63	山花遺跡	山花14線134-2	132	ポンピラチャシ跡	音別町音別原野西２線（河川敷）
64	ヌカマンベツ遺跡	山花14線127-4	133	ポンピラ遺跡	音別町音別原野西２線（河川敷）
65	桜ヶ岡1遺跡	桜ケ岡3-102-15	134	トーウンペF遺跡	音別町尺別
66	桜ヶ岡2遺跡	桜ケ岡3-103-3ほか	135	岸野津沢遺跡	音別町中音別98
67	桂恋4遺跡	桂恋109番地地先	136	西高台7遺跡	阿寒町西阿寒18線33-1
68	桜ヶ岡3遺跡	桜ケ岡92-1ほか	137	西高台8遺跡	阿寒町西阿寒18線32-7ほか
69	武佐川1遺跡	武佐5-83			

〔4〕釧 路 叢 書

釧路叢書は釧路地域の歴史、自然科学、社会科学、文化、産業など多彩なテーマを学術的内容で編纂し、昭和35年から発刊、販売している。

※は「絶版」

	巻	書名	著編者名	発行年
※	1	松浦武四郎蝦夷日誌集	渡辺　茂編	昭和35
※	2	釧路関係日記古文書集	渡辺　茂編	36
※	3	佐藤直太郎郷土研究論文集	佐藤直太郎	36
※	4	釧路漁業発達史	布施　正	37
※	5	釧路の植物	田中　瑞穂	38
※	6	釧路文学運動史・明治大正編	鳥居　省三	39
※	7	釧路の地質	岡崎　由夫	41
※	8	釧路地方医学史	辻見　啓治	42
※	9	続 佐藤直太郎郷土研究論文集	佐藤直太郎	43
※	10	釧路文学運動史・昭和編	鳥居　省三	44
※	11	釧路川	釧路川共同調査団	44
※	12	日鑑記	釧路地方近世史研究会	46
※	13	釧路のさかなと漁業	釧路のさかな研究会	47
※	14	釧路炭田	釧路炭田研究会	49
※	15	春採湖	春採湖共同調査団	49
※	16	釧路の語源	土屋　祝郎	50
	17	タンチョウの釧路	叢書編纂事務局	51
※	18	釧路湿原	釧路湿原総合調査団	52
	19	釧路文学運動史・戦後編	鳥居　省三	53
	20	釧路の美術・演劇	米坂ヒデノリ他	54
※	21	釧路の気象	松倉　秀夫 他	56
	22	『朝の食卓』十五年	山本　武雄	58
※	23	鳥取移住百年誌	曽根　樫次	59
※	24	釧路の先史	澤　四郎	62
※	25	釧路の製紙（上）	釧路製紙工業史研究会	62
	26	釧路の産業史	寺島　敏治	63
	27	釧路の製紙（下）	釧路製紙工業史研究会	平成２
	28	永久保秀二郎の研究	中村　一枝	3
	29	釧路の近世絵図集成	佐藤宥紹編	4
	30	釧路港	布施　正	6
	31	釧路と凍土	矢作　裕	7
	32	根釧開拓と移住研究	鷹田和喜三	9
	33	坂本友規日誌　上	坂本　正男編	10
	34	坂本友規日誌　下	坂本　正男編	11
	35	遠い日のくしろ	地域史料室	15
	36	根釧台地と釧路湿原の地質	岡崎　由夫	22
	別	釧路捕鯨史	地域史料室	18
	37	The Great Nature of Akan 阿寒の大自然誌	若菜　勇 他	29
	38	太平洋炭砿　上巻	嶋﨑　尚子 他	30
	39	太平洋炭砿　下巻	嶋﨑　尚子 他	31
	40	古文書に見る近代の釧路地方	高嶋　弘志	令和３
	41	釧路の自然災害と防災・減災	酒井　多加志	4
	特	くしろ・くまちとくらしのハンドブック	釧路市教育委員会	8

〔5〕釧 路 新 書

釧路新書は釧路地域に関するテーマをより親しみやすい内容と表現で綴る新書版シリーズ。昭和52年から発刊、販売している。

※は「絶版」

	巻	書名	著編者名	発行年
	1	東北海道物語	布施　正	昭和52
	2	釧路川紀行	佐藤　尚	52
※	3	漁業基地・釧路	布施　正	53
	4	長いトンネルの道	岡崎　正之	53
	5	鴎の話	橋本　正雄	54
※	6	こどものための東北海道の植物	田中　瑞穂	54
※	7	石川啄木	鳥居　省三	55
※	8	ざつ学・道東の旅と観光	種市　佐改	56
	9	釧路歴史散歩（上）	佐藤　尚	57
※	10	海に生きて	羽矢　翠	57
	11	釧路歴史散歩（下）	佐藤　尚	58
	12	釧路地方政党史考（上）	黒坂　博	59
	13	釧路地方政党史考（中）	黒坂　博	60
※	14	釧根歳時記	ＮＨＫ　他	61
	15	釧路地方政党史考（下）	黒坂　博	61
※	16	釧路湿原	市史編纂事務局	62
	17	釧路昔むかし	市史編纂事務局	平成元
※	18	道東の動物	小柳　慶吾	2
	19	馬産王国・釧路	寺島　敏治	3
	20	国泰寺歳時記	佐藤　尚	4
	21	釧路の魚	釧路の魚研究会	5
	22	釧路碑文手帳Ⅰ	古文書研究会	8
	23	釧路碑文手帳Ⅱ	古文書研究会	10
	24	道東の昆虫	釧路昆虫同好会	11
	25	街角の百年	釧路市地域史料室	13
	26	戦後史ノート（上）	釧路地方史研究会	14
	27	戦後史ノート（下）	釧路地方史研究会	16
	別	釧路港味覚の散歩みち	工藤　虎男	17
	28	釧路から	小田島本有	19
	29	新版・釧路湿原	釧路市地域史料室	20
	30	増補・石川啄木	鳥居　省三 北畠　立朴補注	23
	31	「挽歌」物語	盛　厚三	23
	32	釧路を彩る作家たち	瀬戸　厚志	25
	33	くしろの太鼓	くしろ蝦夷太鼓保存会	26
	34	くしろマチナカ Liner notes	片桐　茂貴	令和２
	35	伝えたい「蔵」の記憶	木村　浩章	6
	36	釧路の植物・昆虫・動物たち	釧路市教育委員会	7

その他の刊行物

※は「絶版」

※	新釧路市史第１～４巻	市史編纂事務局	昭和45～49
	新修釧路市史第１～４巻	市史編纂事務局	平成５～９
	目で見る釧路の歴史	市史編纂事務局	4

〔６〕文化振興に関する事業

１．事業の概要（指定管理者）

市民の多様な芸術鑑賞ニーズに基づき財団が招致する「舞台芸術鑑賞事業」と地元団体の芸術公演を取り上げて振興を図る「発表機会提供事業」、著名な演奏家を招いての「アウトリーチ事業」を行うとともに、釧路市立美術館との共催による「展覧会鑑賞事業」を行っている。

また、「市民学園講座」を実施し、多様な学習機会を提供するとともに、独自の「自主講座事業」により学習支援体制の充実を図っている。

さらに「こども遊学館事業」として、特別事業や宇宙航空研究開発機構との連携事業を推進し、科学知識や天文知識の普及啓発を図り、次代を担う子どもたちの感性、創造力及び知的好奇心を高め、地域文化の発展に寄与している。

(1) 令和７年度舞台芸術鑑賞事業等実施状況（釧路市民文化振興財団　北海道共立コンソーシアム）

事　業　名	開　催　時　期	会　場
舞台芸術鑑賞事業 高嶋ちさ子＆加羽沢美濃　～ゆかいな音楽会～	令和 7年 4月20日	コーチャンフォー釧路文化ホール
舞台芸術鑑賞事業 劇団四季ミュージカル　赤毛のアン	令和 7年 5月24日	コーチャンフォー釧路文化ホール
舞台芸術鑑賞事業 南こうせつコンサートツアー2025　～神田川～	令和 7年 6月 8日	コーチャンフォー釧路文化ホール
舞台芸術鑑賞事業 エヴァ・ゲヴォルギヤン　ピアノリサイタル	令和 7年 7月23日	学　習　セ　ン　タ　ー
舞台芸術鑑賞事業 札幌交響楽団　第32回釧路定期演奏会	令和 7年 9月21日	コーチャンフォー釧路文化ホール
舞台芸術鑑賞事業 絢香　Wonder! Tour 2025	令和 7年10月11日	コーチャンフォー釧路文化ホール
舞台芸術鑑賞事業 ＤＵＲＭ　ＴＡＯ　THE BEST LIVE	令和 7年10月19日	コーチャンフォー釧路文化ホール
舞台芸術鑑賞事業 ジュニア育成事業（合唱・オーケストラ）	令和 7年 4月～令和 8年 3月	コーチャンフォー釧路文化ホール 学　習　セ　ン　タ　ー
発表機会提供事業 MOO　EGG　ミニコンサート	令和 7年 5月～9月	Ｍ　Ｏ　Ｏ　　Ｅ　Ｇ　Ｇ
発表機会提供事業 第62回 釧路地区吹奏楽コンクール　他8件	令和 7年 6月～11月	コーチャンフォー釧路文化ホール 学　習　セ　ン　タ　ー
アウトリーチ事業 椎名豊氏による釧路ジュニアジャズオーケストラへのワークショップ	令和 7年 9月	北　陽　高　校

(2) 令和７年度自主講座事業実施状況（釧路市民文化振興財団　北海道共立コンソーシアム）

事　業　名	開　催　時　期	会　場
くしろ子ども未来塾	令和 7年 4月～令和 8年 3月	学習センター多目的ホール等
市民気象講座 「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震について	令和 7年 9月27日	学習センター８０２号室
まなぼっと文化塾「第17回くしろふるさとカルタ大会」	令和 8年 3月 8日	学習センター多目的ホール
まなぼっとＩＴ講座「使ってみよう！生成AI基礎講座」	令和 8年 3月28日	学習センター８０２号室
イペチャレ、その他きっさこイペによるイベント	令和 8年 4月～令和 8年 1月	コーチャンフォー釧路文化ホール

(3)令和7年度市民学園講座事業実施状況（釧路市民文化振興財団　北海道共立コンソーシアム）

事　業　名	開　催　時　期	会　場
ライフステージ講座　子育て応援講座	令和 7年 5月～12月	学習センタークッキングスタジオ等
ライフステージ講座 子ども対象講座（わくわく体験隊）	令和 7年 5月～12月	学習センター会議室等
ライフステージ講座 子ども対象講座（子どもチャレンジ）	令和 7年 6月～11月	学習センター工芸スタジオ等
ライフステージ講座　高齢者対象講座	令和 7年 5月～12月	学習センター学習室等
ライフステージ講座　女性対象講座	令和 7年 5月～11月	学習センター学習室等
ライフステージ講座　釧路学講座	令和 7年 5月～12月	学習センター学習室等
ライフステージ講座　ライフアップ講座	令和 7年 6月～12月	学習センター学習室等
くしろ市民大学	令和 7年 7月～令和 8年 3月	学習センター会議室等
共催事業	令和 7年 4月～令和 8年 3月	学習センター大ホール等
学習相談・学習情報提供・総合学習支援	令和 7年 4月～令和 8年 3月	学　習　セ　ン　タ　ー
生涯学習フェスティバル	令和 7年 11月8日・9日	学習センター学習室等

(4)令和7年度こども遊学館事業実施状況（NPO法人こども遊学館市民ステージ）

事　業　名	開　催　時　期	会　場
ゴールデンウィークイベント	令和 7年 4月～5月	あすなろ会こども遊学館
宇宙月間	令和 7年 9月～令和 8年 2月	あすなろ会こども遊学館
遊びんピック	令和 7年10月	あすなろ会こども遊学館
サイエンス屋台村	令和 7年11月	あすなろ会こども遊学館
クリスマスイベント	令和 7年11月～12月	あすなろ会こども遊学館
とり＋かえっこ	令和 8年 2月	あすなろ会こども遊学館
春・夏・冬休み事業	小中学校長期休業期間	あすなろ会こども遊学館

(5)令和7年度指定管理者自主事業実施状況（一般財団法人釧路市民文化振興財団）

事　業　名	開　催　時　期	会　場
交流プラザさいわい サークル作品展 in まなぼっと	令和 7年 5月～9月、11月	学習センター市民自由広場
小さな展覧会 サークルセレクション展	令和 7年 6月、7月、9月～令和 8年 3月	交流プラザさいわいミニギャラリー
ふれあい料理教室	令和 7年11月12日、令和 8年3月12日	交流プラザさいわい料理教室
生涯学習無料体験会	令和 7年 5月、6月、9月、10月	交流プラザさいわい各会議室
子育て支援事業	令和 7年 12月6日	交流プラザさいわい3階小ホール



令和７年度舞台芸術鑑賞事業

第４章　ス ポ ー ツ

〔１〕市民皆スポーツの推進

１．スポーツ都市宣言

釧路市と釧路市教育委員会は、平成元年６月１日付で「スポーツ都市宣言」を行い、同年６月18日に市民発表を行った。

スポーツ都市宣言の意義

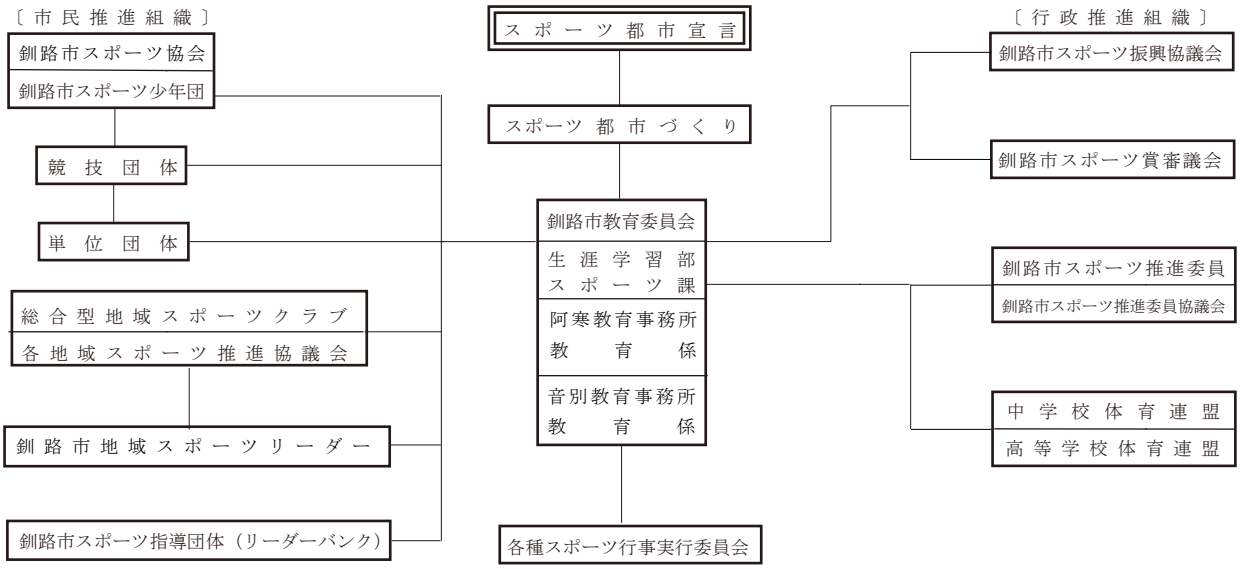
釧路の風土に根ざした健康で明るく活力にみちた市民生活を育むことは、快適なまちづくりを進める上で重要な課題である。

市民一人ひとりが生活の中にスポーツを取り入れ、生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの輪を広げあうことは、潤いのある住みよい地域社会づくりに貢献し、健康で明るく活力にみちた市民生活の実現に大きく寄与するものであり、さらにその輪を広げることは、世界にはばたく「スポーツのまち釧路」につながる。

新しい時代に向けて、今あらためて市民生活の基礎に「市民皆スポーツ・生涯スポーツ」を据え、みんなの力で積極的に「スポーツ都市づくり」を目指すとの意志を明らかにするため、「スポーツ都市宣言」を行ったものである。

２．推進体制

釧路市の市民スポーツ推進組織体制図



３．スポーツ推進委員（旧体育指導委員）

スポーツ基本法に基づく非常勤専門職として現在29人のスポーツ推進委員を委嘱しており、スポーツ振興施策の企画への参画、市民スポーツの指導育成、軽スポーツ種目の開発研究等の活動を行っている。

釧路市スポーツ推進委員協議会

（令和8年8月1日現在）

所　属	役　職	氏　名
釧路地区	会　長	板本　猛
	副会長	澤崎浩三
		佐藤裕子
		國方勇仁
		大和洋一
		松尾千穂
		藤田浩子
		白川和希
		髙橋保徳
		川島しのぶ
		橋本　恵
		山口貴広
阿寒地区	副会長	佐藤忠親
	委　員	藤中誠二
		境　美穂
		今村恭法
		吉田和人
		阿部冬彩
		松岡篤寛
		石黒結月
		竹林聖英
音別地区	副会長	齋藤俊樹
	委　員	佐藤一哉
		大坂隼人
		坂野志穂梨
		佐々木美喜子
		本多寛明
		工藤花奈
		黒萩徳樹

４．地域スポーツ集団

学校開放校を主たる活動の場とし、地域ぐるみで体力づくりを推進する組織として「地域スポーツ推進協議会」が、釧路地区の小学校下に組織化され、軽スポーツを中心に自主的活動を行っている。

また、小学校区以外にもＮＰＯ法人などを立ち上げ、北海道スポーツ協会の認可を得た総合型地域スポーツクラブが誕生し、スポーツによるまちづくりや地域活性化を促進している。

(1)釧路市地域スポーツ推進協議会一覧

設立時期	名　　称	会　長
H25. 4.10	幣舞さんせっとスポーツクラブ	高瀬　洋子
S58. 7.14	釧路市東栄地区スポーツ推進協議会	山田　正明
S58.10.28	城山地区スポーツ推進協議会	大畑　昇平
S60. 3. 1	こんちわスポーツクラブ	井上　朋行
S58. 1.18	武佐地区体力づくり推進協議会	上田　徳郎
S59. 6.29	春採下町スポーツクラブ	酒巻　勝美
S60. 6.30	興津地区スポーツ推進協議会	白戸　和広
S57. 3.25	東雲小学校区スポーツ・文化振興協議会	小林こずえ
S59. 7.27	桂恋地区体力づくり推進協議会	石田　卓也
H24. 4. 1	中央小地区スポーツ推進協議会	葛西　修一
H24. 4. 1	青葉小地区スポーツ推進協議会	谷川　幸三
S58. 7.25	釧路市光陽地区スポーツ推進協議会	晃昇　弘行
S59.12.18	共栄スポーツクラブ	大久保　貢
S57. 3.26	美原スポーツクラブ	清水　紀元
H 5. 6.15	芦野地区スポーツ推進協議会	佐々木浩一
S58. 3.18	昭和地区市民体力つくり推進協議会	佐藤　光男
S57. 6. 2	新陽地区体力づくり推進協議会	黒岩　保夫
S63. 5.31	鶴野いい友スポーツクラブ	小島　竜二
S58. 6.24	大楽毛げんきスポーツクラブ	土岐　政人
S58.10.29	丹頂地区スポーツ推進協議会	内藤　圭一

(2)北海道スポーツ協会認可の総合型地域スポーツクラブ一覧

設立時期	名　　称	会　長
S60. 5.20	特定非営利活動法人 桜が丘ひぶなクラブ	菅原　堅治
H23. 1. 1	総合型スポーツクラブトレスタ	田中　雄也
H 4. 9. 4	特定非営利活動法人 釧路リベラルティ	春名　健司
R 2. 2.22	特定非営利活動法人 とらいあんぐる９４６	上原　丈和

５．地域スポーツリーダー

市民皆スポーツ運動を地域ぐるみで展開するためのリーダー的役割を担うのが「地域スポーツリーダー」であり、旧小学校区ごとに現在39人を委嘱している。各地区の地域スポーツ推進協議会の中核となって活動を行っている。

釧路市地域スポーツリーダー

地　区	氏　名	地　区	氏　名
釧路小	佐藤　進一 木田　俊彦	青葉小	工藤　良子 荻野　敏明
旧東栄小	竹内　享二 長尾　好江	共栄小	宮谷　道春
城山小	山野　勝	美原小	清水　紀元 木村　宏幸 松岡　智子
清明小	小松　朋子 春木　通伸	芦野小	中村まゆみ 赤間　俊彦
湖畔小	野上　敦子 田中　誠 池田　直美	昭和小	千葉　賢市 伊藤三智子
武佐小	渡辺　大	鳥取小	床　義夫
桜が丘小	菅原　堅治	鳥取西小	久保埜義高 小林　正宣
興津小	伊藤　恵美 工藤　由紀	新陽小	黒岩　保夫 幅田　洋子
東雲小	宮原　光枝 金子　信子	鶴野小	吉田　徹
旧桂恋小	石田　静	大楽毛学園	及川　恵 島元　孝次
中央小	横山恵美子 葛西　修一 本谷　裕子	山花小	内藤　圭一

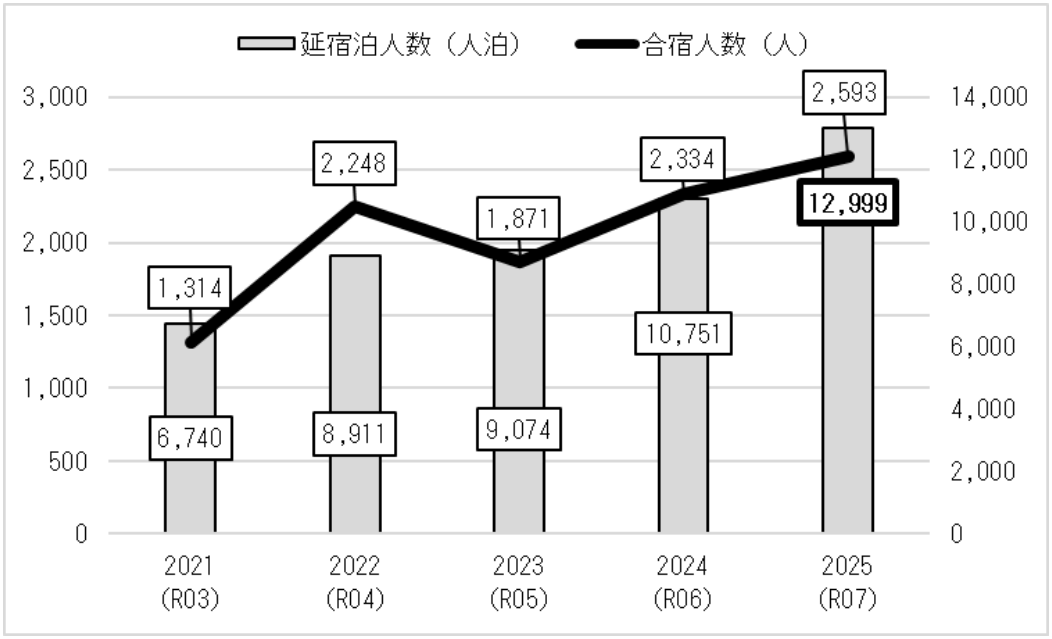
６．スポーツ合宿

「釧路市合宿誘致スーパーバイザー協議会」を設置し、各委員が有する実業団、大学を始めとする中央競技団体とのパイプを生かして戦略的な合宿誘致活動を推進していく中で、競技レベルの向上やスポーツ施設の有効活用など、釧路市のスポーツ振興につなげるとともに、交流人口の拡大による地域活性化を図る。

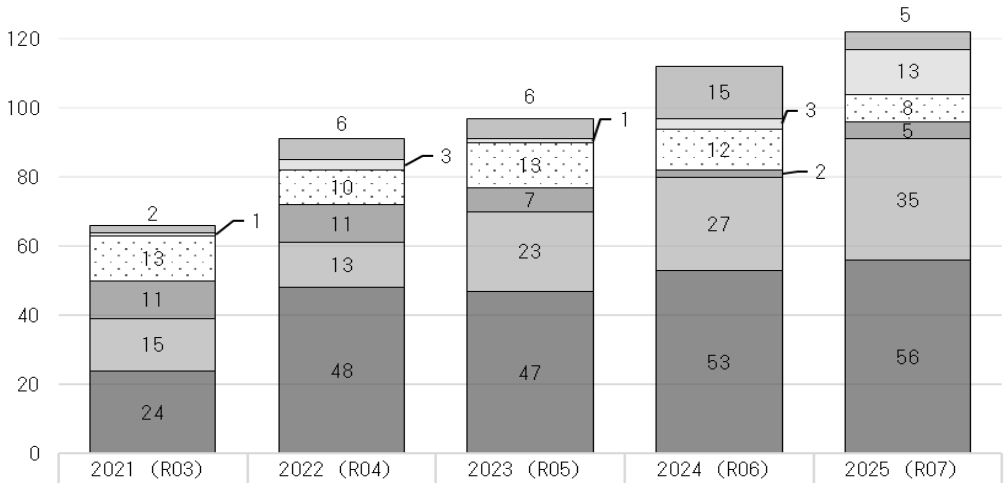
(1) 直近５年度の来訪実績

年　度	延宿泊人数 ※阿寒湖温泉地区実施分除く		【参考】担当：阿寒観光振興課 阿寒湖温泉地区実施件数	
R3	66 団体	6,740 名	86 団体	4,805 名
R4	91 団体	8,911 名	115 団体	5,723 名
R5	97 団体	9,074 名	101 団体	4,360 名
R6	112 団体	10,751 名	88 団体	4,378 名
R7	122 団体	12,999 名	55 団体	1,723 名

(2) 直近５年度の延宿泊人数及び合宿人数



(3) 直近５年度競技別の推移



	2021 (R03)	2022 (R04)	2023 (R05)	2024 (R06)	2025 (R07)
その他	2	6	6	15	5
スピードスケート	1	3	1	3	13
フィギュア	13	10	13	12	8
野球	11	11	7	2	5
陸上	15	13	23	27	35
アイスホッケー	24	48	47	53	56

アイスホッケー　陸上　野球　フィギュア　スピードスケート　その他

（4）主な合宿団体の受入について



【アイスホッケー】
・スマイルジャパンによるミラノ・コルティナ2026冬季五輪事前合宿



【陸上競技】
・東京2025世界陸上競技選手権大会に出場する日本代表８名による事前合宿
競歩６名・長距離１名・走高跳１名
※競歩の藤井菜々子選手は出場した同大会の女子20キロ競歩種目で日本人史上初の銅メダルを獲得した。

・旭化成陸上部による長期合宿
ニューイヤー駅伝2025の優勝チームによる合計34日間の釧路合宿が実施された。
※釧路合宿実績史上、最も長い期間でのチーム合宿となった。



【野球】
・亜細亜大学硬式野球部による釧路合宿
15回目の釧路合宿と12回目の野球教室が実施された。
2025年プロ野球ドラフト会議にて釧路合宿に来訪した２名が指名選出。



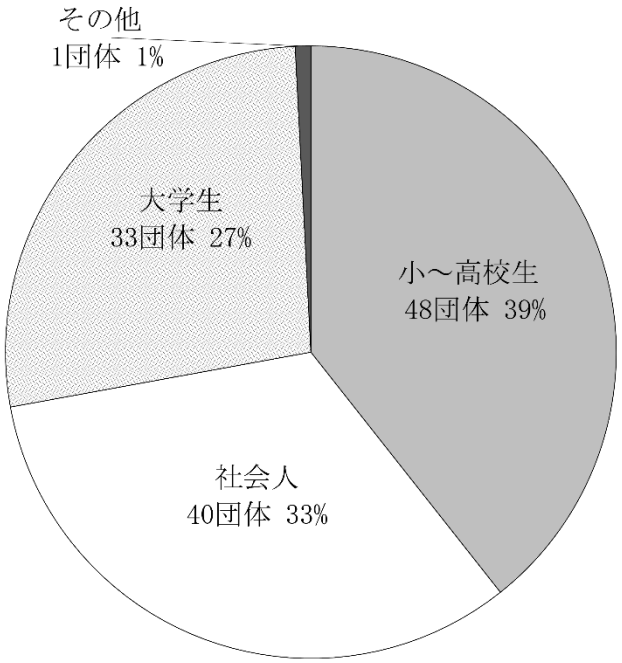
【サッカー】
・日本大学サッカー部による阿寒合宿
６回目の阿寒合宿及びサッカー教室が実施された。



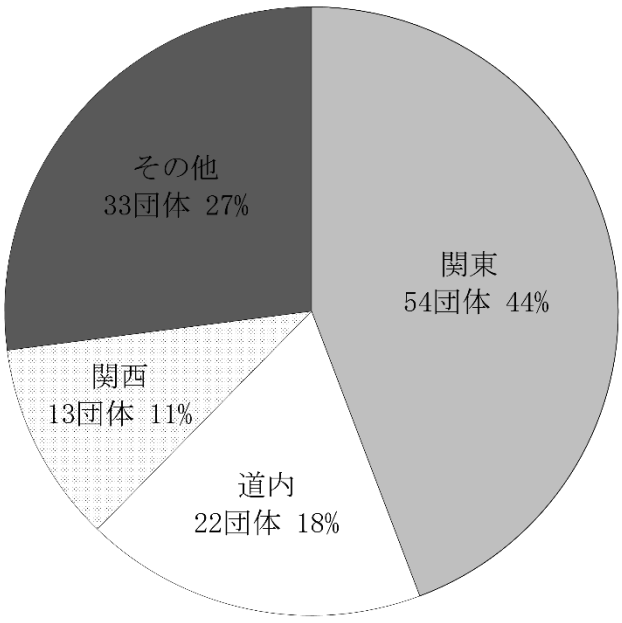
【スピードスケート】
・第98回日本学生氷上競技選手権スピードスケート競技釧路大会出場チームによる事前合宿
12チームによる事前合宿が実施された。

（5）令和７年度来訪団体区分グラフ・来訪区分グラフ

団体区分グラフ



来訪区分グラフ



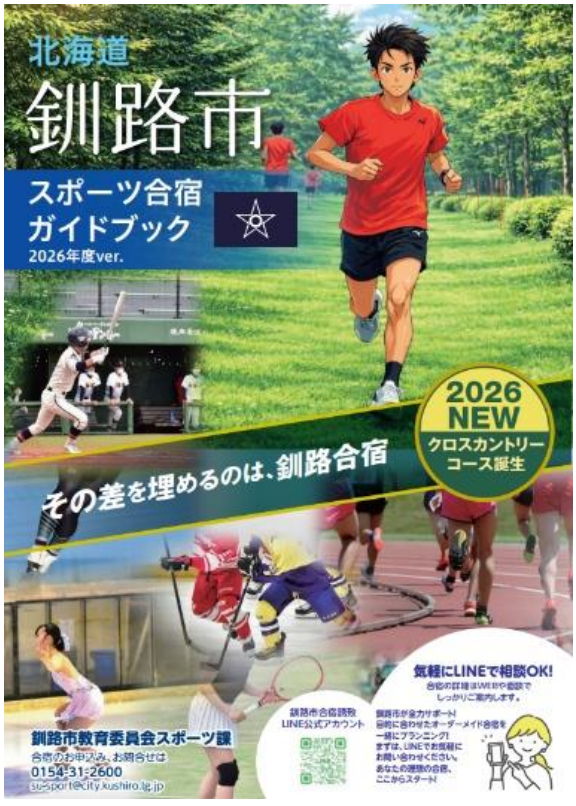
７．釧路市合宿誘致スーパーバイザー協議会

「釧路市合宿誘致スーパーバイザー協議会」を設置し、戦略的な誘致活動の強化及び体制の充実を図り、釧路市のスポーツ環境や当市特有の冷涼な気候等を活用し、スポーツを通じた地域の活性化並びにスポーツ振興を図る。

(1) 釧路市合宿誘致スーパーバイザー協議会名簿

（令和8年7月31日現在）

役職	氏　名	所　属　等
会　長	髙瀬　勝洋	長野、ソルトレイク冬季パラリンピック　アイススレッジホッケー日本代表コーチ
副会長	中島　仁実	NPO法人東北海道スポーツコミッション　理事長
委　員	野崎　千春	日本スケート連盟 スピード部委員会規約副部長
	片岡　祐介	釧路地方陸上競技協会　理事
	阿部　冬彩	釧路地方陸上競技協会
	安田　一行	北海道コンサドーレ札幌 U-12アカデミーコーチ
	澤崎　圭佑	日本アイスホッケー連盟 U-16コーチ 釧路アイスホッケー連盟 強化委員長
	石井　和男	釧路市スポーツ合宿推進コーディネーター(地域おこし協力隊)
監　事	本田　　貢	釧路地方陸上競技協会　理事長
	信太　崇宏	NPO法人東北海道スポーツコミッション　副理事長



令和８年度作成スポーツ合宿ガイドブック

８．スポーツ指導団体（リーダーバンク）

市民（個人・職場・地域等の団体）の要請により、各種スポーツの実技指導等に当たるため、教育委員会がリーダーバンクとして登録している。

釧路市スポーツ指導団体　（単位：人）

種　目	指導者数	種　目	指導者数
ソフトバレーボール	3	バスケットボール	1
ソフトテニス	20	長靴アイスホッケー	5
ミニテニス	3	スキー・スノーボード	97
バウンドテニス	2	水　泳	2
バドミントン	2	スピード・フィギュアスケート	3
空　手	3	バレーボール	1
弓　道	4	卓球競技	3
剣　道	5	軟式野球	10
アイスホッケー	17	陸上競技	20
ラグビー	2	少林寺拳法	4
陸上(ジョギング～フルマラソン)	3	サイクリング	1
ゲートボール	2	レクリエーション 軽スポーツ レクダンス	5
パークゴルフ	3	フットサル	3
ボウリング	3	フロアカーリング	12
カーリング	3		
クレー射撃	3	合　計	31種目 248名
山　岳	3		

９．釧路市スポーツ協会

釧路市スポーツ協会は、本市のアマチュア体育団体を総括するものであり、教育委員会はその事務局として活動を支援している。令和７年度の加盟団体は37団体（２支部含）、登録772団体、11,974人である。

釧路市スポーツ協会加盟団体一覧（令和8年3月31日現在）

団　体　名	会長名	登録団体	登録人員（人）
釧路地方陸上競技協会	泰地　浩幸	68	466
釧路軟式野球連盟	草島　守之	62	1,219
釧路ソフトテニス協会	中村　政男	27	433
釧路卓球協会	山本　　満	54	643
釧路バレーボール協会	土江田 亮一	47	521
釧路地区バスケットボール協会	土岐　政人	112	1,568

釧路山岳連盟	播摩谷　俊達	−	15
釧根地区バドミントン協会	草島　守之	71	1,180
釧路柔道連盟	伊藤　寿章	21	367
釧路地方弓道連盟	佐藤　哲浩	9	239
釧路クレー射撃協会	久垣　真司	1	18
全釧路剣道連盟	藤原　節男	22	250
釧路地区サッカー協会	三森　敏司	48	1,268
釧路サイクリング協会	小畑　保則	−	10
釧路管内ソフトボール協会	笠井　龍司	12	190
釧路体操連盟	笠井　龍司	3	130
釧路ハンドボール協会	山本　直樹	16	227
釧路水泳協会	淀川　了一	4	24
北海道ボウリング連盟釧路支部	斉藤　安弘	−	22
釧路ライフル射撃協会	石井　利夫	1	7
釧路テニス協会	三上　健	12	187
釧路地区空手道連盟	平川　光明	26	280
釧路市ラグビーフットボール協会	堀口　義彦	3	24
釧路市ゲートボール協会	工藤　修	1	10
釧路市少林寺拳法協会	山崎　晃	2	21
釧路市パークゴルフ協会	宮武　始	23	256
釧路トランポリン協会	山口　光信	7	123
釧路ボート協会	天城　秀典	1	3
釧路バウンドテニス協会	猿子　匡史	2	40
釧路フットサル連盟	古川　真	7	130
釧路スキー連盟	伊東　尚悟	2	140
釧路スケート連盟	狩野　眞	1	90
釧路アイスホッケー連盟	谷川　富成	75	1,260
釧路カーリング協会	板本　猛	12	61
釧路市長靴アイスホッケー協会	畑中　優周	9	90
阿寒支部	早坂　勝則	6	330
音別支部	眞籠　敏夫	5	132
合計	37団体	772	11,974

10. スポーツ少年団

釧路市スポーツ少年団は、青少年にスポーツを振興し、心身の健全な育成を図ることを目的に、釧路市スポーツ協会の下部機関として昭和59年11月に設置され、令和７年度の登録団体は51団体、団員数は993人である。

釧路市スポーツ少年団登録状況

	種目	団体数	団員数（人）			指導者数
			男	女	計	
1	野球	9	199	9	208	25
2	サッカー	8	203	32	235	16
3	スピードスケート	2	10	9	19	3
4	剣道	5	59	18	77	12
5	柔道	1	13	0	13	3
6	空手	4	48	33	81	8
7	ミニバスケットボール	3	69	28	97	6
8	フィギュアスケート	1	0	7	7	0
9	トランポリン	1	7	7	14	3
10	少林寺拳法	2	8	1	9	3
11	バレーボール	8	31	73	104	20
12	一輪車	1	0	6	6	0
13	バドミントン	2	9	13	22	4
14	ボウリング	1	13	12	25	0
15	バトントワリング	1	0	19	19	1
16	複合団	2	29	28	57	9
合計		51	698	295	993	113

※複合団はサッカー、バレーボール、ミニバスケットボール、スピードスケート、卓球、アルペンスキー、軟式野球、剣道、少林寺拳法で構成される。

〔２〕スポーツ振興事業

１．スポーツ行事

行事名＼年度		R5	R6	R7
釧路湿原マラソン		第 51 回	第 52 回	第 53 回
	開催年月日	5・7・30	6・7・28	7・7・27
	申込者数（人）	2,812	2,695	2,781
	実参加者数（人）	2,595	2,505	2,551
全日本少年アイスホッケー大会（中学生・男子の部）		第 18 回	第 19 回	第 20 回
	開催年月日	6・3・23～26	7・3・26～29	8・3・25～29
	参加者数（人）	513	472	495
	観戦者数（人）	3,865	3,721	3,940
釧路市体育祭 ※令和元年度より秋季・冬季を統一して開催		第 78 回	第 79 回	第 80 回
	種目数	33	33	33
	参加者数（人）	5,971	6,136	5,832
釧路市民親善大会 ※26年度よりフロアカーリングに種目変更		第 10 回 フロアカーリング大会	第 11 回 フロアカーリング大会	第 12 回 フロアカーリング大会
	開催年月日	6・2・12	7・2・8	8・2・14
	参加チーム数	19チーム	19チーム	19チーム
音別町ミニバレーボール大会		第 39 回	第 40 回	第 41 回
	開催年月日	5・8・25	6・8・22	7・8・21
	参加チーム数	３チーム	４チーム	４チーム
音別町軽スポーツ大会		第 10 回	第 11 回	第 12 回
	開催年月日	5・11・17	6・11・14	7・11・13
	参加チーム数	４チーム	４チーム	４チーム

※道民スポーツ大会は休止中

２．学校スポーツ開放事業

(1) 利用形態

ア．団体開放

市内に居住・勤務・在学する10人以上のグループで教育委員会に登録した団体及び釧路市スポーツ少年団登録団体のうち教育委員会が特に認める単位スポーツ少年団に対する開放

イ．地域開放

小学校の通学区域を単位として組織する地域スポーツ推進協議会及び総合型地域スポーツクラブに対する開放（原則として小学校のみ。）

(2) 利用種目

卓球・バドミントン・テニス・バスケットボール・バレーボール・ソフトバレーなど（但し学校の施設状況により異なる。）

(3) 開放期間

５月上旬から翌年３月末日まで。

(4) 開放時間

ア．小学校　平日・土曜　19：00～21：00
　　日曜・祝日　10：00～12：30
　　12：30～15：00
　　19：00～21：00

イ．中学校　全曜日　19：00～21：00

ウ．義務教育学校　全曜日　19：00～21：00

学校スポーツ開放事業の推移

区分＼年度			Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
開放数	屋体		40校	40校	39校
	内訳	小学校	26校	26校	26校
		義務教育学校	1校	1校	1校
		中学校	13校	13校	12校
	グラウンド		1校	1校	1校
開放日数			4,738日	5,198日	5,144日
	団体開放		2,651日	2,952日	3,283日
	地域開放		2,078日	2,246日	1,861日
利用人数			55,734人	64,694人	64,053人
	団体開放		29,462人	34,520人	38,256人
	地域開放		26,272人	30,174人	25,797人
団体開放	登録団体数		107団体	126団体	137団体
	登録人数		1,250人	1,833人	1,903人
地域開放実施校数			26校	26校	25校

令和7年度学校スポーツ開放・学校別利用状況

小中別		学校名	開放日数	利用人数
小学校	1	釧路	224日	3,511人
	2	中央	38	436
	3	城山	135	1,334
	4	湖畔	176	2,971
	5	桜が丘	79	530
	6	鳥取	129	1,235
	7	共栄	190	3,086
	8	青葉	159	3,424
	9	朝陽	86	522
	10	光陽	62	731
	11	清明	198	2,817
	12	新陽	153	1,612
	13	旧桂恋	74	892
	14	大楽毛	174	1,978
	15	山花	0	0
小学校	16	東雲	10日	155人
	17	愛国	104	1,022
	18	鳥取西	134	869
	19	武佐	145	1,067
	20	美原	195	2,825
	21	昭和	103	1,354
	22	興津	149	1,968
	23	鶴野	161	2,395
	24	芦野	161	2,121
	25	阿寒	0	0
	26	音別	0	0
合計（26校）			3,039	38,855
義務教	1	阿寒義務教育	0	0
合計（1校）			0	0
中学校	1	幣舞	202日	2,683人
	2	北	213	2,397
	3	春採	150	1,293
	4	鳥取	261	3,852
	5	共栄	211	2,628
	6	青陵	196	2,508
	7	景雲	228	2,902
	8	大楽毛	96	770
	9	桜が丘	193	1,849
	10	美原	197	2,628
	11	鳥取西	158	1,688
	12	阿寒	0	0
	13	音別	0	0
	14	青陵グラウンド	0	0
合計（13校1グラウンド）			2,105	25,198

３．他都市とのスポーツ交流

ブロンズ像友好釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会を開催している。

本市の幣舞橋と千葉県八千代市の村上橋のブロンズ像が縁で、昭和57年から小学生のスポーツ交流を行い親交を深め合っている。

令和６年８月２日に両市間で友好都市協定を締結し、今後は、小学生によるスポーツ交流にとどまらず幅広い分野における交流と協力を推進していく。

・第33回大会：平成28年８月６日 釧路市で開催
八千代市選手団82人

・第34回大会：平成30年10月８日 八千代市で開催
釧路市選手団85人

・第35回大会：令和２年10月３日 釧路市で開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催中止。

・第36回大会：令和６年８月３日　釧路市で開催
八千代市選手団81人

年度	回	開催市	競技種目	年度	回	開催市	競技種目
57	1	釧路市	野球	12	19	釧路市	野球・サッカー
58	2	八千代市	野球	13	20	八千代市	野球・サッカー
59	3	八千代市	野球・サッカー	14	21	釧路市	野球・サッカー・ミニバスケットボール
60	4	釧路市	野球・サッカー	15	22	八千代市	野球・サッカー・ミニバスケットボール
61	5	釧路市	野球・サッカー	16	23	釧路市	野球・サッカー・ミニバスケットボール
62	6	八千代市	野球・サッカー	17	24	八千代市	野球・サッカー・ミニバスケットボール
63	7	釧路市	野球・サッカー	18	25	釧路市	野球・サッカー・ミニバスケットボール
元	8	八千代市	野球・サッカー	19	26	八千代市	野球・サッカー・ミニバスケットボール
2	9	釧路市	野球・サッカー	20	27	釧路市	野球・サッカー・ミニバスケットボール
3	10	八千代市	野球・サッカー	21	28	八千代市	野球・サッカー・ミニバスケットボール
4	11	釧路市	野球・サッカー	22	29	釧路市	野球・サッカー・ミニバスケットボール
5	12	八千代市	野球・サッカー	23	30	八千代市	野球・サッカー・ミニバスケットボール
6	13	釧路市	野球・サッカー	24	31	釧路市	野球・サッカー・ミニバスケットボール
7	14	八千代市	野球・サッカー	26	32	八千代市	野球・サッカー・ミニバスケットボール
8	15	釧路市	野球・サッカー	28	33	釧路市	野球・サッカー・ミニバスケットボール
9	16	八千代市	野球・サッカー	30	34	八千代市	野球・サッカー・ミニバスケットボール
10	17	釧路市	野球・サッカー	2	35	感染症拡大防止のため中止	
11	18	八千代市	野球・サッカー	6	36	釧路市	野球・サッカー・ミニバスケットボール

４．スポーツ振興基金

「たんちょう国体」（昭和59年釧路市開催）に寄せられた市民からの寄付金をもとに59年７月に釧路市スポーツ振興基金を設置し、基金の一部をスポーツ施設の整備財源等の一部として活用を図っている。

令和７年度末基金現在高は、10,125千円である。

５．スポーツ振興助成条例による助成

本市のスポーツ振興に寄与する団体・個人に対し、教育委員会が必要と認めたときは、釧路市スポーツ振興条例に基づく助成基準により助成金を交付している。

(1) 大会等事業開催助成

ア．児童、生徒を主体として参加させる全市的なスポーツ大会

イ．各種講習会、競技大会等

ウ．市内において開催される全道大会以上の規模の大会。ただし、会社等の福利厚生や親睦を目的とした大会を除く。

(2) 派遣助成

ア．小学生が、全日本及び北海道各競技連盟（日本スポーツ協会及び北海道スポーツ協会加盟団体に限る。）が主催する競技会に参加する場合

イ．中学生が、全国及び北海道中学校体育連盟が主催する競技会（中体連大会）と日本スポーツ協会及び全日本各競技連盟（日本スポーツ協会加盟団体に限る。）が主催する競技会に参加する場合

ウ．高校生が、日本スポーツ協会、全日本各競技連盟（日本スポーツ協会加盟団体に限る。）、全国高等学校体育連盟、全国高等学校野球連盟が主催する競技会に参加する場合

エ．派遣助成対象選手を引率する監督又は引率責任者１名

※　同一の個人に対する助成は、国民スポーツ大会に出場する場合を除き、年２回を限度とする。

※　派遣助成の対象者は、競技水準の高い者として選抜され、又は競技会の地区又は地方ブロック予戦で次の(ｱ)から(ｳ)の成績を残し、大会開催要項に基づく選手として出場する者。

(ｱ) 小学生：優秀な成績を収めた者

(ｲ) 中学生：１位から３位までの成績

(ｳ) 高校生：１位の成績

(3) 派遣助成の額

ア．中学校体育連盟が主催する大会（中体連大会）

(ｱ) 運賃は、競技会開催地間の鉄道普通運賃及び特別急行料金（片道100km以上）又は急行料金（片道50km以上）とする。但し、鉄道普通運賃については学割・往復割引等による運賃割引措置がある場合は当該割引後の額とする。

釧路市で開催される大会に参加する場合、阿寒地区と釧路地区間は往復バス料金、音別地区と釧路地区間は往復鉄道普通運賃、阿寒地区と音別地区間は往復バス料金と往復鉄道普通運賃を支給する。

(ｲ) 宿泊費は、１人につき１泊2,000円とし、競技会開催地が北海道の場合は１泊（但し、片道100km以上を超える場合は２泊）、東日本（中部以東）の場合は３泊、西日本（近畿以西）の場合は４泊とする。

(ｳ) 食事代は、１人につき１日400円とし、宿泊数と同数とする。

(ｴ) 居住地が阿寒地区の場合は、釧路駅までの往復バス料金を加算する。居住地が音別地区の場合は音別駅を起点として算定する。

イ．競技団体等が主催する大会

区　分		一人当金額	摘　要
小学生	全道	10,000円	１．監督も同額 ２．全国大会が道内（市外）開催の場合１／２
	全国	23,000円	
中学生	全国	38,000円	
高校生	全国	25,000円	
国　体	全国	10,000円	中学生・高校生

スポーツ振興助成条例助成金交付状況

区分＼年度	R5		R6		R7	
大会開催助成	20件	1,248,110円	21件	2,458,000円	17件	1,263,000円
派遣助成	105件（880人）	13,495,130円	124件（882人）	14,669,250円	147件（993人）	19,178,800円
講習会助成	2件	260,000円	2件	290,000円	2件	360,000円
計	127件	15,003,240円	147件	17,417,250円	166件	20,801,800円

令和７年度　全国・全道大会開催助成実績　　（※印は全国規模の大会）

No.	大会名	主催団体	会場	開催日程	参加人数	備考
1	第8回目指せ!新潟2025 2Days in kushiro 大交流会	目指せ！神宮2025 2Days in kushiro 大交流会実行委員会	ウインドヒルひがし北海道スタジアム他	4/19～4/20	133	
2	日本クレー北海道第4次釧路公式大会	釧路クレー射撃協会	HAP'1釧路総合射撃場	6/21～6/22	41	※
3	釧路ひぶなアッセンブルカップP41ジュニアテニス大会	釧路ひぶなテニスクラブ	釧路市民テニスコート	4/26～4/27	83	
4	第55回全道自治体職員サッカー選手権大会兼第51回全国自治体職員サッカー選手権大会北海道予選	釧路地区サッカー協会	釧路市民陸上競技場　他	6/14～6/16	204	
5	MFJ公認全道モトクロス選手権第2戦釧路大会	釧路モトクロス協会	高山特設会場（高山30番地）	6/29	98	
6	MFJ公認全道モトクロス選手権第5戦釧路大会	釧路モトクロス協会	高山特設会場（高山30番地）	8/31	87	
7	第38回南部忠平記念陸上競技大会兼第98回北海道陸上競技選手権大会	釧路地方陸上競技	釧路市民陸上競技場	7/12～7/13	1,099	
8	第51回北海道クラブ対抗選手権大会(兼)第54回全日本クラブ対抗選手権大会北海道予選会	北海道ボウリング連盟釧路支部	釧路パレスボウル	8/10	45	
9	2025年度第50回全道O-40サッカー大会兼JFA第13回全日本O-40サッカー大会北海道予選	釧路地区サッカー協会	釧路市民陸上競技場　他	7/19～7/21	327	
10	令和7年度スマイルヘルスカップ	釧路テニス協会	釧路市民テニスコート	7/6	178	
11	全道キッズコンペ	全道ボルダリングキッズコンペ実行委員会	Dボルダリング釧路	8/9	31	
12	JOCジュニアオリンピックカップ第44回全日本ジュニアバドミントン選手権大会	釧根地区バドミントン協会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	9/12～9/15	560	※
13	釧路ひぶなアッセンブルCUP42「WELDING」オープンジュニアテニス大会	釧路ひぶなテニスクラブ	釧路市民テニスコート	8/9～8/10	60	※
14	2025年度 北海道卓球選手権大会(カデットの部)兼全日本予選会	釧路卓球協会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	8/30～8/31	1,058	
15	一般社団法人北海道水泳連盟公認水泳競技大会 第40回道東選手権水泳競技大会	釧路水泳協会	釧路市鳥取温水プール	11/23	153	
16	2026 北海道たんちょう杯ソフトテニス釧路大会	釧路ソフトテニス協会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	2/15	48	
17	第62回北海道高等学校インドアソフトテニス選手権大会	釧路ソフトテニス協会高校の部	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ　他	3/7～3/8	474	

６．婦人健康体操

教育委員会主催の婦人健康教室修了者が自主的サークル活動を行っており、その育成・指導に当っている。

また、平成３年５月１日に釧路市婦人健康体操サークル連絡協議会が結成された。

婦人健康体操サークル

サークル名	会場	定例日	会員数
ハッピージャギー健康体操サークル	鶴ケ岱武道館	月	解散 人
フレッシュジャギー健康体操サークル	橋南荘	月	15
すこやか健康体操サークル	コア鳥取	火	13
きんれん花健康体操サークル	鉄北中央会館	水	18
柳町レディース健康体操サークル	新橋会館	木	37
まどか（円）健康体操サークル	新橋会館	金	8
さくらレディース健康体操サークル	青雲台体育館	金	退会



婦人健康体操サークル

7．釧路市スポーツ賞

昭和54年度から、「スポーツで優秀な成績を収めた者及び本市のスポーツの普及に特に貢献したと認められる者」に対し、釧路市スポーツ賞・スポーツ奨励賞を贈り顕彰している。

年度	回	釧路市スポーツ賞	釧路市スポーツ奨励賞
		氏　　名	氏　　名
昭和54年度	1	張江　大策（バレーボール）	渡辺　優子（スピードスケート）
55	2	鈴木　徳一（陸上競技・剣道）	田村　洋子（スピードスケート）
		白石　玄寿（軟式野球）	赤平　幸郎（エア・ライフル）
56	3	—	中井　俊雄（軟式野球）
		—	北澤　欣浩（スピードスケート）
		—	鈴木　久美（陸上競技）
57	4	植草　義一（剣道）	—
		本田　迪康（サッカー）	—
58	5	福田　基稔（ソフトテニス）	小林　　稔（柔道）
		古谷　武一（バスケットボール・スケート）	釧路市立共栄中学校柔道部（柔道）
	6	北澤　欣浩（スピードスケート）	—
59	7	早竹　謹司（弓道）	阿部　京子（フィギュアスケート）
		—	釧路市立北中学校アイスホッケー部（アイスホッケー）
60	8	石井　藤四郎（弓道）	青柳　　徹（スピードスケート）
		迎　　武雄（ソフトテニス）	釧路柳町柔道スポーツ少年団（柔道）
61	9	山本　　弘（剣道）	重野　賢司（アイスホッケー）
		小田原　恒雄（社会体育・サッカー・ハンドボール）	佐藤　和弘（スピードスケート）
62	10	浪岡　義雄（バスケットボール・スケート・バドミントン）	上田　浩勝（スピードスケート）
		戸叶　恒次郎（スキー・剣道）	佐藤　康成（スピードスケート）
		—	三上　　哲（スピードスケート）
	11	青柳　　徹（スピードスケート）	—
63	12	堂垣内　武憲（テニス）	池之谷　孝一（スピードスケート）
		—	白幡　圭史（スピードスケート）
平成元年度	13	齋藤　昌彦（軟式野球）	三宮　恵利子（スピードスケート）
		津坂　義孝（バレーボール）	—
2	14	池田　健次郎（ソフトテニス）	齋藤　辰恵（ボウリング）
		故 高橋　信仁（スケート）	高久　良孝（ボウリング）
		—	釧路市立鳥取中学校アイスホッケー部（アイスホッケー）
3	15	百武　　雅（卓球）	武田　豊樹（スピードスケート）
		—	釧路市立鳥取中学校女子卓球部（卓球）
	16	宮部　保範（スピードスケート）	—
		佐藤　和弘（スピードスケート）	—
		宮部　行範（スピードスケート）	—
4	17	村上　菊治（山岳）	永井　勝正（スピードスケート）
		—	関谷　千晶（スピードスケート）
		—	小笠原　みき（スピードスケート）
		—	佐々木　浩司（スピードスケート）
5	18	鷹田　善朗（ボウリング・ラグビーフットボール）	小杉　陽子（フィギュアスケート）
		—	高橋　　進（スピードスケート）
		—	高橋　一郎（スピードスケート）
		—	北海道釧路江南高等学校アイスホッケー部（アイスホッケー）
6	19	横地　重幸（体操）	高橋　壮一（スピードスケート）
	20	白幡　圭史（スピードスケート）	—
7	21	中村　幹夫（ソフトテニス・卓球）	根本　茂一（スピードスケート）
8	22	早坂　慈郎（陸上競技）	—
		鳥谷部　紀男（アイスホッケー）	—
9	23	岡本　國義（剣道）	—
		町田　康雄（スケート・柔道・サイクリング）	—
	24	岡崎　朋美（スピードスケート）	—
		三宮　恵利子（スピードスケート）	—
	25	武田　　豊（アイススレッジスピードレース）	—
		桑原　明美（アイススレッジスピードレース）	—
10	26	雑賀　正博（スケート）	—
		野崎　恭夫（サッカー）	—
11	27	石田　　昇（弓道）	—
		石井　　久（剣道）	—
12	28	森川　　實（柔道）	—

13	29	山本　　榮（ゲートボール）	山野　由宇（アイスホッケー）
		—	堀部　尊教（陸上競技）
		—	六花亭ベアーズ（アイスホッケー）
	30	武田　豊樹（スピードスケート）	—
14	31	—	伊藤　雅俊（アイスホッケー）
		—	松岡　源季（スピードスケート）
15	32	故 松田　富子（フィギュアスケート）	柴田　　嶺（フィギュアスケート）
		—	及川　一也（スピードスケート）
		—	釧路市立鳥取中学校アイスホッケー部（アイスホッケー）
16	33	安田　泰也（剣道）	境　　勇也（スピードスケート）
17	34	辻　　徳人（柔道）	高橋　和馬（トランポリン）
18	35	鈴木　日出子（バレーボール）	—
19	36	—	中村　　幸（バドミントン）
		—	釧路市立青陵中学校アイスホッケー部（アイスホッケー）
20	37	須田　尭司（体操）	菅原　大祐（スピードスケート）
21	38	岡安　竑宗（柔道）	—
22	39	出島　茂幸（スピードスケート）	—
	40	佐藤　靖昌（スケート）	—
23	41	木村　芳人（バレーボール）	—
24	42	故　吹越　明徳（アイスホッケー）	—
25	43	渋谷　勝司（軟式野球）	—
	44	山根　朋恵（アイスホッケー）	—
		竹内　愛奈（アイスホッケー）	—
		獅子内　美帆（アイスホッケー）	—
		床　　亜矢可（アイスホッケー）	—
		小西　あかね（アイスホッケー）	—
		浮田　留衣（アイスホッケー）	—
26	45	野田　　昇（ソフトボール）	釧路西部アイスホッケー部（アイスホッケー）
		—	村岡　柊有（陸上競技）
27	46	山田　凌平（剣道）	釧路市立鳥取中学校アイスホッケー部（アイスホッケー）
		板本　　猛（カーリング・ラジオ体操・ボート・ゲートボール・社会体育）	—
		故　須貝　麻里子（フィギュアスケート）	—
	47	—	竹中　星奈（アイスホッケー）
28	48	故　横地　敏光（体操・陸上競技）	武修館高等学校アイスホッケー部（アイスホッケー）
		岩渕　敏行（スケート）	北海道釧路北陽高等学校サッカー部（フットサル）
29	49	船戸　俊雄（剣道・銃剣道）	ＫＷＢ釧路選抜（ＫＷＢ野球）
		長原　茉奈美（バドミントン）	—
	50	岩原　知美（アイスホッケー）	—
		細山田　　茜（アイスホッケー）	—
		寺島　奈穂（アイスホッケー）	—
		床　　秦留可（アイスホッケー）	—
30	51	杉山　尚孝（スケート）	—
令和元年度	52	千葉　賢一（卓球）	—
2	53	中嶋　進（スケート）	土屋　健介（ハンドボール）
3	54	山辺　文彰（ハンドボール）	—
4	55	大日向　勲男（ソフトテニス）	—
		故　菅原　賢司（柔道）	—
5	56	栗林　延次（剣道）	釧路市立景雲中学校アイスホッケー部（アイスホッケー）
		大道　裕昭（陸上競技）	—
6	57	佐藤　茂（サッカー）	—
7	58	—	釧路市立鳥取中学校アイスホッケー部（アイスホッケー）

〔３〕体育・スポーツ施設の整備

１．施設の改良・整備

令和7年度に実施した体育・スポーツ施設の主な改良・整備は次のとおりである。

施設	改良・整備
釧路市柳町スピードスケート場	冷凍機操作盤更新工事
釧路市鳥取温水プール	水泳競技システム一式購入
釧路市民クロスカントリーコース	測量設計業務委託（令和８年度本工事に伴うもの）
釧路市民陸上競技場附属競技場	ハンマーサークル更新工事



（釧路市鳥取温水プール　水泳競技システム一式購入）

〔４〕体育・スポーツの振興に関する指定管理者の自主事業

１．一般財団法人　釧路市スポーツ振興財団

(1) スポーツ講習会など

	事業名	会場名	R5		R6		R7	
			回数	参加者数(人)	回数	参加者数(人)	回数	参加者数(人)
教室・講習会	やさしいエアロ	柳町スピードスケート場	12	184	12	230	12	234
	やさしいエアロ夜間	柳町スピードスケート場	12	130	12	127	12	97
	スローエアロ	柳町スピードスケート場	12	60	12	113	12	101
	しなやかボディピラティス	柳町スピードスケート場	12	199	12	224	12	203
	背骨コンディショニング	柳町スピードスケート場	12	209	12	228	12	205
	体幹ピラティス	柳町スピードスケート場	12	232	12	233	12	232
	バレトン	柳町スピードスケート場	12	176	12	178	12	165
	やさしいフラダンス	柳町スピードスケート場	6	55	11	97	12	140
	ヒップアップトレーニング	柳町スピードスケート場	－	－	－	－	12	88
	ダイエットヨーガ	柳町スピードスケート場	12	154	11	153	12	199
	ヨガ棒クラス	柳町スピードスケート場	－	－	－	－	12	108
	リラックスヨーガ	柳町スピードスケート場	11	264	12	333	12	365
	楽々！健康体操	柳町スピードスケート場	12	285	12	334	12	314
	ナイトヨーガ1部・2部	柳町スピードスケート場	24	298	24	378	24	385
	スタイルアップレッスン「骨盤美人」	柳町スピードスケート場	12	99	12	155	12	167
	Step美Body	柳町スピードスケート場	12	88	12	101	12	139
	楽しくエアロ	柳町スピードスケート場	12	70	12	58	12	75
	インファントクラス	柳町スピードスケート場 鶴ケ岱武道館	4	19	1	3	1	2
	軽スポーツ教室・軽スポーツ体験会	柳町スピードスケート場 鶴ケ岱武道館	8	8	2	12	3	7
	サマーキッズスクール	柳町スピードスケート場	開催中止		1	12	1	20
	ウインターキッズスクール	柳町スピードスケート場	1	5	1	20	1	26
	幼児アスレチック教室	柳町スピードスケート場	開催中止		開催中止		開催中止	
	小学生アスレチック教室	柳町スピードスケート場	開催中止		開催中止		開催中止	
	ヒップホップ教室	柳町スピードスケート場	－	－	3	13	－	－
	健康ストレッチ教室	鶴ケ岱武道館	12	221	12	210	12	214
	親子あそび	鶴ケ岱武道館	開催中止		開催中止		開催中止	
	鶴ヶ岱武道祭	鶴ケ岱武道館	－	－	－	－	1	406
	年忘れもちつき大会	鶴ケ岱武道館	－	－	1	80	1	72
	ジュニアソフトテニス教室	市民テニスコート	1	8	開催中止		開催中止	
	夜間初心者ソフトテニス教室	市民テニスコート	開催中止		1	5	開催中止	
	JFAなでしこひろば	附属陸上競技場	5	33	4	25	5	46
	小学生かけっこ教室	陸上競技場	1	29	1	21	1	42
	ウォーキング教室	陸上競技場 鶴ケ岱武道館	2	4	開催中止		開催中止	
	パークゴルフ初心者・初級実践教室	柳町パークゴルフ場	1	6	1	8	1	4
	スピードスケーティングスクール	柳町スピードスケート場	1	32	1	25	1	36
	フィギュアスケートワンポイントレッスン	ユタカアイスアリーナくしろ他	1	1	2	4	3	7
	スケート体験教室	ユタカアイスアリーナくしろ他	3	7	3	31	3	26
	初心者スケート教室	ユタカアイスアリーナくしろ他	3	46	3	58	3	33
	年長さんからのアイスホッケー教室	KKS釧路厚生社アイスアリーナ	1	7	1	6	開催中止	
	冬休みはじめてのスケート体験	KKS釧路厚生社アイスアリーナ	1	20	1	22	1	17
	フォルティウスカーリング	KKS釧路厚生社アイスアリーナ	－	－	－	－	1	40
	夏祭り無料開放	Nisshoアイスアリーナ	－	－	1	96	1	109
	スタジアムフェスタ	ウインドヒルひがし北海道スタジアム	1	2,235	1	1,847	1	2029
	落ち葉de焼き芋フェス	柳町スピードスケート場	－	－	－	－	1	45
	柳町スケートフェス	柳町スピードスケート場	1	371	1	1,124	1	1707
	ヨーガフェスティバル	柳町スピードスケート場 ウインドヒルひがし北海道スタジアム	－	－	1	35	4	107

	事業名	会場名	R5		R6		R7	
			回数	参加者数(人)	回数	参加者数(人)	回数	参加者数(人)
教室・講習会	MUSIC SKATE DAY	ユタカアイスアリーナくしろ	－	－	－	－	1	242
	ミニテニス審判講習会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	1	31	1	41	1	41
	ミニテニス技術講習会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	1	29	1	38	1	41
	家庭婦人バレーボール審判養成講習会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	1	34	1	35	1	50
	ソフトバレーボール審判講習会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	1	47	1	62	1	77
	レバンガ北海道バスケットボールアカデミー釧路市スポーツ振興財団校 JUNIOR2・SENIOR	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	12	318	12	475	12	315
スポーツ大会	釧路市スポーツ振興財団理事長杯全道ミニテニスフェスティバル	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	66		69		64	
	釧路市少年柔道大会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	85		93		63	
	釧路市スポーツ振興財団理事長杯U-10ミニバスケットボール大会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	278		285		306	
	釧路市スポーツ振興財団理事長杯U-10フットサルフェスティバル	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	273		217		170	
	釧路市スポーツ振興財団理事長杯釧路地区小学生バレーボール大会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	103		139		122	
	釧路市少年剣道大会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	76		74		74	
	市長杯パークゴルフ大会	河畔パークゴルフ場	115		97		104	
	市長杯少年アイスホッケー大会	ユタカアイスアリーナくしろ	263		249		281	
	スポ財カップジュニアアイスホッケー大会	ユタカアイスアリーナくしろ	141		131		136	
	理事長杯オールドタイマー決勝大会	ユタカアイスアリーナくしろ	－		60		100	
	市長杯争奪長靴アイスホッケーチャンピオンズカップ大会	柳町アイスホッケー場	76		99		開催中止	
	釧根小学生陸上競技大会	陸上競技場	140		148		156	
	釧路市スポーツ振興財団理事長杯U-9サッカーフェスティバル	附属競技場他	168		210		250	
	釧路市スポーツ振興財団理事長杯ソフトボール大会	市民ソフトボール場	70		73		102	

(2) スポーツ交流事業（一般財団法人　釧路市スポーツ振興財団）

「ブロンズ像友好釧路市・八千代市少年スポーツ交歓大会」を釧路市幣舞橋、八千代市村上橋に設置されたブロンズ像がとりもつ縁で昭和57年から両市間で交互に開催している。（再掲）

(3) プロ野球開催（一般財団法人　釧路市スポーツ振興財団）

ア．１軍戦

昭和60年 9月 8日　ロッテ対日本ハム
61年 7月 5日・ 6日　阪急対南海
62年 7月 4日・ 5日　ロッテ対近鉄
63年 9月 3日・ 4日　ロッテ対日本ハム
平成元年 9月 9日・10日　ロッテ対西武
2年 9月 8日・ 9日　ロッテ対ダイエー
3年 9月 7日・ 8日　ロッテ対日本ハム
4年 9月 5日・ 6日　日本ハム対近鉄
7年 9月 3日　横浜対中日
9年 7月12日　横浜対ヤクルト
10年 7月11日　横浜対中日
13年 7月14日　横浜対ヤクルト
15年 7月26日　横浜対広島
17年 7月30日　日本ハム対オリックス
18年 8月26日　ヤクルト対広島
19年 7月28日　日本ハム対ロッテ
20年 7月 5日　日本ハム対オリックス
21年 7月18日　日本ハム対西武（降雨ノーゲーム）
29年 7月25日　日本ハム対ロッテ
30年 7月31日　日本ハム対ロッテ
令和元年 8月27日・28日　日本ハム対西武
2年 6月23日　日本ハム対ロッテ（開催中止）
3年 7月13日　日本ハム対オリックス
4年 8月23日　日本ハム対オリックス

イ．２軍戦

昭和58年 7月30日　大洋対巨人（５回コールドゲーム）
59年 7月28日・29日　巨人対大洋
9月 1日・ 2日　西武対巨人
60年 7月28日　大洋対巨人
62年 8月 2日　大洋対巨人
63年 7月30日　大洋対巨人
平成元年 8月 6日　大洋対巨人
2年 8月 5日　大洋対巨人
3年 7月 7日　西武対巨人
4年 6月20日　ヤクルト対西武
5年 8月 7日　横浜対読売
6年 7月31日　横浜対ヤクルト
7年 8月 5日　横浜対巨人
9年 8月 2日　横浜対巨人
10年 7月25日　横浜対巨人
11年 8月21日　横浜対ヤクルト
12年 7月30日　湘南対ヤクルト
13年 8月19日　湘南対読売
14年 7月27日　湘南対西武
15年 8月24日　湘南対読売
16年 7月19日　湘南対読売
18年 7月 8日　日本ハム対読売
26年 7月 6日　日本ハム対西武
27年 6月14日　日本ハム対読売
令和 5年 7月15日　日本ハム対読売
6年 7月 6日　日本ハム対楽天
8年 6月 7日　日本ハム対オイシックス新潟アルビレックスBC

２．株式会社　釧路スイミングクラブ

	事業名	会場名	R5		R6		R7	
			回数	参加者数（人）	回数	参加者数（人）	回数	参加者数（人）
教室	水中健康ウォーキング教室	鳥取温水プール	48	106	48	76	48	98
	初心者水泳教室	鳥取温水プール	96	216	96	236	96	206
	中・上級者水泳教室	鳥取温水プール						
	夏休み短期水なれ教室	鳥取温水プール	2	31	2	41	3	16
	冬休み短期水なれ教室	鳥取温水プール	1	3	－		－	
スポーツ大会	（公財）日本水泳連盟泳力検定会	鳥取温水プール	86		97		89	
	釧路市春季記録会	鳥取温水プール	86		97		89	
	釧路市秋季体育祭・水泳競技大会	鳥取温水プール	76		82		64	
	道東選手権水泳競技大会	鳥取温水プール	開催中止		開催中止		153	
	栗林記念スイミングフェスティバル	鳥取温水プール	139		103		120	
	クリスマスフェスティバル	鳥取温水プール	93		95		開催中止	

３．特定非営利活動法人　東北海道スポーツコミッション

	事業名	会場名	R5		R6		R7	
			回数	参加者数（人）	回数	参加者数（人）	回数	参加者数（人）
教室・イベント・講習会	放課後デイサービス	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	240	1,778	238	1,476	231	1,309
	こどもアリーナ	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	92	10,516	76	10,615	89	10,480
	インクルーシブ広場	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	344	12,273	350	13,136	326	12,168
	クライミングウォール体験・講習・検定会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	11	30	7	12	9	25
	ミニテニス体験会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	17	93	23	117	23	152
	K-Fit	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	60	771	76	1,288	68	1,318
	エスポラーダ北海道フットサルクリニック	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	1	100	1	60	1	65
	tokimekiマルシェ	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	2	480	2	3,709	4	3819
	ふわふわアドベンチャー	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	1	4,445	1	4,798	－	－
	ハポートおさがり回収会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	1	300	4	3,398	3	3,285
	プロムナード企画展	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	5	24,397	9	75,848	9	32,303
	キッズフェスみらくる広場	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	1	1,284	1	1,634	1	984
	アルテミス北海道バレーボール教室	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	－	－	－	－	1	70
	ウォーターアリーナ	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	－	－	－	－	3	1,719
	こども体験隊	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	－	－	－	－	1	26

〔５〕釧路市の社会体育施設

１．施設一覧

（注）※印の施設は無料施設

区分 / 施設名	供用開始 / 所在地	規模及び概要
ウインドヒルくしろスーパーアリーナ （湿原の風アリーナ釧路） ☎38−9800	平成20年９月27日　広里18	鉄骨鉄筋コンクリート造３階建 延14,069.65㎡　メインアリーナ2,806㎡ 収容人員（メインアリーナ）3,016人 固定席1,416席　車椅子席10席
釧路市柳町スピードスケート場 ☎22−3876	昭和46年12月11日 柳町１−１（柳町公園内）	鋼管埋設方式 公認コース400m、幅員15m 管理棟延床面積2,213㎡ 記録棟延床面積317㎡ 収容人員　室内観覧席　　883人 盛土スタンド　5,000人
KKS釧路厚生社アイスアリーナ （釧路市柳町アイスホッケー場） ☎25−4592	昭和54年11月１日 柳町１−１（柳町公園内）	ＯＨＡアイスパネル方式 収容人員384人 延床面積3,412㎡　１面30ｍ×60ｍ
Nisshoアイスアリーナ （釧路市春採アイスアリーナ） ☎46−5115	昭和58年９月４日 春採７−１	ＯＨＡアイスパネル方式 収容人員3,000人（立見1,500人含む） 延床面積4,909㎡　１面30ｍ×60m
ユタカアイスアリーナくしろ （釧路アイスアリーナ） ☎54−2345	平成８年11月20日 鳥取大通３−６	鋼管埋設方式 収容人員3,000人（立見461人含む） 延床面積7,564㎡　１面30ｍ×60ｍ
星が浦野球場 ※	昭和49年10月15日 星が浦大通4-7（星が浦中央公園内）	面積 8,232㎡　１面
美原野球場 ※	昭和54年８月10日 美原４−３（はんのき公園内）	面積 9,620㎡　１面
鳥取野球場 ※	昭和62年６月１日 鳥取北7-4（鳥取10号公園内）	面積10,000㎡　１面
鳥取７号公園野球場 ※	平成10年５月１日 鳥取南5-13（鳥取7号公園内）	面積 7,482㎡　１面
鶴ケ岱テニスコート ※	昭和27年５月１日 鶴ケ岱１−１（鶴ケ岱公園内）	面積 2,501㎡　クレイコート３面
愛国ニュータウンテニスコート ※	昭和52年11月10日 美原１、２丁目（愛国緑地内）	面積 2,886㎡　全天候型４面
柳町テニスコート ※	昭和53年10月１日 暁町（柳町公園内）	面積 5,687㎡　クレイコート８面
柳町パークゴルフ場 ※	平成７年９月７日 柳町他（柳町公園内）	３コース27ホール　パー99 総延長1,255m
釧路市鳥取温水プール ☎53−5333	平成４年４月５日 鳥取南４−４	延床面積1,650㎡　プール水面積550㎡ 競泳用25ｍ×13ｍ６コース（日本水泳連盟公認） 低学年用20ｍ×9.2ｍ　幼児用4.5ｍ×9.2ｍ
釧路市鶴ケ岱武道館 ☎41−2912	昭和60年３月12日 鶴ケ岱１−10（鶴ヶ岱公園内）	延床面積1,470㎡ １階武道場　２階弓道場（９人立）
鶴ケ岱相撲場 ※	平成元年８月１日 鶴ケ岱１−10（鶴ヶ岱公園内）	
柳町ローラースケートコース ※	平成元年８月４日 柳町１−１（柳町公園内）	柳町スピードスケート場内　延長200ｍ　幅員８ｍ

区分 / 施設名	供用開始 / 所在地	規模及び概要
新釧路川河畔公園運動施設	新釧路川緑地内	
河畔野球場 ※	昭和52年３月31日	面積51,760㎡　４面（Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ）
河畔サッカー場 ※	昭和52年６月12日	面積31,625㎡　３面（Ａ・Ｂ・Ｃ）
河畔ラグビー場 ※	平成10年５月20日	面積14,025㎡　１面
河畔パークゴルフ場 ※	平成10年８月８日	４コース72ホール　総延長3,610m
釧路市大規模運動公園体育施設		
ウインドヒルひがし北海道スタジアム(釧路市民球場) ☎37−7711	昭和58年７月24日　広里６	面積14,021㎡　１面 収容人員17,988人
ウインドヒルひがし北海道スタジアム屋内練習場(釧路市民球場屋内練習場)	平成22年８月６日　広里６	面積　370㎡　マウンド５カ所
ウインドヒルひがし北海道附属スタジアム(釧路市民球場附属球場)	昭和58年７月24日　広里６	面積10,290㎡　１面　夜間照明設備
釧路市民サッカー場	昭和59年10月７日　広里６	面積 9,539㎡　１面
釧路市民陸上競技場 ☎37−7722	昭和62年９月27日　広里13	面積31,651㎡　収容人員11,600人 第２種公認　全天候型400mトラック　夜間照明設備
釧路市民陸上競技場附属競技場	昭和62年９月27日　広里13	面積26,988㎡
釧路市民テニスコート ☎37−7655	平成３年10月６日　広里19	面積19,440㎡　全天候型16面　夜間照明設備
釧路市民ゲートボール場※	平成４年９月９日　広里19	面積14,440㎡　グリーンダストコート20面
釧路市民ソフトボール場	平成９年６月８日　広里21	面積24,081㎡　クレイ舗装４面
阿寒町総合運動公園		
阿寒町多目的広場	平成元年４月１日 阿寒町中央１−28	面積11,300㎡ 陸上競技、ソフトボール、サッカー 等
阿寒町多種目競技広場	平成２年９月25日 阿寒町中央１−28	面積 2,400㎡ ローラースケート（夏）
阿寒町野球場	昭和62年４月１日 阿寒町中央１−28	面積11,474㎡　両翼95m　中堅110m
阿寒町スポーツセンター ☎66−3653	昭和57年４月１日 阿寒町中央１−６	鉄筋コンクリート造２階建　延床面積2,641.7㎡ ・アリーナ ・プール（25m×６コース、幼児用72㎡） ・トレーニングルーム（各種トレーニング器具）
阿寒湖畔スポーツ広場		
阿寒湖畔トレーニングセンター ☎67−2162	昭和63年12月１日 阿寒町阿寒湖温泉５−５	鉄骨平屋造 延床面積998.087㎡ ・プール（25m×３コース、幼児用28㎡） ・トレーニング室(床面積121㎡)・温泉浴室
阿寒湖畔スケートリンク	平成元年12月１日 阿寒町阿寒湖温泉５−５	１周　400m
阿寒湖畔多種目競技場	平成６年12月１日 阿寒町阿寒湖温泉５−５	面積　2,376㎡
音別町スケートリンク ☎01547−6−3377	昭和57年12月10日 音別町中園２−１先	鉄筋コンクリート　アスファルト仕上げ スピードリンク　１周333.33m カーリング場（４シート）　管理棟
音別町野球場	昭和60年５月１日 音別町川東１−238	敷地面積28,540㎡ グランド面積12,104㎡
音別町パークゴルフ場 ※ ☎01547−6−2034	平成元年９月５日 音別町あけぼの１−１	(公社) 日本パークゴルフ協会公認コース 36ホール 休憩所湯沸室（有料）
音別町運動公園 ※	平成元年８月 音別町川東１−237	多目的広場（芝生）

◎釧路市鶴丘スキー場は平成28年４月１日廃止、釧路市富士見球場は令和２年４月１日廃止、音別町温水プールは令和５年４月１日廃止

２．各施設の使用料（利用料金）

(1) ウインドヒルくしろスーパーアリーナ（湿原の風アリーナ釧路）

（単位：円）

区分							昼間		夜間	全日	延長1時間までごとに	
							9時～13時	13時～17時	17時～22時	9時～22時	昼間	夜間
アリーナ	専用利用	メインアリーナ	アマチュアスポーツに利用する場合	入場料有料		全面	27,110	27,110	40,670	94,890	8,800	10,600
						2/3面	21,680	21,680	32,530	75,890	7,040	8,480
						1/3面	10,850	10,850	16,270	37,970	3,520	4,250
				入場料無料	一般・大学生の団体	全面	13,560	13,560	20,320	47,440	4,400	5,300
						2/3面	10,850	10,850	16,270	37,970	3,520	4,250
						1/3面	5,430	5,430	8,120	18,980	1,760	2,120
					小・中・高校生の団体	全面	6,770	6,770	10,170	23,710	2,200	2,650
						2/3面	5,420	5,420	8,120	18,960	1,760	2,120
						1/3面	2,700	2,700	4,070	9,470	880	1,060
			その他の場合	入場料有料	営利目的	全面	243,970	243,970	366,060	854,000	79,160	95,420
					非営利目的	全面	81,330	81,330	122,020	284,680	26,390	31,810
				入場料無料	営利目的	全面	121,990	121,990	183,030	427,010	39,580	47,710
					非営利目的	全面	40,660	40,660	61,010	142,330	13,190	15,900
		サブアリーナ	アマチュアスポーツに利用する場合	入場料有料		全面	10,850	10,850	16,270	37,970	3,520	4,250
				入場料無料	一般・大学生の団体	全面	5,430	5,430	8,120	18,980	1,760	2,120
					小・中・高校生の団体	全面	2,700	2,700	4,070	9,470	880	1,060
			その他の場合	入場料有料	営利目的	全面	97,580	97,580	146,380	341,540	31,660	38,160
					非営利目的	全面	32,530	32,530	48,800	113,860	10,550	12,720
				入場料無料	営利目的	全面	48,800	48,800	73,190	170,790	15,830	19,090
					非営利目的	全面	16,270	16,270	24,400	56,940	5,280	6,360
		多目的室	アマチュアスポーツに利用する場合		一般・大学生の団体	全面	2,890	2,890	4,330	10,110	950	1,130
						1/2面	1,440	1,440	2,160	5,040	470	570
					小・中・高校生の団体	全面	1,440	1,440	2,160	5,040	470	570
						1/2面	720	720	1,090	2,530	240	300
			その他の場合			全面	7,230	7,230	10,850	25,310	2,340	2,820
	個人利用	一般・大学生					240	240	240			
		小・中・高校生					0	0	0			
クライミングウォール	個人利用						9時～17時	13時～22時				
		一般・大学生					360	360				
		高校生					240	240				
		小・中学生					120	120				
会議室	専用利用	アマチュアスポーツに利用する場合で、メインアリーナの専用利用を伴うとき				1室	1時間までごとに480		1時間までごとに610			
		アマチュアスポーツに利用する場合で、メインアリーナの専用利用を伴わないとき				1室	1,920	1,920	3,050	6,890	480	610
		その他の場合				1室	2,410	2,410	3,620	8,440	610	720
トレーニング室	個人利用	一般・大学生					3時間までごとに420					
		高校生					3時間までごとに240					

備考　１．団体とは、構成人員10人以上で構成するものをいう。

２．11月１日から翌年４月30日までの間にアリーナを専用利用する場合で、暖房を必要とするときは、別に定める暖房料を加算する。

３．アリーナの個人利用並びにクライミングウォール及びトレーニング室（以下「個人利用施設」という。）の利用については、回数券及び定期券を発行することができる。この場合において、個人利用施設のそれぞれの回数券及び定期券の額は、次のとおりとする。

(1) 回数券　１枚当たりこの表の規定による１回の利用料金の額に0.9を乗じて得た額

(2) 定期券　１か月当たりこの表の規定による１回の利用料金の額に10を乗じて得た額

備品

（単位：円）

機器	単位		昼間		夜間	備考
			９時～13時	13時～17時	17時～22時	
放送機材	メインアリーナ	1　式	970	970	970	大会または催物に利用する場合のみ貸し出すものとする。
	サブアリーナ	1　式	370	370	370	
大型得点盤	1　台		120	120	120	

(2) 釧路市柳町スピードスケート場

ア．一般利用料

区　分	一般及び大学生	高校生	中学生	小学生以下
入場料（１人１回につき）	70円	30円	10円	10円
滑走料	410	250	170	120
シーズン滑走料	4,510	2,750	1,870	1,320

備考　１．滑走料を納入した場合は、入場料を徴収しない。
２．シーズン滑走券の有効期間は、開設期間内とする。
３．30人以上の団体が滑走する場合は、次の表の区分により割引するものとする。

イ．団体利用料

区　分	割引率
30人以上100人未満	１割
100人以上300人未満	２割
300人以上	３割

ウ．貸切利用料

区　分	利用料金（30分につき）
普通貸切	6,970円
特別貸切	5,560

備考　１．特別貸切は、一般利用及び普通貸切の時間外で、教育委員会が定める時間の範囲内に限る。
２．利用時間が30分に満たないときは、30分とする。
３．暖房を必要とする場合は、教育委員会の定める暖房料を加算する。

(3) KKS釧路厚生社アイスアリーナ（釧路市柳町アイスホッケー場）

ア．一般利用料

区　分	一般及び大学生	高校生	中学生	小学生以下
入場料（１人１回につき）	80円	50円	20円	20円
滑走料	500	380	250	170
回数券（６回券）	2,500	1,900	1,250	850

備考　１．滑走料を納入した場合は、入場料を徴収しない。
２．回数券の有効期間は、その年の４月１日から翌年の３月31日までとする。
３．30人以上の団体が滑走する場合は、次の表の区分により割引するものとする。

イ．団体利用料

区　分	割引率
30人以上100人未満	１割
100人以上	２割

ウ．貸切利用料

区　分		利用料（30分につき）
普通貸切	平日・土曜日の場合	6,960円
	日曜日・祝祭日及び学校休業期間中の場合	10,750
特別貸切	一般	6,530
	大学生	4,740
	高校生	3,290
	中学生	2,650
	小学生以下	2,150

備考　１．特別貸切は、一般利用及び普通貸切の時間外で、教育委員会が定める時間の範囲内に限る。
２．利用時間が30分に満たないときは、30分とする。
３．暖房を必要とする場合は、教育委員会の定める暖房料を加算する。

(4) ユタカアイスアリーナくしろ（釧路アイスアリーナ）

ア．一般利用料

区　分	一般及び大学生	高校生	中学生	小学生以下
入場料（１人１回につき）	80円	50円	20円	20円
滑走料	500	380	250	170
回数券（６回券）	2,500	1,900	1,250	850

備考　１．滑走料を納付した場合は、入場料を徴収しない。
２．回数券の有効期間は、開設期間内とする。
３．30人以上の団体が滑走する場合は、次の表の区分により割引するものとする。

イ．団体利用料

区　分	割引率
30人以上100人未満	１割
100人以上	２割

ウ．貸切利用料

区　分		利用料金（30分につき）
普通貸切	平日・土曜日の場合	10,120円
	日曜日・祝祭日及び学校休業期間中の場合	15,180
特別貸切	一般	9,040
	大学生	6,970
	高校生	4,420
	中学生	3,540
	小学生以下	2,790

備考　１．特別貸切は、一般利用及び普通貸切の時間外で教育委員会が定める時間の範囲内に限る。
２．利用時間が30分に満たないときは、30分とする。
３．暖房を必要とする場合は、教育委員会の定める暖房料を加算する。

(5)Nisshoアイスアリーナ（釧路市春採アイスアリーナ）

ア．一般利用料

区　分	一般及び大学生	高校生	中学生	小学生以下
入場料（１人１回につき）	80円	50円	20円	20円
滑走料	500	380	250	170
回数券（６回券）	2,500	1,900	1,250	850

備考　１．滑走料を納付した場合は、入場料を徴収しない。
２．回数券の有効期間は、その年の４月１日から翌年の３月31日までとする。
３．30人以上の団体が滑走する場合は、次の表の区分により割引するものとする。

イ．団体料

区　分	割引率
30人以上100人未満	１　割
100人以上	２　割

ウ．貸切利用料

区　分		利用料金（30分につき）
普通貸切	平日・土曜日の場合	8,210円
	日曜日・祝祭日及び学校休業期間中の場合	12,660
特別貸切	一般	7,650
	大学生	5,560
	高校生	3,790
	中学生	3,160
	小学生以下	2,540

備考　１．特別貸切は、一般使用及び普通貸切の時間外で教育委員会が定める時間の範囲内に限る。
２．利用時間が30分に満たないときは、30分とする。
３．暖房を必要とする場合は、教育委員会の定める暖房料を加算する。

(6) 釧路市鳥取温水プール

ア．一般利用料

区　分	単　位	一般及び大学生	高校生	中学生	小学生以下
普通遊泳券	１人１回につき	500円	380円	220円	140円
回数遊泳券	６回使用分	2,500	1,900	1,100	700
定期遊泳券	１人１か月につき	3,750	2,850	1,650	1,050
コース利用料	１コース30分につき	640			

備考　１．団体利用の場合の遊泳料
20人以上の団体が使用する場合の普通遊泳券の額は、この表の額に100分の80を乗じて得た額とする。
２．コース利用料
(1) コースの利用は、１コースを10人以上で利用する場合に承認するものとし、コース利用料は、遊泳料のほかに収受する。
(2) 営利を目的とする利用の場合のコース利用料は、この表の額に100分の200を乗じて得た額とする。
(3) 利用時間が30分に満たない場合は、30分とする。

イ．貸切利用料

区　分	利用料（30分につき）
平日・土曜日	6,340 円
日曜日・祝祭日及び学校休業期間	9,490

備考　１．営利を目的とする使用の場合の利用料は、この表の額に100分の200を乗じて得た額とする。
２．利用時間が30分に満たない場合は、30分とする。

ウ．校外利用料

使用者区分 / 使用料区分	単　位	高校生	中学生	小学生以下
遊泳料	１人１回につき	150円	90円	80円

備考　校外使用料とは、学校、幼稚園、保育所等が授業または保育の一環として行う水泳教室に利用する場合をいう。

エ．附属設備利用料

区　分	利用料（1時間につき）
会議室	640 円
拡声装置一式	510

備考　１．営利を目的とする利用の場合の利用料は、この表の額に100分の200を乗じて得た額とする。
２．利用時間が１時間に満たない場合は、１時間とする。

(7) 釧路市鶴ケ岱武道館

区　分			使用料 午前 9時～13時	午後 13時～17時	昼間 9時～17時	夜間 17時～21時	全日 9時～13時	１時間当たり 9時～17時	１時間当たり 17時～21時	回数武道券（6回券）	定期武道券（1ヶ月）	摘要
道場	団体で武道に使用する場合	一般の団体	5,560円	5,560円	8,350円	7,600円	13,910円	1,450円	1,930円			開館時間外は、１時間当たり1,930円を徴収する。
		小・中・高校生の団体	4,180	4,180	5,560	5,060	9,750	1,090	1,330			
	個人で武道に使用する場合	一般	―	―	―	―	280			1,400円	2,100円	
		高校生	―	―	―	―	170			850	1,270	
		中学生以下	―	―	―	―	120			600	900	

備考　教育委員会が使用を認めた武道以外のスポーツの使用料は、上記に準ずる。

(8) ウインドヒルひがし北海道スタジアム
（釧路市民球場、大規模運動公園）

区分	単位	使用料	
		入場料無料	入場料有料
職業	1日につき	34,790円	入場料総額の12%に相当する額
	半日につき	20,880	入場料総額の７%に相当する額
	1時間につき	5,290	
一般	1日につき	16,700	最高入場料の115人分に相当する額
	半日につき	9,750	最高入場料の69人分に相当する額
	1時間につき	2,510	
大学生 高校生 中学生 小学生	1日につき	8,350	最高入場料の69人分に相当する額
	半日につき	4,870	最高入場料の40人分に相当する額
	1時間につき	1,230	

備考　入場料有料の場合において、その使用料の額が入場料無料の欄の額より少額であるときは、入場料無料の欄の額を適用する。

(9) ウインドヒルひがし北海道スタジアム
グラウンドの外野部分のみを使用する場合（釧路市民球場、大規模運動公園）

区分		単位	使用料
営利目的		1日につき	25,060 円
		半日につき	14,610
		1時間につき	3,760
非営利目的	一般	1日につき	8,350
		半日につき	4,870
		1時間につき	1,250
	大学生以下	1日につき	4,180
		半日につき	2,430
		1時間につき	610

(10) ウインドヒルひがし北海道スタジアム屋内練習場
（釧路市民球場屋内練習場、大規模運動公園）

区分		単位	使用料
個人 （一面）	職業	1人1時間につき	480 円
	一般	1人1時間につき	240
	大学生 高校生 中学生 小学生	1人1時間につき	120
貸切 （全面）	職業	1人1時間につき	4,820
	一般	1人1時間につき	2,410
	大学生 高校生 中学生 小学生	1人1時間につき	1,200

(11) ウインドヒルひがし北海道付属スタジアム
（釧路市民球場附属球場、大規模運動公園）

区分	単位	使用料
一般	1日につき	4,180 円
	半日につき	2,510
	1時間につき	630
大学生 高校生 中学生 小学生	1日につき	2,090
	半日につき	1,230
	1時間につき	350
夜間照明	30分につき	970

(12) 釧路市民ソフトボール場（大規模運動公園）

区分	単位		使用料
一般	1面	1日につき	4,180 円
		半日につき	2,510
		1時間につき	630
大学生以下	1面	1日につき	2,090
		半日につき	1,230
		1時間につき	350

(13) 釧路市民サッカー場（大規模運動公園）

区分	単位	使用料
一般	1日につき	4,180 円
	半日につき	2,510
	1時間につき	630
大学生 高校生 中学生 小学生	1日につき	2,090
	半日につき	1,230
	1時間につき	350

(14) 釧路市民陸上競技場（大規模運動公園）

区分			単位	使用料	
				入場料無	入場料有料
競技場	貸切	一般	1日につき	16,700円	最高入場料の115人分に相当する額
			半日につき	9,750	最高入場料の69人分に相当する額
			1時間につき	2,510	最高入場料の17人分に相当する額
		大学生以下	1日につき	8,350	最高入場料の69人分に相当する額
			半日につき	4,870	最高入場料の40人分に相当する額
			1時間につき	1,230	最高入場料の12人分に相当する額
		夜間照明	30分につき	830	830円
	個人	一般	1回につき	130	
			回数券(11回使用券)	1,300	
		大学生高校生	1回につき	100	
			回数券(11回使用券)	1,000	
		中学小学生	1回につき	60	
			回数券(11回使用券)	600	
		夜間照明	各区分の1回当たり使用料の50%に相当する額		
室内走路	貸切	一般	1日につき	4,180	
			半日につき	2,510	
			1時間につき	630	
		大学生以下	1日につき	2,090	
			半日につき	1,230	
			1時間につき	350	
	個人	競技場の個人使用料と同額とする。			

備考　1．入場料有料の場合において、その使用料の額が入場料無料の欄の額より少額であるときは、入場料無料の欄の額を適用する。

2．個人使用の場合には、競技場又は室内走路いずれかの使用料をもって、両施設を使用することができる。

3．暖房料については、教育委員会が定める暖房料を加算する。

(15) 釧路市民陸上競技場附属競技場（大規模運動公園）

区分		単位	使用料
貸切	一般	1日につき	4,180 円
		半日につき	2,510
		1時間につき	630
	大学生以下	1日につき	2,090
		半日につき	1,230
		1時間につき	350
個人	無料		

(16) 釧路市民テニスコート（大規模運動公園）

区分		単位	使用料
個人	一般	1人1時間につき	280 円
	大学生以下		120
専用	一般	1面1時間につき	1,110
	大学生以下		560
夜間照明		1面1時間につき	560

(17) 附属施設及び附属器具（大規模運動公園）

区分	単位	使用料	
		入場料無料	入場料有料
会議室	1日につき	2,510 円	5,010 円
	半日につき	1,230	2,510
その他の室	1日につき	1,230	2,510
	半日につき	630	1,230
拡声機(マイクロフォン1本付)	1日につき	4,180	8,350
	半日につき	2,090	4,180
マイクロフォン1本増すごとに	1日につき	1,040	2,090
	半日につき	510	1,050
ワイヤレスマイクロフォン一式	1日につき	2,090	4,180
	半日につき	1,040	2,090
釧路市民球場スコアボード	1日につき	3,850	7,700
	半日につき	2,200	4,400
	1時間につき	550	1,100

備考　暖房料については、教育委員会が定める暖房料を加算する。

(18) 阿寒町総合運動公園

ア. 阿寒町多目的広場

（単位：円）

区分			半面使用	全面使用
貸切	一般	1日につき	4,480	8,960
		半日につき	2,650	5,300
		1時間につき	660	1,320
	大学生 高校生 中学生 小学生	1日につき	2,240	4,480
		半日につき	1,320	2,650
		1時間につき	340	660
	夜間照明	1時間につき	370	730

備考　「1日」とは、午前8時から午後5時までをいい、「半日」とは、午前8時から正午まで又は正午から午後5時までをいう。

イ. 阿寒町多種目競技広場

（単位：円）

区分			使用料
貸切	一般	1日につき	3,970
		半日につき	2,320
		1時間につき	580
	大学生・高校生 中学生・小学生	1日につき	2,000
		半日につき	1,180
		1時間につき	300
	夜間照明	1時間につき	450
個人	一般	1時間につき	280
	大学生・高校生 中学生・小学生	1時間につき	130
	夜間照明	一般 1時間につき	80
		大学生 高校生 中学生 小学生 1時間につき	30

備考　「1日」とは、午前8時から午後5時までをいい、「半日」とは、午前8時から正午まで又は正午から午後5時までをいう。

ウ. 阿寒町野球場

（単位：円）

区分		使用料
一般	1日につき	4,180
	半日につき	2,510
	1時間につき	630
大学生・高校生 中学生・小学生	1日につき	2,090
	半日につき	1,230
	1時間につき	350

備考　「1日」とは、午前8時から午後5時までをいい、「半日」とは、午前8時から正午まで又は正午から午後5時までをいう。

エ. 阿寒町スポーツセンター

(ｱ) アリーナ

（単位：円）

区分			2時間につき	
			6/1～9/30	10/1～5/31
貸切	一般	1／6面	740	970
		2／6面	1,490	1,930
		3／6面	2,020	2,620
		4／6面	2,600	3,370
		5／6面	3,130	4,060
		全面	3,580	4,640
	大学生 高校生 中学生 小学生	1／6面	340	440
		2／6面	670	880
		3／6面	920	1,190
		4／6面	1,170	1,530
		5／6面	1,420	1,840
		全面	1,620	2,110
個人	一般		110	150
	大学生・高校生 中学生・小学生		50	70

(ｲ) トレーニングルーム

（単位：円）

区分		6/1～9/30	10/1～5/31
一般	1回につき	170	280
	回数券	1,730	2,750
大学生・高校生 中学生・小学生	1回につき	90	130
	回数券	920	1,320

備考　1．使用料は4時間をもって1回とする。
　　2．回数券は11回券とする。

(ｳ) 水泳プール個人使用

（単位：円）

使用区分＼時間区分	昼間（10～18時）	夜間（18～20時）
小人（小、中学生）1回につき	160	210
大人 1回につき	370	410

(ｴ) 水泳プール団体使用

（単位：円）

使用区分＼時間区分	昼間（10～18時）		夜間（18～20時）	
	1人につき		1人につき	
	小人（小、中学生）	大人	小人（小、中学生）	大人
11人以上	150	340	160	370

(ｵ) 水泳プール回数券（11 回券）

（単位：円）

使用区分＼時間区分	昼　間（10～18時）	夜　間（18～20時）
小　人（小、中学生）	1,690	2,060
大　人	3,620	4,090

備考　１．使用料は２時間をもって１回とする。
　　２．回数券は１開設期間中有効とする。

(19)　阿寒湖畔スポーツ広場

ア．阿寒湖畔トレーニングセンター

(ｱ) 水泳プール個人利用

（単位：円）

利用区分＼時間区分	昼　間（10～18時）	夜　間（18～20時）
小　人（小、中学生）１回につき	160	210
大　人　１回につき	370	410

(ｲ) 水泳プール団体利用

（単位：円）

利用区分＼時間区分	昼間(10～18時)		夜間(18～20時)	
	１人につき		１人につき	
	小　人（小、中学生）	大　人	小　人（小、中学生）	大　人
11人以上	150	340	160	370

(ｳ)　水泳プール回数券（11 回券）

（単位：円）

利用区分＼時間区分	昼　間（10～18時）	夜　間（18～20時）
小　人（小、中学生）	1,690	2,060
大　人	3,620	4,090

(ｴ) トレーニング室

（単位：円）

区　分	単　位	6/1～9/30	10/1～5/31
一　般	１回につき	170	280
大学生 高校生 中学生 小学生	１回につき	90	130

(ｵ) トレーニング室回数券（11 回券）

（単位：円）

区　分	6/1～9/30	10/1～5/31
一　般	1,730	2,750
大学生 高校生 中学生 小学生	920	1,320

イ．阿寒湖畔スケートリンク

（単位：円）

区　分	個　人（1 回につき）	貸　切（30分につき）
一　般	710	6,970
大学生 高校生 中学生 小学生	370	

ウ．阿寒湖畔多種目競技場

（単位：円）

区　分		単　位	金額	備　考
個人	小　人（小、中学生）	1時間につき	130	団体の利用料は、小人または大人がそれぞれ10人以上の団体で利用する場合に適用する。
	大　人		280	
団体	小　人（小、中学生）		900	
	大　人		1,810	

備考　１．参加料を徴収する場合の利用料は、この表の利用料の額の 100 分の 150 の額とする。
　　２．水泳プールを利用する場合の利用料は、２時間をもって１回とする。
　　３．水泳プールの回数券は、１開設期間中有効とする。
　　４．トレーニング室を利用する場合の利用料金は、４時間をもって１回とする。

(20) 音別町スケートリンク

ア. 貸切使用料　（単位：円）

区　分	単　位	使用料
スピードリンク	1時間につき	1,950
スピードリンク夜間照明	1時間につき	340
カーリング場	1時間につき	580
カーリング場夜間照明	1時間につき	90

備考

1．貸切使用の場合に限る

2．一般使用の場合は、無料

(21) 音別町野球場

ア. 貸切使用料　（単位：円）

区　分	時間帯	使用料
一　般	8時～17時	4,180
	8時～12時	2,510
	12時～17時	
	1時間につき	630
大学生	8時～17時	2,090
高校生	8時～12時	1,230
中学生	12時～17時	
小学生	1時間につき	350

(22) 音別町パークゴルフ場　無　料

(23) 音別町パークゴルフ場　6,820円以内
休憩所沸騰室　（日額料金とする。）

(24) 音別町運動公園　無　料

３．釧路市社会体育施設（有料）利用状況の推移

施設名	供用開始	区分	R5	R6	R7
ウインドヒルくしろスーパーアリーナ（湿原の風アリーナ釧路）	H20. 9.27	人員（人）	266,904	291,463	290,109
釧路市柳町スピードスケート場	S46.12.11	入場者（人）	1,530	1,602	1,666
		滑走者（人）	6,775	17,187	24,980
KKS釧路厚生社アイスアリーナ（釧路市柳町アイスホッケー場）	S54.11. 1	入場者（人）	1,013	1,094	665
		滑走者（人）	48,370	42,174	47,783
釧路市鳥取温水プール	H 4. 4. 5	遊泳者（人）	55,545	56,208	57,809
Ｎｉｓｓｈｏアイスアリーナ（釧路市春採アイスアリーナ）	S58. 9. 4	入場者（人）	1,483	1,335	1,142
		滑走者（人）	35,564	33,537	46,932
ユタカアイスアリーナくしろ（釧路アイスアリーナ）	H 8.11.20	入場者（人）	632	756	823
		滑走者（人）	52,727	38,589	44,016
釧路市鶴ケ岱武道館	S60. 3.14	人員（人）	26,147	26,942	25,673
ウインドヒルひがし北海道スタジアム（釧路市民球場）	S58. 7.24	件数（件）	399	427	349
		人員（人）	19,029	19,014	15,103
ウインドヒルひがし北海道スタジアム附属スタジアム（釧路市民球場附属球場）	S58. 7.24	件数（件）	66	88	77
		人員（人）	6,313	7,761	6,421
釧路市民サッカー場	S59.10. 7	件数（件）	63	38	66
		人員（人）	2,015	1,520	2,740
釧路市民陸上競技場	S62. 9.27	人員（人）	40,233	39,886	38,127
釧路市民陸上競技場附属競技場	S62. 9.27	人員（人）	12,075	12,850	12,761
釧路市民テニスコート	H 3.10. 6	人員（人）	17,929	25,008	22,027
大規模運動公園附属施設	S58. 7.24	件数（件）	127	152	141
釧路市民ソフトボール場	H 9. 6. 8	人員（人）	2,288	2,887	2,458
阿寒町総合運動公園					
アリーナ	S57. 4. 1	人員（人）	10,650	10,607	10,656
プール	S57. 4. 1	人員（人）	1,330	1,642	1,856
野球場	S62. 4. 1	人員（人）	2,466	1,586	2,303
多目的広場	S63. 4. 1	人員（人）	2,928	2,958	3,538
多種目競技広場	H 2. 9.25	人員（人）	0	0	0
阿寒湖畔スポーツ広場					
プール	S63.12. 1	人員（人）	280	318	253
トレーニング室	S63.12. 1	人員（人）	1,826	2,060	2,138
スケートリンク	S63.12. 1	人員（人）	658	732	685
音別町野球場	S60. 5. 1	人員（人）	840	535	475
音別町スケートリンク	S57.12.10	人員（人）	934	616	825

第５章　社会教育施設の概要

〔１〕釧路市生涯学習センター

様々な学習・文化活動の機会の提供等、市民の強い学習要求に答えるため建設された。愛称の「まなぼっと幣舞」は「何かを学んでみようと思い立ったら、いつでもだれでも気軽に立ち寄れる場所(スポット)」という意味が込められている。

１．沿　　革

平成 2年 1月　着工
4年10月　竣工
4年11月　開館
12年 4月　アートギャラリーを「釧路市立美術館」と名称変更し、年間を通じて各種展覧会を開催する。鑑賞機会の充実を図る。
18年 4月　指定管理者として釧路市民文化振興財団を指定する。（平成18～20年度）
21年 4月　指定管理者として釧路市民文化振興財団、北海道共立コンソーシアムを指定する。（平成21～23年度）
24年 4月　同上（平成24～28年度）
29年 4月　同上（平成29～令和３年度）
令和 4年 4月　同上（令和４～８年度）

２．施設の概要

所　在　地	幣舞町４番28号 ☎41-8181　FAX41-8182
設立年月日	平成４年11月１日
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造　地下１階､地上10階建 敷地面積　5,989㎡ 延床面積　11,451.89㎡ 〔地下１階〕　903.60㎡ 工芸スタジオ（木工・陶芸・彫塑）窯室 〔１階〕　2,911.17㎡ 大ホール（806席）、市民展示ホール、音楽スタジオ 〔２階〕　2,330.18㎡ 市民ロビー、多目的ホール、ちびっこルーム、事務室 〔３階〕　1,422.27㎡ 釧路市立美術館（ギャラリーＡ・ギャラリーＢ） 〔４階〕　620.28㎡ 和室（１・２・３）、茶室、団体連絡室 〔５階〕　601.60㎡ ハイビジョンシアター、アートスタジオ 〔６階〕　597.52㎡ 学習室（601・602）、クッキングスタジオ 〔７階〕　597.52㎡ 学習室（703・704・705・706） 〔８階〕　593.44㎡ 会議室（801・802・803） 〔９階〕　562.03㎡ 展望レストラン 〔10階〕　209.82㎡ 展望室 〔PH１階〕　102.46㎡

＊生涯学習センター内の組織的かかわり

生涯学習課

美術館の運営（美術展の企画実施、美術品の収集管理・普及活動・調査研究）

釧路市民文化振興財団、北海道共立コンソーシアム（指定管理者）

生涯学習センターの運営(生涯学習事業の実施等)、施設の維持管理

３．釧路市生涯学習センターを中心とした生涯学習事業

(1) 市民学園講座の開講

市民ニーズに応えるためメニュー方式を導入し、市民講師・学習ボランティアの活用を図ると共に民間との連携を進め、多様で充実した学習機会の提供、学習者の仲間づくり、学習活動の支援等を行う。

ア．ライフステージ講座

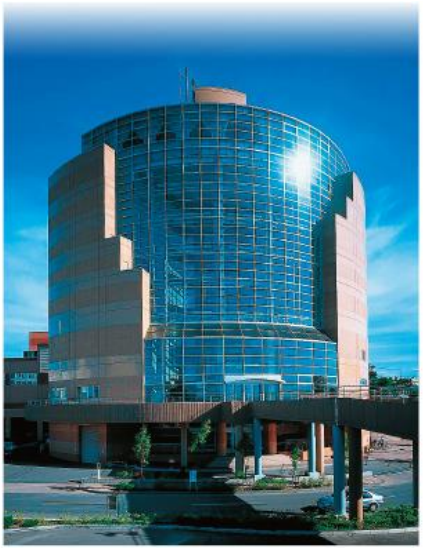
生涯各期にわたる潤いある生活へ向けて「子育て応援講座」「わくわく体験隊」「子どもチャレンジ」「いきいき女性講座」「まなぼっとシニア講座」を開催するほか、釧路再発見や転入者の気軽な学習参加のための釧路入門講座「ライフアップ講座」、道東の自然と歴史を深く学ぶ「釧路学教養講座」を実施している。

イ．くしろ市民大学

市内を中心に活躍している有職者を講師に迎え、郷土釧路をはじめ幅広い分野で共に学び考える。

ウ．くしろ市民学園友の会の活動

学園修了者とサークルによる「くしろ市民学園友の会」を組織し学習者の交流と学習ボランティアの育成を進めて生涯学習のまちづくりを積極的に支援する（令和７年度50団体加入）



釧路市生涯学習センター「まなぼっと幣舞」

エ．生涯学習フェスティバル「まなトピア」

生涯学習センターを中心に開催。市民を対象として、学ぶ楽しさや喜びを知るきっかけをつかんでもらうことを目的に実施する学習イベント。

オ．学習支援活動

生涯学習活動の相談、学習ボランティアの育成を図るため、生涯学習推進アドバイザーを配置。講座案内等により学習情報の提供を行うなど、市民の生涯学習の取組を進めるため各種の支援活動を行う。

４．開館及び休館

(1) **開館**　火～日（午前９時～午後 10 時）

(2) **休館**　毎週月曜日及び12月29日～１月３日

５．利用状況（美術館入館者は第３章文化芸術に記載）

区分＼年度		R5	R6	R7
大　ホ　ー　ル	件数（件）	104	93	96
	人員（人）	24,785	22,227	20,799
市民展示ホール	件数（件）	186	169	174
	人員（人）	17,293	16,743	15,716
多目的ホール	件数（件）	254	261	251
	人員（人）	18,587	20,568	21,435
和室（３）・茶室（１）	件数（件）	441	465	438
	人員（人）	2,624	3,624	3,220
学習室(６)・会議室（３）	件数（件）	2,258	2,144	2,162
	人員（人）	42,967	43,419	43,368
スタジオ等（９）	件数（件）	2,144	2,052	2,005
	人員（人）	30,695	28,479	26,289
合　計	件数（件）	5,387	5,184	5,126
	人員（人）	136,951	135,060	130,827

６．使用料　（令和8年5月1日現在）（消費税込）

区　分	単　位	金額（円）
大ホール	９時から12時まで	41,750
	13時から17時まで	55,660
	18時から22時まで	55,660
	その他の時間(1時間につき)	13,910
リハーサル室	９時から12時まで	4,580
	13時から17時まで	6,120
	18時から22時まで	6,120
	その他の時間（1時間につき）	1,530
楽屋１、２	９時から12時まで	2,910
	13時から17時まで	3,890
	18時から22時まで	3,890
	その他の時間（1時間につき）	970
楽屋３	９時から12時まで	830
	13時から17時まで	1,110
	18時から22時まで	1,110
	その他の時間（1時間につき）	280
シャワー室１、２	９時から12時まで	130
	13時から17時まで	230
	18時から22時まで	280
	その他の時間（1時間につき）	30
市民展示ホールA	９時から12時まで	2,910
	13時から17時まで	3,890
	18時から22時まで	3,890
	その他の時間（1時間につき）	970
市民展示ホールB	９時から12時まで	2,090
	13時から17時まで	2,790
	18時から22時まで	2,790
	その他の時間（1時間につき）	690
多目的ホール	１時間につき	3,890
特別会議室	１時間につき	2,790
会議室１・２	１時間につき	970
学習室１～６	１時間につき	970
和室１～３	１時間につき	970
茶室	１時間につき	560
音楽スタジオA	１時間につき	1,530
音楽スタジオB	１時間につき	1,110
アートスタジオ	１時間につき	1,110
工芸スタジオA～C	１時間につき	1,110
クッキングスタジオ	１時間につき	1,530
ハイビジョンシアター	１時間につき	2,350

〔２〕釧路市青少年育成センター

１．沿　革

昭和34年 4月　青少年問題協議会において、補導センターの開設が決定される。
9月　「釧路市青少年補導センター」が設置される。（釧路市栄町5 栄町児童館に併設）
47年 6月　旧行政監察局庁舎跡へ移転する。
54年 5月　少年相談電話を開設する。
56年 5月　総合福祉センターへ移転する。
61年 4月　機構改革により教育委員会に移管するとともに名称を「釧路市青少年育成センター」と改称する。
平成 4年 4月　北海道旅客鉄道株式会社釧路支社社屋へ移転する。
7年 4月　市役所分庁舎（太平洋興発ビル）へ移転する。
19年 4月　機構改革によりこども保健部に移管するとともに市役所本庁舎へ移転する。
22年 4月　機構改革により教育委員会に移管するとともにフィッシャーマンズワーフＭＯＯへ移転する。
23年 4月　機構改革により教育支援課へ移管する。
24年 6月　「こども110番の店」の取組（ステッカーの貼付）を開始する

〔３〕釧路市交流プラザさいわい

１．沿　革

昭和45年12月　勤労者の福祉・文化および教養の向上を図ることを主とした目的の「厚生年金釧路市福祉会館」建設に着工する。
46年 7月　４階建の「厚生年金釧路市福祉会館」が開館する。
52年　釧路市及び根室市の婦人団体連絡協議会が中心となり､「婦人会館建設期成会」が発足する。
53年 8月　釧路･根室管内を含めた女性の福祉の増進･文化及び教養の向上を図ることを目的とした広域施設として「釧根地域婦人会館」を厚生年金釧路市福祉会館の5･6階に設置するため増築に着工する。
54年 4月　「釧根地域婦人会館」が開館する。
平成13年 4月　市民の学習活動を奨励し、文化・教養及び福祉の向上を図り、男女が共に参画する社会の形成に寄与することを目的として、厚生年金釧路市福祉会館と釧根地域婦人会館の両館を統合し、６階建の「釧路市交流プラザさいわい」を設置する。
18年 4月　指定管理者として財団法人釧路市民文化振興財団を指定する。(平成18年４月～21年１月)
21年 1月　耐震診断により耐震補強等を含めた対応が必要あることが判明し全館使用停止する。（登録サークルについては、旧柏木学校の空き校舎を暫定利用）
22年 3月　耐震改修工事を着工（平成23年3月竣工)。
23年 4月　指定管理者として財団法人釧路市民文化振興財団を指定する。（平成23～27年度)
23年 5月　リニューアルオープン
28年 4月　指定管理者として一般財団法人釧路市民文化振興財団を指定する。（平成28～令和2年度)
令和 3年 4月　同上（令和3～7年度)
7年 3月　多目的ホール廃止
10月　旧多目的ホール部分に釧路市子育て支援総合センター開設（所管：こども育成課)
8年 4月　指定管理者として一般財団法人釧路市民文化振興財団を指定する。(令和8～12年度)

２．施設の概要

所在地	幸町9丁目1番地 ☎64-9471･FAX64-9472
設立年月日	平成13年４月１日
規　模	会議室24室（洋室19室・ホール２室・和室３室）、特殊室７室
構　造	鉄筋コンクリート造　地下１階、地上４階建 敷地面積　2,536.21㎡ 延床面積　2,816.36㎡

３．開館及び休館

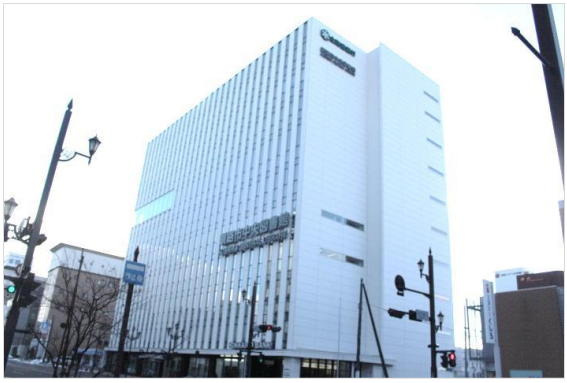
(1) **開館**　月～土（午前９時～午後９時)
(2) **休館**　毎週日曜日及び12月29日～１月３日

４．利用状況

区分／年度	会議室(洋19室)		会議室（和３室）		多目的ホール		大ホール		小ホール		特殊室(７室)		合　計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数（件）	人員（人）
R5	4,869	42,028	477	2,462	224	13,032	295	9,881	243	5,025	816	6,654	6,924	79,082
R6	4,717	40,354	427	2,139	173	9,721	246	7,917	182	3,888	753	6,048	6,498	70,067
R7	5,176	47,264	420	1,989	－	－	274	10,905	204	4,701	768	6,099	6,842	70,958

〔４〕釧路市中央図書館

１．本　　館（釧路市中央図書館外観）



(1) 沿　　革

明治45年 4月　東宮殿下（大正天皇）行啓の際に御宿舎として建築した公会堂の一室を「釧路教育会附属図書館」として開館。
大正14年 2月　摂政宮殿下（昭和天皇）の御成婚を記念して「今上陛下御成婚記念釧路市簡易図書館」を開館。これは釧路教育会附属図書館を引き継いだもので、この日をもって「市立釧路図書館」の創設日とする。蔵書数は1,935冊。
昭和10年 9月　元釧路市水道部事務所（幣舞町の旧市役所庁舎横）に移転する。
19年11月　名称を「御成婚記念市立釧路図書館」と改称する。
25年 9月　図書館法の公布により市立釧路図書館条例を制定、名称を「市立釧路図書館」とする。また、同条例に基づき市立釧路図書館協議会を設置する。
26年 2月　幣舞町５番地に図書館を建設する。木造モルタル２階建、建物延面積333.9 平方メートル。工事費2,273,880円。蔵書数は11,556冊。
35年12月　市立釧路図書館改築促進期成会が発足する。
46年10月　幣舞町４番地の旧市役所庁舎跡地にて、図書館建築工事に着手する。
47年11月　建築工事竣工する。鉄筋コンクリート地上４階地下１階、建物延面積は3,028.36平方メートル、総事業費296,170千円。蔵書数42,578冊。
48年 1月　25日に開館落成式を挙行。翌26日に開館する。
48年 5月　図書館バスの運行を開始する。ステーション15か所、配本所２か所。
56年12月　「市立釧路図書館資料整備基金」を設ける。これは村上物産会長村上祐二氏の寄附金1,000万円に基づくものである。
59年 4月　視聴覚室にコンパクトディスクを導入する。
59年10月　図書館バス２号車運行を開始する。
62年 4月　視聴覚室にレーザーディスクを導入する。
平成 2年 8月　コア鳥取の開館に伴い、センター内図書室において図書館サービスを開始する。
5年10月　コア大空の開館に伴い、センター内図書室において図書館サービスを開始する。
8年10月　児童室の電算化による図書貸出・返却サービスを開始する。
10年 6月　一般閲覧室の電算化による図書貸出・返却サービスを開始する。
11年 5月　本館とコア鳥取、コア大空がネットワーク化によりコンピュータによる図書の貸出･返却･検索等のサービスを開始する。
12年 8月　コアかがやきの開館に伴い、センター内図書室において図書館サービスを開始する。これに伴い図書館バスが１台体制となる。
14年 5月　視聴覚資料のうちコンパクトディスク資料の特別貸出を開始する。
15年 8月　図書館子ども読書支援ボランティアが発足する。
18年　旧・釧路市、阿寒町、音別町の合併に伴い、図書館システムの統合とインターネット環境の整備を行う。
19年 4月　新図書館システムが本稼働する。全館・室が専用回線で結ばれ、どの施設からでも資料の貸出･返却が可能となる。また、インターネットによる蔵書検索、貸出予約等も可能となる。
20年 4月　指定管理者として、㈱図書館流通センターを指定する。（平成20～22年度）
23年 4年　同上（平成23～27年度）
24年 4月　図書館バスの更新を行う。
25年 8月　無線LAN環境の整備を行い、iPadの一般利用を開始する。
25年10月　図書館システムの更新を行う。
27年 2月　新図書館の整備に向け、「新図書館整備の基本的な考え方」を策定する。
28年 4月　コミュニティセンター３館内図書室を本館の分館と位置づけ、管理運営の一元化を図り、名称を「釧路市西部地区図書館」、「釧路市中部地区図書館」、「釧路市東部地区図書館」と改称する。
指定管理者として、㈱図書館流通センターを指定する。（平成28年度）
28年 6月　北大通10丁目に建設中の新釧路道銀ビル内にて、新図書館建設工事に着手する。
29年 4月　指定管理者として、釧路市民文化振興財団、くしろ知域文化財団コンソーシアムを指定する。（平成29～32年度）
29年 9月　15日に新図書館建設工事が竣工。鉄骨造10階建ビルのうち、図書館部分５階層（３～７階）、延床面積5,289.48平方メートル。内部造作工事費1,251,720 千円、収蔵冊数45万冊。
30年 2月　３日に釧路市中央図書館開館式典を挙行。同日に開館する。
令和 3年 4月　指定管理者として、くしろ知域文化財団を指定する。（令和３～７年度）
4年 1月　図書郵送貸出（有料）サービスを開始する。
5年 3月　図書館システムの更新を行う。
8年 4月　指定管理者として、くしろ知域文化財団を指定する。（令和８～12年度）

(2) 施設の概要（釧路市中央図書館）

所在地	北大通10丁目２番地 ☎64−1740・FAX64−1741
開館年月日	平成30年２月３日
構造・規模	鉄骨造10階建のうち、３階から７階及び１階の一部 延床面積　5,289.48㎡ 〔１階〕　66.63㎡ 返却ポスト（4.25）　車庫（55.76）　その他（6.62） 〔３階〕　1,044.57㎡ 会議室（70.95）　ボランティアルーム（67.98） 館外支援室（203.94）　資料整備室（27.37） 閉架書庫（304.72）　出納作業室（22.16） その他（347.45） 〔４階〕　1,044.57㎡ ロビー（105.98）　ティーンズルーム（33.00） 一般開架スペース（287.19） ファミリー読書ルーム（27.14） 児童スペース（366.28）　授乳室（11.94） 予約取置室（12.43）　その他（200.61） 〔５階〕　1,044.57㎡ 対面朗読室（34.50）　ＰＣコーナー（31.22） 一般開架スペース（483.18）　貴重書庫（10.13） レファレンスコーナー（123.38） 郷土資料スペース（153.12）　その他（209.04） 〔６階〕　1,044.57㎡ 一般開架スペース（413.71）　文学館展示室（217.11） 文学活動室（63.08）　文学館資料保管庫（127.90） その他（222.77） 〔７階〕　1,044.57㎡ 多目的ホール（152.76）　視聴覚コーナー（59.74） 展示コーナー（67.88）　ラウンジ（141.92） 事務室（63.09）　個人学習室（105.60） グループ学習室①（46.60）グループ学習室②（23.60） その他（383.38）
各室席数	会議室（３階）　16席 多目的ホール（７階）　100席 視聴覚コーナー（７階）　10席 個人学習室（７階）　47席 グループ学習室①（７階）　24席 グループ学習室②（７階）　10席



図書館バス

週	曜日	バスの停まる所	時刻
第一	火	山花小中学校	10時20分から10時50分
第一と第三	火	生涯学習センター	13時10分から13時40分
		ハピネスマート春採店	14時00分から14時40分
		白樺まりも学園	15時00分から15時40分
	水	スーパーアークス鳥取大通店	13時30分から14時10分
		イオンモール釧路昭和	14時30分から15時10分
	木	第１福ちゃん保育園	13時30分から14時10分
		柳町スピードスケート場	14時30分から15時10分
	金	コーチャンフォー釧路文化ホール	13時30分から14時10分
		駒場公園	14時30分から15時10分
第二と第四	火	春日公園	13時30分から14時10分
		光陽児童館	14時30分から15時10分
	水	はしどい学園	13時30分から14時00分
		ローソン釧路新富士町五丁目	14時10分から14時40分
		星が浦老人福祉センター	15時00分から15時30分
	木	セブンイレブン釧路大楽毛店	13時30分から14時10分
		大楽毛学園	14時30分から15時10分
	金	春採下町会館	13時30分から14時10分
		フクハラ武佐店	14時30分から15時10分

令和8年5月1日現在19か所

(3) 事業の概要

ア．図書館バスの運行

図書館のサービス施設から遠距離に居住し、利用できない地域住民への貸出サービスとして昭和48年５月から運行を開始し、昭和59年10月から２台体制となったが、コミセン図書室の整備により平成12年８月より１台体制に戻った。現在は19カ所のステーションを月２回巡回している。

イ．読書普及活動事業

特に子どもたちがこころ豊かに生きるために、館内での読み聞かせ講座のほか、学校、保育園、子育てサークルや福祉施設などに職員を派遣し、読み聞かせやブックトークも実施している。本館では毎週木･金･土曜日におはなし会を実施し、分館・分室でも開催している。

ウ．ＤＶＤ映画会

当館所蔵のＤＶＤを毎週金・土曜日に多目的ホールで上映している。

エ．施設利用

社会教育団体が図書館活動に資する場合、当館の会議室・多目的ホール・展示室・グループ学習室を利用することができる。

オ．貸出予約・レファレンス等のサービス

所蔵資料等を使って調査・相談などに応じる参考調査業務のレファレンスや図書貸出の予約、購入希望図書の予約申込み、郵送貸出サービス、当館に所蔵していない資料を他館から借りる相互貸借、複写サービスなどを実施している。

また、中央図書館では、読書にハンディキャップを持つ方を対象とした所蔵資料や持ち込み資料の対面朗読サービスを実施している。

カ．団体貸出の実施

地域、家庭、学級、園、館、職域などの文庫に団体貸出を実施している。１回300冊以内で期間は30日以内。

(4) 開館及び休館

ア．開館　火～日(午前９時30分～午後７時30分)

イ．休館　毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館）
館内整理日（毎月最終金曜日）
特別資料整理日
年末年始（12月29日～１月３日）

(5) 資料の館外貸出

本館・分館・分室では利用者１人につき全館合わせて10冊まで２週間、視聴覚資料のうちコンパクトディスク資料は本館のみ１人１回５点まで２週間の貸出を行っている。

(6) 釧路文学館（釧路市中央図書館６階）

地域の文学活動を支える拠点として、釧路ゆかりの文学に関する資料を収集、保存するとともに、年４回の企画展等を実施し、情報発信を行っている。

２．分館「釧路市西部地区図書館」

(1) 施設概要

所　在　地	釧路市鳥取北８丁目３番10号
設立年月日	平成2年8月1日（釧路市鳥取コミュニティセンター内に設置）
規　　模	図書館の面積　387.5㎡

(2) 開館及び休館

ア．開館　火～日（午前９時30分～午後６時）

イ．休館　毎週月曜日、館内整理日(毎月最終金曜日)、特別資料整備日、年末年始（12月29日～１月３日）

３．分館「釧路市東部地区図書館」

(1) 施設概要

所　在　地	釧路市益浦１丁目20番20号
設立年月日	平成5年10月1日（釧路市東部地区コミュニティセンター内に設置）
規　　模	図書館の面積　374.30㎡

(2) 開館及び休館

ア．開館　火～日(午前９時30分～午後６時)

イ．休館　毎週月曜日、館内整理日(毎月最終金曜日)
特別資料整備日、年末年始(12月29日～１月３日)

４．分館「釧路市中部地区図書館」

(1) 施設概要

所　在　地	釧路市愛国191番地5511
設立年月日	平成12年8月1日（釧路市中部地区コミュニティセンター内に設置）
規　　模	図書館の面積　364.4㎡

(2) 開館及び休館

ア．開館　火～日（午前９時30分～午後６時）

イ．閉館　毎週月曜日、館内整理日(毎月最終金曜日)
特別資料整理日、年末年始（12月29日～１月３日）

５．分館「音別町ふれあい図書館」（みなくる77）

(1) 施設概要

所　在　地	音別町朝日２丁目81番地 ☎01547-6-3435・FAX01547-6-2889
設立年月日	平成４年３月15日
構造・規模	鉄筋コンクリート造　２階建 延床面積　1,312.99㎡
	１階　789.78㎡　２階　523.21㎡ 図書室 郷土資料展示室 視聴覚室 学習・会議室 体験学習室 事務室
建　設　費	522,725千円

(2) 事業概要

ア．図書館のおしごと体験

図書館や司書の役割を理解し、本への興味・関心を高めることを目的として、音別地区の小学生から中学生を対象に、学校休業期間中に体験型学習機会を提供する。

(3) 開館及び休館

ア．開館　火～日（午前10時～午後６時）

イ．休館　毎週月曜日、第３土曜日、第３日曜日、祝日、年末年始（12月29日～１月３日）

６．分室「阿寒町公民館図書室」

(1) 施設概要

所　在　地	阿寒町中央２丁目４番１号 ☎66−2222・FAX66−3682
設立年月日	昭和63年３月（現公民館の改築とともに公民館内に移設）
規　　模	図書室の面積　265.19㎡

(2) 事業概要

ア．図書館バスの運行

移動図書館「よむよむ」による月１回の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校及び地域のコミュニティセンター等の巡回を実施。約3,000冊を積載。

(3) 開館及び休館

ア．開館　火～日（午前９時～午後５時）

イ．休館　毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始（12月29日～１月３日）

７．蔵書数の推移（各年度3月末現在）　（単位：冊）

	R5	R6	R7
本　館	363,123	369,255	375,478
西　部	57,714	57,418	56,964
東　部	51,563	51,914	52,033
中　部	56,100	55,601	54,678
音　別	31,196	31,135	31,457
阿　寒	58,897	58,452	59,157
合　計	618,593	623,775	629,767

８．利用状況

(1) 貸出数等利用状況

年度	開館日数（本館）	バス運行日数（本館）	利用者（人）	館外貸出数（冊）	本館	西部	東部	中部	音別	阿寒
R5	295	187	266,454	606,074	342,763	82,713	59,282	93,862	6,178	21,276
R6	295	181	271,426	592,218	337,429	77,897	57,243	93,322	6,013	20,314
R7	293	183	269,495	572,017	326,888	75,206	52,497	91,274	6,516	19,636

(2) 利用者カード登録者数（有効登録者数）　12,683人

〔５〕釧路市立博物館



釧路市立博物館

１．沿　　革

昭和11年 7月　幣舞町の旧市役所別館、元水道建設事務所２階を陳列室として釧路市立郷土博物館開館
24年 2月　旧市役所庁舎拡張のため、北大通５丁目㈱丸三鶴屋２階を借り受け開館
26年 7月　鶴ヶ岱公園内に新館竣工
58年11月　春湖台の現位置に移転新築、釧路市立博物館として開館

２．施設の概要

(1) 施設及び設備

所　在　地	春湖台１番７号　☎41-5809・FAX42-6000
設立年月日	昭和11年７月14日
建築年月日	昭和58年11月３日

構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造　地下１階地上４階建		
	敷地面積	4,450㎡	
	延床面積	4,301.76㎡	
	１階　1,500.10㎡　２階　886.75㎡		
	３階　571.17㎡　４階　755.79㎡		
	搭屋　145.65㎡　地下　442.30㎡		
	主室面積		
	展　示　室	1,162.88㎡	(1.2.4階)
	特別展示室	97.95㎡	(２階)
	講　　堂	165.89㎡	(１階)
	市民研究室	21.84㎡	(３階)
	研　究　室	66.37㎡	(３階)
	図　書　室	103.39㎡	(３階)
	実　験　室	15.54㎡	(３階)
	液　浸　室	30.53㎡	(２階)
	冷　凍　室	10.92㎡	(３階)
	工　作　室	103.78㎡	(１階)
	地学収蔵庫	30.48㎡	(１階)
	植物収蔵庫	30.48㎡	(４階)
	動物収蔵庫	28.00㎡	(４階)
	開拓記念物収蔵庫	288.52㎡	(2.4階)
	恒温恒湿収蔵庫	34.61㎡	(３階)
	滅菌消毒室	12.39㎡	(１階)
	事　務　室	86.63㎡	(1.2階)
	印　刷　室	11.13㎡	(３階)
	応　接　室	21.97㎡	(２階)
	〃	22.05㎡	(４階)
	会　議　室	44.15㎡	(３階)
	機械・電気室	545.49㎡	(地下)

収容能力	展　示　室（1.2.4階）	600人		
	特別展示室	30人	講　堂	120人
	市民研究室	10人	会議室	25人

(2) 建築意匠

釧路市埋蔵文化財調査センターを併置しており、建築設計は釧路市出身の建築家毛綱毅曠氏によるもので、昭和59年度日本建築学会賞を受賞しており、タンチョウが翼をひろげた姿をイメージした外観である。階段状の屋根は、博物館の位置する春採湖畔の丘陵の等高線を表現している。

３．常設展示

(1) 北の大地にくりひろげられる自然と文化

昭和11年（1936年）に設立された、道東でもっとも長い歴史を持つ博物館であり、多様な自然とそれに育まれた歴史と文化を展示する総合博物館である。

常設展示テーマは「北の大地にくりひろげられる自然と文化」であり、北緯43度に位置する釧路地方の自然と歴史をこの地方ならではの素材で紹介している。

釧路の大地の基礎が形成された中生代白亜紀（約７千万年前）から今日までの、大地の形成と変遷、植物・動物相の遷移、旧石器時代から近代までの人々の営み、さらに人と自然の関わりまでを学ぶことができる。

常設展示の設計・施行について、通商産業大臣昭和59年度日本ディスプレイ産業大賞を受賞している。

平成28年度には１階展示室「魚類・両生類」分野の展示リニューアルを実施、平成30年度には２階展示室に「釧路・根室の簡易軌道」コーナーを新設した。また、４階展示室では、インバウンド向けに展示解説の多言語化、また古式舞踊や祭り、木彫やムックリ製作の手仕事など、アイヌ文化の今を伝える映像上映など展示の充実を図っており、それぞれ好評を得ている。

最上階のドーム型展示室では、全天空型の天井に釧路湿原の夏と冬を描き、タンチョウの子育てやつがいの生態を、直径10mの大型ジオラマで展示している。見学者がジオラマ内に吸い込まれるような展示手法を採用し、「ダイオ・ネイチャードーム」と名付けた。



ダイオ・ネイチャードーム

(2) 展示小テーマの概要

〔氷期の使者マンモス〕正面玄関を入ると展示ホールでマンモスの骨格標本（レプリカ）が、入館者を迎える。マンモスは、地球上最後の氷河期にユーラシア大陸から北海道へ渡ってきたといわれ、北方圏の博物館であることを主張している。

〔釧路の大地〕地形模型で、現在の釧路の地形を概観し、パネルや標準化石によって、現在の釧路が形づくられるまでを説明する。特に釧路湿原については、古地理図や地層断面図で湿原のおいたちが理解できるようにしている。

〔釧路の生物〕ジオラマにより釧路湿原の植物・サンショウウオ・魚の種類や形態・生育立地を正確に復元した。また、釧路地方に生息する昆虫・鳥獣類を展示している。

〔釧路の海〕岩礁・砂底・外洋・深海などそれぞれの環境に棲む生き物や、釧路沖を回遊する巨大な鯨類などを標本や迫力ある映像で紹介している。

〔釧路の先史時代〕復元資料として、東釧路貝塚の貝層断面、東釧路人の墓、三津浦遺跡の炉址、フシココタンチャシのアカウミガメがある。古釧路湾のころ、東釧路の貝塚、海岸線の集落、川すじの集落、チャシが築かれたころの各論で構成している。

〔釧路の近世と近代〕船の安全航行に寄与した霧笛のラッパ、川崎船、焼玉エンジンをメインテーマ通りに配し、霧の港と水産の街を象徴。本市の基幹産業を育てた、馬産・林業・炭鉱・漁業の道具や資料写真で、資源を求めて開拓にあたった姿を紹介している。

〔サコロベの人々〕釧路のアイヌの人々の生活資料を中心に、壁側は狩猟、漁撈、採集、農耕、衣、食、住、信仰・儀式の８項目に分類し、中央には装飾具、喫煙具、育児具、楽器、儀礼具、鍔などを抽出し 430 点を展示している。

〔タンチョウ〕映像でタンチョウの四季の生活や、子育ての様子等を紹介している。骨格標本と剥製標本、羽、気管の実物標本を使いタンチョウの形態を紹介している。展示物が観覧者をとりかこみ、展示物のなかを散策しながら情報が得られるジオラマ「ダイオ・ネイチャードーム」は、冬の湿原で愛の舞をくりひろげるタンチョウのつがいや、６月ころの湿原で卵からかえったヒナ、給餌するタンチョウの親子の姿が美しい背景画の中で楽しめる。

４．事業の概要

(1) 教育普及事業

特別展示、各種講座、観察会・見学会、体験学習など多彩な事業を展開している。令和５年度の企画展では、ラムサール釧路会議 30 周年記念展示のほか、釧路にゆかりのあるアイヌ文学研究者・久保寺逸彦を紹介する展示など、地域に根ざしたテーマを多く取り上げた。



１階展示室



２階展示室

ア．特別展示

名称	期間	場所	人数（人）
空に生きる ～釧路のツバメたちの暮らし方～	7/5～9/28	マンモスホール	12,330
戦後８０周年ミニ展示「戦争のあった時代」	7/12～9/28	常設展示室	11,491
釧路市合併２０周年記念・収蔵資料展示 「３市町旧カントリーサイン展示」	9/28	博物館前広場	－
メーリアンの立体昆虫図譜	10/4～12/14	マンモスホール 特別展示室	4,872
パネル展「霧多布の自然とアマモウォッチ」	10/8～10/26	常設展示室	1,403
指定文化財５０周年記念パネル展 「釧路の文化財・天然記念物」	11/15～12/28	常設展示室	1,056
VOICES OF HOKKAIDO ～北の大地のいのちたち～	12/20～2/15	マンモスホール	2,204
人と植物	2/21～4/19	マンモスホール	3,850

イ．各種講座

名称	期間	場所	人数（人）	摘要
展示解説「ようこそ釧路へ」	4/19・4/20	展示室	74	2回
展示解説「土器を触りながら縄文トーク！」	5/12	講堂	30	1回
戦後80周年講演会「私の釧路空襲―戦争の記憶―」	7/5	講堂	98	1回
戦後80周年講演会「道東の戦争遺跡：トーチカと飛行機用有蓋掩体を中心に」	8/3	講堂	58	1回
講演会「空を切り裂くように飛ぶハリオアマツバメの暮らしぶりに迫る」	8/30	講堂	34	1回
講演会「昆虫はなぜ描かれるのか」	10/13	講堂	17	1回
釧路地方の地名を考える会　公開学習会「伊福部昭が作曲した校歌と伊福部記念館を訪ねて」	11/29	講堂	36	1回
講演会「北海道の湿原とその特徴」	12/7	講堂	70	1回
講演会「キタサンショウウオ・ヤチボウズ・三津浦古谷遺跡」	12/14	講堂	73	1回

ウ．観察会・見学会

名称	期間	場所	人数（人）	摘要
春採湖畔探鳥会	4/20～11/16	春採湖畔	117	4回
春採湖草花ウオッチング	5/17～9/20	春採湖畔	70	4回
みんなの社会科見学「釧路駅探検隊」	5/24	釧路駅	38	1回
初夏の探鳥会	5/25	釧路町森林公園	33	1回
歴史探訪会「まちなみ散歩」	6/8～8/24	釧路市米町周辺他	68	2回
しらべてみよう春採湖の昆虫	6/14～9/13	春採湖畔	10	3回
春採湖汽水のいきもの観察会	7/12	春採湖	11	1回
バス探鳥会	7/13	釧路近郊地域	27	1回
みんなの社会科見学「夏休み！新富士駅・釧路貨物駅探検隊」	7/27	新富士駅・釧路貨物駅	31	1回
みんなの社会科見学・冬休み「釧路中央郵便局を探検！+郵便屋さんのお昼ごはん」	1/9	釧路中央郵便局	18	1回
冬のいきもの観察会	2/14	釧路町森林公園	42	1回

エ．体験講座・その他

名称	期間	場所	人数（人）	摘要
数千年前の万能ツール！？黒曜石の石器づくり	4/27	講堂	11	1回
土器のもようの写し取り＆縄文粘土アクセサリーづくり	5/3	マンモスホール	79	1回
博物館で遊ぼう	5/4・5	博物館	285	1回
ペラパイス（ひら匙）づくり	7/6	講堂	25	1回
はっくんのちょうせんじょう！ てんじしつでモリーをさがせ！	7/26～8/31	展示室	261	1回
クワガタムシ・カブトムシの標本をつくろう！	8/2	会議室	25	1回
旅するハリオアマツバメを描こう！	8/10	講堂	8	1回
ジオ・フェスティバル夏 in KUSHIRO	8/17	博物館	221	1回
現場で学ぶ「石炭基礎講座」	9/27	釧路コールマイン	20	1回
第36回博物館まつり	9/28	博物館	130	1回
昆虫画入門	11/3	会議室	7	1回
釧根インフラ映画祭	11/16・3/15	講堂	212	2回
おそなえもちをつくろう2025	12/28	講堂	48	1回
化石クリーニング教室	3/29	講堂	10	1回



アイヌ木彫体験講座「ペラパスイ（ひら匙）づくり」
（令和７年７月６日）

オ．広報・出版活動

＜釧路市立博物館報＞　昭和27年１月に『釧路博物館新聞』として創刊、令和８年３月現在437号。Ａ４版、12頁、年２回刊行。博物館の動きや研究論文・報告を掲載。告で、43輯まで発行。

＜図録・記録集＞　企画展の内容などを冊子化、令和７年度は「空に生きる～釧路のツバメたちの暮らし方～」などを刊行。

＜解説シリーズ＞　Ｂ６・Ａ５版。釧路の自然と歴史に関するさまざまなテーマを、コンパクトに解説。

＜郷土博物誌＞　『釧路新聞』の文化欄に学芸職員が交代で執筆。

＜博物館学芸員のとっておきの話＞
『週刊ｆｉｔ』にて、釧路の自然や歴史、日々の博物館活動を紹介。

(2) 調査研究

調査研究事業については、釧路地域の自然や歴史・文化をテーマに、博物館単独、あるいは他の博物館や大学などの研究機関と共同で行っている。

主な調査は次のとおりである。

・釧路地方の植物相調査
・釧路地方の昆虫相調査
・キタサンショウウオ生息調査
・春採湖のヒブナ研究
・釧路湿原のイトウ生態学的研究
・釧路地方の鳥類生態調査
・釧路地方のほ乳類生態調査
・釧路地方の歴史・民俗に関する調査研究
・釧路地方の産業史に関する調査研究
・釧路地方のアイヌ文化に関する調査研究
・釧路地方の遺跡・考古資料に関する調査研究

(3) 調査・事業協力

国・北海道などが実施する調査活動に協力する一方、他の博物館施設や大学・研究機関、各市民団体などと連携し、地域に必要な学術情報の蓄積や事業の開催に努めている。

(4) 友好館協定

令和５年１月 11 日に新平渓煤礦博物区（台湾）、令和６年１月 31 日に福岡県田川市石炭・歴史博物館と友好館協定を締結した。

(5) 釧路市立博物館友の会

当館の事業に協力してその発展に寄与する目的で昭和 46 年に設立された。各事業へのボランティア活動をはじめ、博物館まつりなどの自主事業も積極的に行い、当館の活動を広く市民へ紹介している。

５．収蔵資料数及び専門職員配置状況

（令和8年4月現在）

区　分	収 蔵 数	配　　置　　状　　況
人文科学	49,038	歴史１、産業１（地質も担当）、アイヌ文化１、考古１
自然科学	113,512	昆虫１､魚類・両生類１､植物１、鳥類・ほ乳類１
美術工芸	218	
合　計	162,768	

６．利用案内

開 館 時 間	午前９時 30 分～午後５時
休　館　日	毎週月曜日（4 月 1 日から 11 月 3 日は祝日の場合は開館） 11 月４日から３月末までの国民の休日 年末年始（12 月 29 日～１月３日） 館内整理日（年１日）
入　館　料	一般・大学生　480 円 高　校　生　250 円 小・中学生　110 円 団体割引　15～200 名未満　１割引 200～300 名未満　1.5 割引 300 名以上　２割引

７．利用状況

年　度	開館日数（日）	利用者総　数（人）	有料（人）							無　料（人）
			個人			団体			その他	
			一般･大学生	高校生	小･中学生	一般･大学生	高校生	小･中学生		
R5	302	27,768	13,148	189	1,580	1,626	38	283	94	10,810
R6	304	32,343	15,546	349	1,686	2,980	255	316	83	11,128
R7	303	31,494	16,694	325	1,662	1,861	38	289	0	10,625

〔６〕釧路市埋蔵文化財調査センター

１．沿　革

国の文化財保存施設補助事業として建設され、昭和52年にオープンしたもので、高槻市、富山県につぐ、全国で３番目に建設された埋蔵文化財調査センターである。

昭和51年 4月	文化庁へ建設計画書を提出する。
5月	埋蔵文化財調査センターを釧路市立博物館新館構想のなかに織りこんだ建設計画を博物館協議会に諮問する。 埋蔵文化財調査センター建設事業の国費補助が決定する。
10月	建築工事に着手する。
52年 8月	建築及び付帯工事を竣工する。
10月	竣工式を開催する。収蔵展示オープンする。
58年11月	釧路市立博物館が完成オープンし、一つの建物となる。



釧路市埋蔵文化財調査センター

２．施設の概要

所　在　地	春湖台１番７号　℡43-0739	
設立年月日	昭和52年10月４日	
建築年月日	昭和52年８月31日	
構造・規模	鉄筋コンクリート３階建 延床面積　973.41 ㎡　　敷地面積　4,450 ㎡ 総事業費　165,000 千円	
	（１階）	619.80 ㎡
	収蔵展示室	181.95 ㎡
	車庫・荷解室	60.79 ㎡
	未整理室	81.90 ㎡
	整理室	81.03 ㎡
	保存処理室	37.19 ㎡
	写場・暗室	32.66 ㎡
	製図室	26.46 ㎡
	管理・作業員室	39.69 ㎡
	宿直室	8.82 ㎡
	その他	69.31 ㎡
	（２階）	221.07 ㎡
	研究室	44.10 ㎡
	記録室	17.64 ㎡
	書庫	19.84 ㎡
	収蔵庫	112.76 ㎡
	その他	26.73 ㎡
	（３階）	132.54 ㎡
	収蔵庫	109.87 ㎡
	その他	22.67 ㎡

３．展示の概要

１階ホールには収蔵展示室を設け、一般に公開している。展示資料は、収蔵資料のうち整理の終了した土器・石器類で、旧石器時代から縄文時代・続縄文時代、擦文時代を経て、さらにチャシの時代にいたる各時代にわたり、解説パネルを添えて紹介している。

展示資料の内訳は完形土器452点、石器類1,088点、骨角器432点で、多種・多様な埋蔵文化財を迫力をもって身近に感じとれるように展示している。これらの展示資料の中にはイギリスのテームズ河畔出土のハンドアックス、網走モヨロ貝塚出土の骨角器など、釧路地方に限らず、他地域の遺跡から出土した遺物も含まれている。



収蔵展示室

４．事業の概要

収蔵資料の整理・保管と合せて、行政的な要求による発掘調査を実施し、記録保存を行っているほか、埋蔵文化財知識の普及・啓発のため、教育普及活動も実施している。

(1) 収蔵資料の整理・分類・保管

収蔵資料は、国指定史跡の東釧路貝塚・北斗遺跡をはじめ、道東各地の発掘・採集資料を保管している。

遺物については、これまで釧路市立博物館と本センターが発掘調査を行った東釧路貝塚、北斗、緑ヶ岡、北陽高校校庭裏、幣舞、幣舞２、沼尻、大楽毛１、東釧路第２、桂恋神社裏、貝塚１丁目、ＳＴＶ、桂恋フシココタンチャシ、三津浦、興津、東釧路第３、武佐川１、武佐川３、桜ヶ岡１、桜ヶ岡２、桜ヶ岡３遺跡の出土資料については一括保存しており、整理作業を継続している。

(2) 史跡の管理

国指定史跡の釧路川流域チャシ跡群（モシリヤチャシ跡、ハルトルチャランケチャシ跡）、春採台地竪穴群、東釧路貝塚、北斗遺跡の４箇所を管理している。

(3) 遺跡確認調査

遺跡の保存状況の確認や新たな遺跡の発見のため、状況に応じた調査を行っている。また、公共及び民間事業における開発行為に伴って調査の必要があった場合については、埋蔵文化財保護法に基づいた調査（所在調査・試掘調査等）を適宜行っている。

釧路市内における発掘調査の概要

遺跡名	所在地	発掘期間	面積	時期	備考
桜ヶ岡３遺跡	桜ヶ岡８丁目	昭和60. 7. 9 ～ 7.31	350㎡	縄文晩期	
武佐川３遺跡	武佐５丁目	60. 8.20 ～ 10.27	1,200㎡	集落跡	
桜ヶ岡１遺跡	桜ヶ岡３丁目	61. 5.13 ～ 6.19	831㎡	縄文早～晩期、続縄文	
桜ヶ岡２遺跡	桜ヶ岡３丁目	61. 5.13 ～ 62.10.18	7,050㎡	縄文早～中期、晩期	
材木町５遺跡	材木町	62. 5.19 ～ 平成元. 8. 4	7,653㎡	縄文早・中・晩期、続縄文、擦文、オホーツク	湖州鏡
幣舞遺跡	幣舞町１	平成元. 8. 8 ～ 10.31	490㎡	縄文早・中・晩期、擦文期の集落、墓	
北斗遺跡	北斗	2. 7.11 ～ 10.26	800㎡	旧石器、縄文	史跡整備事業
東釧路貝塚	貝塚	2. 6. 1 ～ 7.31	600㎡	縄文早～晩期、擦文	〃
北斗遺跡	北斗	3. 6.11 ～ 10.26	900㎡	旧石器、縄文、擦文	〃
幣舞遺跡	幣舞町	4. 5.11 ～ 8.21	911㎡	縄文早～晩期、続縄文、擦文、オホーツク	
北斗遺跡	北斗４	4. 6. 2 ～ 8.25	253㎡	縄文中、晩期、続縄文、擦文	史跡整備事業
北斗遺跡第1地点	北斗	4. 7.15 ～ 10.24	1,300㎡	縄文早・前・中期	
東釧路貝塚	貝塚	4. 8.25 ～ 10.31	526㎡	縄文、擦文	史跡整備事業
北斗遺跡	北斗	5. 8.17 ～ 10.16	95㎡	縄文前・晩期、続縄文	〃
北斗遺跡第1地点	北斗	5. 6.22 ～ 9.10	690㎡	縄文早・前・中期	
北斗遺跡	北斗	6. 6.21 ～ 9. 6	830㎡	縄文前・中期	史跡整備事業
幣舞遺跡	幣舞町	6. 9.26 ～ 12.10	688㎡	縄文早～晩期、続縄文、擦文、オホーツク	
武佐川１遺跡	武佐	7. 5.11 ～ 10.31	2,593㎡	縄文早・前期、続縄文	
鶴ヶ岱４遺跡	鶴ヶ岱	8. 5.10 ～ 10.31	2,600㎡	縄文早・晩期・擦文	
武佐川１遺跡	武佐	8. 5. 9 ～ 10.31	3,172㎡	縄文早・前・中期	
幣舞遺跡	幣舞町	9. 6. 1 ～ 11.29	500㎡	縄文早～晩期、続縄文、擦文、オホーツク	
大楽毛１遺跡	大楽毛	11. 5.11 ～ 14. 9.15	7,000㎡	縄文早～中・晩期、続縄文	
幣舞２遺跡	幣舞町	16. 5.18 ～ 16. 9.25	3,877㎡	縄文早・中・晩期、続縄文、擦文	
幣舞２遺跡	幣舞町	20. 5.20 ～ 20.10.18	2,970㎡	縄文早・中・晩期、擦文、オホーツク	
東釧路貝塚	貝塚	21. 8.18 ～ 21. 9.26	89㎡	縄文早・前・晩期	史跡法面修復
緑ヶ岡１遺跡 材木町３遺跡	緑ヶ岡２丁目	26. 7.21 ～ 9.13	370㎡	縄文後・晩期、擦文	工事立会

(4) 遺跡発掘調査

埋蔵文化財の詳細な状況を把握するため、市内各遺跡の発掘調査を行っている。これまでの発掘調査の状況は上記表のとおりである。

(5) 遺跡分布調査

釧路市内をはじめ、釧路湿原周縁の台地及び道東地域の海岸台地を含めた広範囲な分布調査を実施している。過去の成果については釧路博物館紀要・館報・総合調査報告書などにおいて発表している。

(6) 遺跡測量調査

遺跡の測量調査を行っており、過去には国指定史跡北斗遺跡をはじめ、弟子屈町教育委員会の委託による弟子屈町丸山１・２チャシの測量調査などを行ってきた。

(7) 調査報告書の刊行

発掘調査など、それぞれの調査による記録をまとめ、報告書を刊行している。

昭和37年　東釧路―東釧路貝塚発掘調査報告書
41年　東釧路第２地点発掘調査概要
47年　緑ヶ岡ＳＴＶ遺跡発掘調査報告
（釧路博物館紀要第１輯所収）
49年　貝塚町１丁目遺跡調査報告書
50年　桂恋フシココタンチャシ発掘報告
北斗遺跡発掘調査報告
51年　三津浦遺跡発掘調査報告
52年　興津遺跡発掘報告
53年　興津遺跡発掘報告Ⅱ
東釧路第３遺跡発掘報告
54年　興津遺跡発掘報告Ⅲ
62年　桜ヶ岡１・２遺跡調査報告書
63年　桜ヶ岡２遺跡調査報告書
平成元年　材木町５遺跡調査報告書
2年　材木町５遺跡調査報告書Ⅱ
幣舞遺跡調査報告書
3年　北斗遺跡Ⅰ
4年　北斗遺跡Ⅱ
5年　北斗遺跡Ⅲ
北斗遺跡第１地点調査報告書

6年　北斗遺跡Ⅳ
　　幣舞遺跡調査報告書Ⅱ
　　北斗遺跡第１地点調査報告書Ⅱ
7年　北斗遺跡Ⅴ
　　東釧路貝塚調査報告書
8年　幣舞遺跡調査報告書Ⅲ
　　東釧路第３遺跡
9年　鶴ヶ岱４遺跡調査報告書
10年　武佐川１遺跡調査報告書
11年　幣舞遺跡調査報告書Ⅳ
13年　大楽毛１遺跡調査報告書Ⅰ
14年　大楽毛１遺跡調査報告書Ⅱ
15年　大楽毛１遺跡調査報告書Ⅲ
17年　幣舞２遺跡調査報告書Ⅰ
21年　幣舞２遺跡調査報告書Ⅱ
22年　東釧路貝塚調査報告書Ⅱ
27年　緑ヶ岡１遺跡・材木町３遺跡

(8) 遺跡探訪会

埋蔵文化財に対する理解を深めるため、国史跡や遺跡の探訪会を実施している。



史跡探訪会（春採台地竪穴群）

(9) 体験事業など

北斗遺跡ふるさと歴史の広場を活用して、復元竪穴住居の屋根ふき体験や指定管理者による主催事業を実施し、史跡に対する理解を深める取り組みを行っている。



体験講座「竪穴住居で屋根ふき体験」（北斗遺跡）

(10) サテライト展示

収蔵資料の活用を目的として、市内の施設に展示スペースを設け、企画展を開催している。

５．利用案内

開所時間	午前９時30分～午後５時
休所日	毎週月曜日・11月４日から３月末までの国民の祝日 年末年始（12月29日～１月３日）
入所料	無料
交通	釧路駅からバスで約15分、市立病院前下車、徒歩５分

６．釧路市北斗遺跡ふるさと歴史の広場

(1) 沿　革

釧路湿原の自然と地域の歴史・文化の関わりを示す場とするために、平成元年より国の一般整備事業を導入して史跡整備を開始した。平成６年度から９年度にかけては史跡等活用特別「ふるさと歴史の広場」事業により整備を実施し、平成９年９月25日開設した。

(2) 施設の概要

遺跡の発掘調査、測量調査のほか、竪穴住居の復元（屋外５棟・屋内１棟）・展示館・史跡展望台の建設、木道・園路の設置を行った。総事業費は423,000千円。

・史跡北斗遺跡展示館

北斗遺跡全体を紹介する施設で、木造平屋建、床面積249.65㎡である。展示室には、北斗遺跡の発掘調査による出土遺物240点を展示し、旧石器時代から擦文時代にかけての遺物で構成されている。また、遺構全体模型で、整備された史跡中心部の様子を紹介しているほか、竪穴住居１棟を復元展示している。さらに、映像「釧路の遺跡～自然とともに生きた人々～」を用い、先史時代の様子を伝えている。

・木道など

史跡北斗遺跡展示館から、史跡展望台や復元住居へ木道を設置しているほか、復元住居周辺には湿原展望台とつながる園路を設けている。

・史跡展望台

展示館から園路を700ｍの位置には史跡展望台を設置し、復元住居やその後方に広がる釧路湿原が遠望できる。

・復元住居

復元住居は、擦文時代の竪穴住居５棟を復元している。集落が５棟前後で構成されていたと推測されることから、かつての「擦文の村」を再現している。

(3) 史跡北斗遺跡展示館利用案内

開館時間	午前10時から午後４時
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日） 11月16日～４月15日
入館料	無料
交通	釧路駅からバスで35分 北斗坂下下車、徒歩５分



史跡北斗遺跡展示館



北斗遺跡の集落全景

〔７〕あすなろ会こども遊学館（釧路市こども遊学館）



科学知識の普及啓発を図るとともに、次代を担う子どもたちが、「遊び」と「学び」等多様な体験を通して豊かな感性、創造力及び知的好奇心を高め、各世代が子どものために協働し、並びに互いの交流を深め、もって地域の文化の発展に寄与することを目的として開館した。

１．沿　革

平成15年 8月　着工
16年 4月　開館準備業務を財団法人釧路市民文化振興財団へ委託
16年12月　建築工事竣工
17年 3月　展示、プラネタリウム工事竣工
17年 7月　開館
17年 7月　指定管理者として、財団法人釧路市民文化振興財団を指定（平成17年７月～19年３月）
19年 4月　指定管理者として、釧路市民文化振興財団、ＮＰＯ法人こども遊学館市民ステージコンソーシアムを指定（平成19～23年度）
24年 4月　同上（平成24～28年度）
29年 4月　同上（平成29～令和３年度）
令和 2年 3月　デジタルプラネタリウム更新
4月　指定管理者として、特定非営利活動法人こども遊学館市民ステージを指定（令和４～８年度）
令和 4年11月　砂場　抗菌砂入替

２．施設の概要

所在地	幸町10-２　☎32-0122・FAX32-2033	
開設年月日	平成17年７月１日	
構造・規模	鉄骨造、地上５階建	
	延床面積	5,883.92㎡
	総事業費	4,199,700千円
	〔地下１階〕	37.21㎡
	蓄熱槽ポンプ室	37.21㎡
	〔１階〕	2,227.74㎡
	全天候広場	664.96㎡
	遊びの広場１	716.56㎡
	遊びの広場２	81.98㎡
	視聴覚室	71.21㎡
	会議室	36.34㎡
	その他	656.69㎡
	〔２階〕	847.48㎡
	事務所１	128.74㎡
	その他	718.74㎡
	〔３階〕	1,666.58㎡
	展示室１	129.54㎡
	展示室２	745.31㎡
	プラネタリウム室	249.28㎡
	その他	542.45㎡
	〔４階〕	792.97㎡
	物理室（工作室）	79.63㎡
	実験室	90.46㎡
	準備室	60.50㎡
	展示室３	112.39㎡
	その他	449.99㎡
	〔５階〕	311.94㎡
	編集室	38.43㎡
	その他	273.51㎡
収容能力	プラネタリウム室	120名
	実験室	40名
	物理室（工作室）	40名
	視聴覚室	48名
	会議室	24名
設備	プラネタリウム	
	移動天文車　１台	

※令和7年4月1日よりネーミングライツ事業を導入

３．展示の概要

１階は、無料ゾーンに全天候型の屋内砂場がある。有料ゾーンの遊びの広場には、大型遊具やワークショップコーナー、絵本や紙芝居の読み聞かせができる、おはなしハウスがある。

３階は、「宇宙」「地球」「生命」をゆるやかに繋いだ科学展示やプラネタリウムが用意され、子どもたちが体験を通してそれぞれに感じとり、興味関心を身近なことから最先端の世界まで深められる展示がある。

４階は、科学や遊びに関する書籍の閲覧、DVD 視聴などができるコーナーがある。

１階【遊びのステージ】

(1) 無料ゾーン

・屋内砂場　158.5㎡（深さ50cm）

国内最大級の屋内砂場。天候に左右されず自由に砂遊びができる。



(2) 有料ゾーン

・ネットジャングル　・ロッククライミング
・サウンドタワー　・キッズ・テント
・不思議な球体　・ピンスクリーン
・ワークショップコーナー　・おはなしハウス
・ウェルカムロボット「ハロット」



３階【学びのステージ】有料ゾーン

コア展示、インフラシステム展示、参加体験型展示の大きく３つの展示で構成し、あえて明確なゾーン分けは避け、「宇宙」「地球」「生命」をゆるやかに繋げた展示構成としている。

(1) コア展示

ダジック・アース

(2) インフラシステム展示

・水のプレイテーブル　・光のプレイテーブル
・風のプレイテーブル　・振動のプレイテーブル
・コスモパワージム　・サイエンスポット

(3) 参加体験型展示

・タッチボクシング　・体内発見パズル
・虹のキャンバス　・シャボンチューブ
・ウォーターバスケット　・お絵描き水族館
・３ｍダッシュ　・人力プロペラ
・宇宙Ｑ＆Ａ　・重力の窪み
・ＨⅡロケット　・大型ボールコースター
・日食・月食　・瞳孔を見る
・遅れる鏡　・光の三原色
・虹に輝く影　・溶け合う顔

(4) プラネタリウム室

ド　ー　ム　直径 15m
投影装置　デジタル式（Media Globe Σ SE）等
座　席　数　120席（内車椅子専用座席３席）
その他設備　音響システム、照明システム
投影内容

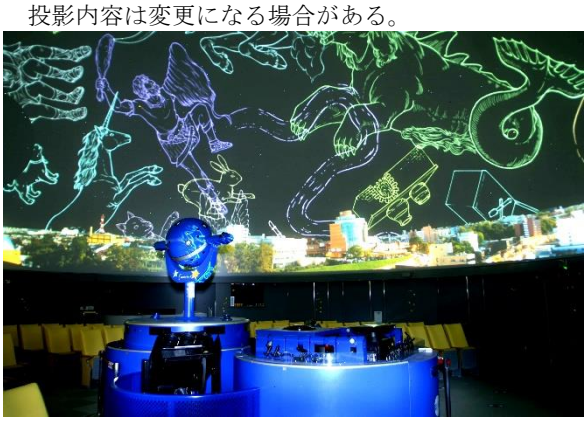
デジタル式の投影機から、膨大な宇宙・天文データを基に、リアルタイムにシミュレーションし、広大な宇宙の姿を、時空を超えて忠実に再現。銀河系を超えて138億光年彼方までの立体宇宙空間を自由自在に移動することができる。また、四季折々に変わる一般向け番組や、家族向け番組、さらには、自主制作番組など内容も充実している。

プラネタリウム投影時間

	平　日	土､日､祝､長期休暇
10：00	団体専用（※学習投影枠）	家族向け
11：30	幼　児　向　け	家族向け
13：30	家　族　向　け	家族向け
16：00	一　般　向　け	一般向け

※学習投影がある場合は貸切となる。

投影内容は変更になる場合がある。



(5) 移動天文車

移動天文車と天文指導員を市内各地に派遣し天体観望会を実施することにより、星空の美しさと広大な宇宙への不思議さを体験してもらうなど、天文普及活動の充実に努めている。また、太陽観測会も実施している。

実施期間	通年
愛　　称	「カシオペヤ」
導　　入	平成元年10月５日（旧青少年科学館で導入）※平成17年４月１日こども遊学館に引き継がれる。
車　　輌	アウトリガー付４ｔ車
ド ー ム	直径２m電動式
望 遠 鏡	口径20㎝屈折クーデ式（架台：コンピュータ制御赤道儀）
補助機材	口径８㎝屈折式望遠鏡７台、AV 装置（ビデオシステム・モニター他）、太陽フレアー観測装置



４．事業概要

子どもたちに科学的体験等を提供し、感性豊かな心を育成する “遊びと学びの融合” を目指したこれまでにない社会教育としての事業を行う。

(1) 特別事業

主な事業（令和８年度）

・ゴールデンウィークイベント「木のおもちゃであそぼう！」（４月29日～５月６日）
・宇宙月間（９月１日～29日）
・遊びんピック（10月10日～12日）
・クリスマス月間（11月28日～12月25日）
・とり＋かえっこ（２月13日・14日）

(2) 通常事業

・伝承遊び（開館日の毎日）
・工作遊び（開館日の毎日）
・プラネタリウム通常投影（開館日の毎日）
・サイエンスショー（毎週）等

(3) 定期的事業

・工作教室（年10回程度）
・サイエンス・ラボ（年６回程度）
・実験教室（年４回程度）
・成人楽集（年３回程度）
・親子教室（年10回程度）
・読み聞かせ（月６回程度）
・室内大型砂場遊び（年５回程度）
・プラネタリウム特別投影（年４回程度）等

(4) 移動天文車活用事業

・太陽観測会（年５回程度）
・天体観測会（年５回程度）
・出張天体観望会（年10回程度）等

(5) 春・夏・冬休み事業

春・夏・冬休み企画（各休み期間）

(6) 季節事業

・自然工作工房（年１回程度）
・自然観察会（年１回程度）等

(7) ファンクラブ事業

・ファンクラブ教室（年６回程度）等

(8) 市民協働事業

・ボランティア募集説明会（毎月）等

(9) 連携支援事業

・サイエンスルーム（市内全小学６年生を対象に実験・天文学習を実施）
・校外学習支援　等

(10) 調査研究活動・スキルアップ活動事業

・調査研究活動
・教材開発　等

(11) 利用推進事業

・団体利用推進
・マーケティング活動　等

(12) 自主事業

・サイエンス屋台村（11月３日）等

５．利用状況

区分＼年度	R5	R6	R7
大　学・一　般	32,806 人	32,782 人	30,527 人
高　　校　　生	463	636	600
小・中　学　生	15,711	16,703	16,403
幼　　児	25,223	24,257	21,437
減 免 関 係 等	7,802	8,451	8,575
計	82,005	82,829	77,542
（うちプラネタリウム）	15,597	14,624	16,389

６．観覧料（令和８年５月１日現在）

(1) 展示室観覧料

小・中学生　120円／高校生　240円
大学生・一般　600円

(2) プラネタリウム観覧料

小・中学生　120円／高校生　180円
大学生・一般　480円

(3) 定期観覧料（購入日より１年間有効）

小・中学生　610円／高校生　1,210円
大学生・一般　2,410円

(4) 団体割引

30人以上100人未満／１割引
100人以上200人未満／1.5割引
200人以上／２割引

７．開館及び休館日

(1) 開　館　毎週火～日曜日（午前９時30分～午後５時　入館は午後４時30分まで）

(2) 休館日　毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）年末年始（12月29日～１月３日）

※４月29日から５月５日までの期間、市内の小中学校の春休み・夏休み・冬休みの期間は開館

〔８〕釧路市動物園



釧路市動物園

１．沿　　革

昭和45年12月　第２次釧路市総合計画の中で「大規模自然観光レクリエーション地帯開発構想」として570haに及ぶ「山花公園」構想が策定され、その中心施設として動物園・タンチョウ保護増殖センターが位置づけられる。

46年11月　都市建設部に動物園建設準備事務局を設置

50年10月　開園

57年 4月　タンチョウ保護増殖センターがオープン

平成 7年 4月　シマフクロウの繁殖に成功

17年10月　開園30周年を機に「北海道ゾーン」の充実を図る。

令和 7年10月　開園50周年を迎える。

当初は北国の自然環境を活かし寒帯系動物を中心とした北方動物園として構想されたが、市民要望から熱帯動物舎も建設された。その後は猛獣舎や類人猿舎、ヒグマ牧場のほか、平成５年以降は「ハクチョウ池」「木道散策路」「ふくろうの森」など､ふるさとの動物の展示飼育に力を注ぎ、特徴的な取組である「北海道ゾーン」として整備を進めてきた。一方、道東の野生動物保護の中心施設として、また周辺の環境を生かした環境教育の拠点としての役割も担っている。

２．施設の概要

所　在　地	阿寒町下仁々志別11番 ☎56−2121・FAX56−2140
設立年月日	昭和50年10月１日
敷地面積	478,000㎡（タンチョウ保護増殖センター258,000㎡を含む）

(1) 動物舎及び管理施設

施　設　名	建　設	面積（㎡）		備　考
		建　物	放飼場	
キリン舎	昭50. 9	87.4	420	
シマウマ舎	50. 9	55.03	310	
ダチョウ舎	50. 9	78.132	125	
コハク舎	50. 9	247.555	330	アミメキリン
コープさっぽろホッキョクグマ舎（北極熊舎）	50. 9	84.41	252	令和８年１月１日よりネーミングライツ事業導入
海獣舎	50. 9	33.2	84.5	オタリア、アザラシ
ビーバー・カワウソ舎	50. 9	24		
フライングケージ	50. 9	112		マガモ、オシドリ他
小獣舎	50. 9	47.432	113	レッサーパンダ
猛禽舎Ａ	50. 9	83.7		ハクトウワシ
猛禽舎Ｂ	50. 9	116.5		ノスリ、トビ他
ペンギン舎	令元. 9	23.69	67.5	
バイソン舎	昭52. 10	81.72	743	
猛獣舎	54. 12	226.45	189	ライオン、アムールトラ
トラ舎	平21. 3	129.7		
サル舎	昭54. 2	63.6	510	
シカ放飼場	56. 2		5,540	トナカイ
類人猿舎	57. 12	470.17		チンパンジー他
飼育学習センター	60. 12	210.6	364.5	
ウサギ舎	60. 12	22.7		
ふたみ青果エゾヒグマ館(エゾヒグマ館)	令７. 4	284	906	令和７年４月１日よりネーミングライツ事業導入
野鳥観察小屋	平５. 1	21.06		とりみロッジ
ハクチョウ池	5. 1		5,800	
観覧デッキ	21. 1	20.0		
繁殖ケージ	5. 1		1,134	
木道散策路	25. 3	593		1.8m×330m

オオワシ舎	平 8. 11	97.2		
オジロワシ舎	8. 11	97.2		
シマフクロウ舎	8. 11	97.2		
クマタカ舎	18. 8	72		
鳥類ゲージ棟	17. 8	194.4		ふくろうの森
タンチョウ・アオサギ観察デッキ	17. 8	50		
タンチョウケージ	元. 7	129.6		
エゾリス舎ケージ	15. 10	14.81		
エゾクロテン舎ケージ	21. 12	8.154		
シマフクロウ渡辺ケージ	21. 12	288		
増殖センター（管理棟）	昭 56. 1	406.62		
タンチョウ繁殖ケージ	51. 3		5,004	
タンチョウオープンケージ	51. 3		13,387	
管理事務所	50. 9	662.376		
動物病院	50. 9	64.26		
正門売札所	50. 9	77.73		水洗トイレ併設
（遊園地前）売店	50. 9	14		
浄化槽	50. 9	41.16		
職員寮	50. 9	260.335		
アイヌ文化展示室「シニ・ウシ」（レストハウス）	51. 7	171		
展示館	56. 8	124.8		動物園協会売店併設
展示館前休憩所	平 17. 4	49		
猛獣舎前休憩所	22. 12	49		
売札所	昭 59. 12	27		西門
公衆便所	平 16. 12	53.55		展示館横、身障者用トイレ併設
公衆便所	昭 57. 12	40.575		類人猿舎横、身障者用トイレ併設
公衆便所	平 16. 12	20.25		こども動物園前
バッテリーカー格納庫	昭 56. 6	49.65		
券売所	平 16. 12	3		
飼料庫	昭 59. 12	172.64		
収納庫	平 27. 12	194.4		管理事務所裏
D型ハウス	昭 50. 10	81		西門裏
D型ハウス	平 5. 8	181.44		サル山裏
野外料理コーナー	昭 55. 9		1,000	
総合案内所	平 18. 6	138.24		
タンチョウ検疫施設	23. 8	38.88		
シマフクロウケージ（ほっくーケージ）	23. 7	72		
キリン観覧施設	25. 10	28.35		
アルパカ舎	25. 9	52.99	262	
加藤秋霜記念タンチョウ動物病院	25. 12	119.24		
井上雅子記念 Crane&Wetland Conservation Hub	令 8. 4	34.12		

(2) 遊戯施設

遊具名	運転開始	料金（円）	定員
バッテリーカー	昭 50.10	100/200	２人乗り×７台、１人乗り×１台、15 人
大型自動遊具	54. 4	100/200	１～２人、全７台、12 人
アストロファイター	54. 7	200	２人乗り×12 台＝24 人
ジェットボート	56. 7	100	６人乗りボート×６隻＝36 人
アポロ２０００	59. 5	100	10 人
サイクルモノレール	61. 7	100	２人乗り×８台＝16 人
メロディーペット	62. 4	200	２人乗り×２台＝４人
大観覧車	62. 7	300	４人乗りゴンドラ×18 台＝72 人
クリスタルゾーン	平元. 4	200	100 ㎡
パノラマラビットくん	17. 4	100	定員 15 名（３～10 歳）
チェアタワー	17. 7	200	１人乗り×32 台＝32 人
ティーカップ	17. 7	100	４人乗りカップ×９台＝36 人

３．事業の概要

(1) 飼育動物数（令和8年3月31日現在）

	種　　数	点　　数
哺　乳　類	23	163
鳥　　類	21	118
合　　計	44	281



春の動物園まつり「モルモットふれあい体験」の様子

(2) 飼育動物一覧

哺乳類

目名	科　名	種　名	オス	メス	不明	合計	動　物　舎　名
霊長	オナガザル	ニホンザル	24	33		57	サル山
	テナガザル	シロテテナガザル	1	1		2	類人猿舎
	オランウータン	ボルネオオランウータン		1		1	類人猿舎
		チンパンジー	3	3		6	類人猿舎
食肉	クマ	エゾヒグマ	2			2	ふたみ青果エゾヒグマ館
		ホッキョクグマ		1		1	コープさっぽろホッキョクグマ舎
	レッサーパンダ	レッサーパンダ	3	2		5	レッサーパンダ舎
	イタチ	エゾクロテン	2			2	エゾクロテン舎・保護舎
	ネコ	アムールトラ	1			1	猛獣舎
		ライオン	2	1		3	猛獣舎
鰭脚	アシカ	オタリア	1	3		4	海獣舎
	アザラシ	ゼニガタアザラシ		2		2	海獣舎
奇蹄	ウマ	グラントシマウマ	1			1	シマウマ舎
偶蹄	ラクダ	アルパカ	1	5		6	アルパカ舎
	シカ	トナカイ	1	12		13	シカ放飼場
		エゾシカ		2		2	シカ放飼場
	キリン	アミメキリン	2			2	キリン舎・コハク舎
	ウシ	ヤギ		2		2	こどもどうぶつえん
		ヒツジ	1	6		7	こどもどうぶつえん
齧歯	リス	エゾモモンガ		2		2	エゾリス舎
	ビーバー	アメリカビーバー	1			1	ビーバー・カワウソ舎
	テンジクネズミ	テンジクネズミ	7	20		27	ウサギ舎
兎	カイウサギ	カイウサギ	5	9		14	ウサギ舎
合計			58	105		163	

鳥類

目名	科　　名	種　　名	オス	メス	不明	合計	動　物　舎　名
ペンギン	ペンギン	フンボルトペンギン	4	3		7	ペンギン舎
ワシタカ	タカ	オジロワシ	1	1		2	オジロワシ舎
		ハクトウワシ		1		1	ハクトウワシ舎
		オオワシ	1	1		2	オオワシ舎
		トビ	1			1	猛禽舎Ｂ（展示館前）
		ノスリ	1			1	猛禽舎Ｂ（展示館前）
		クマタカ	2	1		3	クマタカ舎
ガンカモ	カモ	オオハクチョウ	3	1		4	ハクチョウ池
		オシドリ	14	17		31	フライングケージ
		マガモ	3	10		13	フライングケージ
		キンクロハジロ		1		1	フライングケージ
		ヒシクイ			1	1	フライングケージ
ツル	ツル	タンチョウ（動物園）	9	5		14	保護増殖センター他
オウム	オウム	アオメキバタン		1		1	ふれあい広場
	インコ	アカコンゴウインコ	1			1	アルパカ舎
フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	5			5	ふくろうの森
		ヨーロッパワシミミズク	1	1		2	ふくろうの森
		シマフクロウ	7	12		19	猛禽舎Ｂ、シマフクロウ舎他
		シロフクロウ	1	1		2	ふくろうの森
		エゾフクロウ	2	4		6	ふくろうの森
		コミミズク	1			1	ふくろうの森
合計			57	60	1	118	
総計			115	165	1	281	

(3) 各種イベントの開催（令和７年度）

実　　施　　日	行　　事　　名	入園者数
4/20（日）	遊園地営業開始・飼育の日	833 人
4/27（日）	ヒグマ舎リニューアルオープンセレモニー	1,333 人
4/29（火）～5/ 6（火・祝）	春の動物園まつり	11,551 人
5/24（土）	アムールトラ・ココア誕生会	652 人
7/19（土）～8/31（日）	なつやすみの動物園	23,661 人
7/26（土）、8/2(土)、8/9（土）	夜の動物園まつり	6,442 人
8/ 6（水）～8/8（金）	七夕まつり	801 人
9/13（土）～15（月・祝）	秋の味覚！こどもまつり	2,630 人
9/15（月・祝）	敬老の日（65 歳以上入園無料）	1,122 人
9/23（火・祝）	動物慰霊式	612 人
10/ 5（日）	開園記念日（入園無料）	749 人
10/11（土）～13（月・祝）	開園５０周年記念フェスティバル	5,409 人
11/ 3（月・祝）	秋の遊園地まつり	1,796 人
12/ 1（月）	カレンダープレゼント（有料入園者）	63 人
12/ 7（日）	クリスマス ZOO	258 人
2/14（土）～15（日）	冬の動物園まつり	1,249 人
3/ 1（日）	動物園のひなまつり	307 人
3/28（土）、29（日）	はるやすみの動物園	962 人

(4) 普及活動（令和７年度）

名称	内訳	期間	回数（日）	※利用者数（人）
ツアーガイド	北海道ゾーンガイド（平日）	4/1～3/31	29	67
	団体ガイド	4/1～3/31	11	387
スポットガイド	パクパクタイム（毎日各所）	4/1～3/31		
	北海道ゾーンガイド（土･日･祝）	4/1～3/31	77	701
総合学習（7/15～8/31を除く）	職業体験	4/1～3/31	17	43
	動物園学習ガイド		1	15
	質問学習		7	128
	飼育体験		7	34
	エサやり体験	中止		
体験学習	サマースクール	7/6	1	8
	大人の動物園スクール	中止		
こどもどうぶつえん	団体指導（予約制）	5/26～10/10	30	1,087
全道幼児・児童動物画コンクール	日本動物園水族館協会主催	7/11～8/16		応募65点
出前講座	出前講座メニュー	4/1～3/31	2	47
猛禽フライト公開	クマタカ	中止		
	コミミズク	中止		
工作教室	夏休み工作教室	8/11	1	9
	冬休み工作教室	1/11	1	5

(5) 野生動物保護活動

北海道の受託事業として、園外から持ち込まれる傷病野生動物の保護収容事業を行っている（右表参照）。令和７年度の収容数41点のうち９点が生体で収容され、そのうちの６点が野生復帰している。

〈北海道管轄〉

	種数	点数
哺乳類	3	3
鳥類	15	38

(6) 国内希少動物の保護増殖

傷病動物として緊急保護される「国内希少動植物種」のうち、野生復帰できないと判断された個体は繁殖を図り、その子どもたちを野外復帰することを目標に増殖事業を進めている。

１羽の生体を収容し、治療中である。

また、園内飼育ペアより有精卵１個が生まれ、１羽孵化した。

現在飼育されている「国内希少動植物種」は右表のとおりである。

種名	オス	メス	不明	合計
オオワシ	1	1		2
オジロワシ	1	1		2
クマタカ	0	1		1
タンチョウ	21	17		38
シマフクロウ	7	12		19

令和8年3月31日現在

４．利用状況　　（単位：人）

年　度	利用者総　数	有　料						無　料
		普　通					団体	
		高校生以　上	55 パス購入者	55 パス入園者	通年券購入者	通年券入園者	一　般	
R5	96,622	37,023	122	1,212	3,601	8,038	3,941	42,685
R6	99,078	38,275	168	1,461	3,657	9,493	3,688	42,336
R7	102,582	39,377	149	1,604	4,350	12,090	3,790	41,222

５．利用案内　　令和8年4月1日現在

開　園　時　間	４月10日～10月14日　午前９時30分～午後４時30分（入園は午後４時まで） 10月15日～４月９日　午前10時～午後３時30分（入園は午後３時まで）
休　園　日	年末年始(12月29日～１月２日)、12月～２月の水曜日（祝日にあたる日を除く）
入　園　料	一般　大人（高校生以上）580円（中学生以下無料） 団体　大人（高校生以上）470円（有料入園者15名以上で適用） 通年入園券　大人1,050円（１人１年間有効）

〔９〕丹頂鶴自然公園



釧路市丹頂鶴自然公園

１．沿　革

昭和32年10月　丹頂鶴自然公園建設期成会が発足
33年 8月　開園
34年 7月　建設期成会から釧路市に寄付移管
57年 4月　タンチョウ保護増殖センターのオープンに伴い、丹頂鶴自然公園が釧路市教育委員会より動物園に移管
63年 4月　丹頂鶴自然公園の改築工事が終了し、公園緑地課へ移管
平成12年 4月　丹頂鶴自然公園が動物園に移管
18年 4月　指定管理者制が導入される。
20年 8月　開園50周年を迎える。

特別天然記念物であるタンチョウと人間とのふれあいの場である丹頂鶴自然公園は、昭和33年に開園し、昭和62～63年度に施設の全面改修を行った。

観光施設として年間４万人の来園者があるばかりでなく、同公園におけるタンチョウの生態観察や保護増殖事業から得られた知見は、絶滅のおそれがあるとされるタンチョウの種の保護に貢献している。

２．施設の概要

所　在　地	鶴丘 112 番地　　☎56-2219
設立年月日	昭和33年８月27日
敷 地 面 積	97,362 ㎡

飼育舎及び管理施設

施　設　名	建　設	面　積（㎡）		備　考
		建　物	放飼場	
鶴　放　飼　場	昭和63.7		68,767	８牧区（柵：高さ３m、延長2,500m）
管　理　棟	63.7	472.9		木造一部２階建て
飼　育　棟	43.9	39.7	34.5	
園　路	63.7			幅員４m、延長460m
駐　車　場	63.7			5,800㎡（85台）
公　衆　便　所	63.7	20		

３．事業の概要

(1) 飼育動物数（令和8年3月31日現在）

タンチョウ　16羽（雄９羽　雌７羽（うち野生由来２羽を含む））
産卵数　５個（４つがい）
有精卵数　０個
孵化数　０羽



(2) 教育普及活動

名　称	内　容	期　　間	回数(件数)	利用者数（人）	備　　考
学習教育	郊外学習	7/27	1	15	南アルプスこどもの村中学校
研　修	研　修	4/1～3/31	1	3	東山動物園(職員施設視察)
ガイド	一　般	4/1～3/31	2	7	個人客案内ガイド
	修学旅行	4/1～3/31	4	349	金蘭千里高等学校・山梨学院小学校・あべの翔学高等学校・聖光学院高等学校
	行政視察	4/1～3/31	4	102	姉妹都市(バーナビー市)訪問団施設見学・釧路市活性化プロジェクト視察・松茂町友好都市交流事業・ラムサール条約会議開催地視察
講習会	一　般	8/8	1	11	体験！体感！小学生タンチョウ教室
		8/27	1	4	開園感謝デー（園内ガイド）

４．利用状況

入園状況の推移　（単位：人）

年　度	利用者総数	普通				団体		無　料
		一　般	小･中学生	55パス		一　般	小･中学生	
				購入	再入園			
R5	62,827	28,429	1,704	1,025	21,151	8,803	417	1,298
R6	70,460	31,260	2,083	1,097	22,708	11,189	508	1,615
R7	65,825	29,165	1,922	1,429	22,858	8,797	416	1,238

５．利用案内

令和8年4月1日現在

開園時期	４月10日～10月14日	午前９時～午後６時
	10月15日～４月９日	午前９時～午後４時
休園日	年末年始（12月31日～１月３日）	
入園料	一般（高校生以上）	480円
	小学生・中学生	110円
	団体割引	15名以上　２割引

〔10〕阿寒国際ツルセンター



阿寒国際ツルセンター

１．沿　革

昭和52年10月　阿寒給餌場に隣接してタンチョウ観察センターが建設される。
62年10月　タンチョウ記念館構想プロジェクトチームが設置される。
平成 3年 9月　阿寒国際ツルセンター建設促進期成会に改称、小委員会を設置する。
5年 6月　建設・展示基本設計、実施設計委託
6年 4月　研究員1名配置
7年 4月　研究員1名増員
8年 4月　オープン
15年 8月　教育委員会からまちづくり推進課へ移管される。

17年 8月　管理部門は経済産業課へ、学術研究は教育委員会へ移管される。
18年 4月　管理部門に指定管理者制が導入される。
19年 4月　釧路市動物園へ移管される。
令和 7年 4月　タンチョウ観察センター閉館。

平成８年、越冬期の給餌場に隣接した地にタンチョウの保護と調査研究及び教育普及を目的に建設された本施設は、レクチャー室、ライブラリー、展示コーナー、映像コーナー、研究棟、屋外放飼場からなり、映像や剥製、模型を通してタンチョウを始めとするツル類の生活や習性をわかりやすく解説しているほか、屋外には上阿寒農村公園としてビオトープを設け、自然環境整備を行っている。

まりも国道に面した道の駅・阿寒丹頂の里と一体となった観光施設として年間２～４万人の来館者があるばかりでなく、国内唯一の研究部門ではタンチョウを通して国際的なツル類の保護に向けた取組が行なわれている。

２．施設の概要

所在地	阿寒町上阿寒 23 線 40 番地　☎66-4011
設立年月日	平成８年４月26日
敷地面積	72,604㎡（上阿寒農村公園167,000㎡を除く）

飼育舎及び管理施設

施設名	建設	面積（㎡）	備考
教育展示センター	H8.4	1,181.7	鉄筋コンクリート一部２階建て
研究センター	H8.4	298.9	
野外展示場	H8.4	5,950	
上阿寒農村公園	H7.12	167,000	



阿寒国際ツルセンター（阿寒給餌場）のタンチョウ

３．事業の概要

(1) 教育普及活動

名称	内容	回数（件数）	利用者数（人）
学習教育	総合学習	13	375
	総合学習外	2	45
研修	研修	1	8
ガイドツアー	団体	164	3,573
	修学旅行	7	76
	行政視察	1	8
講演会	一般	0	0

(2) 各種イベントの開催　（令和7年度）

実施日	行事名	利用者数(延べ)
令和７年４月10日～令和８年３月31日	第13回タンチョウフォトコンテスト入賞作品展	
令和７年11月１日～令和７年12月20日	第14回タンチョウフォトコンテスト	応募数 55 点
令和７年４月14日～令和８年３月16日	自然観察会（計10回）	69 人
令和７年５月18日	植物観察会	10 名
令和７年５月31日～令和７年６月８日	阿寒バードフェスティバル	95 点
令和７年7月19日～令和７年7月26日	夜の自然観察会（計2回）	29 名
令和８年１月１日	初日の出ツアー	42 人

(3) 飼育動物数（令和8年3月31日現在）

タンチョウ　８羽（雄３羽　雌５羽【野生由来３羽】）
産卵数　４個（雌２羽より）
有精卵数　０個
マナヅル　１羽（雄）

４．利用状況

入園状況の推移　（単位：人）

年度	利用者総数	有料									無料
		普通		団体		年間券			55パス購入者	55パス再入園	
		大人	小人	大人	小人	大人	小人	再入園			
R5	21,593	13,701	845	2,933	199	39	0	325	731	1,097	1,723
R6	27,092	17,407	1,130	3,362	128	45	0	451	1,064	1,601	1,904
R7	27,152	16,184	1,128	4,168	191	35	0	355	1,037	1,478	2,576

５．利用案内

令和8年4月1日現在

開館時間	午前９時～午後５時（通年）	
休館日	なし	
入園料	一般（高校生以上）	480円
	小学生・中学生	250円
	団体割引（15名以上）	
	一般（高校生以上）	350円
	小学生・中学生	180円
	年間券	
	一般（高校生以上）	3,620円
	小学生・中学生	1,810円

〔11〕釧路市音別町体験学習センター「こころみ」



１．沿　革

児童生徒数の減少による学校統廃合のため、平成９年３月音別町立二俣小学校が廃校となる。

校舎が昭和60年に改築されたばかりであったが、文部省の所轄施設であったため「営利を伴わない学習的機能を持った施設」としての再利用が条件となった。このため、再利用プロジェクト委員会を発足させ、地域住民との懇談や住民団体へのヒアリングを行い、地域の資源を活用できる宿泊型体験学習施設として再利用を図ることとし、平成10年から２ヵ年で校舎の増改築を施工し、平成12年４月にオープンした。

２．施設概要

所在地	音別町音別原野基線 138 番 46 ☎01547-6-9000・FAX01547-6-9001
開設年月日	平成12年４月１日
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上２階、塔屋１階 敷地面積 9,970.71 ㎡ 延床面積 2,371.26 ㎡ 建築面積 1,687.36 ㎡
構造・規模	宿泊室（ベットルーム）（定員71名）（冷暖房完備） ・８人部屋　８室（64名） ・４人部屋　１室（４名） ・３人部屋　１室（３名） 宿泊室（和室）12人部屋　１室（定員12名）
構造・規模	宿泊棟（コテージ）１棟８名　３棟（定員24名）（冷暖房完備） 体験学習室等 ・林産物加工体験室、乳製品加工体験室、多目的加工体験室、農産物加工体験室、多目的研修室、天体観測室、多目的コーナー（屋外）、体育館
改修期間	平成10年９月～平成11年８月
改修事業	620,909 千円
指導体制	指導員３名の他、事業内容により専門指導員（地域住民）に依頼

３．施設利用料金（令和8年5月1日現在）

(1) 宿泊料金

区分	個人	団体（15人以上）
小・中学生	1,200 円	1,090 円
高校生	1,810 円	1,620 円
一般	3,010 円	2,710 円
コテージ（５名まで）	18,070 円	
コテージ（６～８名）	18,070 円+（3,260 円×追加人数）	

(2) 暖房料金（10～５月）

区分	料金
日帰り（１名当り）	120 円
宿泊（１名当り）	370 円
宿泊（コテージ１棟当り）	1,810 円

(3) 食事料金

朝食	1,200円
夕食	1,930円

(4) 体験学習料金

内　　容	料　　金
星空探検	100 円
キャンドル・竹とんぼ・プリン・バター・芋団子・カーリング	各 210 円
ふき紙漉き・手作り石鹸・アイスクリーム・パン	各 320 円
凧作り・そば・ピザ・ソーセージ	各 420 円
トールペイント・渓流釣り	各 520 円
鹿肉ソーセージ	630 円
アメリカンフラワー	300 円～1,000 円

(5) 体験学習室使用料

	日帰り利用	宿泊利用
天体観測室	370 円	120 円
林産物加工体験室	370 円	120 円
乳製品加工体験室	370 円	120 円
多目的加工体験室	370 円	120 円
農産物加工体験室	370 円	120 円
多目的研修室	120 円	
体育館	120 円	
多目的コーナー(屋外)	120 円	120 円

4．利用状況（令和 7 年度）

(1) 日帰り、宿泊別利用者数　（単位：人）

区分	件数(件)	中学生以下	高校生	一般	合計
日帰り	38	274	2	378	654
宿泊	24	342	47	243	632
合計	62	616	49	621	1,286

(2) 地域別利用者数　（単位：人）

区分	件数(件)	中学生以下	高校生	一般	合計
釧路市内	53	533	49	564	1,146
北海道内	6	58	0	46	104
北海道外	3	25	0	11	36
合計	62	616	49	621	1,286

(3) 学校及び団体別利用者数　（単位：人）

区　　分	利用件数(件)	日帰り	宿　泊	合　計
小学校	5	0	101	101
中学校	2	0	48	48
高等学校	3	0	60	60
その他学校	5	43	107	150
教育関係団体	11	43	251	294
その他団体	36	568	65	633
合　　計	62	654	632	1,286

(4) 体験メニュー別利用状況

	日帰り利用		宿泊利用		合計	
体験メニュー	指導回数（回）	延利用人（人）	指導回数（回）	延利用人（人）	指導回数（回）	延利用人（人）
星空探検	1	5	16	324	17	329
ソーセージづくり	12	131	3	24	15	155
アイスクリームづくり	18	199	10	113	28	312
ピザづくり	5	52	6	64	11	116
蕎麦打ち	6	59	1	12	7	71
ふき紙漉き	2	21	1	14	3	35
キャンドルづくり	4	29	5	51	9	80
竹とんぼづくり	1	5	1	14	2	19
パンづくり	9	90	2	17	11	107
石けんづくり	0	0	2	19	2	19
芋団子づくり	4	36	1	10	5	46
トールペイント	0	0	0	0	0	0
渓流釣り	0	0	0	0	0	0
凧作り	0	0	0	0	0	0
バターづくり	0	0	1	12	1	12
プリンづくり	0	0	2	22	2	22
鹿肉ソーセージ	0	0	2	20	2	20
ストラップ	1	4	6	62	7	66
主催事業（※）	5	14	0	0	5	14
合計	68	645	59	778	127	1,423

※各種主催事業の内訳

事業名	開催日	回数（回）	利用者数（人）
冬の星空探検	1月16日	1	1
	1月24日	1	5
	2月13日	1	2
味噌づくり体験	1月24日	1	4
そば打ち体験	3月14日	1	2

〔12〕コーチャンフォー釧路文化ホール（釧路市民文化会館）



市民文化会館全景

1．沿　革

昭和52年10月	着工
昭和54年 9月	竣工
11月 3日	市民の文化活動の場として開館
平成18年 4月	指定管理者として、財団法人釧路市民文化振興財団を指定（平成18～20年度）
21年 4月	指定管理者として、釧路市民文化振興財団、北海道共立コンソーシアムを指定（平成21年～23年度）
24年 4月	同上（平成24～28年度）
29年 4月	同上（平成29～令和3年度）
令和 4年 4月	同上（令和4～8年度）

2．施設の概要

所在地	治水町12番10号 ☎24-5005・FAX24-5016
開館	昭和54年11月３日
総工費	2,582,200千円
敷地面積	33,404.05㎡
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下１階、地上３階建 建築面積 5,477.04㎡ 延床面積 9,551.31㎡
駐車場	屋外（360台収容） 10,564㎡
大ホール	収容人員 1,524席（固定1,396席、移動120席、車椅子用８席） 舞　台 間口18m・奥行14.4m 高さ８m・迫り１基、花道、オーケストラピット・奈落 楽　屋 １号（大）洋室43.20㎡ ２号（中）洋室29.30㎡ ３号（小）洋室12.00㎡ ４号（小）洋室12.00㎡
小ホール	収容人員 372席（固定364席、車椅子用８席） 舞　台 間口12m・奥行9.1m 高さ５m 楽　屋 １号（大）洋室36.96㎡ ２号（中）洋室21.12㎡ ３号（小）洋室13.44㎡ ４号（小）洋室13.44㎡
練習室	１号　96.78㎡ ２号　138.02㎡ ３号　49.54㎡
会議室	１号　75.72㎡　40名 ２号　35.88㎡　20名
和室	31畳　40名
展示ホール	ホール面積　442.38㎡ 固定壁面17m×23m×6.3m
喫茶食堂	113.08㎡ 50席
共用ロビー等	共用ロビー、ホワイエ、事務室、警備室等

※平成30年9月1日よりネーミングライツ事業を導入

3．使用料

（令和8年5月1日現在）　（消費税込）

区分		午前 9時～12時	午後 12時～17時	夜間 17時～21時	全日 9時～21時
		円	円	円	円
大ホール	平日	34,790	55,660	76,540	167,000
	土曜日、日曜日及び休日	48,710	69,580	90,450	208,730
小ホール	平日	13,910	18,090	23,670	55,670
	土曜日、日曜日及び休日	20,880	27,840	34,790	83,510
展示ホール		4,180	6,250	8,350	18,780
会議室	１号	2,090	2,790	4,180	9,050
	２号	1,680	1,950	2,230	5,860
和室		2,790	3,460	4,180	10,430
練習室	１号	1,810	2,090	2,790	6,690
	２号	3,200	3,460	4,180	10,840
	３号	970	1,230	1,950	4,150
大・小ホール楽屋	１号	690	970	1,230	2,890
	２号	410	690	970	2,070
	３号	280	410	690	1,380
	４号	280	410	690	1,380
浴室		130	230	280	640

４．利用状況

区分＼年度		R5	R6	R7
大ホール	件数（件）	112	105	109
	人員（人）	52,335	46,956	54,699
小ホール	件数（件）	155	156	166
	人員（人）	20,320	22,996	22,999
展示ホール	件数（件）	156	142	157
	人員（人）	17,562	17,362	14,784
会議室（２室）	件数（件）	211	210	255
	人員（人）	5,720	6,313	6,622
和室	件数（件）	22	17	20
	人員（人）	567	559	399
練習室（３室）	件数（件）	855	895	910
	人員（人）	11,333	11,401	11,686
合計	件数（件）	1,511	1,525	1,617
	人員（人）	107,837	105,587	111,189

５．開館及び休館日

(1) 開　館

火～日（午前９時～午後９時）

(2) 休館日

毎週月曜日（臨時に開館することもある。）

年末年始　（12月29日～１月３日）

〔13〕阿寒町公民館



１．沿　革

昭和23年 7月　村長公宅（阿寒村15線32番地）を開放して「阿寒村公民館」として設置。これが公民館の始まりである。

25年 2月　公民館設置条例が制定される。

30年 8月　阿寒駅前旧病院を公民館に転用

33年10月　公民館建設促進委員会が設置される。

35年12月　阿寒町16線32番地の2に公民館が新築される。木造モルタル造一部2階建、建物延面積514.8㎡、工事費5,740千円

47年10月　阿寒町16線29番地に改築される。鉄筋コンクリート一部2階建、建物延面積1,652.5㎡、工事費101,300千円

62年 3月　阿寒町中央2丁目4番1号に改築される。

２．施設の概要

所在地	阿寒町中央２丁目４番１号 ☎66-2222・FAX66-3682
開設年月日	昭和62年３月25日
総建設費	706,200 千円
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部２階建 延床面積　3,027 ㎡
	大ホール　567.67 ㎡
	ロビー　317.94 ㎡
	調理実習室　68.82 ㎡
	和室研修室（A）　29.70 ㎡
	和室研修室（B）　39.60 ㎡
	研修室（A）　48.30 ㎡
	研修室（B）　68.72 ㎡
	研修室（C）　90.16 ㎡
	視聴覚室　127.94 ㎡
	図書室　265.19 ㎡

３．公民館を中心とした生涯教育事業

(1) 文化団体の育成・支援

ロビーコンサート・ステージ発表等

(2) シルバー大学の開講

学芸・健康等の講座

(3) 青少年芸術劇場

芸術鑑賞　対象：小学生

(4) 総合芸術祭の開催

ステージ部門及び展示部門

(5) 公民館ロビー作品展

絵画・写真・パネル展等　対象：一般

４．公民館分館事業

公民館の生涯学習講座の開設と同じねらいのもとに、地区住民に対する学習活動を促進し、自発的活動を助け、学習機会の提供を図るため、本町から離れた地区（３地区）における各地区分館運営委員会に運営費助成を行うことにより、講習会及び各種行事が開催されている。

５．施設の使用料（令和8年5月1日現在）　（単位：円）

使用区分 / 室区分	第１種		第２種	
	１時間当たり		１時間当たり	
	6～9月	10～5月	6～9月	10～5月
大ホール 100人未満	450	580	2,290	2,960
大ホール 100人以上350人未満	920	1,180	4,580	5,960
大ホール 350人以上	1,370	1,770	6,880	8,940
ステージ	530	690	2,700	3,520
舞台裏物品庫	170	240	970	1,260
2階席	160	220	900	1,170
調理実習室	580	740	2,910	3,790
和室研修室（A）	130	160	690	900
和室研修室（B）	170	240	970	1,260
研修室（A）	120	140	630	790
研修室（B）	150	210	830	1,070
研修室（C）	240	320	1,230	1,610
視聴覚室	530	690	2,700	3,520
ﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ室	30	50	210	250

備考

１　第１種は、市内の諸団体または個人の使用の場合

２　第２種は、市外の諸団体または個人の使用の場合

３　入場料またはこれに類するものを徴収する使用者及び営利を目的とする使用者の場合は、第１種にあっては第２種、第２種にあっては第２種使用料の100分の200の額を徴収する。

４　使用時間30分以上の場合は１時間とし、30分未満の場合は切り捨てる。

５　備品使用は別途費用を要する。

６．施設利用状況

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数（件）	利用者数（人）	件数（件）	利用者数（人）	件数（件）	利用者数（人）
有料	821	6,956	596	5,559	610	5,974
無料	784	9,999	824	9,459	796	7,481
合計	1,605	16,955	1,420	15,018	1,406	13,455

７．開館及び休館

(1) **開　館**　火～日（午前９時～午後10時）

(2) **休館日**　毎週月曜日、年末年始（12月29日～１月３日）、祝日の翌日

〔14〕音別町文化会館



１．施設の概要

所在地	音別町朝日２丁目81番地 ☎01547-6-3515
建設年月日	昭和55年12月20日
施設概要	鉄筋コンクリート造　一部２階建 １階　967.95㎡　２階　22.76㎡ ホール・和室（２室）・会議室（１室）・事務室
総工費	252,530千円

２．利用状況（令和7年度）

ホール		和室A		和室B	
件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)
36	4,667	2	24	2	36
会議室		調理実習室		合計	
件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)
15	129	2	10	57	4,866

３．使用料（令和8年5月1日現在）　（単位：円）

区分		9時～12時	13時～17時	17時～22時
ホール	夏季	4,090	5,460	6,830
	冬季	5,850	7,800	10,920
会議室	夏季	1,460	1,950	2,730
	冬季	1,750	2,340	3,400
和室（A）	夏季	730	900	1,090
	冬季	810	1,090	1,360
和室（B）	夏季	470	630	800
	冬季	580	780	1,090
調理実習室	夏季	1,460	1,950	2,730
	冬季	1,750	2,340	3,400

４．開館及び休館

(1) **開　館**　火～日（午前９時～午後10時）

(2) **休館日**　毎週月曜日、年末年始（12月29日～１月３日）

〔15〕社会教育施設建設費の概要（昭和 54 年度以降完成分）

名称	構造・規模	建設年度	建設費（千円）	財源内訳（千円）				
				国	道	起債	その他	一般
コーチャンフォー釧路文化ホール（釧路市民文化会館）	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下１階、地上３階建 延床面積　9,551.31 ㎡	昭和52～54	2,582,200	85,000	50,000	2,123,300	建設基金 311,977	11,923
釧路市柳町アイスホッケー場	鉄骨造　一部２階建 延床面積　3,412 ㎡	54	256,606	30,000	10,000	209,100		7,506
ウインドヒルひがし北海道スタジアム（釧路市民球場）	鉄骨造 グランド面積　14,021 ㎡ スタンド面積　8,569.6 ㎡	57～58	1,214,000			910,500	基金繰入金 303,500	
ウインドヒルひがし北海道附属スタジアム（釧路市民球場附属球場）	敷地面積　10,290 ㎡	57～58	62,000			46,500	基金繰入金 15,500	
Nisshoアイスアリーナ（釧路市春採アイスアリーナ）	鉄筋コンクリート一部鉄骨造　２階建 延床面積　4,909 ㎡	57～58	1,164,236	30,000	50,000	1,021,300	寄付金 20,000	42,936
釧路市立博物館	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下１階　地上４階建 延床面積　4,301,769 ㎡	56～58	1,911,141	155,000	60,000	1,570,700	建設基金 14,677	110,764
釧路市鶴ケ岱武道館	鉄骨鉄筋コンクリート造　２階建 延床面積　1,469.82 ㎡	59	339,103	9,629	40,000	288,000		1,474
釧路市民サッカー場	敷地面積　9,539.25 ㎡	59	39,000			29,250	基金繰入金 9,750	
釧路市民陸上競技場	鉄筋コンクリート造　２階建 敷地面積　31,651.20 ㎡	61～62	984,000		100,000	884,000		
釧路市民陸上競技場附属競技場	敷地面積　26,988 ㎡	62	54,000			48,600	基金繰入金 5,400	
釧路市民テニスコート	面積　19,440 ㎡	平成3	459,420		32,000	397,400	基金繰入金 30,020	
北斗遺跡ふるさと歴史の広場	（史跡北斗遺跡展示館） 木造　平屋建　延床面積　249.65 ㎡ （復元住居）６棟 （園路など）1,269.6m （展望台）ｈ＝5.227m （資材運搬道路）620m （案内板・誘導標識など）12	1～9	423,157	179,118	85,000	94,531		64,508
釧路市生涯学習センター	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下１階、地上 10 階建 延床面積　11,451,89 ㎡	2～4	4,553,857		60,000	3,264,200	基金繰入金 1,136,446	93,211
釧路市鳥取温水プール	鉄筋コンクリート造一部鉄骨　２階建 延床面積　1,650 ㎡	3	528,460	129,195		272,100	基金繰入金 100,000	27,165
釧路市民ゲートボール場	敷地面積　14,440 ㎡	4	85,748	30,000		41,800		13,948
KKS 釧路厚生社アイスアリーナ（釧路市柳町アイスホッケー場）上屋	鉄骨造　平屋建　一部２階建 延床面積　3,412.33 ㎡	4～5	519,457			477,000		42,457
釧路市柳町スピードスケート場	鉄筋コンクリート造　２階建 （管理棟）延床面積　2,213 ㎡ （記録棟）延床面積　317 ㎡	5～6	686,270			659,300		26,970

ユタカアイスアリーナくしろ (釧路アイスアリーナ)	鉄骨鉄筋コンクリート造　２階建 延床面積　7,564.23 ㎡	7～8	3,124,038		120,000	2,987,800		16,238
釧路市民 ソフトボール場	面積　24,081 ㎡	9	146,858			132,172		14,686
あすなろ会 こども遊学館 (釧路市こども遊学館)	鉄骨造 地上５階建 延床面積　5,883.92 ㎡	15～16	4,199,700		128,200	3,988,700	産炭基金 6,000 寄付金 12,200	64,600
ウインドヒル くしろスーパーアリーナ (湿原の風アリーナ釧路)	鉄骨鉄筋コンクリート造　３階建 延床面積　14,069.65 ㎡	18～20	4,267,874	2,157,810	107,600		合併特例債 2,048,600 行革債 1,500	110
釧路市民球場 屋内練習場	面積　370.9 ㎡	22	42,903	42,903				
釧路市 中央図書館	鉄骨造 新釧路道銀ビル内３～７階 延床面積　5,289.48 ㎡	28～29	1,290,384	617,366		617,287		55,731
(阿寒町総合運動公園) 阿寒町スポーツセンター	鉄筋コンクリート造　２階建 延床面積　2,641.7 ㎡	昭和 57	520,000	200,000	101,000	214,900		4,100
阿寒町公民館	鉄筋コンクリート造　一部３階建 延床面積　3,027 ㎡	62	706,200	91,000	100,000	349,700	111,200	54,300
(阿寒町総合運動公園) 阿寒町野球場	面積　11,474 ㎡	62	196,849	13,912	40,000	137,500		5,437
(阿寒町総合運動公園) 阿寒町多目的広場	面積　11,300 ㎡	63	39,186	19,593		18,600		993
(阿寒湖畔スポーツ広場) 阿寒湖畔 トレーニングセンター	鉄筋コンクリート造　平屋建 延床面積　998,087 ㎡	63	255,286		50,000	186,700		18,586
(阿寒湖畔スポーツ広場) 阿寒湖畔スケートリンク (多種目競技場含む)	（スケートリンク）敷地面積　12,915 ㎡ （ 多種目競技場 ）敷地面積　 2,376 ㎡	63	179,470		40,000	129,600		9,870
(阿寒町総合運動公園) 阿寒町多種目競技広場	敷地面積　2,400 ㎡	平成 2	34,408	17,204				17,204
音別町文化会館	鉄筋コンクリート造　一部２階建 延床面積　990 ㎡	昭和 55	252,530	55,325	10,000	113,900	3,200	70,105
音別町 スケートリンク	鉄筋コンクリート造 （スケートリンク）敷地面積　4,263 ㎡ （カーリング場）敷地面積　1,000 ㎡	57	99,749		30,000	65,400		4,349
音別町野球場	敷地面積　28,540 ㎡	58～59	149,834	9,900	40,000	93,300		6,634
音別町パークゴルフ場 音別町運動公園	敷地面積　27,252 ㎡ （多目的広場（芝生）） 敷地面積　16,542 ㎡	平成 元	135,944		33,300	84,300		18,344
音別町ふれあい図書館 （みなくる７７）	鉄筋コンクリート造　２階建 延床面積　1,312 ㎡	3	522,725		50,000	361,400		111,325
音別町体験学習センター （ こ こ ろ み ）	鉄骨鉄筋コンクリート造　２階建 延床面積　2,121 ㎡	10～11 改修	620,909		135,700	477,600		7,609

※釧路市鶴丘スキー場は平成 28 年４月１日廃止、釧路市富士見球場は令和２年４月１日廃止、音別町温水プールは令和５年４月１日廃止

資　　料

〔1〕市　立　学　校　一　覧 …… 137

〔2〕市内の学校及び幼稚園等一覧 …… 141

〔1〕市立学校一覧

1－1.小学校

学校名	郵便番号	所在地	電話番号	創立年月日	校長名	教頭名
城山	085-0826	城山1丁目14番35号	41-1461	T9.6.22	隈江 幸男	安斉 悟
湖畔	085-0806	武佐2丁目27番16号	46-1151	T7.10.7	佐久間 勝教	齋 慎之
桜が丘	085-0805	桜ケ岡2丁目4番22号	91-6221	S24.11.1	渥美 清孝	江端 宏樹
鳥取	084-0907	鳥取北3丁目13番24号	51-3401	M20.5.13	大山 道弘	若林 真澄
共栄	085-0006	双葉町4番17号	23-1695	S3.9.26	猪子 政文	島 久美子
朝陽	085-0805	桜ケ岡5丁目3番52号	91-6504	S34.1.20	照井 貴幸	成田 幸史
光陽	085-0051	光陽町15番17号	23-8461	S34.10.26	川上 正美	津金澤 浩司
清明	085-0814	緑ケ岡4丁目8番7号	41-8196	S36.4.1	田中 君枝	小野寺 隆
新陽	084-0904	新富士町4丁目6番8号	51-5211	S37.7.31	藤原 義明	村田 鉄人
山花	084-0928	山花14線132番地	56-2111	M33.5.1	大月 さゆり	春日 優貴
愛国	085-0057	愛国西1丁目25番3号	36-5680	S46.4.1	松本 孝也	渡部 潤
鳥取西	084-0907	鳥取北7丁目5番5号	51-0477	S49.4.1	福田 由美子	佐藤 博哉
武佐	085-0806	武佐4丁目3番42号	46−1918	S53.4.1	清水 秀紀	石川 達明
美原	085-0065	美原4丁目2番38号	36-2155	S54.4.1	湯川 朋広	野坂 恭代
昭和	084-0910	昭和中央3丁目12番2号	52-1216	S54.4.1	長谷川 順子	池 理砂
興津	085-0811	興津3丁目10番13号	91-5302	S55.4.1	蔵光 貴弘	濱渕 雅樹
鶴野	084-0924	鶴野58番5157	51-3371	S56.4.1	齊藤 崇	松田 和也
芦野	085-0061	芦野1丁目13番1号	37-2151	H1.4.1	森口 暢宏	伊藤 由紀子
東雲	085-0804	白樺台3丁目19番24号	91-6808	H17.4.1	大南 優	齊藤 則康
中央	085-0026	寿1丁目2番16号	23-3396	H19.4.1	小川 一法	関本 裕介
青葉	085-0047	新川町3番7号	23-2546	H19.4.1	冨田 直子	土井 誠
釧路	085-0835	浦見2丁目2番38号	41-4231	H20.4.1	富田 義宏	新井 新也
大楽毛	084-0917	大楽毛1丁目10番1号	57-3113	R8.4.1	安部 新路	佐野 玲子
阿寒	085-0214	阿寒町富士見1丁目17番1号	66-2186	M34.4.1	太田 恭司	式部 純也
阿寒湖	085-0467	阿寒町阿寒湖温泉6丁目4番1号	67-2529	R3.4.1	村瀬 清史	小野 芳典
音別	088-0116	音別町中園2丁目1番地	01547-6-2419	R8.4.1	浦邊 弘之	尾崎 信博

※義務教育学校の前期課程含む（学校名「大楽毛、阿寒湖、音別」）

１－２．小学校　　（令和8.5.１現在）

学校名	学級数	児童数	教職員数					市費職員数		
			校長教諭	養護教諭	事務職員	栄養教諭	計	用務員 公務補	事務補	計
城　山	6(　3)	65(　15)人	15人	1人	1人	人	17人	2人	1人	3人
湖　畔	12(　9)	284(　36)	26	1	1		28	3	1	4
桜が丘	6(　6)	169(　26)	19	1	1		21	2	1	3
鳥　取	10(　6)	237(　36)	25	1	1		27	2	1	3
共　栄	8(　7)	201(　39)	24	1	1		26	2	2	4
朝　陽	6(　4)	113(　24)	21	1	1		23	2	1	3
光　陽	7(　4)	175(　23)	20	1	1		22	3	1	4
清　明	12(　7)	311(　30)	26	1	1	1	29	2	2	4
新　陽	6(　2)	53(　12)	12	1	1		14	3	1	4
山　花	3(　0)	9(　0)	4	1	1		6	1	1	2
愛　国	17(　8)	451(　41)	39	1	1		41	2	2	4
鳥取西	13(　9)	322(　50)	31	1	1		33	2	2	4
武　佐	6(　2)	61(　6)	11	1	1		13	2	1	3
美　原	6(　8)	144(　30)	21	1	1	1	24	2	1	3
昭　和	19(　10)	577(　61)	44	1	2		47	2	2	4
興　津	6(　3)	86(　17)	15	1	1		17	3	1	4
鶴　野	13(　6)	334(　37)	30	1	1		32	2	2	4
芦　野	10(　8)	235(　36)	26	1	1		28	2	2	4
東　雲	6(　5)	54(　23)	20	1	1		22	2	1	3
中　央	6(　4)	91(　17)	16	1	1		18	2	1	3
青　葉	10(　8)	237(　35)	26	1	1		28	2	2	4
釧　路	7(　6)	167(　38)	20	1	1		22	3	1	4
大楽毛	6(　4)	101(　20)	17	1	1		19			
阿　寒	4(　3)	43(　11)	11	1	1		13	2		2
阿寒湖	3(　2)	24(　7)	7	1	1		9	1		1
音　別	5(　2)	30(　3)	8	1	1		10			
合　計	213(136)	4,574(673)	534	26	27	2	589	51	30	81

※学級数・生徒数（　）は特別支援学級で外数　　※市費職員数には会計年度任用職員含む

※義務教育学校の前期課程含む（学校名「大楽毛、阿寒湖、音別」）

２－１. 中学校

学校名	郵便番号	所在地	電話番号	創立年月日	校長名	教頭名
北	085-0043	喜多町１番 23 号	２３－３２９１	S24. ９. １	名和　勝紀	恐神　邦嗣
春採	085-0813	春採５丁目１番 19 号	４１－５８３１	S26. ４. １	河原　和範	斎藤　貴子
鳥取	084-0903	昭和町２丁目５番 53 号	５１－２４９１	S22. ５. 26	山野　哲也	吉岡　康一郎
共栄	085-0038	花園町９番 40 号	２３－１６９１	S22. ５. １	鈴木　穣	白井　美佳子
景雲	085-0056	東川町 16 番１号	２３－６１９１	S36. ４. ６	島田　桂子	福田　貴志
山花	084-0928	山花 14 線 132 番地	５６－２１１１	S23. ４. １	大月　さゆり	春日　勇貴
桜が丘	085-0805	桜ケ岡６丁目 27 番 12 号	９２－０７１１	S54. ４. １	高橋　帝寿	岩淵　希代美
美原	085-0065	美原４丁目７番１号	３７－１１７１	S57. ４. １	中野　昌史	國方　佳子
鳥取西	084-0907	鳥取北９丁目７番１号	５３－０２１１	S58. ４. １	村岡　愛司	田崎　博久
幣舞	085-0822	春湖台１番３号	４１－３５９１	H16. ４. １	藤森　美由紀	柴田　尚文
青陵	085-0814	緑ケ岡６丁目９番 42 号	４６－１１６１	H16. ４. １	大和　洋一	児島　享史
大楽毛	084-0917	大楽毛１丁目 10 番１号	５７－３１１３	R８. ４. １	阿部　新路	米川　順義
阿寒	085-0216	阿寒町北新町２丁目４番１号	６６－３３５１	S22. ５. １	本田　貢	長谷川　充夫
阿寒湖	085-0467	阿寒町阿寒湖温泉６丁目４番１号	６７－２５２９	S22. ５. １	村瀬　清史	藤野　和明
音別	088-0116	音別町中園２丁目１番地	01547-6-2419	R８. ４. １	浦邉　弘之	黒萩　徳樹
くしろ創明	085-0026	寿１丁目２番 16 号	６５－８６３１	R８. ４. １	名和　勝紀	堀　員彰

※義務教育学校の後期課程含む（学校名「大楽毛、阿寒湖、音別」）

３－１. 高等学校

学校名	郵便番号	所在地	電話番号	創立年月日	校長名	教頭名
北陽	085-0814	緑ケ岡１丁目 11 番８号	４１－４４０１	S32. ４. １	鈴木　亮介	元島　和明

２－２.中学校　　（令和８.５.１現在）

学校名	学級数	生徒数	教職員数					市費職員数		
			校長・教諭	養護教諭	事務職員	栄養教諭	計	用務員 公務補	事務補	計
北	6(4)	156(16)人	18人	1人	1人	人	20人	2人	2人	4人
春　採	6(2)	170(12)	19	1	1		21	2	1	3
鳥　取	14(5)	470(36)	34	1	1		36	2	2	4
共　栄	9(3)	240(15)	24	1	1		26	2	2	4
景　雲	13(6)	422(30)	34	1	2		37	2	2	4
山　花	2(0)	9(0)	6				6			
桜が丘	3(5)	89(23)	19	1	1		21	2	1	3
美　原	5(3)	121(17)	17	1	1		19	3	1	4
鳥取西	14(6)	422(36)	34	1	2		37	2	2	4
幣　舞	6(5)	171(31)	19	1	1		21	2	1	3
青　陵	10(5)	327(29)	29	1	1	1	32	2	2	4
大楽毛	3(4)	84(21)	16	1	1		18	3	1	4
阿　寒	3(2)	25(4)	12	1	1		14	2		2
阿寒湖	3(0)	22(0)	9	1	1		11	1		1
音　別	3(2)	15(2)	8	1	1		10	1		1
くしろ 創明	3(0)	22(0)	10	1	1		12			
合　計	103(52)	2,765(272)	308	15	17	1	341	28	17	45

※学級数・生徒数（ ）は特別支援学級で外数　　※市費職員数には会計年度任用職員含む

※義務教育学校の後期課程含む（学校名「大楽毛、阿寒湖、音別」）

３－２.高等学校　　（令和８.５.１現在）

学校名	学級数	生徒数	教職員数					その他の職員		
			校長・教諭	養護教諭	事務職員	栄養教諭	計	用務員	事務補	計
北　陽	15	586人	46人	1人	4人	人	51人	2人	2人	4人

※その他の職員には会計年度任用職員含む

〔２〕市内の学校及び幼稚園等一覧（市立小・中・高校を除く）

１.大学、高専、小・中・高等学校・特殊学校

設置者別	学校名	校長等氏名	所在地	電話	開校年月日
国　立	北海道教育大学釧路校	ｷｬﾝﾊﾟｽ長 和　地　輝　仁	〒085-8580 城山１－15－55	44-3205	S24．5．31
公　立	釧　路　公　立　大　学	学長　白　川　欽　哉	〒085-8585 芦野４－１－１	37-3211	S63．4．14
私　立	釧　路　短　期　大　学	〃　杉　本　龍　紀	〒085-0814 緑ケ岡１－10－42	41-0131	S39．4．1
国　立	釧路工業高等専門学校	校長　長　尾　和　彦	〒084-0916 大楽毛西２－32－１	57-8041	S40．4．24
道　立	北海道釧路湖陵高等学校	〃　柳　本　高　秀	〒085-0814 緑ケ岡３－１－31	43-3131	㊎ Ｔ２．４．１ ㊐ T12．４．１
〃	北海道釧路江南高等学校	〃　小　林　　孝	〒085-0051 光陽町 24－17	22-7987	Ｔ８．４．１
〃	北海道釧路商業高等学校	〃　阿　部　敏　幸	〒084-0910 昭和中央５－10－１	52-3331	S28．４．１
〃	北海道釧路工業高等学校	〃　平　井　柳　太	〒085-0821 鶴ケ岱３－５－１	41-1285	㊎ S14．４．１ ㊐ S38．４．１
〃	北海道釧路明輝高等学校	〃　小　林　成　人	〒085-0057 愛国西１－38－７	36-5001	H19．４．１
〃	北海道阿寒高等学校	〃　吉　田　光　利	〒085-0213 阿寒町仲町２－７－１	66-3333	S26．２．９
私　立	武　修　館　高　等　学　校	〃　馬　場　保　孝	〒085-0806 武佐５－９－１	47-3211	S39．４．１
国　立	北　海　道　教　育　大　学 附属釧路義務教育学校　前期課程	〃　早　勢　裕　明	〒085-0805 桜ケ岡７－12－48	91-6322	S43．４．１
〃	北　海　道　教　育　大　学 附属釧路義務教育学校　後期課程	〃　早　勢　裕　明	〒085-0805 桜ケ岡７－12－２	91-6857	S44．４．１
道　立	北海道釧路鶴野支援学校	〃　三　浦　貴　徳	〒084-0924 鶴野 58－92	57-9011	H26．４．１
〃	北海道釧路養護学校	〃　松　田　和　慶	〒085-0054 暁町 11－１	24-7827	S54．４．１

２.専修学校　　（令和8.5.１現在・教育委員会確認分）

設置者別	学校名	校長等氏名	所在地	電話	修業年数
市　立	釧路市立高等看護学院	学院長　中　村　裕　之	〒085-822 春湖台１－18	42-1302	３年
私　立	くしろせんもん学校	校長　　杉　村　典　史	〒084-0910 昭和中央２－７－３	51-3195	２年
〃	釧路労災看護専門学校	〃　　宮城島　拓　人	〒085-0052 中園町 13－38	25-9817	３年
〃	釧路理容美容専門学校	〃　　北　上　俊　幸	〒085-0826 城山１－６－10	41-2295	２年
〃	釧路市医師会看護専門学校	〃　　柴　田　香　織	〒085-0834 弥生１－４－12	44-7766	３年
〃	釧路孝仁会看護専門学校	〃　　田　中　英　司	〒085-0062 愛国 191-212	39-1230	３年

※休校中は除く

３．幼稚園等

市立幼稚園１園　私立幼稚園４園　認定こども園３５園　（令和8.5.1現在）

幼稚園名	郵便番号・所在地	園長名	電話番号	定員
釧路市立マリモ幼稚園	〒085-0467　阿寒町阿寒湖温泉5-5-7	北村　美和	67-2507	105
公立　計１園				105
釧路聖母幼稚園	〒085-0047　新川町16-19	鶴田　晶子	25-0697	20
グリー幼稚園	〒085-0044　川端町3-1	笹野　貞子	23-1860	25
貝塚幼稚園	〒085-0816　貝塚2-19-3	山本　竜馬	41-3949	30
仏教釧路幼稚園	〒085-0832　富士見2-2-5	樋口　恵理子	41-5296	15
私立　計４園				195
釧路市立音別認定こども園	〒088-0116　音別町中園2-165	今尾　晶乃	(01547)6-2163	18
釧路市立認定こども園阿寒幼稚園	〒085-0214　阿寒町富士見2-10-1	山﨑　綾子	66-3152	25
公立認定こども園　計２園				43
認定こども園よしの	〒084-0916　大楽毛西2-25-3	香木　君江	57-5533	15
釧路あさひ認定こども園	〒085-0011　旭町12-2	酒井　恵	25-2301	10
釧路風の子認定こども園	〒084-0905　鳥取南7-2-9	林　歩	65-5955	15
釧路おたのしけ認定こども園	〒084-0917　大楽毛4-12-6	波平　真弓	57-3997	10
美原認定こども園	〒085-0065　美原4-5-16	鴨田　篤子	36-2440	7
ことぶき認定こども園	〒085-0062　寿1-4-4	小濱　寿美子	22-5359	5
桂恋認定こども園	〒085-0802　桂恋167	井本　里美	91-2935	5
双葉認定こども園	〒085-0002　新釧路町3-14	長谷川　香代	24-8888	14
かしわ認定こども園	〒085-0812　紫雲台2-30	菅井　明美	41-2581	10
あいこう認定こども園	〒085-0057　愛国西1-24-10	冨田　めぐみ	36-3142	10
釧路頌栄保育園	〒085-0834　弥生2-10-28	前田　博美	41-1805	15
釧路はるとり保育園	〒085-0806　武佐1-3-5	金子　友紀子	46-1685	4
釧路共栄保育園	〒085-0036　若竹町4-7	真下　浩二	22-4530	9
釧路わかくさ保育園	〒085-0806　武佐4-26-2	板谷　早苗	46-5674	6
釧路さかえ保育園	〒085-0017　幸町11-1-1	山本　久美	65-8008	10
釧路認定こども園	〒085-0058　愛国東2-1-11	松田　陽央子	36-7028	3
釧路カトリック幼稚園	〒085-0018　黒金町12-10	鈴木　良恵	23-3993	45
釧路白樺幼稚園	〒085-0804　白樺台3-5-37	横田　三香	91-6805	15
釧路桜幼稚園	〒085-0805　桜ヶ岡5-1-24	横田　三香	91-6441	45
釧路ひばり幼稚園	〒085-0814　緑ケ岡5-20-15	小原　雅恵	46-4280	30
かすみ幼稚園	〒085-0034　白金町24-6	大嶋　春香	23-4590	70
釧路あおば幼稚園	〒084-0923　鶴野東1-8-1	根守　君代	53-3810	50
美原つくし幼稚園	〒085-0065　美原1-50-8	藤田　亜矢子	37-0738	55
ひぶな幼稚園	〒085-0824　柏木11-1	鈴木　一宏	41-7418	35
釧路短期大学附属幼稚園	〒085-0814　緑ケ岡1-10-42	井上　薫	43-1773	45
釧路ひまわり幼稚園	〒084-0906　鳥取大通2-4	高畠　昌之	51-7766	90
湖畔幼稚園	〒085-0806　武佐2-35-5	濟藤　奈美	46-0691	50
愛国フレンド幼稚園	〒085-0061　芦野5-6-5	杉本　泉	36-4555	40
わかばフレンド幼稚園	〒084-0910　昭和中央2-7-13	山下　晶子	51-9478	67
みはらフレンド幼稚園	〒085-0065　美原4-5-1	高橋　亮子	36-2694	43
第二豊川幼稚園	〒085-0053　豊川町8-19	五十嵐　のぞみ	23-6858	65
釧路豊川幼稚園	〒085-0057　愛国西1-18-3	五十嵐　のぞみ	37-1732	65
昭和スポーツ幼稚園	〒084-0908　北園41-4158	森　敏隆	51-9493	60
私立認定こども園　計３３園				1,018

認定こども園の定員は教育部分のみ記載

釧 路 市 民 憲 章

前　文

わたしたちは、広野に丹頂が舞い、夕焼けが太平洋を染める釧路の市民です。
わたしたちは、先人の開拓精神をうけつぎ、生産都市を誇りとして、健康で明るく、豊かで文化の香り高いまちを築くために、この憲章を定めます。
きょうを充実させ、あすを発展させるために。

本　文

一、元気で働き、明るく豊かなまちをつくりましょう
一、きまりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくりましょう
一、緑を育て、自然豊かなきれいなまちをつくりましょう
一、人にやさしく、心ふれあう温かいまちをつくりましょう
一、文化を高め、命を尊ぶ平和なまちをつくりましょう
一、郷土を愛し、世界に誇れるまちをつくりましょう

平成18年10月11日制定



釧 路 市 市 章 の 由 来

本市の市章は、釧路の「釧」という字が、古くは万葉集などにも出てくる字で、一字で〝クシロ〟と読み、〝腕輪〟を意味しているところから、腕輪＝釧（クシロ）を丸で表現し北海道を象徴する北極星を表わす星で丸を囲み、釧路がますます栄えるようにとの祈りを込めてつくられたものである。

教 育 要 覧　令和８年10月
編　集　釧路市教育委員会　総務課
発　行　釧路市教育委員会
〒085-0016　釧路市錦町2丁目4番地　TEL（0154）31-4575

教育要覧

令和８年度

釧路市教育委員会